



取扱書

よくお読みになってご使用ください。
取扱書は車の中に保管しましょう。

PIXIS MEGA



このたびは、トヨタ車をお買い上げいただき、 ありがとうございます。

本書は、ピクシス メガの正しい取り扱いかたや、お手入れの方法などについて説明しているほか、車を操作するうえで必ず守っていただきたいこと、また、万一のときの処置についても記載しています。

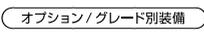
安全で快適なカーライフをお楽しみいただくために、ご使用前に必ずお読みください。

必読！ドライバーのみなさまへ

特に重要な事柄です。必ず読んでから操作、あるいは作業に取りかかってください。これらを守らないと思わぬけがや事故につながったり、車を損傷するおそれがあります。

安全についての表示マーク・その他の表示マーク

本文中に記載されているマークの意味は下記の通りです。

 警告	ここに記載されていることをお守りいただかないと、生命の危険または、重大な傷害につながるおそれがあります。 お客様自身と周囲の人々への危険を避けたり減少させたりするため必ずお読みください。
 注意	ここに記載されていることをお守りいただかないと、お車や装備品の故障や破損につながるおそれや、正しい性能を確保できない場合があります。
 知識	機能の説明や操作方法の説明以外で知っておいていただきたいこと、知っておくと便利なことを説明しています。
 オプション/グレード別装備	オプション、またはグレードなどにより、装備の有無の異なる項目です。

ご愛車のために

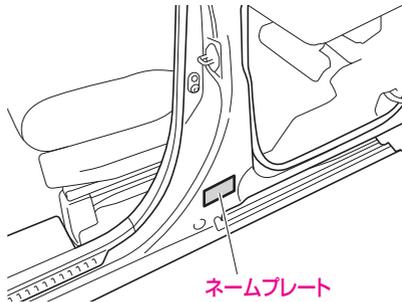
- 車種によって取り扱い方法が異なる場合は、車両型式やエンジン型式を確認したうえで操作を行ってください。車両型式、エンジン型式は本書の「ご愛車に関するメモ」にあらかじめ記入しておくとう便利です。
- 保証および点検・整備については、別冊の「メンテナンス ノート」に記載していますのでお読みください。
- お車をゆずられる際は、次のオーナーのために必ず本書を車に付けておいてください。
 - 車の仕様変更により、本書の内容やイラストがお車と一部異なる場合がございますがご了承ください。
 - 本書は別冊の「メンテナンス ノート」とともに、いつもお車に保管しておいてください。
 - ご不明な点は、ご購入先のトヨタ販売店（営業スタッフ）におたずねください。

ご愛車に関するメモ

記入される記号・番号は、車検証、ネームプレートをご覧ください。

ご愛車のメモ	
車名および型式	車名:
	型式:
車台番号	
エンジン型式	KF- 型エンジン
総排気量	658cc
車体色(番号)	
トランスミッション	オートマチックトランスミッション

ネームプレートは助手席側ドアを開けたところに貼り付けしてあります。



目次

絵目次	2
こんなときは	10

必読！ ドライバーのみなさまへ

走行する前に	14
エンジンをかけるときは	17
走行しているときは	18
駐停車するときは	21
お子さまを乗せるときは	23
こんなときは	26
お車を長持ちさせるには	29
知っておいていただきたいこと	31

安全なドライブのために

正しい運転姿勢	34
正しい運転姿勢	34
シートベルト	35
正しいシートベルトの着用	35
シートベルトの使いかた	35
お子さま専用シート	40
チャイルドシート	40
チャイルドシートの 選びかた	42
チャイルドシートの 固定のしかた	47
SRS エアバッグ	53
SRS エアバッグ	53
SRS エアバッグ コンピューター	62
セキュリティ機能	64
イモビライザー機能	64
セキュリティアラーム	65

各部の開閉と各部の調整

車体各部の開閉	72
キー	72
キーレスエントリー	77
キーフリーシステム	78
ドア	86
スライドドア	98
パワースライドドア (ワンタッチオープン機能付)	103
バックドア	113
パワーウインド	117
給油のしかた	122
車体各部の調整	125
フロントシート	125
リヤシート	127
ヘッドレスト	130
シートアレンジ	132
ルームミラー	142
ドアミラー	142
リヤアンダーミラー	147
チルトステアリング	148

計器類とスイッチ

警告灯、表示灯	150
警告灯	150
表示灯	161
メーターのはたらき	168
メーター	168
スイッチの使いかた	181
ライトスイッチ	181
フォグランプスイッチ	185
ワイパー・ウォッシャー スイッチ	185
ホーンスイッチ	188
方向指示スイッチ	188
非常点滅灯スイッチ	189

車を運転するにあたって

運転するとき	192
運転をする前に	192
運転のしかた	194
運転するときの注意事項	197
運転装置の使いかた	201
エンジンスイッチ (キーレスエントリー装着車)	201
エンジンスイッチ (キーフリーシステム装着車)	203
駐車ブレーキ	208
シフトレバー	209
ABS	212
ABS (EBD 機能付)	212
VSC & TRC	214
VSC	214
TRC	215
メーター表示	217
VSC & TRC OFF スイッチ	219
スマートアシスト	220
スマートアシスト	220
レーザーレーダー	222
低速域衝突回避支援 ブレーキ機能	224
誤発進抑制制御機能	230
先行車発進お知らせ機能	236
メーター表示	238
スマートアシスト OFF スイッチ	242
エマージェンシーストップ シグナル	243
エマージェンシーストップ シグナル	243
アイドリングストップ システム	244
eco IDLE (エコアイドル)	244
エコ発電制御	257
エコ発電制御	257

装備品の使いかた

空調	260
マニュアルエアコン	260
オートエアコン	268
リヤウインドデフォッガー	
スイッチ	277
オーディオ	278
ルーフアンテナ	278
オーディオの取り扱い	279
インテグレート CD・AM/FM 付	
ラジオ・AUX 端子	283
ステアリングスイッチ	294
バックカメラ	295
室内装備品	299
室内照明	299
アクセサリソケット	301
アームレスト	302
運転席シートヒーター	303
サンバイザー	304
格納式リヤドアサンシェード	305
格納式アシストグリップ	306
収納装備	307
ラゲージルーム内装備	311
ドリンクホルダー	320
買い物フック	322
助手席シートバックテーブル	322

車のお手入れ

日常のお手入れ	324
ボデー、塗装面のお手入れ	324
室内のお手入れ	327
簡単な点検・部品の交換	328
エンジンルーム内の点検	328
消耗品の補給、交換	333
タイヤの点検	336
ワイパーの交換	343
エアコンガス、	
フィルターの交換	347
ヒューズの交換	348
電球（バルブ）交換	352
キーの電池交換	362

積雪、寒冷時の取り扱い

積雪、寒冷時の取り扱い	366
冬に向かってのお手入れ	366
走行前点検と準備	367
積雪、寒冷時の走行	368
走行中の点検と注意	370
走行後の取り扱い	371

いざというときに

工具類 374

- 格納場所 374
- ジャッキの使いかた 375
- タイヤパンク応急修理セット ... 379

いざというときの処置 386

- エンジンがかからないとき 386
- スタック（立ち往生）
 - したとき 386
- 故障したとき 387
- けん引されるとき 389
- パンクしたとき 392
- バッテリーあがりの処置 392
- オーバーヒートの処置 396
- 電子カードキーが
 - 使用できないとき 398
 - キーを閉じ込めたとき 401
 - 車両を緊急停止するには 402
 - 事故が起きたとき 403

サービスデータ

- サービスデータ 406

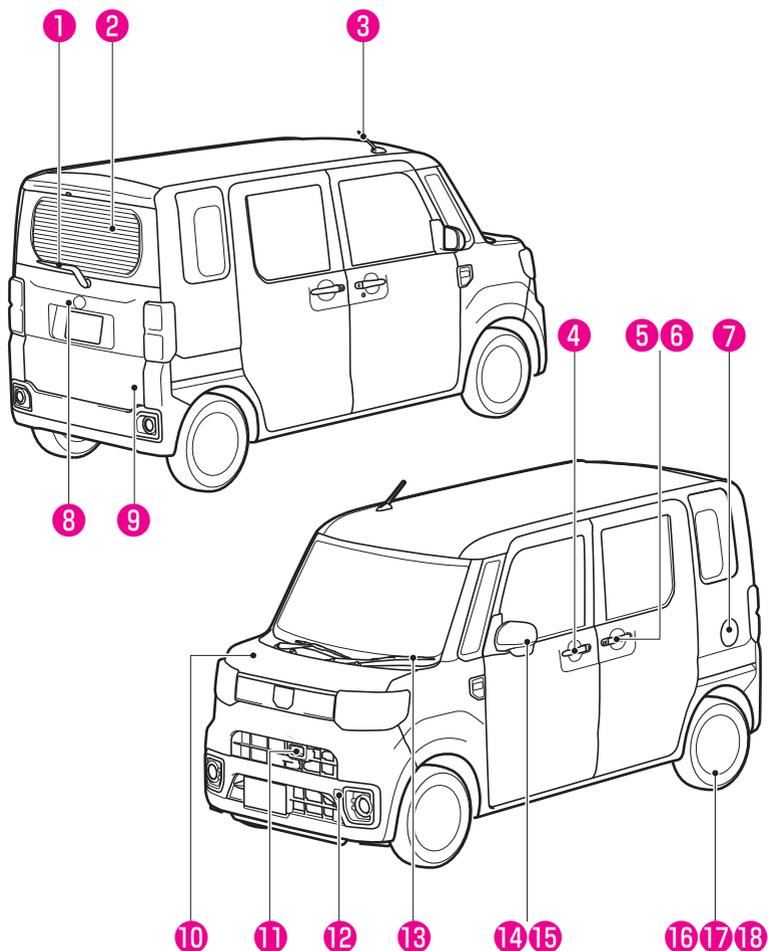
さくいん

- さくいん 412

絵目次

■ 外観

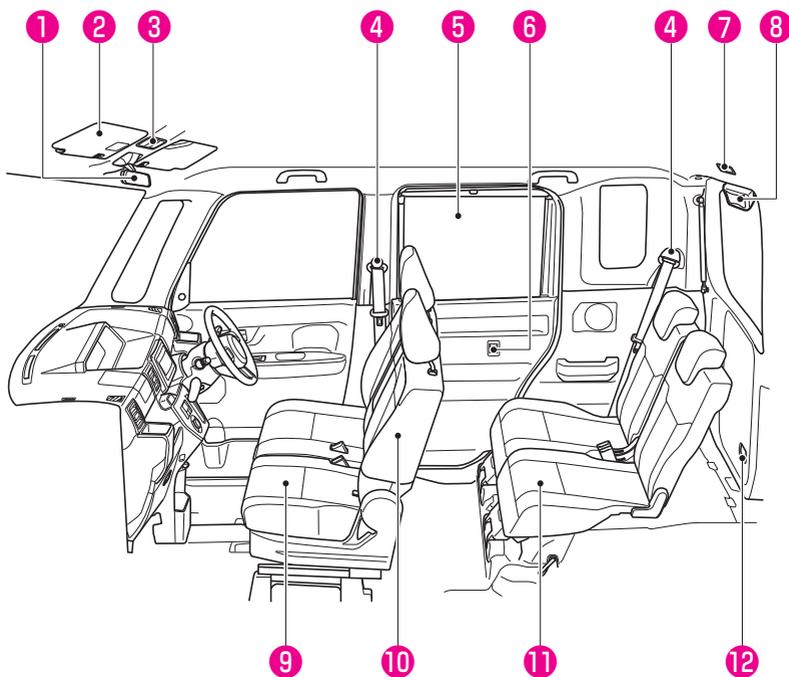
グレードの違い、注文装備も記載しています。



①	リヤワイパー	187
②	リヤウインドデフォッガー	277
③	ルーフアンテナ	278
④	ドアの開閉	86
⑤	スライドドア	98
⑥	パワースライドドア	103
⑦	フューエルリッド	122
⑧	バックカメラ	295
⑨	バックドア	113
⑩	ボンネット	330
⑪	レーザーレーダー	222
⑫	けん引フック	391
⑬	フロントワイパー	186
⑭	電動格納式ドアミラー	142
⑮	サイドアンダーミラー	146
⑯	タイヤの交換	338
⑰	タイヤローテーション	337
⑱	タイヤパンク応急修理セット	379

■ 内装 (1)

グレードの違い、注装備も記載しています。



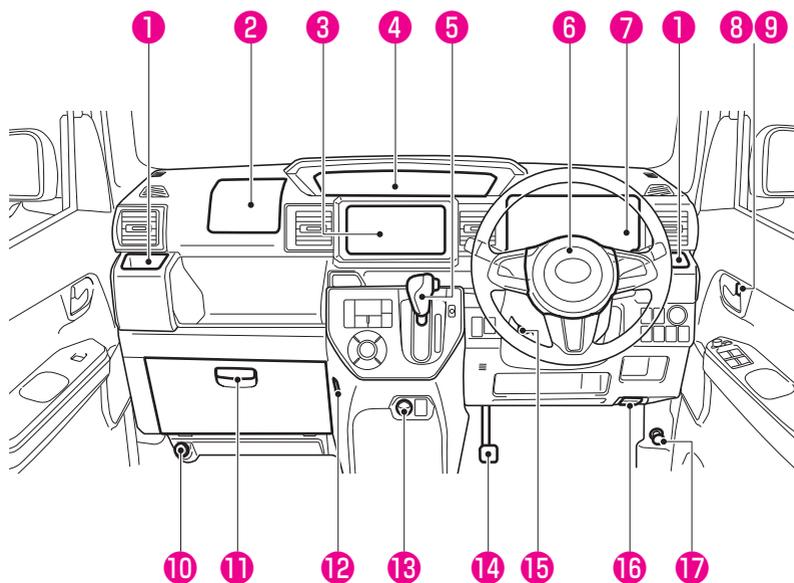
助手席にベビーシートを取り付けたり、チャイルドシートを後ろ向きに取り付けしないでください。
衝突時などに生命にかかわる重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

(チャイルドシートの固定のしかた→ 47 ページ)

①	ルームミラー	142
②	サンバイザー	304
③	ルームランプ	299
④	シートベルト	35
⑤	格納式リヤドアサンシェード	305
⑥	パワーウインドスイッチ	117
⑦	ラゲージルームランプ	299
⑧	リヤアンダーミラー	147
⑨	フロントシート	125
⑩	SRS サイドエアバッグ	53
⑪	リヤシート	127
⑫	バックドアランプ	300

■ 内装 (2)

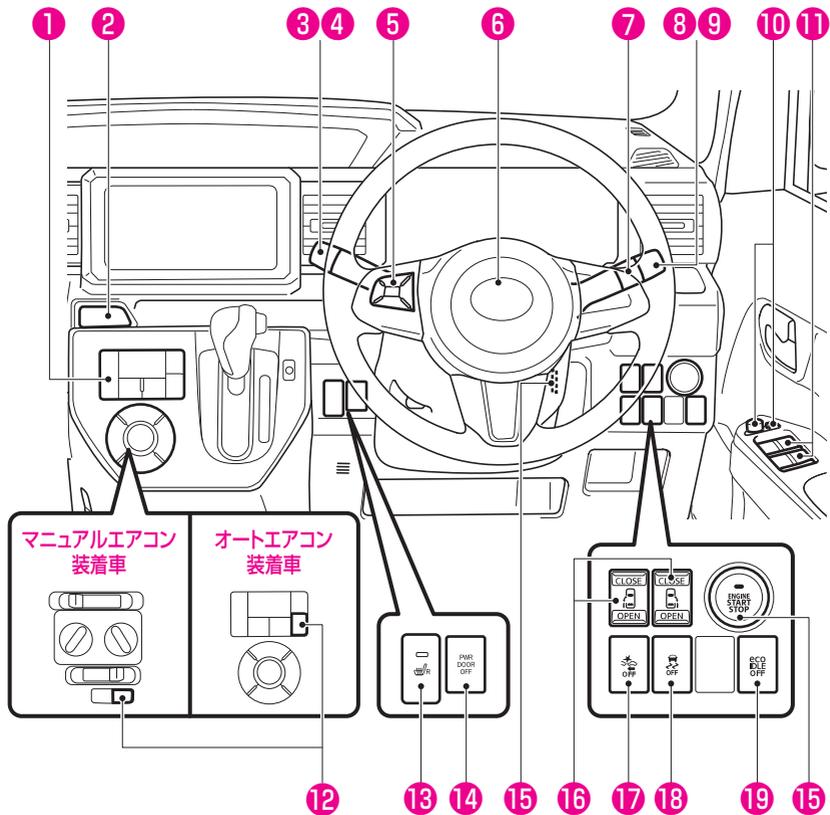
グレードの違い、注装備も記載しています。



①	ドリンクホルダー	320
②	助手席 SRS エアバッグ	53
③	オーディオ	278
④	メーター	168
⑤	シフトレバー	209
⑥	運転席 SRS エアバッグ	53
⑦	インパネアッパーボックス (運転席)	309
⑧	車内からの施錠・解錠	91
⑨	パワードアロック	93
⑩	発炎筒	388
⑪	グローブボックス	308
⑫	買い物フック	322
⑬	アクセサリースOCKET	301
⑭	駐車ブレーキ	208
⑮	チルトステアリングレバー	148
⑯	フューエルリッドオープナー	122
⑰	ボンネットオープナー	330

運転席まわり

グレードの違い、注武装備も記載しています。



① エアコン	
マニュアルエアコン	260
オートエアコン	268
② 非常点滅灯スイッチ	189
③ フロントワイパー・ウォッシャースイッチ	185
④ リヤワイパー・ウォッシャースイッチ	187
⑤ ステアリングスイッチ	294
⑥ ホーンスイッチ	188
⑦ フォグランプスイッチ	185
⑧ ライトスイッチ	181
⑨ 方向指示スイッチ	188
⑩ ドアミラースイッチ	142
⑪ パワーウインドスイッチ	117
⑫ リヤウインドデフォグガースイッチ	277
⑬ 運転席シートヒータースイッチ	303
⑭ パワースライドドアメインスイッチ	108
⑮ エンジンスイッチ	
プッシュボタンスタートスイッチ	203
キー差込みタイプ	201
⑯ パワースライドドアスイッチ（左側／右側）	107
⑰ スマートアシスト OFF スイッチ	242
⑱ VSC & TRC OFF スイッチ	219
⑲ eco IDLE OFF スイッチ	254

お困りの際は、次のことを確認してください。

施錠／解錠／ドアの開閉ができない

- **キーレスエントリー装着車** メインキーの電池の消耗、または電池が切れていませんか？
- **キーフリーシステム装着車** 電子カードキーの電池の消耗、または電池が切れていませんか？
症状を確認して、該当すれば電池を交換してください。
→ 362 ページ（キーの電池交換）
- 電波状況により、機能が正常に働いていない可能性があります。
 - キーレスエントリー装着車：77 ページ
 - キーフリーシステム装着車：80 ページ（作動範囲）

エンジンがかからない

- ブレーキペダルをしっかりと踏めていますか？
- シフトレバーは **P** になっていますか？
「エンジンのかけかた」を参照して、もう一度操作してください。
 - キーレスエントリー装着車：201 ページ
 - キーフリーシステム装着車：203 ページ（エンジンのかけかた）
- ハンドルがロックされていませんか？
いったんブレーキペダルから足を離してエンジンスイッチを“OFF”にして、ハンドルを軽く左右に回しながら、キーを回してください。
キーフリーシステム装着車
- 電子カードキーの電池の消耗、または電池が切れていませんか？
電子カードキーの電池が切れているときは、一時的な対処として、キーをエンジンスイッチに接触させるとエンジン始動が可能です。
 - 399 ページ
（電子カードキーが使用できないとき－エンジンのかけかた）
 - 400 ページ
（電子カードキーが使用できないとき－ハンドルロックを解除するには）

パワースライドドアが開閉できない

- 作動条件を満たしていますか？

作動条件について、以下のページを参照してください。

→ 108 ページ（作動条件）

eco IDLE によるアイドリングストップをしない eco IDLE によるアイドリングストップ中にエンジンが再始動した

- eco IDLE には作動する条件、また再始動する条件があります。

以下のページを参照してください。

→ 247 ページ（システムの作動条件について）

警告灯が表示された

- 以下のページを参照してください。

→ 150 ページ（警告灯）

安全のためにぜひ守りましょう



必読！

ドライバーのみなさまへ

ご使用の前に、特に守っていただきたいこと、
知っておいていただきたいことをまとめています。



警告に値する項目です



注意に値する項目です

走行する前に	14
エンジンをかけるときは	17
走行しているときは	18
駐停車するときには	21
お子さまを乗せるときは	23
こんなときは	26
お車を長持ちさせるには	29
知っておいていただきたいこと	31

走行する前に

お出かけの前に知っておいていただきたいこと、お守りいただきたいことをまとめています。

日常点検などをおこなわず行ってください

安全で快適な運転をしていただくために、日常点検・定期点検整備を実施することが法律で義務付けられています。

点検・整備はメンテナンスノートにしたがって実施してください。

詳しくは別冊の「メンテナンスノート」をご覧ください。

各部を正しく調整してください

シート、ミラー類の位置を正しく調整してください。

(車体各部の調整→125 ページ)

シートベルトは乗員全員が必ず着用してください

「正しいシートベルトの着用」をよくお読みいただき、正しく着用してください。

(正しいシートベルトの着用→35 ページ)

危険物は持ち込まないでください

車内や荷室内には、ガソリン、灯油、シンナーなどの引火物の入った容器やスプレー缶類を持ち込まないでください。蒸発ガスに引火したり容器が破損すると非常に危険です。

ペダル操作が確実にできる履き物を着用してください

安全な運転をしていただくために、ペダル操作が確実にできる履き物を着用してください。ペダル操作が確実にできないと、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

運転席足元に物を置かないでください

走行中に空缶などの動きやすい物を足元に置くと、ブレーキペダルの下に挟まり、ブレーキ操作ができなくなったり、アクセルペダルが戻らなくなるなどのおそれがあり危険です。

荷物を積み過ぎないでください

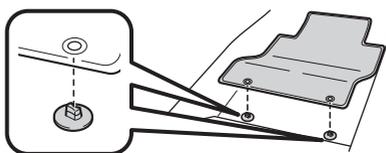
- 助手席や後席に荷物を積み重ねないでください。視界をさまたげたり、ブレーキをかけたときや旋回しているときに荷物が飛び出して体にあたるなどして、思わぬけがや事故につながるおそれがあります。
- 重い荷物を積み過ぎないでください。車両や走行に悪い影響をおよぼし、思わぬ事故につながるおそれがあります。

フロアマットはこの車（年式）専用のトヨタ純正品を使用してください

- 運転席にフロアマットを敷くときは、下記のことをお守りください。お守りいただかないと、フロアマットがずれて運転中に各ペダルと干渉し、思わぬスピードが出たり車を停止しにくくなるなど、事故の原因になり重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



- この車（年式）専用のトヨタ純正品を使用してください。
- 運転席専用のフロアマットを使用してください。
- 付属の取付要領書に従って正しく装着してください。
- 他のフロアマット類と重ねて使用しないでください。
- ずれないようにフロアマット付属の専用クリップで必ず固定してください。固定フックの形状およびフロアマットの固定方法はイラストと異なる場合があります。
- フロアマットを前後逆さまにしたり、裏返したりして使用しないでください。



- クリップの破損などにより、フロアマットが固定できなくなったときは、すみやかにフロアマットの使用を中止してください。
- 運転する前に、下記のことを確認してください。
 - フロアマットがすべての固定クリップで正しい位置にしっかりと固定されていることを定期的に確認し、特に洗車後は必ず確認を行ってください。
 - エンジンを停止状態にして、シフトレバーが P レンジの位置で、各ペダルを奥まで踏み込み、フロアマットと干渉しないことを確認してください。

タイヤ空気圧の点検をしてください

「タイヤ空気圧の点検」をお読みいただき、定期的に点検を実施して指定空気圧に調整してください。

(タイヤ空気圧の点検→ 336 ページ)

安全な燃料給油のために

燃料給油する場合に知っておいていただきたい、お守りいただきたいこと、特にセルフガソリンスタンドなどでお客様自身で燃料給油する場合に注意していただきたいことがあります。

「給油のしかた」をよくお読みいただき、安全に給油を行ってください。

(給油のしかた→ 122 ページ)

SRS エアバッグについて

SRS エアバッグについて知っておいていただきたい、お守りいただきたいこと、ご注意くださいことがあります。

「SRS エアバッグ」をよくお読みください。

(SRS エアバッグ→ 53 ページ)

オートマチック車について

オートマチック車の特性や操作上で注意していただきたいことがあります。

「運転するときは」をよくお読みください。

(運転するときは→ 192 ページ)

エンジンをかけるときは

エンジンをかけるときに知っておいていただきたいこと、お守りいただきたいことをまとめています。

車両後方に可燃物がないことを確認してください

エンジン始動前に、車両後方や排気管の周りに可燃物（枯草・紙・木材など）がないか確認してください。可燃物があると排気管や排気ガスが高温になり、火災になるおそれがあり危険です。

排気ガスにご注意ください

排気ガスには無色・無臭で有害な一酸化炭素が含まれているため、吸い込むと一酸化炭素中毒になるおそれがあり危険です。

換気の悪い場所（車庫など、周囲が閉鎖された場所）でエンジンをかけたままにしないでください。換気が不十分になり、一酸化炭素中毒事故を起こす危険があります。

排気管はときどき点検してください。排気管の異常（腐食による穴や亀裂など）または排気音の異常などに気付いたときは、トヨタ販売店で点検を受けてください。そのまま走行すると排気ガスが車内に侵入するおそれがあり危険です。

車内に排気ガスが侵入してきたと感じたらすぐに換気をし、車内に新鮮な空気を入れてください。また、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

オートマチック車で注意していただきたいこと

駐車ブレーキをかけた状態でシフトレバーを必ず  レンジにして、ブレーキペダルをしっかりと踏みエンジンを始動してください。

（エンジンスイッチ（キーレスエントリー装着車）→ 201 ページ）

（エンジンスイッチ（キーフリーシステム装着車）→ 203 ページ）

走行しているときは

走行しているときに知っておいていただきたいこと、お守りいただきたいことをまとめています。

走行中はエンジンを止めないでください

走行中にエンジンを止めると、下記のような現象が起こるおそれがあります。

- ブレーキの倍力装置ははたらかなくなるため、ブレーキの効きが悪くなり、事故につながるおそれがあり危険です。
- 各警告灯が作用しなくなります。
- ハンドル操作が重くなります。
- 触媒装置を損傷するおそれがあります。

万一、車が止まらなくなったときの非常時は、車両の緊急停止方法にしたがってください。

(車両を緊急停止するには→ 402 ページ)

下り坂ではエンジンブレーキを併用してください

長い下り坂や急な下り坂でブレーキペダルを踏み続けると、ブレーキが過熱して、ブレーキの効きが悪くなり危険です。

路面状態やスピードに応じてシフトダウンしてエンジンブレーキを併用しましょう。

- シフトレバーを **⑤** レンジに入れる

また、より強いエンジンブレーキが必要な場合は **⑥** レンジに入れる

その際には、急激なエンジンブレーキ(シフトレバー操作)を避けてください。タイヤをロックさせ、スリップなどの原因となり、事故につながるおそれがあり危険です。

また、ぬれた路面や、積雪路、凍結路などのスリップしやすい路面では、十分速度を落としてエンジンブレーキを使用してください。

エンジンブレーキ

エンジンブレーキとは、走行中アクセルペダルから足を離したときにかかるブレーキのことです。低速ギヤになるほどよく効きます。

雨、風の強い日には走行に注意してください

雨や風の強い日は、スピードを控え目にしましょう。特に橋や土手の上、トンネルの出口、山の切通しの部分など、横風の発生しやすい場所では、ハンドルをしっかり持ち、スピードを落として走行してください。

冠水した道路を走行しないでください

冠水した道路を走行すると、エンストするだけでなく、電装品のショート、エンジンの破損などの重大な車両故障につながるおそれがあります。

万一、水中に浸かってしまったときは、必ずトヨタ販売店で点検を受けてください。

洗車後や水たまりを走行したあとはブレーキの効きを確認してください

- ブレーキパッドがぬれていると、ブレーキの効きが悪くなったり、ぬれていない片方だけが効いてハンドルを取られ、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- 効きが悪い場合は、周囲の安全に十分注意して効きが回復するまで、数回ブレーキペダルを軽く踏んでブレーキが正常に働くことを確認してください。

スタック（立ち往生）などしたときにはタイヤを高速で回転させないでください

タイヤのバースト（破裂）、トランスミッションなどの損傷による思わぬ事故につながるおそれがあります。

（スタック（立ち往生）したとき→ 386 ページ）

高速道路を走行するときに注意していただきたいこと

- 燃料、冷却水、エンジンオイルの量、タイヤの空気圧、摩耗状態などの点検は特に念入りに行ってください。
- 高速での急ブレーキは特に危険です。十分な車間距離を取って走行してください。
- 法定速度を守って走行してください。

正しいシート位置で走行してください

シートを倒した状態で人を乗せたまま走行しないでください。

また、リヤシートの背もたれを前倒した状態で荷室に人を乗せての走行もしないでください。急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに、生命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

人を乗せて走行するときは必ず通常のシート位置で走行してください。

（正しい運転姿勢→ 34 ページ）

ブレーキペダルに足をのせたまま走行しないでください

ブレーキ部品が早く摩耗したり、ブレーキが過熱し効きが悪くなるおそれがあります。

ハンドルの中からの操作をしないでください

走行中にはハンドルの中に手を入れて、スイッチなどの操作をしないでください。ハンドル操作のさまたげになり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

「急」の付く運転はしないでください

急激なハンドル操作、急発進、急加速、急ブレーキや急激なエンジンブレーキなど「急」の付く運転はさけてください。

後退するときは子供や障害物に気を付けてください

ルームミラーやドアミラー、サイドアンダーミラー、リヤアンダーミラーなどでは確認しにくい死角があります。安全確認をしながらゆっくり後退してください。

窓から手や顔などを出さないでください

窓から身を乗り出したり、手や顔を絶対に出さないでください。思わぬけがをするおそれがあります。

駐停車するときは

駐停車するときに知っておいていただきたいこと、お守りいただきたいことをまとめています。

長時間駐車するときに注意していただきたいこと

エンジンを必ず止めて駐車してください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

駐停車のときは駐車ブレーキをかけてください

駐停車するときは、必ず駐車ブレーキをかけ、シフトレバーを P レンジに入れます。坂道で駐車するときは、さらに輪止めを置いて駐車すると安全です。

燃えやすい物のそばに車を止めないでください

排気管や排気ガスは高温になり、可燃物（枯草・紙・木材など）があると、火災になるおそれがあり危険です。車の後方に可燃物があるときは、車両後端を 30cm 以上離して止めてください。隙間が少ないと排気ガスによって変色や変形したり、火災になるおそれがあり危険です。また、可燃物（枯草・紙・木材など）の上で走行したり、車を止めたりしないでください。

車から離れるときに注意していただきたいこと

車から離れるときは、エンジンを止め、駐車ブレーキをかけ、必ずドアを施錠してください。

車が動き出したり、車両盗難、貴重品盗難のおそれがあります。

また、お子さまのみを車内に残して車を離れないでください。炎天下での車内の温度は、想像以上に高くなり危険です。

仮眠するときは必ずエンジンを止めてください

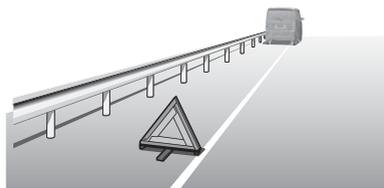
エンジンがかかった状態のまま仮眠すると、無意識にシフトレバーを動かしたり、アクセルペダルを踏み込んだりして、車の不意な発進やエンジン過熱による火災など、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

また、風通しの良くない所や風向きによっては排気ガスが侵入し、一酸化炭素中毒事故を起こすおそれがあります。

高速道路で停車するときに注意していただきたいこと

高速道路で、故障などのためやむを得ず停車するときは道路の端によせ、必ず停止表示板（停止表示灯）を置いてください。

万一のために停止表示板（停止表示灯）は車に常備しましょう。高速道路では停止表示板（停止表示灯）の設置は法律で義務付けられています。



ターボ車は走行後にアイドリングを行ってください

高速および登坂走行の直後にエンジンを止めるときは、停車後、1分程度アイドリング運転でエンジンを冷やしてからエンジンを止めてください。（ただし、eco IDLE が作動してアイドリングストップしたときは、アイドリング運転は不要です。）

高温になっている場所には触れないでください

- 荷物の積み降ろし時などに、手や足がマフラーに触れないようにしてください。エンジンがかかっているときやエンジン停止直後のマフラーは高温になっているため、やけどをするおそれがあります。
- タイヤ交換時などに、ディスクホイールやブレーキ回りに触れないようにしてください。走行後のディスクホイールやブレーキ回りは高温になっているため、やけどをするおそれがあります。

車が雪でおおわれたときに注意していただきたいこと

雪が積もった場所や降雪時に駐車するときは、エンジンをかけたままにしないでください。エンジンをかけた状態で車の周りに雪が積もると、排気ガスが車内に侵入し、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

お子さまを乗せるときは

車を離れるときはお子さまも一緒に離れてください

お子さまのいたずらによる車の発進、火災など思わぬ事故が起こるおそれがあり危険です。また、炎天下での車内の温度は想像以上に高くなり、危険です。必ずお子さまと一緒に車を離れてください。

ドアやウインドなどの開閉、シートの調整は大人が注意しながら操作してください

- ドアやウインドの開閉、シート、アームレストの調整など、特にお子さまの手や足を挟まないよう注意しましょう。また、お子さまが作動部に触れないように注意しましょう。
- ドアやウインドの開閉、シート、アームレストの調整などは大人が操作してください。また、安全のためにチャイルドセーフティを使用してください。
- パワーウインドは、お子さまが自分で操作できないようにパワーウインド OFF スイッチを“OFF”にしてください。

(パワーウインド OFF スイッチ→ 120 ページ)

お子さまは大人と一緒に後部座席にお座りください

助手席ではお子さまの動作が気になり、運転のさまたげになるだけでなく、お子さまが運転装置に触れて思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

また、万一のとき、お子さまがインストルメントパネルに頭をぶつけたり、放り出されるおそれがあります。

お子さまを荷室に乗せたり、遊ばせないでください

荷室は、シートの状態にかかわらず人が乗る構造になっていないため、絶対にお子さまを乗せないでください。急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに、身体が飛ばされ、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

また、停車中であってもお子さまを荷室で遊ばせないでください。

シートベルトでお子さまを遊ばせないでください

お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。万一シートベルトが首に巻き付いた場合、窒息などの重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

誤ってそのような状態になってしまい、シートベルトのバックルも外せない場合は、はさみなどでシートベルトを切断してください。



お子さまにもシートベルトを着用させてください

- お子さまをひざの上に抱いて走行しないでください。衝突したときなど十分に支えることができず、お子さまが重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- シートベルトが首やあごに当たる場合や腰骨にかからないような小さなお子さまには、チャイルドシート、ジュニアシートを使用してください。
通常のシートベルトでは衝突のとき首などに強い圧迫を受け、けがをするおそれがあり危険です。また、ひとり座りのできない小さなお子さまはベビーシートを使用してください。
- ベビーシート、チャイルドシート、ジュニアシートは、お子さまの年齢や体格に合わせて選んでください。

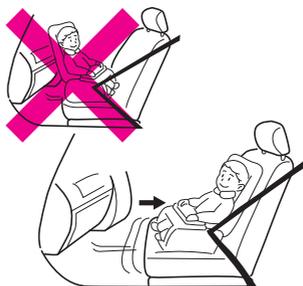
(チャイルドシート→ 40 ページ)

チャイルドシートは正しく取り付けてください

助手席にベビーシートを取り付けたり、チャイルドシートを後ろ向きに取り付けしないでください。SRSエアバッグが膨らんだときの衝撃で重大な傷害を受けるおそれがあります。

やむを得ず助手席にチャイルドシートを取り付けるときは、SRSエアバッグから体を遠ざけるためにシートを一番後ろの位置にし、必ず前向きに取り付けてください。

なお、取り付け可否については、必ずチャイルドシートの適用条件をご確認ください。



お子さまが窓から手や顔を出さないように注意しましょう

走行中に限らず、お子さまが窓から手や顔を出さないように注意しましょう。思わぬけがをするおそれがあります。

絶対に身を乗り出したり、シートの上に立たせたりしないでください。転落などして重大な傷害をうけるおそれがあります。

こんなときは

警告灯が点灯、点滅したとき

警告灯類が異常を知らせたとき、そのまま走行すると危険な場合があります。安全な場所に停車し、正しい処置を行ってください。

(警告灯→ 150 ページ)

オーバーヒートしたとき

水温警告灯が赤色に点滅・点灯して、警告ブザーが鳴ったときは、オーバーヒートが考えられます。そのときボンネットから蒸気が出ている場合は、絶対にボンネットを開けないでください。また、あわててラジエーターキャップを外さないでください。熱湯が吹き出し、やけどをするおそれがあります。

(オーバーヒートの処置→ 396 ページ)

エンストしたとき

落ち着いて操作してください。

ブレーキの倍力装置やパワーステアリング装置が作動しなくなり、ブレーキの効が悪くなったり、ハンドルが重くなったりします。この場合、通常より強い力でハンドルやブレーキを操作してください。

パンクしたとき

走行中にパンクやバースト（破裂）をしたときは、ハンドルをしっかりとって徐々にブレーキをかけてスピードを落としてください。急ブレーキをかけるとハンドルを強く取られ危険です。

(タイヤパンク応急修理セット→ 379 ページ)

(タイヤの交換→ 338 ページ)

床下に強い衝撃を感じたとき

車体の床下に強い衝撃を感じたときは、すぐに安全な場所に車を停車し、下回りを点検してください。

ブレーキ液や燃料の漏れ、損傷などが見つかった場合はそのまま運転すると思わぬ事故につながるおそれがあります。トヨタ販売店で点検を受けてください。

いつもと違うとき

地面に油や液の漏れたあとが残っているときや、異臭、異音、振動などに気付いたときは、車に異常のおそれがあります。このようなときは、トヨタ販売店で点検を受けてください。

車両の火災につながるおそれがあるため、下記の点に注意をしてください

- 車内（特にインストルメントパネルの上など）に、ライターなどの発火物や炭酸飲料を置かないでください。車内が高温になり火災や爆発につながるおそれがあり危険です。
- ライターを車内（グローブボックス内など）に放置したままにしないでください。荷物を押し込んだときや、シートを動かしたときに、ライターの操作部が誤作動し、火災になるおそれがあり危険です。
- ウインドガラスには吸盤を付けたり、インストルメントパネルに芳香剤の容器などを置いたりしないでください。吸盤や容器がレンズのはたらきをして、火災になるおそれがあり危険です。
- シルバー色などの金属蒸着フィルムを曲面ガラスに貼った場合は、ドアやウインドガラスを開けたまま放置しないでください。ドアやウインドガラスを開けたまま放置すると、直射日光が曲面ガラスの内側に反射し、レンズのはたらきをして、火災になるおそれがあり危険です。
- エンジン始動前にエンジンルームに可燃物の置き忘れがないことを確認してください。特に長期間使用しなかったときは、エンジンルームに小動物や鳥類が持ち込んだ小枝などの可燃物がないことを確認してください。車両の火災につながるおそれがあり危険です。
- また、走行中にエンジンルームからこげた臭いがするときは、ただちに安全な場所に停車し、トヨタ販売店にご連絡ください。

車内に水などをかけないでください

- インストルメントパネルやドア、フロア下などにあるスイッチや電気部品、配線類の故障の原因となったり、車両火災につながるおそれがあり危険です。
万一、水、飲み物などがかかった場合は、可能な限り水分を取り除き、すみやかにトヨタ販売店にご相談ください。

こんな点にも注意をしてください

- 炎天下での駐車は高温になりますので、メガネなどを車内に放置したり、小物入れなどに入れたままにしないでください。炎天下では車内が高温になるため、レンズやフレーム、耐熱性の低い物は、変形・ひび割れを起こすことがあります。
- インストルメントパネルの上に物を置いたまま走行しないでください。運転者の視界をさまたげたり、発進時や走行時に動いて思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 運転者はハンズフリー以外の携帯電話などを走行中に使用しないでください。電話をかけるときや電話がかかってきたときに、注意が電話機に向いてしまい、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
ハンズフリー以外の携帯電話を運転者が使用するときは、安全な場所に停車してから使用してください。
- 運転者は走行中、テレビを見たり、カーナビゲーションを操作しないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- リヤシートの調整および収納状態から元に戻したときは必ずロックがかかったことを確認してください。ロックがかかっていないと、急ブレーキ時などに背もたれが倒れたり、生命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- タイヤは4輪とも指定サイズで、同一サイズ、同一メーカー、同一銘柄および同一トレッドパターン（溝模様）の物を装着してください。

車止めなどに注意をしてください

下記のような場合には、バンパーや床下などを損傷するおそれがありますので、十分に注意してください。

- 車止めのある場所への駐車、路肩に沿っての駐車
- 路肩など段差のある場所への乗り降り
- 駐車場など急な坂道への出入り
- 凹凸やわだちのある道路の走行
- くぼみ（穴）のある場所の通過

お車を長持ちさせるには

点検整備を行きましょう

車は日頃の管理が大切です。安全、快適にご使用いただくため、必ず実施してください。

- 日常点検
- 新車時点検
- 定期点検
- 定期交換部品の交換整備

これらの点検整備は法令で定められているものと、トヨタが推奨するものに基づいています。詳しくは別冊の「メンテナンスノート」をご覧ください。

海岸地帯、凍結防止剤を散布した道路を走行したあとは

海岸地帯や凍結防止剤を散布した道路などを走行したあとは、早めに洗車をしてください。特に車体の下回り、足回りは念入りに洗車してください。洗車をせずに放置すると腐食の原因となります。

腐食が進行すると、ブレーキや燃料、オイル、エアコンなどの配管類からの液漏れ、ガス漏れにつながるおそれがありますので、早めの洗車とともに定期的な点検整備を実施してください。

エンジン冷却水温が低い間は、エンジンに負担のかかる運転をさけてください

- エンジン冷却水温が低い間は、急激な空ぶかし・急加速・高速走行をさけた運転でエンジンを暖機させてください。暖機不足の状態、急激な空ぶかし・急加速・高速走行をすると、エンジンに悪い影響をあたえたり、触媒装置の損傷の原因になるおそれがあります。
- 暖機は水温表示灯が消灯すれば十分です。

無鉛ガソリンのみ使用してください

必ず、無鉛レギュラーガソリン、または無鉛プレミアムガソリンを使用してください。

給油時に、指定されている燃料であることを確認してください。

指定以外の燃料（粗悪なガソリン、アルコール系燃料、軽油、灯油など）を使用すると、エンジンの始動性が悪くなったり、ノッキングや出力の低下などが発生する場合があります。また、そのまま使用していると、エンジンや燃料系部品を損傷するおそれがあります。

車の改造や自己流の調整はしないでください

- 車の性能や機能に適さない部品を装着したり、自己流のエンジン調整や配線などを行わないでください。正常な性能を発揮できなかったり、故障や火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 国土交通省に届け出をした部品以外の物を装着すると、違法改造になることがあります。
- ガラス面に、着色フィルムやステッカーなどを貼り付けしないでください。運転のさまたげになり危険です。特にフロントガラスおよびフロントドア左右のガラスへの貼り付けは法令で禁止されています。
- タイヤを交換するときは、指定以外の物を装着しないでください。また、ホイール、ホイール取り付けナットを交換するときは、この車専用以外の物を装着しないでください。性能や機能に支障をきたし、安全な走行ができなくなります。交換するときは、トヨタ販売店にご相談ください。
- 無線機やトヨタ純正部品以外の電装品などを取り付けると、取り扱い方法が適切でない場合、電子機器部品に悪影響をおよぼしたり、故障や火災など思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。トヨタ販売店にご相談ください。
- バッテリー端子にトヨタ純正部品以外の電装品やアース線を直接つなげないでください。バッテリーあがりや火災など思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- お客様自身でのハンドルの取り外しはしないでください。ハンドルには SRS エアバッグが内蔵されているため、不適切に扱うと誤作動につながり、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

純正部品を使いましょう

部品を交換する場合は「トヨタ純正部品」のご使用をおすすめします。

知っておいていただきたいこと

車両データの記録について

このお車には、車両を制御するためのコンピューターが複数装備されており、車両の制御や操作に関するデータなどを記録しています。

参考

- グレードやオプション装備により記録されるデータ項目は異なります。
- コンピューターは会話などの音声や映像は記録しません。

データの取り扱いについて

トヨタおよびトヨタが委託した第三者は、コンピューターに記録されたデータを車両の故障診断・研究開発・品質の向上を目的に取得・利用することがあります。

なお、次の場合を除き、トヨタおよびトヨタが委託した第三者は、取得したデータを第三者へ開示または提供することはありません。

- お車の使用者の同意（リース車は借主の同意）がある場合
- 警察・裁判所・政府機関などの法的強制力のある要請に基づく場合
- 統計的な処理を行う目的で、使用者や車両が特定されないように加工したデータを研究機関などに提供する場合

磁石式の運転者標識の取り付けについて

磁石式の初心者標識や高齢者標識などを樹脂部分（バンパーやボンネット、バックドアなど）に取り付けることはできません。

保証および点検について

保証および点検整備については、別冊「メンテナンスノート」に記載していますので、併せてお読みください。

日常点検整備や定期点検整備は、お客様の責任において実施してください。（法律で義務付けられています）

安全なドライブのために

正しい運転姿勢	
正しい運転姿勢 ……………	34
シートベルト	
正しいシートベルトの着用 ……	35
シートベルトの使いかた ……	35
お子さま専用シート	
チャイルドシート ……………	40
チャイルドシートの 選びかた ……………	42
チャイルドシートの 固定のしかた ……………	47
SRS エアバッグ	
SRS エアバッグ ……………	53
SRS エアバッグ コンピューター ……………	62
セキュリティ機能	
イモビライザー機能 ……………	64
セキュリティアラーム ……	65

正しい運転姿勢

正しい運転姿勢

安全な運転操作を行うため、正しい運転姿勢が取れるように、下記のことにご注意して走行前にシートやミラーなどを調整してください。



- ペダル類が十分に踏み込めること
- 背もたれから背中を離すことなく、ハンドル操作ができること
(フロントシート→125 ページ)
- シートベルトが正しく着用できること
(シートベルト→35 ページ)
- ヘッドレスト中央の高さが耳の後方になること
(ヘッドレスト→130 ページ)

警告

- 走行中は運転席シートの調整を絶対にしないでください。シートが突然動き、運転を誤り思わぬ事故につながるおそれがあります。
- シートを必要以上に倒して走行しないでください。シートベルトの性能が発揮されません。正しい運転姿勢を取りましょう。
- 背もたれと背中の中にクッションなどを入れないでください。正しい姿勢が取れないばかりか、衝突したときシートベルトなどの拘束保護装置の効果が十分に発揮されず重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

(シートベルト→35 ページ)

シートベルト

正しいシートベルトの着用

運転者は車を運転する前に、下記のことに注意してシートベルトを着用し、必ず同乗者にも着用させてください。シートベルトは正しく着用しないと効果が半減したり、危険な場合があります。

シートベルトの使用方法を十分に理解し、正しい取り扱い方を身に付けてください。

▼ 正しい着用のしかた



- シートを調整し、上体を起こし深く腰かけて座ること
- シートベルトにねじれがないこと
- シートベルトが肩に十分かかっていること、また必ず腰骨のできるだけ低い位置に密着させること

⚠ 警告

- シートベルトの着用は腹部をさげ、必ず腰骨の位置にしてください。衝突したときなどに腹部に強い圧迫を受け、シートベルトによりけがをするおそれがあります。
- シートベルトの肩にかかる部分を脇の下に通して着用しないでください。シートベルトが肩に十分かかっていないと衝突したときなどに体が前方に投げ出されるおそれがあります。

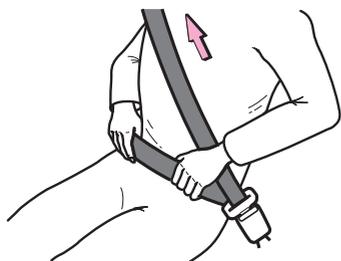
シートベルトの使いかた

長さ調整の必要はありません。通常は体の動きに合わせて伸縮しますが、緊急時にはロックし、体を固定します。

▼ 着けるとき

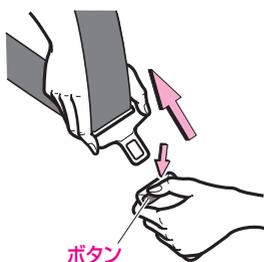


- 1 プレートをつかんでゆっくり引き出し、ベルトがねじれていないことを確認したのち、バックルの中にプレートを「カチッ」と音がするまで差し込む



- 2 腰部ベルトは必ず腰骨のできるだけ低い位置にかかるようにし、肩部ベルトを引いて腰部に密着させる

▼ 外すとき



バックルのボタンを押します。ベルトは自動的に収納されますので、ねじれや引っかかりなどがないかを確認しながら、プレートに手を添えてゆっくり戻します。

⚠ 注意

プレートを差し込むときは

- プレートでバックルを無理にこじらないでください。

📖 知識

ベルトがロックし引き出せないときは

- ベルトをゆるめてからゆっくり引き出してください。それでも引き出せない場合は、一度ベルトを強く引いてからベルトをゆるめ、もう一度ゆっくり引き出してください。

シートベルトブザーについて

- フロントシートベルトを着用していない状態（運転席・助手席警告灯が点滅状態）で、約 20km/h 以上で走行すると、ブザーが約 2 分間鳴ります。

（シートベルト締め忘れ警告灯（運転席・助手席）→ 155 ページ）

- 約 5km/h 以上で走行中に、後席の乗員がシートベルトを外すと、ブザーが約 30 秒間鳴ります。

（シートベルト締め忘れ警告灯（後席）→ 156 ページ）

プリテンショナー & フォースリミッター機構

プリテンショナー機構

前方からの強い衝撃を受けると、シートベルトを瞬時に引き込み、上体をシートにしっかりと固定してシートベルトや SRS エアバッグの効果をいっそう高めます。

フォースリミッター機構

前方からの強い衝撃を受けた場合、シートベルトにある一定以上の荷重がかかったときに、それ以上荷重がかからないようにする機構で、乗員の胸部への衝撃を緩和します。

警告

- プリテンショナー & フォースリミッター機構付シートベルトは絶対に取り外したり、分解、改造をしないでください。
- 下記のような場合は必ずトヨタ販売店にご相談ください。お客様自身で行うと、プリテンショナー機構が思いがけなく作動するおそれがあるほか、正常に作動しなくなったり、誤って巻き取り、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
 - 車両前部を修理するとき
 - 廃車にするとき
- プリテンショナー & フォースリミッター機構付シートベルトは一度作動すると再使用できません。最寄りのトヨタ販売店で交換してください。

知識

- プリテンショナー機構はシートベルトを着用していても前方からの強い衝撃を受けると作動します。

シートベルトの取扱いとお手入れ

警告

- シートベルトの経路をさまたげる荷物の積みかたはしないでください。衝突したときなどに効果が十分発揮されません。



警告

- お子さまをひざの上に抱いて走行しないでください。
ひざの上でお子さまを抱いていると、衝突時などにお子さまを支えることができず、お子さまへの重大な傷害につながるおそれがあります。
- シートベルトは、それを着用するのに十分な大人の体格を持った人用に設計されています。
- 1人で座ることのできない乳幼児の場合はベビーシート（別売）を使用してください。
- シートベルトが首やあごに当たったり、腰骨にかからないような体の小さなお子さまの場合は、チャイルドシートやジュニアシート（別売）を使用してください。
(チャイルドシート→ 40 ページ)
(チャイルドシートの固定のしかた→ 47 ページ)
- シートベルトは 1 人用です。2 人以上で 1 本のシートベルトを使用しないでください。衝突時にシートベルトが正常に動かず、けがをするおそれがあります。



- 妊娠中の方もシートベルトを着用してください。ただし、万一のとき腹部などに強い圧迫を受けるおそれがありますので、シートベルトの着用については、医師に相談のうえ、注意事項を確認してください。
 - 腰部ベルトは、必ず腰骨のできるだけ低い位置、お腹の膨らみの下に密着させます。
 - 肩部ベルトは、お腹の膨らみをさけ必ず胸部に着用します。



警告

- シートの背もたれを必要以上に倒して走行しないでください。衝突時に体がシートベルトの下にもぐり、ベルトが腰骨にかからず腹部にかかることになり、シートベルトによりけがをするおそれがあります。



- ハンドルやメーターに必要以上に近付いて運転しないでください。衝突したときなどシートベルトの効果が発揮されません。
- シートベルト使用時、洗濯ばさみやクリップなどでたるみをつけないでください。衝突時など効果を発揮しなくなります。
- シートベルトが汚れた場合は中性洗剤を使用してください。ベンジンなどの有機溶剤を使用すると、シートベルトの性能が落ち、十分な効果を発揮できません。同様にシートベルトの脱色や染色もやめてください。
- シートベルトを着用した状態で万一事故にあった場合は、トヨタ販売店でシートベルト一式を交換してください。シートベルト自体が損傷している場合があり、性能を十分発揮できないおそれがあります。
- 常にシートベルトにほつれや、擦り切れなどの異常がないかを点検してください。異常がある状態で使用をすると衝突時に正常にはたらかず、性能を十分発揮できないおそれがありますので、トヨタ販売店で交換してください。
- バックルや巻き取り装置の内部に異物などを入れないようにしてください。また、シートベルトの改造や取り付け、取り外しをしないでください。衝突時に十分な効果を発揮できないおそれがあります。



お子さま専用シート

チャイルドシート

シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまを乗せるときは、チャイルドシートをご使用ください。

- お子さまの安全のため、チャイルドシートはリヤシートに取り付けてください。
- 車両に固定するチャイルドシートには、シートベルトで固定するタイプと ISO* FIX 対応チャイルドシート固定バー&トップテザーアンカーで固定するタイプがあります。

(チャイルドシートの固定のしかた→ 47 ページ)

チャイルドシートの固定方法、および取り扱い方法は、各チャイルドシートに付属の取扱説明書をお読みください。

知識

- 満 6 歳未満のお子さまは、チャイルドシートの着用が法律で義務付けられています。
- 車の仕様やお子さまの年齢、体格に合わせて適切なチャイルドシートを選んでください。
- 体が十分大きく、チャイルドシートが不必要なお子さまは、シートベルトを着用させてください。

チャイルドシートについて

- ここでは、ベビーシート、チャイルドシート、ジュニアシートの総称として、「チャイルドシート」と呼んでいます。

(チャイルドシートの種類→ 41 ページ)

チャイルドシートの質量グループについて

UN (ECE) R44* の基準に適合するチャイルドシートは、お子さまの体重により、5種類の質量グループに分類されます。

質量グループ	お子さまの体重
グループ0	10kgまで
グループ0+	13kgまで
グループI	9~18kg
グループII	15~25kg
グループIII	22~36kg

チャイルドシートの種類

ベビーシート

質量グループ0、0+に相当します。



チャイルドシート

質量グループ0+, IIに相当します。



ジュニアシート

質量グループII、IIIに相当します。



チャイルドシートの選びかた

次の適合性一覧表から、各シート位置でどのチャイルドシートが使用できるかを選択してください。

知識

- お子さまに適切なチャイルドシートについては、チャイルドシート製造業者、または販売業者にご相談ください。

シートベルトで取り付けるチャイルドシート適合性一覧表

質量グループ	座席位置	
	フロントシート	リヤシート
	助手席	左右席
0(10kgまで)	×	U※1
0+(13kgまで)	×	U※1
I(9～18kg)	UF※2	U※1※2
II(15～25kg)	UF※2	U※1※2
III(22～36kg)	UF※2	U※1※2

●記号の説明

U : この質量グループでの使用を許可された汎用(ユニバーサル)カテゴリーのチャイルドシートが取り付け可能です。

UF : この質量グループでの使用を許可された汎用(ユニバーサル)カテゴリーの前向きチャイルドシートが取り付け可能です。

× : チャイルドシートを取り付けることはできません。

※1 リヤシートの背もたれを直立状態にしてください。

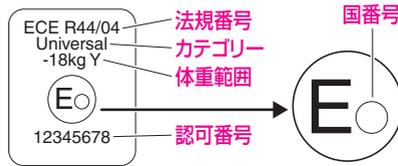
※2 ヘッドレストとチャイルドシートが干渉して、チャイルドシートが正しく取り付けられない場合、ヘッドレストを最上段に固定するか、取り外してください。

表に記載されていないチャイルドシートを使用する場合は、チャイルドシート製造業者または販売業者にご相談ください。

チャイルドシートの装着に際しては、チャイルドシートの取扱説明書もご確認ください。

知識

- チャイルドシートを購入される際は、質量グループに一致したものを選択してください。
- UN (ECE) R44 に適合している「U」と「UF」のチャイルドシートには、下記の認可ラベルが表示されています。
- カテゴリーの「UNIVERSAL」は、汎用（ユニバーサル）チャイルドシートの認可であることを表します。



ISO FIX 対応チャイルドシート固定バー&トップテザーアンカーで取り付けるチャイルドシート適合性一覧表

質量グループ	サイズ等級	固定具	車両ISO FIX位置
			リヤシート左右席
キャリコット	F	ISO/L1	×
	G	ISO/L2	×
0(10kgまで)	E	ISO/R1	IL ^{※1※2}
0+(13kgまで)	E	ISO/R1	IL ^{※1※2}
	D	ISO/R2	×
	C	ISO/R3	×
I(9~18kg)	D	ISO/R2	×
	C	ISO/R3	×
	B	ISO/F2	IUF ^{※1※2}
	B1	ISO/F2X	IUF ^{※1※2}
	A	ISO/F3	IUF ^{※1※2}
II(15~25kg)		—	×
III(22~36kg)		—	×

●記号の説明

IUF：この質量グループでの使用を許可された汎用(ユニバーサル)カテゴリーのISO FIX対応の前向きチャイルドシートのみ取り付け可能です。

IL：この質量グループでの使用を許可された下記「トヨタ純正NEO G-Child ISO baby」に適しています。

×：ISO FIX対応チャイルドシートを取り付けることはできません。

※1 リヤシートの背もたれを直立状態にしてください。

※2 ヘッドレストとチャイルドシートが干渉して、チャイルドシートが正しく取り付けられない場合、ヘッドレストを最上段に固定するか、取り外してください。

●ISO FIX対応チャイルドシートのリスト

質量グループ	サイズ等級	固定具	ISO FIX対応チャイルドシート	カテゴリー
0(10kgまで)	E	ISO/R1	トヨタ純正NEO G-Child ISO baby	準汎用
0+(13kgまで)	E	ISO/R1		

表に記載されていないチャイルドシートを使用する場合は、チャイルドシート製造業者または販売業者にご相談ください。

チャイルドシートの装着に際しては、チャイルドシートの取扱説明書もご確認ください。

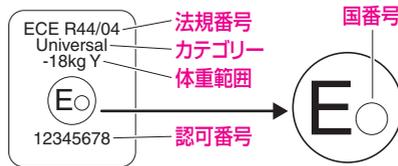
知識

- この車の ISO FIX 対応チャイルドシート固定バー&トップテザーアンカーは、2006年10月1日施行の新保安基準に適合しています。
これには、UN (ECE) R44 に適合している ISO FIX 対応チャイルドシートしか取り付けられません。
- UN (ECE) R44 に適合している ISO FIX 対応チャイルドシートには、下記の認可ラベルが表示されています。(表示されているマークや文字は、製品により異なります。)
- ISO FIX 対応チャイルドシートであることを示す表示です。
文字はサイズ等級を表します。



A——サイズ等級

- UN (ECE) R44 の認可マークです。
汎用 (ユニバーサル) カテゴリーのチャイルドシートは、カテゴリーに「UNIVERSAL」と表示されています。



- ISO FIX 対応トップテザーアンカーの位置を示すマークです。
トップテザーアンカーの位置により、意匠は異なります。



知識

- トヨタ純正の汎用（ユニバーサル）、および準汎用カテゴリーのチャイルドシートをご用意しています。ご購入、ご使用についてはトヨタ販売店にご相談ください。
- チャイルドシートを購入するときは、ISO FIX サイズ等級に一致したものをお選びください。

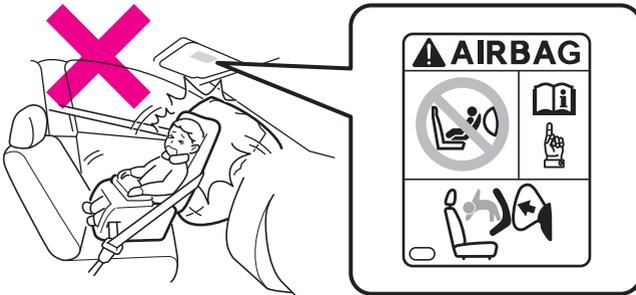
サイズ等級	固定具	仕様
A	ISO/F3	全高前向き幼児用チャイルドシート
B	ISO/F2	低型前向き幼児用チャイルドシート
B1	ISO/F2X	低型前向き幼児用チャイルドシート (B-ISO/F2と別形状のもの)
C	ISO/R3	大型後向き幼児用チャイルドシート
D	ISO/R2	小型後向き幼児用チャイルドシート
E	ISO/R1	後向き乳児用チャイルドシート
F	ISO/L1	左向き位置用チャイルドシート(キャリコット)
G	ISO/L2	右向き位置用チャイルドシート(キャリコット)

- キャリコットは横向きに取り付けることのできるベビーシートのことです。詳しくはチャイルドシートの製造業者、または販売業者にご相談ください。

チャイルドシートの固定のしかた

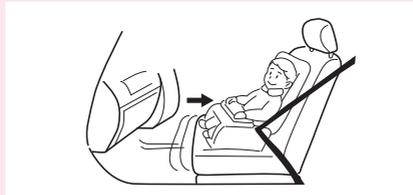
警告

- 急ブレーキや事故の際、効果的にお子さまを保護するために、必ずお子さまの年齢や体の大きさに合ったシートベルト、またはチャイルドシートを使用してください。また、お子さまをひざの上で抱いて走行しないでください。衝突したときなどに、十分に支えることができず、お子さまが重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- チャイルドシートによっては、取り付けができない、または取り付けが困難場合があります。必ずチャイルドシートに付属の取扱説明書をお読みの上、確実に取り付け使用をお守りください。使用方法を誤ったり、確実に固定されていないと、急ブレーキや衝突時などに重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- ジュニアシートを使用しているときは、肩部ベルトが常にお子さまの肩の中心にくるようにしてください。ベルトを首から離すとともに肩から落ちないようにしてください。お守りいただかないと、事故や急ブレーキの際に重大な傷害や死亡につながるおそれがあり危険です。
- お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。万一シートベルトが首に巻き付いた場合、窒息などの重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。誤ってそのような状態になってしまい、シートベルトのバックルも外せない場合は、はさみなどでシートベルトを切断してください。
- シートベルトとバックルが固定されていて、ベルトがねじれていないか確認してください。
- チャイルドシートを取り付けたときは、チャイルドシートを軽くゆすり、確実に固定されているか確認してください。また、シートの調整をしないでください。
- チャイルドシートはお子さまを乗せていないときでも、確実にシートに固定しておいてください。また、ラゲージルームに収納するときも、容易に動かないように収納してください。ブレーキをかけたときなどに人や物に当たるなどして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- 助手席にベビーシートを取り付けたり、チャイルドシートを後ろ向きに取り付けしないでください。ベビーシート、チャイルドシートの背面が、SRSエアバッグに近すぎるため、SRSエアバッグが膨らんだときの強い衝撃で生命にかかわる重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



警告

- やむを得ず助手席にチャイルドシートを取り付けるときは、SRSエアバッグから体を遠ざけるためにシートを一番後ろの位置にし、必ず前向きに取り付けてください。
なお、取り付け可否については、必ずチャイルドシートの適用条件をご確認ください。



チャイルドシートをリヤシートに取り付けたときは

- 運転席とチャイルドシートが干渉し、正しい運転姿勢が確保できない場合は、リヤシートの助手席側に取り付けてください。

(正しい運転姿勢→34ページ)

SRS サイドエアバッグ装着車

- チャイルドシートに座らせている場合でも、ドアやシート部付近にお子さまの頭や体のどの部分ももたれかけさせないでください。SRSエアバッグが膨らんだときの強い衝撃で生命にかかわる重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

注意

- 標準装備のシートベルトは大人用です。肩部ベルトに首がかかるような小さなお子さまにはシートベルトの着用はさけ、チャイルドシートの使用をおすすめします。取り付けはチャイルドシートに付属の取扱説明書をよく読んで、確実に取り付けてください。
- シートベルトに損傷をあたえないよう、取り付けにあたっては十分注意してください。

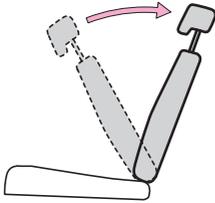
チャイルドシートを使用しないときは

- チャイルドシートを長時間使用しない場合は、荷室に収納し、しっかりと固定しておくか、車両から外して保管してください。シートに取り付けたままにしておくと、シートが変色したり、型くずれするおそれがあります。

シートベルトによる固定

▼ 取り付けかた

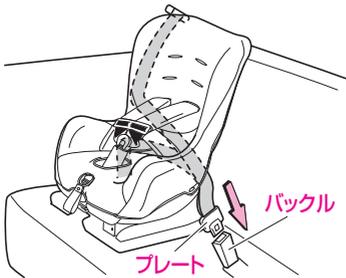
- 1 リヤシートを後方いっぱいまでスライドする
- 2 リヤシートの背もたれの角度を調整する



- 背もたれをいったん前に倒し、1段目の固定位置に起こします。（操作しづらいときは、チャイルドシートを置いたときに、チャイルドシートの背面とリヤシートの背もたれとの間にすき間ができないように調整します。）

- 3 チャイルドシートをリヤシートに置く

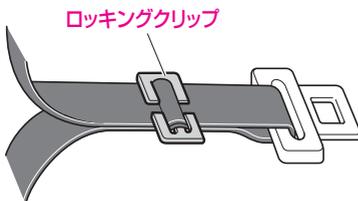
- ヘッドレストにチャイルドシートが干渉するときは、ヘッドレストを「カチッ」という音がする位置まで引き上げるか、取り外して安全な場所に固定しておきます。



- 4 シートベルトのプレートをつかんでゆっくり引き出し、ベルトがねじれていないことを確認してから、チャイルドシートの中に通す

- 5 バックルの中にプレートを「カチッ」と音がするまで差し込む

- 6 チャイルドシートにシートベルトの固定装置が付いていない場合は、ロッキングクリップを使用して固定する



- 7 チャイルドシートを軽くゆすり、確実に固定されていることを確認する

【固定のしかたは代表例です。また、イラストは説明のための物であり、実際のチャイルドシートの形状とは異なります。】

警告

- プレートを差し込むとき、プレートでバックルを無理にこじらないでください。
- チャイルドシートを固定したあと、シートベルトでチャイルドシートがロックされていることを必ず確認してください。急ブレーキをかけたときや衝突したときに飛ばされるなどして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

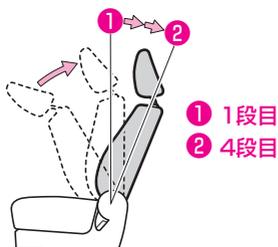
知識

- ロッキングクリップの取り付けは、チャイルドシートに付属の取扱説明書をよく読んで、確実に取り付けてください。
また、ロッキングクリップの購入については、トヨタ販売店にご相談ください。

知識

助手席にチャイルドシートを取り付けるときは

- やむを得ず助手席にチャイルドシートを取り付けるときは、助手席シートを以下のように調整し、必ず前向きにチャイルドシートを取り付けてください。

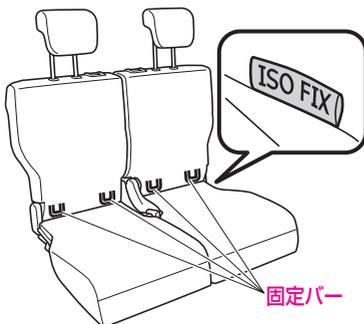
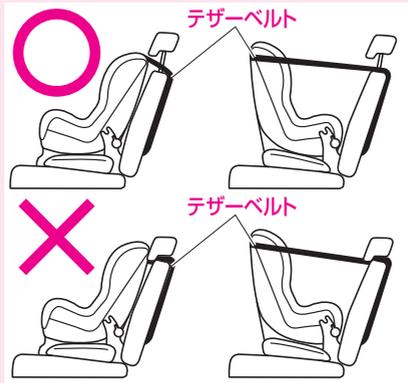


- シートを後方いっぱいまでスライドさせる
- 背もたれをいったん前に倒し、1 段目 (1) の固定位置に起こしてから、4 段目 (2) の固定位置まで調整する
- ヘッドレストにチャイルドシートが干渉するときは、ヘッドレストを最上段に固定するか、取り外して安全な場所に固定しておく

ISO FIX 対応チャイルドシート固定バー&トップテザーアンカーによる固定

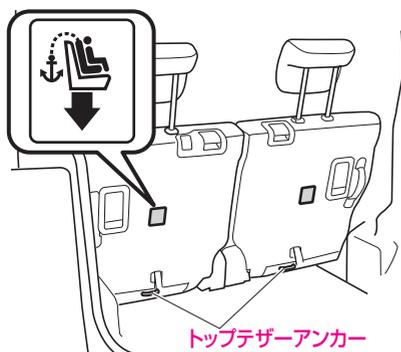
警告

- チャイルドシートを取り付けるときは、ISO FIX 対応チャイルドシート固定バー&トップテザーアンカー周辺に異物がないこと、シートベルトなどのかみ込みがないことを確認してください。異物やシートベルトなどのかみ込むとチャイルドシートが固定されず、急ブレーキや衝突したときなどに飛ばされて重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- チャイルドシートのテザーベルトがヘッドレストに干渉しないように、ヘッドレストを「カチッ」と音がする位置まで引き上げてからトップテザーアンカーに固定してください。それでもヘッドレストに干渉する場合は、ヘッドレストを取り外して安全な場所に固定しておいてください。ヘッドレストを下げたままだと、テザーベルトがヘッドレストに当たってたるみ、衝突したときなどにチャイルドシートが動いて重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



▼ 取り付けかた

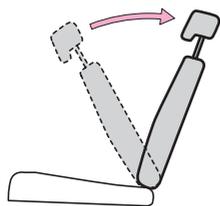
- 1 ISO FIX 対応チャイルドシート固定バー&トップテザーアンカーの位置を確認する
 - 固定バーが装備されていることを示すタグがシートについています。



- トップテザーアンカーを示すマークが背もたれ裏側にあります。

- 2 リヤシートを後方いっぱいまでスライドする
- 3 リヤシートの背もたれの角度を調整する

- 背もたれをいったん前に倒し、1 段目の固定位置まで起こします。



- 4 適合するチャイルドシートの取り付け金具を ISO FIX 対応チャイルドシート固定バー&トップテザーアンカーに連結して取り付ける（取り付け方法は、商品に付属の取扱説明書をよく読んでください）

- ヘッドレストにチャイルドシートやテザーベルトが干渉するときは、ヘッドレストを「カチッ」という音がする位置まで引き上げるか、取り外して安全な場所に固定しておきます。

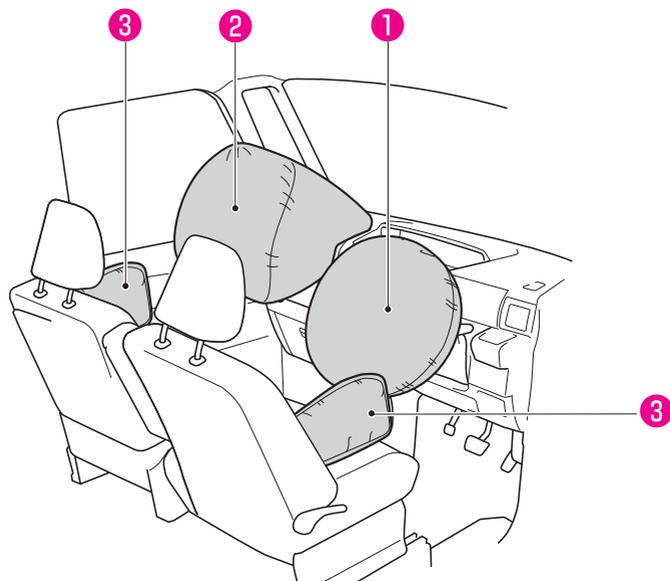
- 5 取り付けしたチャイルドシートを軽くゆすり、確実に取り付けられていることを確認する

SRS エアバッグ

SRS エアバッグ

SRS エアバッグは乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を受けたときにふくらみ、シートベルトが体を拘束する働きと併せて乗員への衝撃を緩和させます。

【SRS: Supplemental Restraint System (サブプリメンタル レストレイント システム) の略で、乗員保護補助拘束装置の意味です】



① 運転席 SRS エアバッグ

運転者の頭や胸などへの衝撃をやわらげる装置です。

② 助手席 SRS エアバッグ

助手席同乗者の頭や胸などへの衝撃をやわらげる装置です。

③ SRS サイドエアバッグ

運転者や助手席同乗者の胸部や上体への衝撃をやわらげる装置です。

作動する場合

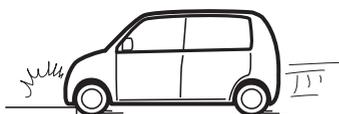
運転席 SRS エアバッグ、助手席 SRS エアバッグ

SRS エアバッグは車両前方からフロントバンパーに強い衝撃を受けたとき作動します。(同時にシートベルトのプリテンショナー機構も作動します)

また、下記のように走行中に路面などから車両下部に強い衝撃を受けたときは、まれに SRS エアバッグが作動することがあります。

- 高速で縁石などに衝突したとき
- 深い穴や溝に落ち込んだとき

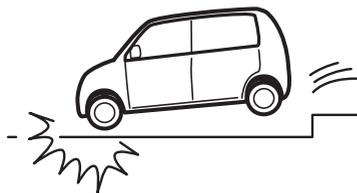
縁石など



深い穴や溝



- ジャンプして地面に衝突したとき



SRS サイドエアバッグ

SRS サイドエアバッグは車両側方から強い衝撃を受けたときに作動します。

■ 作動しない場合

下記のときは、SRS エアバッグが作動しません。

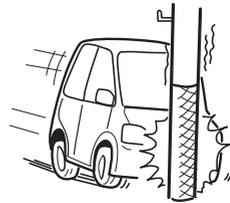
- エンジンスイッチが“LOCK”、“ACC” のときに衝突したとき
- SRS エアバッグ警告灯点灯時



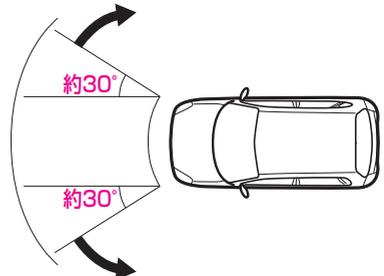
■ 運転席 SRS エアバッグ、助手席 SRS エアバッグ

下記のように前方からの衝撃が弱い場合や、衝撃が車体により十分吸収された場合など、車両の損傷が大きくても作動しないことがあります。

- コンクリートの壁に約 20km/h 以下の速度で正面衝突したとき
- 電柱などポール状の物に正面衝突したとき



- 大型トラックの後部荷台下にもぐり込んだとき
- 前方約 30°以上の角度でコンクリートの壁やガードレールなどに衝突したとき



安全なドライブのために SRS エアバッグ

下記のようなときも作動しないことがあり効果を発揮しません。

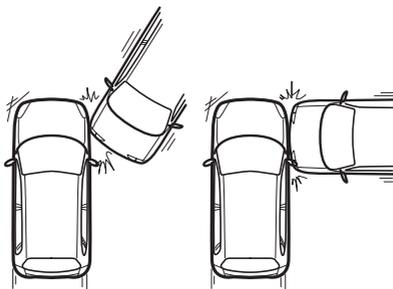
- 側面や後方から衝撃を受けたとき
- 車両が横転、転覆したとき



SRS サイドエアバッグ

下記のような側面からの衝撃を受けたときは、作動しないことがあります。

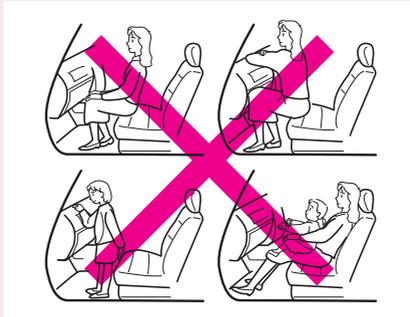
- 側面に斜め方向から、あるいは客室部以外の側面に衝突されたとき



SRS エアバッグの取り扱い

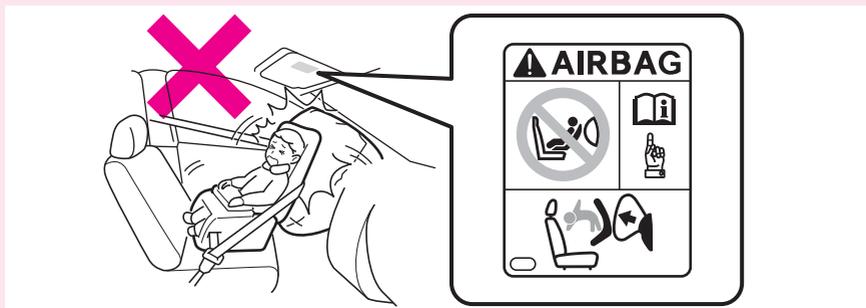
警告

- シートベルトは必ず着用してください。SRS エアバッグはシートベルトを補助するための装置でシートベルトの代わりではありません。
- シートベルトを正しく着用してください。シートベルトを着用していないと、急ブレーキなどで放り出されると同時に SRS エアバッグが膨らんだ場合、強い衝撃を受け危険です。
(正しいシートベルトの着用→ 35 ページ)
- シートを正しい位置に調整してください。シートを正しい位置に調整しないと、SRS エアバッグの効果を発揮させることができず、衝突したときなどに生命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 正しい姿勢でシートに座ってください。正しい姿勢で座らないと SRS エアバッグの効果を発揮させることができません。また、運転席 SRS エアバッグはハンドルに近付きすぎると、SRS エアバッグが膨らんだときに強い衝撃を受け、生命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。
- ハンドル、インストルメントパネルは、絶対に取り外したり、分解しないでください。また、強い衝撃もあたえないでください。いざというときに作動しないおそれがあります。
- SRS エアバッグは、絶対に改造や分解をしないでください。
- SRS エアバッグが膨らんだあとに、その構成部品に触れないでください。非常に熱くなっているのやけどをするおそれがあります。
- 助手席 SRS エアバッグについては必ず下記の注意事項をお守りください。
 - シートの前端に座ったり、インストルメントパネルにもたれかかったりしないでください。また、お子さまをインストルメントパネルの前に立たせたり、ひざの上に抱いたりしないでください。助手席 SRS エアバッグは瞬時に車室内に大きく膨らみますので、SRS エアバッグが膨らんだときの強い衝撃で生命にかかわる重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



警告

- お子さまはリヤシートに座らせて、必ずシートベルトを着用してください。
- シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまは、ベビーシート、チャイルドシート、ジュニアシートなどをリヤシートに装着して使用してください。
- 助手席にベビーシートを取り付けたり、チャイルドシートを後ろ向きに取り付けしないでください。ベビーシート、チャイルドシートの背面が、SRS エアバッグに近すぎるため、SRS エアバッグが膨らんだときの強い衝撃で生命にかかわる重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



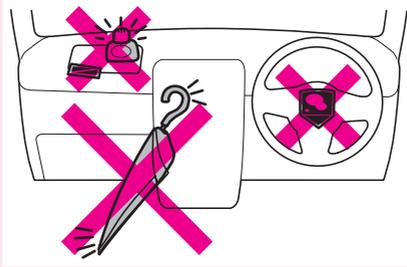
- やむを得ず助手席にチャイルドシートを取り付けるときは、SRS エアバッグから体を遠ざけるためにシートを一番後ろの位置にし、必ず前向きに取り付けてください。
- なお、取り付け可否については、必ずチャイルドシートの適用条件をご確認ください。

(チャイルドシート→ 40 ページ)



警告

- SRS エアバッグの展開部にステッカーを貼ったり、カバーを付けないでください。いざというときにパッド部が開かず SRS エアバッグが作動しないおそれがあります。
- インstrumentパネルの上に飲み物や物を置かないでください。SRS エアバッグが膨らむときの衝撃でけがをするおそれがあります。



- ステアリングパッド、インstrumentパネルの上など SRS エアバッグ展開部は、強くたたくなど過度の力を加えないでください。
SRS エアバッグが正常に作動しなくなるなどして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- SRS エアバッグの効力を十分に発揮させるため、下記の事項を必ず守ってください。
 - サスペンションを改造しないでください。車高が変わったり、サスペンションの硬さが変わると SRS エアバッグの誤作動につながるおそれがあります。
 - 車両前部にグリルガードなどを装着する場合は、最寄りのトヨタ販売店にご相談ください。
- 無線機の電波などは、SRS エアバッグを作動させるコンピューターに悪影響をあたえるおそれがありますので、無線機などを取り付けるときは、トヨタ販売店にご相談ください。
- SRS エアバッグは非常に速い速度で膨らむため、SRS エアバッグとの接触によりすり傷、やけど、打撲などを受けることがあります。
- SRS エアバッグが作動すると作動音とともに白い煙のようなガスが発生しますが、火災ではありません。このガスを吸うと、喘息などの呼吸器系を患った経緯のある方は、呼吸が苦しくなることがあります。
この場合は、乗員が車外に出ても安全であることを確認して、車外に出てください。なお、車外に出ることができない場合は、窓やドアを開けて新鮮な空気を入れてください。
また、SRS エアバッグ作動時の残留物（カスなど）が目や皮膚に付着したときは、できるだけ早く水で洗い流してください。皮膚の弱い方は、まれに皮膚を刺激する場合があります。
- 衝突時などに助手席 SRS エアバッグが膨らむことによって、車両のフロントウインドガラスが破損することがあります。

警告

- SRS エアバッグは一度作動すると再使用できません。必ずトヨタ販売店で交換してください。
- 下記のような場合は必ずトヨタ販売店にご相談ください。
お客様自身で行くと、SRS エアバッグが思いがけなく作動し、故障や思わぬ事故につながるおそれがあります。
 - ハンドルを取り外すとき
 - 車両前部を修理するとき
 - フロントシート、センターピラー部を取り外すとき（SRS サイドエアバッグ装着車）
 - 車両側部を修理するとき（SRS サイドエアバッグ装着車）
- 車や SRS エアバッグを廃棄するときは必ずトヨタ販売店にご相談ください。SRS エアバッグが思いがけず作動し、けがをするおそれがあります。
- SRS エアバッグが収納されているパッド部に傷が付いていたたり、ひび割れがあるときは、そのまま使用せずトヨタ販売店で交換してください。衝突したときなどに SRS エアバッグが正常に作動せず、けがをするおそれがあります。

SRS サイドエアバッグ装着車

- 正しい姿勢でシートに座ってください。正しい姿勢で座らないと SRS サイドエアバッグの効果を発揮させることができません。また、ドア近辺にもたれかからないでください。SRS サイドエアバッグが膨らんだときに強い衝撃を受け、生命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

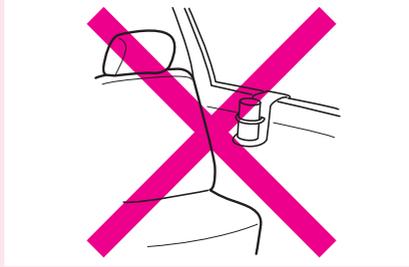


- フロントシート表皮の張り替えをしたり、フロントシート、センターピラー部を取り外したり、分解しないでください。また、強い衝撃もあたえないでください。いざというときに作動しないおそれがあります。必ず、トヨタ販売店にご相談ください。
- フロントシートに SRS サイドエアバッグ専用のトヨタ純正シートカバー以外は取り付けしないでください。フロントシート側面の SRS サイドエアバッグ展開部をおおうと、SRS サイドエアバッグが正常に作動しないおそれがあります。

警告

SRS サイドエアバッグ装着車

- ドアやその周辺に専用のトヨタ純正用品以外を取り付けしないでください。SRS サイドエアバッグが膨らんだときに飛ばされたり、SRS サイドエアバッグが正常に作動しなくなるなどして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



- フロントシート側部など SRS サイドエアバッグ展開部は、強くたたくなど過度の力を加えないでください。SRS サイドエアバッグが正常に作動しなくなるなどして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

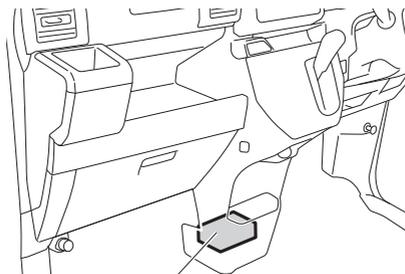
知識

SRS サイドエアバッグ装着車の場合

- SRS エアバッグ（運転席・助手席）と SRS サイドエアバッグは、作動判定時における衝撃の方向が異なるため、下記のような作動をすることがあります。
 - SRS エアバッグ（運転席・助手席）のみ作動
 - SRS サイドエアバッグのみ作動

SRS エアバッグコンピューター

SRS エアバッグを制御する装置です。



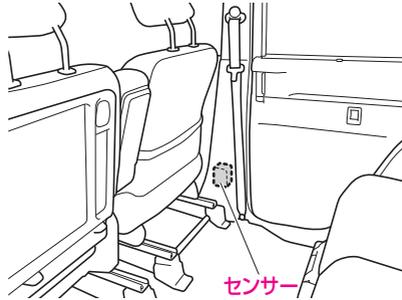
SRSエアバッグコンピューター

警告

- SRS エアバッグコンピューターは、絶対に取り外したり、分解しないでください。
SRS エアバッグが誤って展開したり、いざというときに作動しないおそれがあります。
- SRS エアバッグコンピューターには、水、飲み物などをかけないでください。
- SRS エアバッグコンピューターおよびその近くを強くたたいたり、蹴ったりしないでください。
- SRS エアバッグが一度作動すると再使用できません。トヨタ販売店で交換してください。

SRS サイドエアバッグセンサー

SRS サイドエアバッグセンサーはフロントシート付近の車体左右両側に取り付けられています。



警告

- SRS サイドエアバッグセンサーは、絶対に取り外したり、分解しないでください。
SRS サイドエアバッグが誤って展開したり、いざというときに作動しないおそれがあります。
- SRS サイドエアバッグセンサーおよびその近くを強くたたいたり、蹴ったりしないでください。

セキュリティ機能

イモビライザー機能

キーフリーシステム装着車

車両の盗難防止のため、電子カードキーおよびメインキーには信号発信機が内蔵されており、あらかじめ登録されたキー以外ではエンジンの始動ができません。

▼ 操作方法

- エンジンスイッチを“OFF”にすると、イモビライザー機能が作動し、セキュリティインジケーターが点滅します。
- エンジンスイッチを“OFF”から“ACC”にすると、イモビライザー機能が解除され、セキュリティインジケーターが消灯します。

(セキュリティインジケーター→164 ページ)

📖 知識

- セキュリティインジケーターはセキュリティアラームと兼用しているため、リクエストスイッチ操作・電子カードキーのリモコン操作により施錠すると、約 30 秒間点灯に変わります。
- セキュリティアラームが解除されていない場合は、エンジンスイッチを“ACC”にしても消灯しない場合があります。
- 電子カードキー、メインキーに登録された信号はキーごとに異なります。

イモビライザー機能のメンテナンスについて

イモビライザー機能のメンテナンスは不要です。

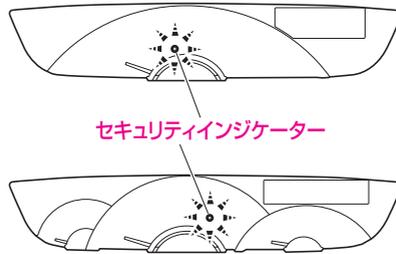
⚠️ 注意

イモビライザー機能を正常に作動させるために

- イモビライザー機能の改造や取り外しをしないでください。システムが正常に作動しないおそれがあります。

セキュリティアラーム

セキュリティアラームは、不正な侵入を検知した場合に、音と光で周囲に異常を知らせる機能です。



知識

セキュリティアラームについて

- セキュリアラームは、周囲に異常を知らせる機能です。室内への侵入・盗難を防ぐ機能ではありません。
- ほかの方にお車を貸したときや、セキュリティアラームの作動について知らない方が運転するときは、セキュリティアラームについて十分ご説明ください。
セキュリティアラームの作動について知らない方が操作を誤った場合、警報が作動し周辺への迷惑になります。

ドアを施錠する前の確認

- セキュリアラームの思わぬ作動および盗難を防ぐため以下のことを必ず確認してください。
 - 車内に人が乗っていないか
 - ドアガラスが閉じているか
 - 車内に貴重品などを放置していないか

セキュリティアラームのセット方法

- すべてのドアを閉める
- 次のいずれかの方法でドアを施錠する（セキュリティインジケータが点灯）
 - キーレスエントリー装着車
 - メインキーのリモコン操作
（キーレスエントリーによる施錠・解錠
→ 88 ページ）
 - キーフリーシステム装着車
 - リクエストスイッチ操作
（リクエストスイッチ・ワンタッチ
スイッチ操作→ 89 ページ）
 - 電子カードキーのリモコン操作
（リモコン操作→ 90 ページ）
- 30 秒以上経過すると、自動的にセットされる
（セットされると警戒状態になり、セキュリティインジケータが点灯から点滅に変わる）

知識

- 上記のセット方法以外で施錠した場合、セキュリティアラームはセットされません。
（タイマーロック機能で施錠された場合は、セットされます）
- セキュリティインジケータが点灯してから約 30 秒以内に下記の操作をしたときは、セキュリティアラームのセットが中断されます。
 - 運転席ドアを解錠したとき
 - ドアを開けたとき
 - キーレスエントリー装着車で、キーがエンジンスイッチのキー挿入口に差し込まれたとき
 - キーフリーシステム装着車で、エンジンスイッチを“ON”にしたとき

セキュリティアラームのセット解除

下記のいずれかの操作でセキュリティアラームのセット（警戒状態）を解除します。

キーレスエントリー装着車

- メインキーのリモコン操作でドアを解錠する
- エンジンスイッチを“ON”にする

キーフリーシステム装着車

- リクエストスイッチ操作、またはワンタッチスイッチ操作でドアを解錠する
- 電子カードキーのリモコン操作でドアを解錠する
- エンジンスイッチを“ON”にする

知識

セキュリティインジケータについて

- イモビライザー機能のインジケータを兼ねているため、セキュリティアラームのセットを解除しても、エンジンスイッチを“ACC”にするまで消灯しません。また、エンジンスイッチを“ACC”から“OFF”にすると点滅します。

セキュリティアラーム作動

セキュリティアラームがセットされた状態で下記の操作以外で解錠し、ドアを開けるとセキュリティアラームが作動します。

キーレスエントリー装着車

- メインキーのリモコン操作

キーフリーシステム装着車

- リクエストスイッチ操作
- ワンタッチスイッチ操作
- 電子カードキーのリモコン操作

セキュリティアラームは2段階で作動します。

▼ 1次作動

- セキュリティインジケータが点滅
 - 非常点滅灯が10秒間点滅
 - 室内ブザーが10秒間断続して鳴る
- 1次作動の間に警報が解除されなかった場合、2次作動に入ります。

▼ 2次作動

- セキュリティインジケータが点滅
- 非常点滅灯が30秒間点滅
- 室内ブザーが30秒間断続して鳴る
- ホーンが30秒間断続して鳴る

知識

- セキュリティアラーム作動中にドアを閉めても、作動は停止しません。
- セキュリティアラーム作動後にドアを閉めると、セキュリティアラームが再び警戒状態になりますが、施錠はされません。お車を離れる際は確実に施錠してください。

セキュリティアラーム作動の停止方法

以下のいずれかの操作でアラーム作動を停止できます。

キーレスエントリー装着車

- メインキーの“LOCK” または“UNLOCK” ボタンを押す
- エンジンスイッチを“ON” の位置にする

キーフリーシステム装着車

- 電子カードキーの“LOCK” または“UNLOCK” スイッチを押す
- 電子カードキーを携帯して乗車する
- エンジンスイッチを“ON” にする

電子カードキーが使用できないとき

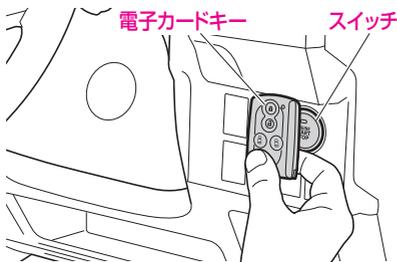
キーフリーシステム装着車

電池の消耗などにより、電子カードキーが使用できないときは、次の操作でアラーム作動を停止してください。

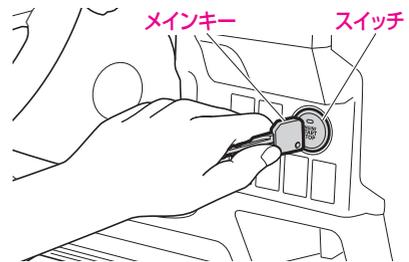
▼ 操作方法

- 1 ブレーキペダルをしっかりと踏む
- 2 ペダルを踏んだまま、キーを図のようにエンジンスイッチに接触させる

電子カードキー



メインキー



- 電子カードキーは、裏面のトヨタマーク付近をスイッチの中心に接触させます。
- 3 キーが認識されて警報が停止する
 - スイッチの作動表示灯が点灯します。

📖 知識

電池の消耗などにより、電子カードキーが使用できないときは

- メインキー、または電子カードキー（エマージェンシーキー）を使用してドアの施錠、解錠、およびエンジンスイッチの操作を行うことができます。

（電子カードキーが使用できないとき→ 398 ページ）

セキュリティアラーム作動履歴の確認

セキュリティアラームのセット中にアラームが作動したことを確認することができます。
(2次作動までした場合のみ)

▼ 確認方法

エンジンスイッチを“ON”にすると、室内ブザーが「ピーッピッ」と鳴ります。

📖 知識

- 作動履歴の確認は、2次作動後、1回のみ行うことができます。

セキュリティアラームのメンテナンスについて

セキュリティアラームのメンテナンスは不要です。

⚠️ 注意

セキュリティアラームを正常に作動させるために

- セキュリティアラームの改造や取り外しをしないでください。システムが正常に作動しないおそれがあります。

各部の開閉と各部の調整

車体各部の開閉

キー	72
キーレスエントリー	77
キーフリーシステム	78
ドア	86
スライドドア	98
パワースライドドア (ワンタッチオープン機能付) …	103
バックドア	113
パワーウインド	117
給油のしかた	122

車体各部の調整

フロントシート	125
リヤシート	127
ヘッドレスト	130
シートアレンジ	132
ルームミラー	142
ドアミラー	142
リヤアンダーミラー	147
チルトステアリング	148

車体各部の開閉

キー

キーはエンジンの始動や停止のほかに、ドアの施錠・解錠など車を操作するためになくてはならない物です。大切に管理してください。

キーレスエントリー装着車

メインキー



スペアキー



▼ お客様にお渡しするキー

- お車には、メインキー 1 枚とスペアキー 1 枚が付いています。

キーフリーシステム装着車

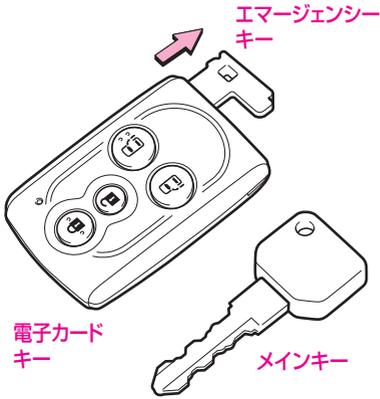
左側パワースライドドア装着車



▼ お客様にお渡しするキー

- お車には、電子カードキー 1 つとメインキー 1 つが付いています。

両側パワースライドドア装着車



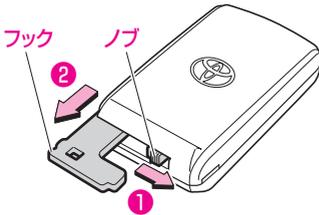
▼ お客様にお渡しするキー

- お車には、電子カードキー 1 つとメインキー 1 つが付きます。

知識

- 電子カードキーは必ず運転者が携帯し、管理してください。

エマージェンシーキー



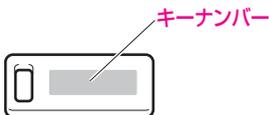
▼ エマージェンシーキーの取り出しかた

- 電子カードキーのノブを(1)の方向にスライドさせたまま、エマージェンシーキーのフック部を(2)の方向に引いて取り出します。

注意

- 使用後は元に戻し、必ず電子カードキーと一緒に携帯してください。
電子カードキーが電池の消耗などで使用できなくなったときに必要になります。

キーナンバープレート



キーナンバーは、キーではなくプレートに打刻しています。

- プレートは、お客様以外にキーナンバーがわからないように、車両以外の場所に大切に保管してください。

キーの取扱い

キーレスエントリー装着車

注意

故障を防ぐために

- メインキーには精密な電子部品が組み込まれています。故障の原因となりますので下記のことをお守りください。
 - 直射日光や高温下に放置しない
 - 落とすなどして、強い衝撃や圧力を加えない
 - 水にぬらしたり、ゴミ、ほこりなどが入らないようにする

知識

航空機に乗るときは

- 航空機にメインキーを持ち込む場合は、航空機内で“LOCK”、“UNLOCK”のボタンを押さないでください。また、かばんなどに保管する場合でも、簡単にボタンが押されないように保管してください。ボタンが押されると電波が発信され、航空機の運行に支障をおよぼすおそれがあります。

電池の寿命について

- メインキーの電池寿命は、1日10回乗降時で約2年です。
- ボタンを押しても作動しない場合や、著しく作動可能距離が短くなった場合、またはインジケータが点滅しなくなった場合は、電池の消耗が考えられます。早めに電池を交換してください。
(キーの電池交換→362ページ)

スペアキーについて

- 大切に保管しておいてください。

キーのご購入について

- キーレスエントリー装着車のメインキーは4枚まで設定することができます。ご購入方法、ご使用方法についてはトヨタ販売店にご相談ください。

万一キーを紛失したときは

- キーナンバーをトヨタ販売店にご連絡いただければ、純正キーを作ることができます。

キーフリーシステム装着車

⚠ 注意

故障を防ぐために

- 電子カードキー・メインキーには精密な電子部品が組み込まれています。故障の原因になりますので、下記のことを守り、取り扱いには注意してください。
 - 電子カードキーをズボンなどの後ろポケットに入れない
 - 直射日光や高温下に放置しない
 - 落とすなどして、強い衝撃や圧力を加えない
 - 水にぬらさない
 - 分解をしない
 - 超音波洗浄機などにつけない
 - 磁気を帯びたキーホルダーなどを付けない

電子カードキーの電池の消耗について

- 下記のような強い電波を発するおそれのある機器の近くや車内、または車両の近くに電子カードキーを置かないでください。電子カードキーが常時通信状態になり、電池が著しく消耗します。
 - テレビ
 - オーディオ
 - パソコン
 - AC アダプター
 - 携帯電話、コードレス電話
 - 充電器
 - 電気スタンド
 - 低周波治療器などの医療用電気機器
 - 液晶表示器
 - モーター類

 **知識**

- 電子カードキーは、人体に影響しない程度の微弱な電波を使用しています。

航空機に乗るときは

- 航空機に電子カードキーを持ち込む場合は、航空機内で“LOCK”、“UNLOCK”のボタンを押さないでください。また、かばんなどに保管する場合でも、簡単にボタンが押されないように保管してください。ボタンが押されると電波が発信され、航空機の運行に支障をおよぼすおそれがあります。

電子カードキーが使用できないときは

- 電池の消耗などにより電子カードキーが使用できないときは、エマージェンシーキー、またはメインキーを使用してください。

(電子カードキーが使用できないとき→ 398 ページ)

電子カードキーの電池寿命について

- 1日10回程度の乗降で約2年です。(電子カードキーは車両との通信のために常に受信動作をしているため電池を消費しています)
ただし、電子カードキーのスイッチ操作(ドアの施錠・解錠など)の使用頻度が高い場合、または電子カードキーの保管状況によって著しく電池寿命が短くなるおそれがあります。
- 電子カードキーの電池残量が少なくなると、警告灯とブザー音でお知らせします。

(キーフリー電池残量警告→ 85 ページ)

- ボタンを押しても作動しない場合や、著しく作動可能距離が短くなった場合、またはインジケーターが点滅しなくなった場合は、電池の消耗が考えられます。早めに電池を交換してください。

(キーの電池交換→ 362 ページ)

メインキーについて

- 大切に保管しておいてください。

キーのご購入について

- 電子カードキーとメインキーはそれぞれ最大4枚(合わせて8枚)まで設定することができます。ご購入方法、ご使用方法についてはトヨタ販売店にご相談ください。

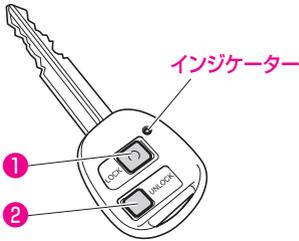
万一キーを紛失したときは

- キーナンバーをトヨタ販売店にご連絡いただければ、純正キーを作ることができます。

キーレスエントリー

オプション/グレード別装備

メインキーのスイッチを押すことで、ドアの施錠・解錠ができます。



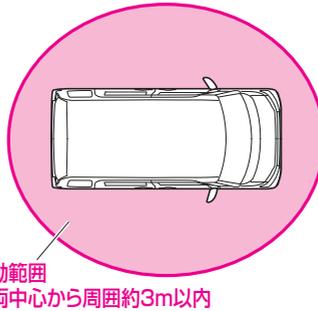
▼ リモコン操作

● スイッチを押すと、以下の操作ができます。

- ① : ドアの施錠
- ② : ドアの解錠

(キーレスエントリーによる
施錠・解錠 → 88 ページ)

作動範囲



知識

● 周囲の状況により、作動範囲が変化することがあります。

キーレスエントリーが正常に作動しないおそれのある状況

- 近くに下記のような強い電波を発生する設備があるとき
 - TV 塔
 - 発電所
 - 放送局

キーフリーシステム

オプション/グレード別装備

電子カードキーをポケットなどに携帯すると、次の操作が行えます。

- ドアを施錠・解錠する
- スライドドアを開閉する
- エンジンの始動・モード切り替えをする

また、電子カードキーのスイッチを操作すると、次の操作が行えます。

- ドアを施錠・解錠する
- スライドドアを開閉する

(キーフリーシステムによる施錠・解錠→ 89 ページ)
(エンジンスイッチ→ 203 ページ)
(パワースライドドアの自動開閉→ 105 ページ)

知識

- 電子カードキーは必ず運転者が携帯し、管理してください。

電子カードキー



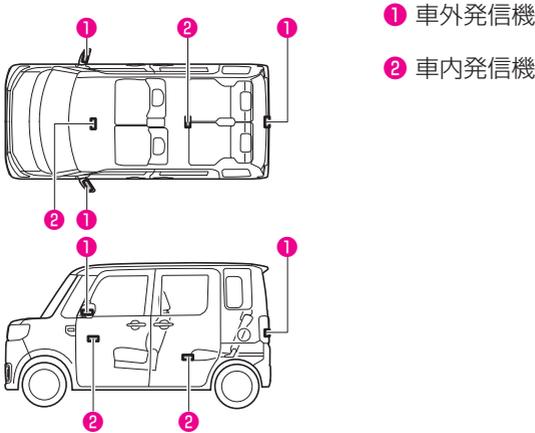
▼ リモコン操作

- スイッチを押すと、以下の操作ができます。
 - ① : ドアの施錠
(リモコン操作→ 90 ページ)
 - ② : ドアの解錠
(リモコン操作→ 90 ページ)
 - ③ : パワースライドドアの自動開閉
(リモコン操作による自動開閉
→ 106 ページ)

発信機

車両の発信機から発せられる電波を電子カードキーが感知することによって、キーフリーシステムが作動します。

▼ 発信機の位置



⚠ 警告

植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータおよび植込み型除細動器を使用されている方へ

- 車外発信機・車内発信機から約 22cm 以内に近付かないようにしてください。ドア開閉時、各ドアのリクエストスイッチ・ワンタッチスイッチ操作時、エンジン始動時などに車両の発信機から発せられる電波により、植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータおよび植込み型除細動器の作動に影響をあたえるおそれがあります。
- 植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータおよび植込み型除細動器以外の医療用電気機器を使用されている方は、電波による影響について、医療用電気機器製造業者などに事前に確認してください。
電波により、医療用電気機器の作動に影響をあたえるおそれがあります。

📖 知識

発信機の電波を停止したいときは

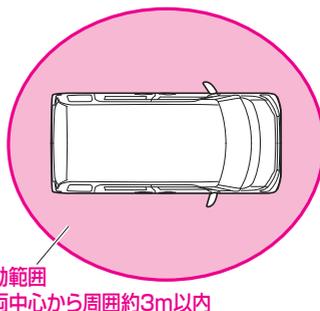
- 発信機から発する電波を停止（キーフリーシステムを停止）させることもできます。詳しくは、最寄りのトヨタ販売店にご相談ください。
- 発信機から発する電波を停止させたときは、エンジンスイッチに電子カードキー、またはメインキーを接触させなければエンジンを始動できません。（電子カードキーのリモコン操作は行えます）
(エンジンのかけかた→ 399 ページ)

作動範囲

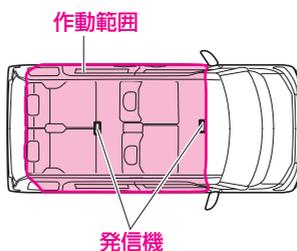
- ▼ リクエストスイッチ・ワンタッチ
スイッチ作動



- ▼ リモコン作動



- ▼ エンジンスイッチ作動



(リクエストスイッチ・ワンタッチスイッチ操作→ 89 ページ)

知識

- 周囲の状況により、作動範囲が変化することがあります。

リクエストスイッチ作動、またはワンタッチスイッチ作動が正常に作動しないおそれのある状況

- 電子カードキーの携帯のしかたにより、リクエストスイッチ、またはワンタッチスイッチを押しても作動しない場合があります。
- 下記のような場合は、電子カードキーが作動範囲にあっても、正常に作動しない場合があります。
 - ドアの施錠・解錠時に、電子カードキーをドアガラスやドアハンドル周辺に近付けすぎたとき
 - 地面の近く、もしくは高い場所に電子カードキーがあるとき

 知識**エンジンスイッチ作動が正常に作動しないおそれのある状況**

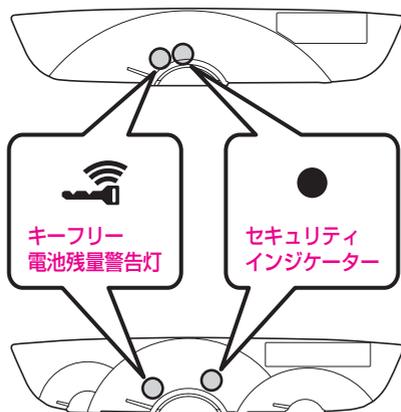
- インstrumentパネルの上や中（グローブボックス内など）・荷室・ドアポケット・アームレスト内など、電波を感知しない場所があります。
- 車外でもドアやドアハンドルに近付きすぎた場合は、エンジン始動が可能になることがあります。

キーフリーシステムが正常に作動しないおそれのある状況

- 近くに下記のような強い電波を発生する設備があるとき
 - TV 塔
 - 発電所
 - 放送局
 - 電光掲示板
 - ガソリンスタンド
 - コインパーキング
- 無線機や携帯電話などの無線通信機器やポータブルオーディオ、または他車の電子カードキーと一緒に携行したとき
- 電子カードキー本体が金属製の物と接していたり、覆われたりしているとき
- 電子カードキーの電池が消耗しているとき

警告ブザー、メーター表示による警告

キーフリーシステムでは、誤操作や車両の盗難を防ぐために、警告ブザーとメーター表示で警告を行います。



電子カードキー持ち出し警告

▼ 原因

- エンジンスイッチが“ACC”または“ON”のときに、いずれかのドアを開けて電子カードキーを車外に持ち出しドアを閉める

▼ 警告音

- 車内で「ピピピピピ」、車外で「ピッピッピッ」と警告ブザーが鳴る（同時にセキュリティインジケータが高速点滅する）

▼ 対処方法

電子カードキーを携帯して乗車してください。

知識

- ドア開閉をせずに電子カードキーを車外に持ち出したときは、警告は行われません。
- 電子カードキーを車外に置いたまま、いずれかのドアを一度開けてから閉めたときも、同様の警告が行われます。

■ エンジンスイッチ切り忘れ警告 ①

▼ 原因

- エンジンスイッチが“ACC”のときに運転席ドアを開ける

▼ 警告音

- 車内で「ピッピッピッ…」と警告ブザーが鳴り続ける

▼ 対処方法

エンジンスイッチを“OFF”にして、ドアを閉めてください。

■ エンジンスイッチ切り忘れ警告 ②

▼ 原因

- エンジンスイッチが“ACC”または“ON”のときに、ドアのリクエストスイッチ（スライドドアのワンタッチスイッチ以外）で施錠しようとする

▼ 警告音

- 車外で「ピーッ」と警告ブザーが鳴る

▼ 対処方法

エンジンスイッチを“OFF”にして、ドアを施錠してください。

■ 電子カードキー置き忘れ警告

▼ 原因

- 車内に電子カードキーが放置された状態で、ドアのリクエストスイッチ（スライドドアのワンタッチスイッチ以外）で施錠しようとする

▼ 警告音

- 車外で「ピーッ」と警告ブザーが鳴る

▼ 対処方法

電子カードキーを携帯して、ドアを施錠してください。

■ 半ドア警告

▼ 原因

- いずれかのドアが開いているとき（半ドア警告灯が点灯時）に、
 - ドアのリクエストスイッチ（スライドドアのワンタッチスイッチ以外）で施錠しようとする
 - 電子カードキーのリモコン操作でドアを施錠しようとする

▼ 対処方法

すべてのドアを閉めてから施錠してください。

▼ 警告音

- 車外で「ピーツ」と警告ブザーが鳴る

■ 電子カードキー閉じ込み警告①

▼ 原因

- 車内に電子カードキーが放置された状態で、車内の運転席ドアのロックレバーを施錠方向に押し込み、運転席ドアハンドルを引いたままドアを閉めた

▼ 対処方法

電子カードキーを携帯して、ドアを施錠してください。

▼ 警告音

- 車外で「ピーツ」と警告ブザーが鳴り、同時にすべてのドアが解錠する

■ 電子カードキー閉じ込み警告②

▼ 原因

- エンジンスイッチが“ACC”または“OFF”のときに、すべてのドアが施錠されている状態で、運転席以外のドアロックレバーを車内から解錠し、ドアを開けて閉めた

▼ 対処方法

電子カードキーを携帯して、ドアを施錠してください。

▼ 警告音

- 車外で「ピーツ」と警告ブザーが鳴り、同時にすべてのドアが解錠する（エンジンスイッチが“ACC”のときは、警告ブザーは鳴りません）

■ キーフリー電池残量警告

▼ 原因

- 電子カードキーの電池切れが近いときに、エンジンスイッチを“OFF”にした

▼ 警告音

- 車内で「ピッピッピッ」と警告ブザーが鳴る（同時にキーフリー電池残量警告灯が点滅する）



▼ 対処方法

新しい電池に交換してください。

（キーの電池交換→362 ページ）

📖 知識

- エンジンスイッチを“ON”にしたとき、システムチェックのために、警告灯が点灯し、数秒後に消灯します。

■ ハンドルロック未完了警告

▼ 原因

- 運転席ドアが開いているときに、エンジンスイッチを“ON”から“OFF”にする

▼ 警告音

- 車内で「ピッピッピッ…」と警告ブザーが鳴り続ける

▼ 対処方法

運転席ドアを閉めてください。

■ キー無し警告

▼ 原因

- 電子カードキーを携帯せずにエンジンスイッチを押した

▼ メーター表示

- セキュリティーインジケーターが点滅する

▼ 対処方法

- 電子カードキーを携帯してエンジンスイッチを押してください。
- 電子カードキーを携帯してエンジンスイッチを押しても、セキュリティーインジケーターが点滅する場合は、電子カードキーの電池が切れています。エンジンスイッチに電子カードキーを接触させて、スイッチを押してください。

（電子カードキーが使用できないとき→398 ページ）

ドア

▼ 操作を行う前に

警告

- ドアの開閉は確実に行ってください。ドアが確実に閉まっていないと、走行中にドアが開き、思わぬ事故につながったり、運転者や同乗者、または荷物が車から投げ出されるおそれがあります。
- 走行中は絶対にドアを開けないでください。車外に放り出されたりして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- ドアを開けるときは、周囲の安全を十分確認してください。いきなり開けると後続車にぶつかるおそれがあり危険です。風が強いときは特に注意してドアを開けてください。
- 車から離れるときは、必ずエンジンを止め施錠してください。無人で車が動き出したり、車両盗難のおそれがあります。
- お子さまに各ドアの開閉をさせたり、いたづらをさせないでください。思わぬ事故の原因となり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- ドアを閉めるとき指などを挟まないように注意してください。

知識

車を離れるときは

- ドアハンドルを引き、確実にドアが施錠されていることを確認してください。
- 貴重品などを車の中に置いたままにしないでください。

車外からキーを使用した施錠・解錠

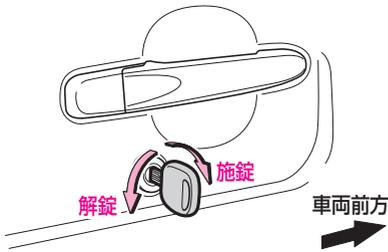
キー操作

知識

セキュリティアラームがセットされている場合

- キーを差して解錠しドアを開けると、セキュリティアラームが作動します。
アラームが作動した場合は、ただちに「セキュリティアラーム作動の停止方法」にしたがって、警報を停止させてください。

(セキュリティアラーム作動の停止方法→ 68 ページ)



▼ 操作方法

キーを確実に差し込み、

施錠：車両前方に回す

解錠：車両後方に回す

- 運転席ドアを施錠・解錠すると、すべてのドアが施錠・解錠されます。

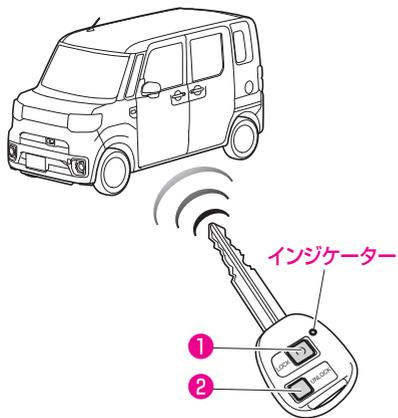
知識

- キーは挿入口に確実に差し込んでください。
- キー挿入口は助手席側ドアには設定していません。

キーレスエントリーによる施錠・解錠

リモコン操作

キーレスエントリー装着車



▼ 操作方法

- ①: スイッチを押すと、すべてのドアが施錠される
- ②: スイッチを押すと、すべてのドアが解錠される

知識

ドアの施錠・解錠ができない状況

- キーがエンジンスイッチのキー挿入口に差し込まれているとき
- いずれかのドアが開いているとき

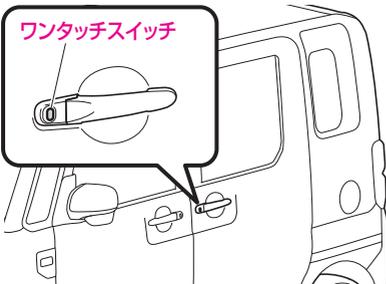
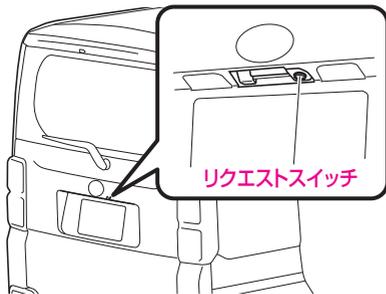
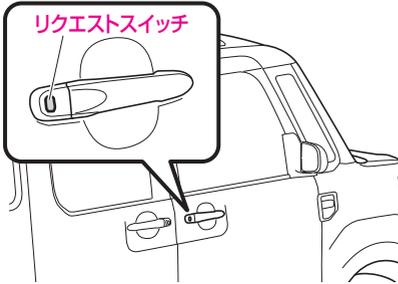
ドアのタイマーロック機能について

- ドアが解錠されたあとにドアの開閉を行わなかった場合は、約 30 秒後に自動ですべてのドアが施錠されます。

キーフリーシステムによる施錠・解錠

キーフリーシステム装着車

リクエストスイッチ・ワンタッチスイッチ操作



▼ リクエストスイッチの操作方法

フロントドア、バックドア

- 1 電子カードキーを携帯する
- 2 フロントドア、バックドアのリクエストスイッチを押すと、すべてのドアが施錠・解錠される

▼ ワンタッチスイッチの操作方法

スライドドア

- 1 電子カードキーを携帯する
- 2 スライドドアのワンタッチスイッチを押すと、すべてのドアが解錠し、スライドドアが開く
(パワースライドドア→103 ページ)

⚠ 注意

- フロントドア、バックドアのリクエストスイッチ、およびスライドドアのワンタッチスイッチは強い力で押ししたり、鋭利なもので押さないでください。スイッチが破損するおそれがあります。

📖 知識

- ワンタッチスイッチでドアを施錠することはできません。

リモコン操作



▼ 操作方法

- ①: スイッチを押すと、すべてのドアが施錠される
- ②: スイッチを押すと、すべてのドアが解錠される

パワースライドドア装着車

- ③: パワースライドドアの自動開閉を行う。

(リモコン操作による自動開閉
→ 106 ページ)

知識

ドアの施錠・解錠ができない状況

- エンジンスイッチが“ACC”、または“ON”のとき
- いずれかのドアが開いているとき
- パワースライドドア装着車は、スライドドアが全閉するまで施錠されません。自動で全閉したことを確認したあと、下記の操作で施錠してください。
 - フロントドア、またはバックドアのリクエストスイッチ
 - 電子カードキーのスイッチ (①)

リクエストスイッチの取扱いについて

- リクエストスイッチは確実に押して、施錠・解錠したことを確認してください。スイッチを早押しした場合、施錠・解錠されないことがあります。
- 電子カードキーを携帯している人が作動範囲にいるときは、携帯していない人でも、同じ作動範囲のリクエストスイッチでの施錠・解錠が可能です。

ドアのタイマーロック機能について

- ドアが解錠されたあとにドアの開閉を行わなかった場合は、約 30 秒後に自動ですべてのドアが施錠されます。

車内からの施錠・解錠

フロントドア

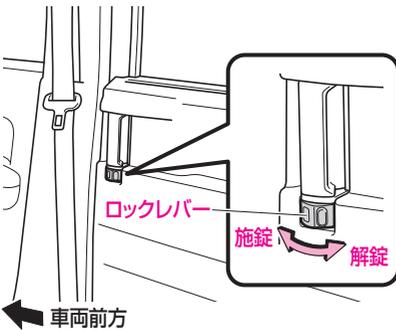


▼ 操作方法

施錠：ロックレバーを車両前方に押し込む

解錠：ロックレバーを車両後方に引く

スライドドア



▼ 操作方法

施錠：ロックレバーを車両前方に押し込む

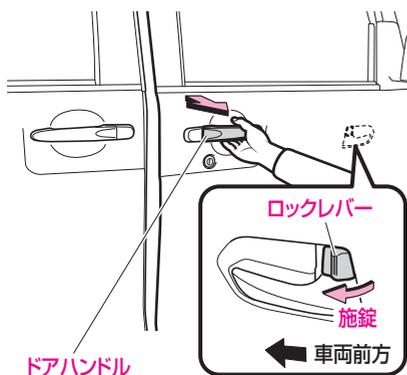
解錠：ロックレバーを車両後方に引く

車外からキーを使用しない施錠

知識

- キーを使用せずにドアを施錠するときは、キーを手に持っていることを確認してからドアを閉めてください。キーを閉じ込めてしまうおそれがあります。

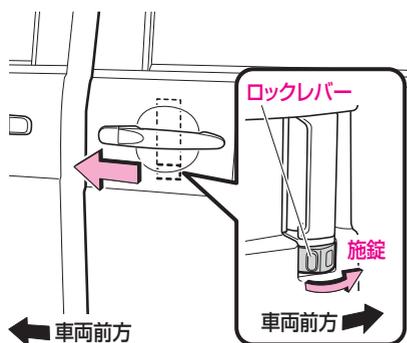
フロントドア



操作方法

- 1 ロックレバーを車両前方に押し込む
- 2 ドアハンドルを引いたままドアを閉めると、施錠される

スライドドア



操作方法

- 1 ロックレバーを車両前方に押し込む
- 2 ドアを閉めると、施錠される

ドアの施錠・解錠の合図（アンサーバック）

キーレスエントリー装着車

非常点滅灯の点滅でお知らせします。

施錠：1回

解錠：2回

キーフリーシステム装着車

ブザーと非常点滅灯の点滅でお知らせします。

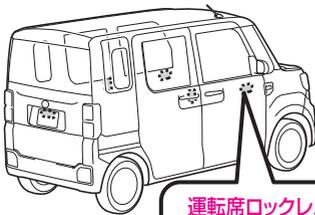
施錠：1回

解錠：2回

知識

- ドアの施錠・解錠と連動して、室内照明（スイッチ位置が“DOOR”のとき）は点灯・消灯します。
(ドア連動機能→300ページ)
- アンサーバックの設定を変更することができます。詳しくはトヨタ販売店にご相談ください。

パワードアロック



運転席ドアを施錠・解錠すると、連動してすべてのドアが施錠・解錠します。

キー閉じ込み防止機能

キーを車内に残したまま、施錠することを防ぐ機能です。
以下の状態で作動します。

キーレスエントリー装着車

キーがエンジンスイッチに差し込まれているとき

キーフリーシステム装着車

エンジンスイッチが“ACC”か“ON”のとき、または車内に電子カードキーがあるとき

▼ キー閉じ込み防止機能が作動するとき

以下の操作をするとキー閉じ込み防止機能が作動して、すべてのドアが解錠されます。

- 車内の運転席ドアのドアロックレバーを施錠方向に押し込み、運転席ドアハンドルを引いたままドアを閉めたとき
- すべてのドアが施錠されている状態で、運転席以外のドアロックレバーを車内から解錠し、ドアを開けて閉めたとき（エンジンスイッチが“ON”のときは作動しません）

知識

- 必ずキーを携帯していることを確認してから施錠してください。

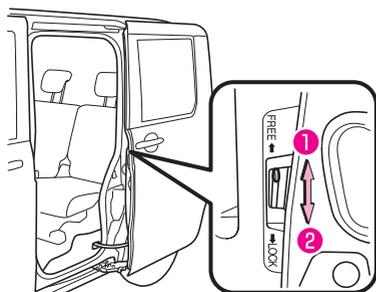
閉じ込み防止機能が作動しないおそれのある状況

キーフリーシステム装着車

- 電子カードキーの状態（電池の消耗、車内での位置等）や周囲の電波状況により、施錠されることがあります。

チャイルドセーフティ

お子さまの安全のため、チャイルドセーフティを左右スライドドアに設けています。



▼ 操作方法

レバーを“施錠”側にしておくと車内のリヤドアハンドルを引いてもドアを開かなくすることができます。

- ①：解錠
- ②：施錠

ドアを開けるときは、車外のドアハンドルで操作します。

警告

- お子さまを後部座席に乗せるときは必ずチャイルドセーフティを使用してください。

オートドアロック機能／アンロック機能

車両の状況に応じて、全てのドアを自動的にロック／アンロックする機能です。
以下の機能を設定・解除することができます。

機能	作動内容
車速感应オートドアロック	車速が約 20km/h 以上になると全ドアが施錠されます。
シフト操作連動ドアロック	エンジン回転中にシフトレバーを P レンジから動かすと全ドアが施錠されます。
オートドアロック機能停止	自動では施錠されません。
シフト操作連動アンロック	シフトレバーを P レンジに入れると全ドアが解錠されます。
エンジンスイッチ“OFF”連動オートドアアンロック	エンジンスイッチを“ACC または“OFF”にすると全てのドアが解錠されます。
オートドアアンロック機能停止	自動では解錠されません。

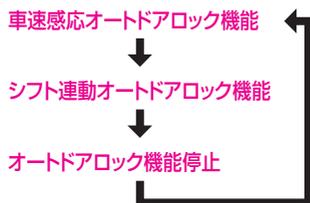
知識

- オートドアロック機能で施錠された後に解錠すると、再度施錠はされません。ただし、以下のいずれかの状態になると再作動します。
 - 停車中にいずれかのドアを開けた
 - エンジンスイッチを“ACC”または“OFF”にした
 - オートドアアンロック機能で解錠された

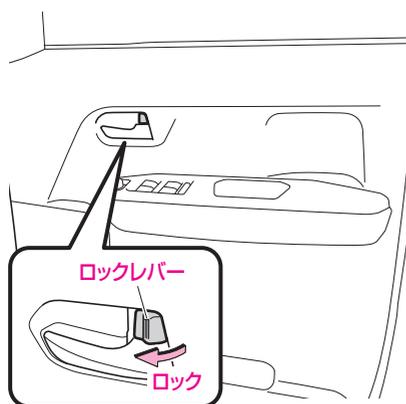
衝撃感知ドアロック解除システム

- 車両が前後左右から強い衝撃を受けると、すべてのドアが解錠されます。衝撃の度合いや事故の状況によっては作動しないことがあります。

オートドアロック機能の切り替え方法



オートドアロック機能の切り替え操作を完了するごとに、次の順で設定を切り替えます。



▼ 切り替え操作の前に

車両を次の状態にしてください。

- 車幅灯を消灯する
- エンジンスイッチを“OFF”にする
- 全てのドアを開める
- 運転席のドアロックレバーを“ロック”にする

▼ 切り替え方法

- 1 エンジンスイッチを“ACC”にする
- 2 “ACC”にしてから約5秒以内に、車幅灯を点灯・再度消灯する
- 3 消灯してから約5秒以内に、運転席のドアロックを“アンロック”にする

▼ 切り替え完了確認

ドアロックを“アンロック”後、約3秒以内に全てのドアが“ロック”されます。

知識

- 操作を途中で中断したときは、もう一度はじめてからやり直してください。

オートドアアンロック機能の切り替え方法

シフト連動オートドアアンロック

エンジンスイッチ“OFF”連動
オートドアアンロック

オートドアアンロック機能停止



オートドアアンロック機能の切り替え操作を完了するごとに、次の順で設定を切り替えます。

▼ 切り替え操作の前に

車両を次の状態にしてください。

- 車幅灯を消灯する
- エンジンスイッチを“OFF”にする
- 全てのドアを閉める
- 運転席のドアロックレバーを“アンロック”にする

▼ 切り替え方法

- 1 エンジンスイッチを“ACC”にする
- 2 “ACC”にしてから約5秒以内に、車幅灯を点灯・再度消灯する
- 3 消灯してから約5秒以内に、運転席のドアロックを“ロック”する

▼ 切り替え完了確認

ドアロックを“ロック”後、約3秒以内に全てのドアが“アンロック”されます。

知識

- 操作を途中で中断したときは、もう一度はじめからやり直してください。

スライドドア

警告

走行する前は

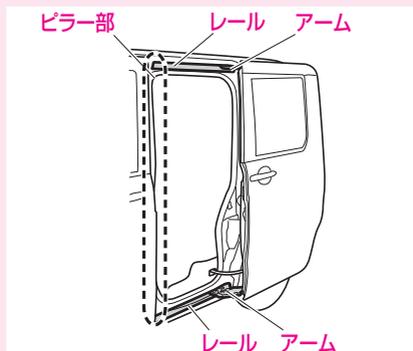
- スライドドアが確実に閉まっていることを確認してください。半開のまま走行すると、ドアが全開または全閉方向に動き、手足や顔を挟んだり、車内の方や荷物が車外に放り出されるなどして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

ドアを開閉するときは

- お子さまにはスライドドアの開閉操作をさせないでください。不意にドアが動き出したり、閉めるときに手・頭・首などを挟んだりするおそれがあり危険です。



- スライドドアを開閉するときは、以下のことをお守りください。ドアで手・頭・首を挟むなどして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
 - スライドドア周辺の安全を十分確認してください。
 - 周りに人がいるときは、動かすことを知らせる「声かけ」をしてください。
 - ドアハンドルをしっかりと持ち、スライドドアのふちやその周辺に手をかけずに開閉してください。
 - スライドドアのレール、アーム、およびピラー部には手足をかけないでください。

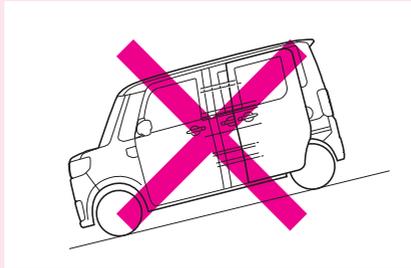


警告

- スライドドアのウインドガラスを開けたまま開閉するときは、ウインドから手足や顔を出さないでください。
- スライドドアは必ず全開（ストッパーがかかり、固定される位置）にしてください。開け方が不完全で固定されていないと、不意に動き出すことがあり危険です。
- スライドドアを閉めるときは指などを挟まないよう、十分に注意してください。

傾斜地では

- 傾斜地でスライドドアを開閉するときは、下記のことをお守りください。ドアが不意に動き出すことがあり、手・頭・首を挟むなど、思わぬけがをするおそれがあり危険です。
- スライドドアは必ず全開（ストッパーがかかり、固定される位置）にしてください。
- スライドドアを開けたままにしないでください。

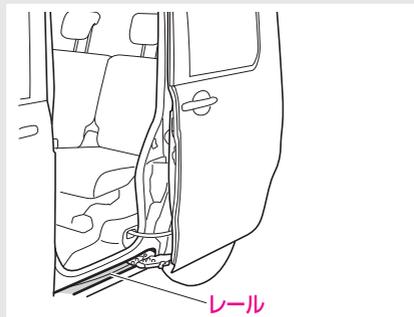


- 乗り降りの途中でドアハンドルを操作しないでください。
- スライドドアの開閉スピードが速くなりますので、注意してください。

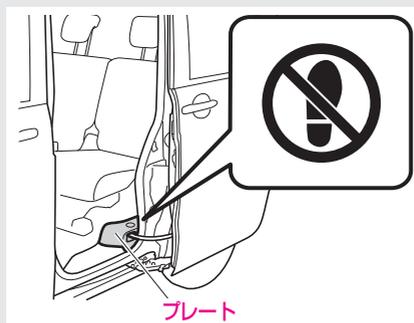
⚠ 注意

スライドドアについて

- スライドドアのリヤステップ下のレールに、石などの異物が入り込まないように注意してください。異物が入り込んだままスライドドアを開閉すると、スライドドアの故障の原因になります。



- 乗り降りするときは、リヤシート下のプレート（プレート）を踏まないようにしてください。プレート下の配線類が損傷するおそれがあります。



📖 知識

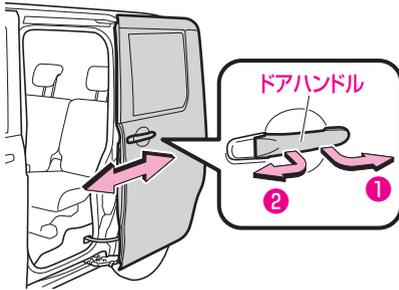
- フューエルリッドが開いている状態で、左側スライドドアを手動で開けると、途中でストッパーがかかり全開することができません。
- 途中でストッパーがかかった状態のスライドドアを全開にするときは、一度フューエルリッドを閉めたあと、再度スライドドアを開けてください。

スライドドアの施錠・解錠

(車外からキーを使用しない施錠→92 ページ)
(車内からの施錠・解錠→91 ページ)

スライドドアの開閉

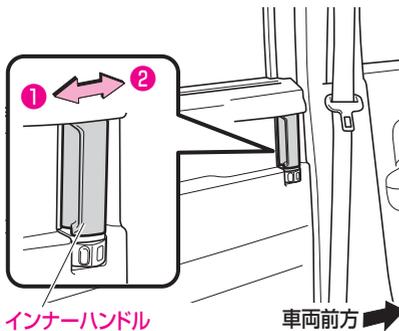
車外からの開閉



▼ 操作方法

- ① : ドアハンドルを引いて開く
 - ② : ドアハンドルを引いて閉じる
- ロックが解除するまで確実にドアハンドルを引きます。

車内からの開閉



▼ 操作方法

- ① : インナーハンドルを引いて開く
 - ② : インナーハンドルを引いて閉じる
- ロックが解除するまで確実にインナーハンドルを引きます。

📖 知識

- チャイルドセーフティが施錠状態になっているときは、インナーハンドルでスライドドアを開くことはできません。

■ イージークローザー

オプション/グレード別装備

スライドドアを閉めたとき、半ドア状態でも、イージークローザーが作動し、スライドドアが自動で完全に閉まります。

⚠ 警告

- お子さまには、スライドドアの開閉操作をさせないでください。
- 半ドア状態のとき、スライドドアが自動的に閉まるため、同乗者など周囲の安全を十分に確認し、指などを挟まないように十分注意してください。重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。特にお子さまには気をつけてください。

パワースライドドア装着車

- パワースライドドアメインスイッチが“OFF”のときでも、イージークローザーは作動するため、指などの挟み込みには十分注意してください。

⚠ 注意

- イージークローザー作動中は、ドアに無理な力をかけないでください。また、イージークローザーを繰り返し作動させないでください。無理な力をかけると、故障の原因になります。

📖 知識

- イージークローザー作動中に車外または車内のドアハンドルを引くと、作動を停止することができます。
- ドアハンドルを引いたままスライドドアを閉めると、イージークローザーは作動しません。

パワースライドドア（ワンタッチオープン機能付）

オプション/グレード別装備

⚠ 警告

パワースライドドアについて

- スライドドアの警告および注意もお守りください。

（スライドドア→ 98 ページ）

- 乗降するときは、必ずパワースライドドアを全開にしてください。
- パワースライドドアが完全に閉まらない状態で走行しないでください。車内の方や荷物が車外に放り出されるなど、思わぬ事故につながるおそれがあるため、ただちに安全な場所に停車するか、ドアハンドルやスイッチ操作により、スライドドアを完全に閉めてください。
- パワースライドドアを自動開閉するときは、下記のことをお守りください。お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

ドアを自動開閉するときは

- お子さまには、パワースライドドアの開閉操作をさせないでください。
- 自動開閉している間は、同乗者や荷物など周囲の安全を十分に確認して注意してください。特にお子さまには気をつけてください。
- ブレーキを確実にかけて、車が完全に停止している状態で行ってください。
- 自動開閉中に警報ブザーが鳴り、ドアが途中で緊急停止したときは、周囲の安全を十分に確認して停止原因を解消し、すみやかに開閉操作をしてください。坂道などの傾斜地の場合、停止したドアが断続的に傾斜方向に動き出すおそれがあります。
- エンジン停止中に、パワースライドドアを途中で停止させたまま放置しないでください。スイッチやドアハンドルの操作で途中停止した場合は、約 3 分後（挟み込みで停止した場合は約 30 分後）にブザーが鳴り、停止保持状態を解除して手動状態になるため、坂道などの傾斜地の場合、停止したドアが断続的に傾斜方向に動き出すおそれがあります。

傾斜地では

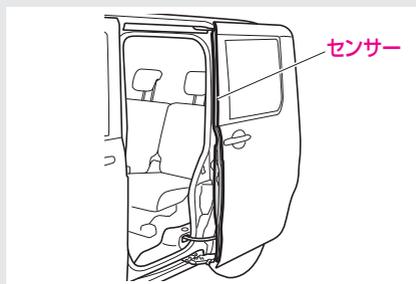
- パワースライドドアを開ける場合は、全開にして静止していることを確認してください。全開でないと、不意に動き出すおそれがあります。
- 急な傾斜地ではパワースライドドアを開閉しないでください。自動開閉を完了できずに途中で反転作動するおそれがあります。

タイヤ交換や洗車機を使用するときは

- パワースライドドアメインスイッチを“OFF”にしてください。“ON”にしていると、誤ってスライドドアハンドルやワンタッチスイッチなどに触れ、スライドドアが動き出すおそれがあります。

⚠ 注意

- スライドドアの側面部のセンサーを刃物などの鋭利なもので傷つけないでください。センサーが切断されると自動で閉めることができなくなります。また、自動で閉めているときにセンサーが切断されると、パワースライドドアはただちに停止します。



- エンジン停止時の自動開閉中に、エンジンを始動しないでください。パワースライドドアが正常に作動しなくなる場合があります。
- eco IDLE によるアイドリングストップ中にパワースライドドアを作動させると、エンジンが再始動することがあります。しっかりとブレーキを踏み続けてください。
(eco IDLE (エコアイドル) → 244 ページ)

ドアが凍結しているときは

- パワースライドドアが開閉可能かを手動で確認してから自動開閉操作をしてください。凍結したまま操作を繰り返すと、故障の原因になります。

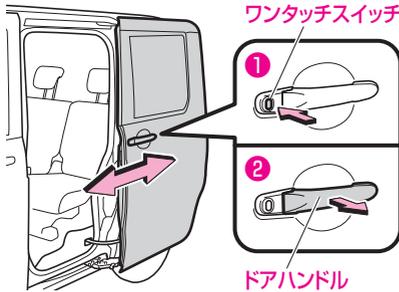
📖 知識

- 車外または車内のドアハンドルによる自動開操作の際、ドアハンドル操作が不十分な場合にパワースライドドア後端付近で「ガコッ」と音がしてブザーが約 10 秒間鳴ることがありますが、故障ではありません。もう一度ドアハンドルを引くと、パワースライドドアが正常に作動します。

パワースライドドアの自動開閉

ワンタッチスイッチやドアハンドル、リモコンを使って開閉することができます。

車外のドアハンドルによる自動開閉



① : ワンタッチスイッチを押して開閉する

● ドア施錠時

電子カードキーを携帯し、キーフリーシステムの作動範囲内でワンタッチスイッチを押すとすべてのドアが解錠し、スライドドアが自動で開きます。

(作動範囲 → 80 ページ)

● ドア解錠時

電子カードキーを携帯していなくてもワンタッチスイッチを押すことでスライドドアを開けることができます。

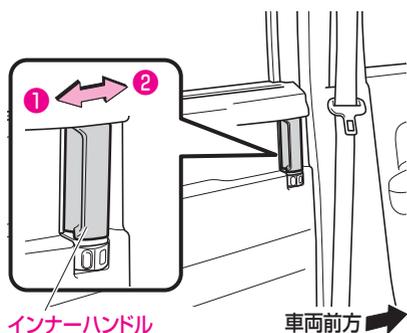
② : ドアハンドルを引いて開閉する

- ロックが解除するまで確実にドアハンドルを引きます。

知識

- 自動開閉作動中にワンタッチスイッチ、またはドアハンドルを操作するとブザーが鳴り、作動が停止します。もう一度ワンタッチスイッチ、またはドアハンドルを操作すると、スライドドアは反対方向に作動します。
- ワンタッチスイッチでドアを施錠することはできません。

車内のドアハンドルによる自動開閉



①：開く

②：閉じる

- ロックが解除するまで確実にインナーハンドルを引きます。

知識

- チャイルドセーフティが施錠状態になっているときは、インナーハンドルでスライドドアを開くことはできません。
- 自動開閉作動中にドアハンドルを操作するとブザーが鳴り、作動が停止します。

リモコン操作による自動開閉

左側パワースライドドア装着車

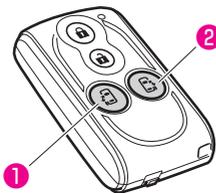


①：助手席側パワースライドドアを開閉する

②：運転席側パワースライドドアを開閉する

- スイッチを長押しします。

両側パワースライドドア装着車

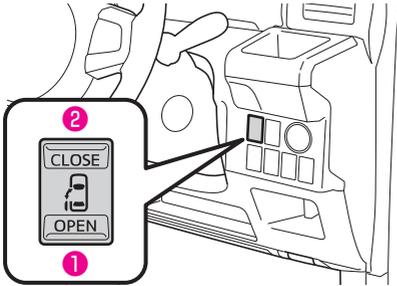


知識

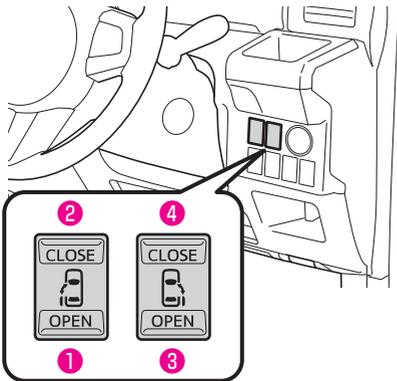
- 自動開閉作動中にスイッチを押すとブザーが鳴り、作動が停止します。もう一度スイッチを長押しすると、スライドドアが全開します。
- パワースライドドアが途中まで開いた状態から閉じる場合は、ドアを全開にした後にスイッチを長押ししてください。

パワースライドドアスイッチによる自動開閉

左側パワースライドドア装着車



両側パワースライドドア装着車



①：開ける（助手席側）

②：閉じる（助手席側）

③：開ける（運転席側）

④：閉じる（運転席側）

- スイッチを長押しします。

知識

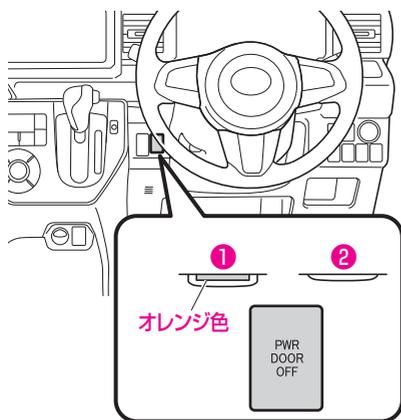
- 自動開閉作動中に再度スイッチを押すとブザーが鳴り、作動が停止します。
- スイッチを押している時間が短いと自動開閉できません。
- パワースライドドアメインスイッチが“OFF”のときにパワースライドドアスイッチを押すと、ブザーが“ピピッ”と鳴り、パワースライドドアが作動しないことをお知らせします。

(パワースライドドアメイン
スイッチ→108 ページ)

パワースライドドアを使用するときは

パワースライドドアメインスイッチを“ON”にします。

パワースライドドアメインスイッチ



① : ON

- “ON” にすると、スイッチ上部にオレンジ色のマークが表れます。

② : OFF

パワースライドドアの作動について

- パワースライドドアメインスイッチが“OFF”のときでもイージークローザーは作動します。
- 作動開始時にブザーが鳴ります。また、閉作動中はブザーが断続的に鳴ります。
- パワースライドドアメインスイッチが“OFF”のときは、パワースライドドアは作動しませんが、車外または車内のドアハンドルにて手動で開閉できます。

パワースライドドア作動条件

パワースライドドアは、エンジンスイッチの位置に関係なく作動します。

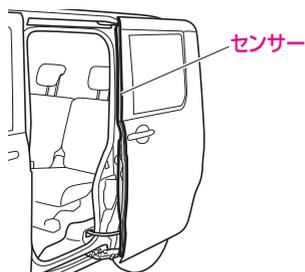
以下の条件をすべて満たしているときに作動します。

- パワースライドドアメインスイッチが“ON”の状態
- フューエルリッドが閉まっているとき（左側パワースライドドア開閉時）
- エンジンスイッチが“ON”のときは、車速が約 3km/h 以下で、次のいずれかの条件を満たしているとき
 - シフトレバーが P レンジの位置
 - 駐車ブレーキがかかっている
 - ブレーキペダルを踏んでいる

 知識

- スライドドアが施錠された状態で、ワンタッチスイッチ以外の操作をしたときは、自動開作動ができません。自動開作動の前に解錠してください。
- ワンタッチスイッチは、解錠してドアを開くことはできますが、施錠することはできません。
- エンジンスイッチが“ACC”または“ON”のときは、電子カードキーによる自動開閉はできません。
- パワースライドドアメインスイッチが“ON”のとき、作動条件を満たしていない状態でパワースライドドアのドアハンドルを引いて手動で開けると、警報ブザーが鳴ります。その際、スライドドアにブレーキをかけるためスムーズに動かないことがありますが、異常ではありません。
- 自動開閉中に作動条件を満たさなくなると、警報ブザーが鳴ることがあります。
- 下記のようなときは、パワースライドドアが作動しない場合があります。
 - バッテリーの電圧が低下しているとき
 - 坂道などの傾斜地で駐車しているとき
- 以下の状態でワンタッチスイッチにバッグなどが当たってしまうと、スライドドアが自動で開くことがあります。
 - 施錠状態で電子カードキーを携帯しているとき
 - 解錠状態のとき

挟み込み防止機構



パワースライドドアの自動開閉作動中に、挟み込みを検知したドアを少し反転作動した後に途中で停止させる機構です。

次のような場合に作動します。

- 自動で閉めているときに、パワースライドドアの前端部にあるセンサーが、異物などの挟み込みを検知したとき
- 自動開閉中に異物を挟み込むなどして、ドアに一定以上の負荷がかかったとき

警告

- 挟み込み防止機構を故意に作動させようとして、体の一部を挟んだりしないでください。
- パワースライドドアが自動開閉している間は、同乗者など周囲の安全を十分に確認し、手・頭・首などを挟まないように十分に注意してください。特にお子さまには気をつけてください。
 - 全開直前または全閉直前の位置では、挟み込み防止機構が作動しない領域があります。
 - 挟まれる異物の形状、硬さ、挟まれ方によっては、異物を検知できずに挟み込み防止機構が作動しないことがあります。

知識

- センサーに手などを強く触れたままにしていると、自動閉作動ができません。
- 挟み込みを検知してスライドドアが途中で停止しているときは、電子カードキーのリモコン操作による自動開閉ができません。
- 挟み込みを検知したドアが反転作動している間に再度挟みこみを検知すると、即停止します。

▼ 自動開閉ができないときは

停止したパワースライドドアのドアハンドルを引いて、全閉にしてください。

知識

- 手動で全閉にする際は、ドアにブレーキをかけるためスムーズに動かないことがありますが、異常ではありません。

初期設定

パワースライドドアが全閉していない時に、ヒューズ切れやバッテリーあがり起きたときは、パワースライドドアの初期設定をしてください。

▼ 初期設定のしかた

パワースライドドアのドアハンドルを引いて全閉にすると、初期設定が完了します。

知識

- 手動で全閉にする際は、ドアにブレーキをかけるためスムーズに動かないことがありますが、異常ではありません。
- パワースライドドアが初期設定されていないと、下記の機能が作動しません。
 - パワースライドドアの自動開閉
 - 挟み込み防止機構

自動開閉中の緊急停止について

以下のような状態になると、警報ブザーが鳴り、ドアが途中で緊急停止します。

- パワースライドドアメインスイッチを“OFF”にした
- フューエルリッドを開いた（左側パワースライドドア開閉時）
- 自動開作動中に車速約3km/h 以上になった

▼ 緊急停止後に自動開閉を再開するには

停止したパワースライドドアのドアハンドルを引いて、全閉にしてください。

警告

- 自動開閉中にパワースライドドアメインスイッチを“OFF”にしたり、フューエルリッドを開いたりしたときやセンサーなどが故障したときは、警報ブザーが鳴り、スライドドアが途中で緊急停止して、約3秒間停止を継続します。その後、坂道などの傾斜地の場合、停止したドアが断続的に傾斜方向に動き出すおそれがあるため、周囲の安全を十分に確認して停止原因を解消し、すみやかに開閉操作をしてください。
- 自動開作動中に車速が約3km/h 以上になったときは、警報ブザーが鳴り、ドアが途中で緊急停止して、そのまま停止し続けます。車内の方や荷物が車外に放り出されるなど、思わぬ事故につながるおそれがあるため、ただちに安全な場所に停車するか、ドアハンドルやスイッチ操作により、スライドドアを完全に閉めてください。

知識

- 手動で全閉にする際は、ドアにブレーキをかけるためスムーズに動かないことがありますが、異常ではありません。

バックドア

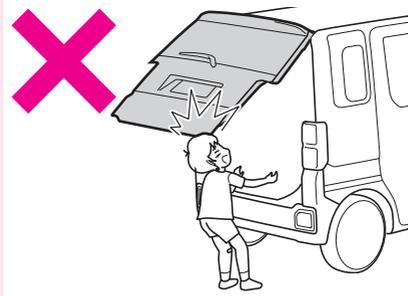
警告

走行するとき

- 走行中はバックドアを閉じてください。開けたまま走行すると、ドアが車外のものに当たったり、荷物が道路に落下したりするなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。また、排気ガスが車内に侵入し、重大な健康障害や死亡につながるおそれがあり危険です。走行する前に必ずバックドアが閉まっていることを確認してください。
- 走行前はバックドアを軽くゆすり、ドアが確実に閉まっていることを確認してください。走行中に突然ドアが開き、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- 荷室には絶対に人を乗せないでください。急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあり危険です。

お子さまを乗せているときは

- お子さまにはバックドアの開閉をさせないでください。不意にドアが動いたり、閉めるときに頭をぶつけたり、首や手を挟んだりするなどして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



- 荷室でお子さまを遊ばせないでください。誤って閉じ込められた場合、熱射病になるなどして重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

警告

バックドアを開閉するときは

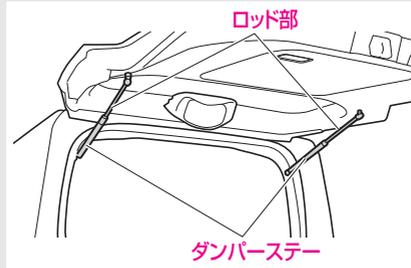
- バックドアの開閉や荷物の出し入れをするときは、下記のことをお守りください。ドアで頭をぶついたり、首や手を挟むなどして重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
 - バックドア周辺の安全を十分確認してください。
 - 周りに人がいるときは、動かすことを知らせる「声かけ」をしてください。
 - バックドアのふちやその周辺に手をかけずに開閉してください。
 - バックドアは必ず全開で静止させてください。開け方が不十分だと、ドアが不意に閉まるおそれがあります。
 - バックドアを閉めるときは自分や周りの人の指などを挟まないよう、十分に注意してください。
- 強風時の開閉には注意してください。風にあおられて、ドアが勢いよく開いたり閉じたりするおそれがあります。
- 傾斜地での開閉には注意してください。平坦な場所よりもバックドアが開閉しにくかったり、急にドアが閉じたり開いたりするおそれがあります。ドアを開けたときは必ず全開で静止していることを確認してください。



- バックドアを開ける前に、ドアに貼りついた雪や氷などの重量物を取り除いてください。開いたあとに重みでドアが閉まるおそれがあります。
- エンジンをかけたまま荷物の出し入れをするときは、排気管の後方に立たないでください。排気熱でやけどをするおそれがあります。
- バックドアを支えているダンパーステーを持ってドアを閉めたり、ぶら下がったりしないでください。手を挟んだり、ステーが破損したりして、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- バックドアにトヨタ純正用品以外のアクセサリを取り付けしないでください。ドアの重量が極端に重くなると、開けた時にステーが支えきれなくなり、不意にドアが閉まるおそれがあります。

⚠ 注意**ダンパーステーについて**

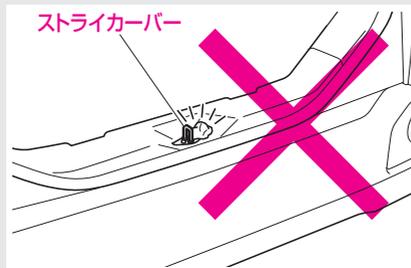
- バックドアには、ドアを支えるためのダンパーステーが取り付けられています。ステーの破損や作動不良を防ぐため、下記のことをお守りください。
- ステーに手をかけたり、横方向の力を加えたりしないでください。
- ビニール片、ステッカー、粘着材などの異物をロッド部（メッキの棒部）に付着させないでください。



- 繊維などの付着を防ぐため、ロッド部を軍手などで触らないでください。

ストライカーバーについて

- バックドアを閉めるときはストライカーバーに異物が卡み込まないようにしてください。バーが破損し、バックドアが閉まらなくなるおそれがあります。

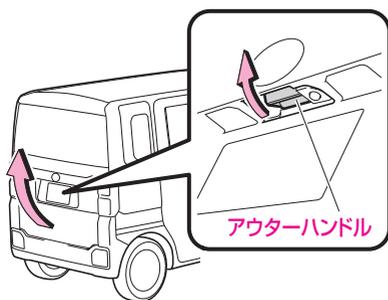


バックドアの施錠／解錠

以下の方法で施錠・解錠ができます。

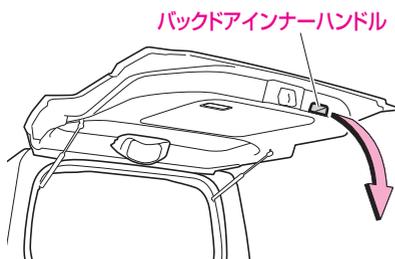
- キーレスエントリー
(キーレスエントリーによる施錠・解錠→88 ページ)
- キーフリーシステム
(キーフリーシステムによる施錠・解錠→89 ページ)
- キー (運転席ドア)
(車外からキーを使用した施錠・解錠→87 ページ)
- パワードアロック
(パワードアロック→93 ページ)

バックドアを開けるときは



アウターハンドルを引いて、バックドアをゆっくりといっぱいまで持ち上げる

バックドアを閉めるときは



- 1 バックドアインナーハンドルを持ってバックドアを途中までゆっくりと下げる
- 2 ハンドルから手を離して、バックドアを上から手で押さえつけるように閉める
- 3 半ドアでないことを確認する

⚠ 警告

- バックドアインナーハンドルで直接バックドアを閉めないでください。手や腕を挟み、けがをす
るおそれがあります。バックドアは、必ず外から押して閉めてください。

パワーウインド

⚠ 警告

けがや事故を防ぐために

- パワーウインドは大変強い力で開閉しますので、開閉するときは、ほかの人の手・腕・頭・首などを挟んだり巻き込んだりしないよう注意してください。重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあり危険です。
- お子さまにパワーウインドの操作をさせないでください。開閉するとき、手・腕・頭・首などを挟んだり巻き込んだりして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあり危険です。お子さまを乗せているときは、パワーウインド OFF スイッチを“OFF”にしてください。

⚠ 注意

故障を防ぐために

- 以下のことをお守りください。お守りいただかないと、故障の原因となります。
 - 運転席スイッチとほかのスイッチを同時に逆方向へ動かさない
 - ドアガラスを完全に開閉した状態でウインドスイッチを押し続けない
 - ガラスが凍りついて固着したような状態でウインドスイッチの“開”または“閉”を連続操作しない

バッテリーあがりを防ぐために

- パワーウインドの開閉はなるべくエンジン回転中に行ってください。

📖 知識

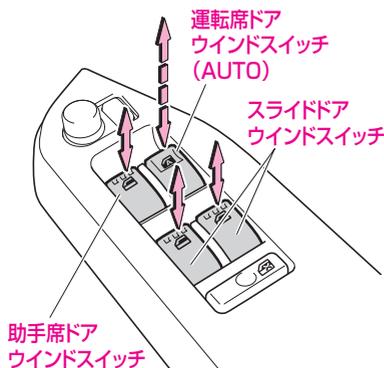
- エンジンスイッチを“ON”にすると、運転席ドア側ウインドスイッチの照明が点灯します。

パワーウインドモーターの過熱保護機能について

- パワーウインドモーターには、過熱保護機能を内蔵しています。パワーウインドモーターの負荷が大きい状態が続いたときなどは、過熱保護機能が作動し一時的にパワーウインドが停止することがあります。数十秒経過すると、通常どおり使用できるようになります。

運転席ドアスイッチ

エンジンスイッチが“ON” のとき、スイッチでドアガラスを開閉できます。



- ▼ 閉じかた
 - スイッチを軽く引き上げる
- ▼ 開きかた
 - スイッチを軽く押し下げる

運転席ドアウインドスイッチ (AUTO) 操作

- ▼ 自動全閉
 - スイッチを「カチッ」と音がするまで引き上げる
- ▼ 自動全開
 - スイッチを「カチッ」と音がするまで押し下げる
- ▼ 途中で止めるときは
 - スイッチを軽く逆方向に操作する

運転席ドアガラス挟み込み防止機能

運転席ドアガラスを (AUTO) 操作で閉めるときに、窓枠とドアガラスの間に異物の挟み込みを感知すると、ドアガラスの上昇を停止し、自動的に下降します。

警告

- 特に小さな物を挟み込んだとき、挟み込み防止機能が作動しないことがあります。

知識

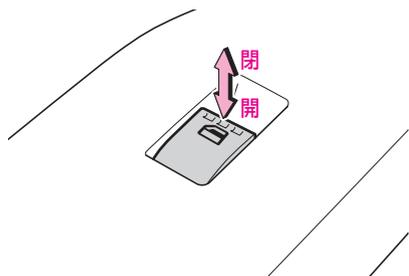
- 環境や走行条件により、異物を挟み込んだときと同じ衝撃がドアガラスに加わると、挟み込み防止機能が作動することがあります。

エンジンスイッチ“OFF” 後作動機能

エンジンスイッチを“OFF” または“ACC” にしたあとでも、約 40 秒間は運転席ドアガラスを開閉できます。

助手席ドアスイッチ

エンジンスイッチが“ON”のとき、スイッチで助手席ドアガラスを開閉できます。



▼ 閉じかた

- スイッチを軽く引き上げる

▼ 開きかた

- スイッチを軽く押し下げる

スライドドアスイッチ

エンジンスイッチが“ON”のとき、スイッチでスライドドアガラスを開閉できます。



▼ 閉じかた

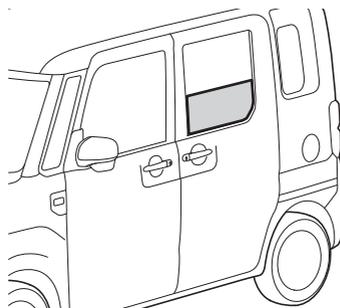
- スイッチの上側を押す

▼ 開きかた

- スイッチの下側を押す

知識

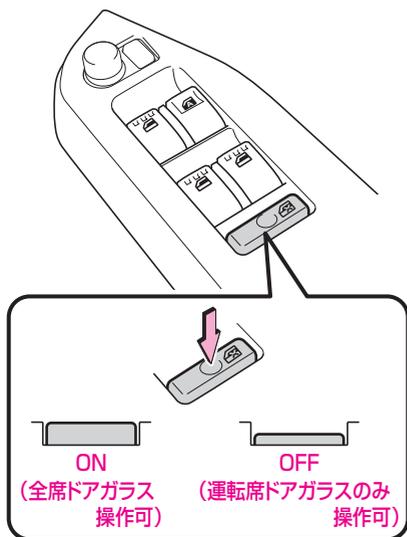
- 左右スライドアのドアガラスは全開になりません。



パワーウィンド OFF スイッチ

スイッチを押し込むと“OFF”になり、運転席ドアガラス以外のすべてのドアガラスは開閉ができなくなります。

スイッチをもう一度押すと解除されます。



パワーウィンドの取扱い

運転席ドアガラスが全閉しないとき

挟み込み防止機能が異常に作動してしまい、運転席ドアガラスを全閉できないときは、運転席ドアウインドスイッチで、下記の操作を行ってください。

- 1 車を停止し、エンジンスイッチを“ON”にする
 - 2 運転席ドアウインドスイッチを「カチッ」と音がするまで上に引き（自動全閉位置）、引き続けたままドアガラスを全閉にする
 - 3 全閉後スイッチから手を離さず、さらに約6秒間スイッチを上を引き続ける
- 操作中、スイッチから手を離れたときは、もう一度はじめからやり直してください。
 - 上記の操作を行っても運転席ドアガラスが全閉しない場合は、トヨタ販売店で点検を受けてください。

パワーウィンドの初期設定

バッテリー交換やヒューズ交換などで、バッテリーとの接続が断たれたときは、パワーウィンドの初期設定をしてください。

初期設定しないと、下記の機能は作動しません。

- 運転席ドアガラスの
 - 自動開閉機能
 - 挟み込み防止機能
 - エンジンスイッチ“LOCK”後作動機能
- 1 エンジンスイッチを“ON”にする
 - 2 運転席ドアウインドスイッチを「カチッ」と音がするまで上に引き（自動全閉位置）、引き続けたままドアガラスを全閉にする
 - 3 全閉後スイッチから手を離さず、さらに約2秒間スイッチを上を引き続ける
- 操作中、スイッチから手を離れたときは、もう一度はじめからやり直してください。

給油のしかた

▼ 給油をする前に

⚠ 警告

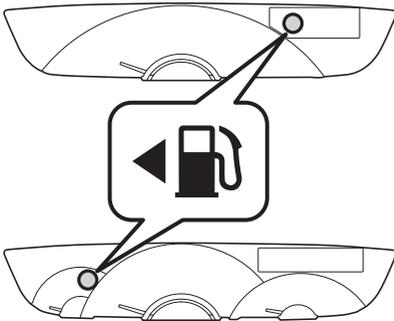
- 燃料は引火しやすいため、下記のことを守らないと火災につながり、やけどなど重大な傷害を受けるおそれがあります。
 - エンジンは必ず止めてください。
 - 車のドア、窓は閉めてください。
 - タバコを吸うなど、火気を近づけないでください。
- フューエルキャップを開ける前に、必ず車体または給油機などの金属部分に触れて、身体の静電気除去を行ってください。身体に静電気を帯びていると、放電による火花が引火するなどして、やけどのおそれがあります。
- フューエルキャップを開けるなどの給油操作は、必ず静電気除去を行った方お一人で行ってください。
- 給油中に再び車内のシートに触れたり、座ったり、また人や物に触れると再帯電する場合があります。このようときは再び給油機などの金属部分に触れて静電気除去を行ってください。
- フューエルキャップを開ける際は、必ずキャップのツマミ部分を持ち、ゆっくりと開けてください。気温が高いときなどは燃料タンク内の圧力が高くなり、給油口から燃料が吹き返すおそれがあります。
- フューエルキャップを少しゆるめた時に「シュー」という音がする場合は、それ以上開けずに、その音が止まるのを確認してからゆっくりと開けてください。
- 給油口にほかの人を近づけないでください。
- 給油するときは、給油口にノズルを確実に挿入してください。また、オートストップ作動後の継ぎ足し給油は行わないでください。給油口から燃料が吹きこぼれるおそれがあります。
- 給油機によっては、早期にオートストップが作動して正常に給油できない場合があります。ガソリンスタンドの係員を呼んで指示に従ってください。
- 給油終了後、フューエルキャップを閉めるときは「カチッ」という音が一度するまで右に回し、確実に閉まっていることを確認してください。
- トヨタ純正フューエルキャップ（指定）以外は使用しないでください。燃料漏れなどを起こすおそれがあります。
- その他ガソリンスタンド内に掲示されている注意事項を守ってください。
- 燃料には、人体に有害な発ガン性物質を含んでいる物もありますので、燃料の気化ガスを吸わないようにご注意ください。

⚠ 注意

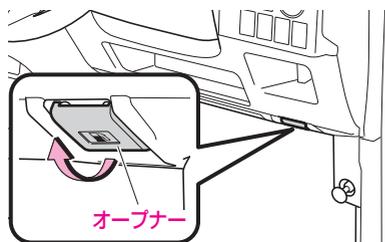
- 指定燃料は無鉛レギュラーガソリン、または無鉛プレミアムガソリンです。
 - 給油時に、指定されている燃料であることを確認してください。
 - 指定以外の燃料（粗悪なガソリン、アルコール系燃料、軽油、灯油など）を使用すると、エンジンの始動性が悪くなったり、ノッキングや出力の低下などが発生する場合があります。また、そのまま利用していると、エンジンや燃料系部品を損傷するおそれがあります。
- 給油中に燃料がこぼれた場合はただちに給油を止め、こぼれた燃料を布きれなどでふき取ってください。
- こぼれた燃料が車の塗装面に付着した場合は水洗いをおすすめします。付着したままで放置すると、塗装面が劣化するおそれがあります。

フューエルリッドの開閉**⚠ 注意**

- 左側スライドドアが全開、またはフューエルリッド付近まで開いているときに、フューエルリッドを開けないでください。左側スライドドア、またはフューエルリッドが破損するおそれがあります。

▼ フューエルリッドの位置

メーター内にフューエルリッドの車両取り付け方向を示しています。



▼ 開けかた

インストルメントパネルの右下にあるオープナーを引き上げる

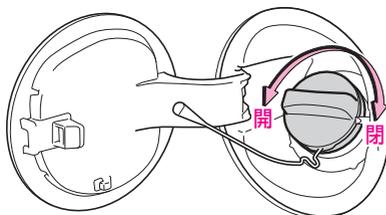
▼ 閉めかた

リッドを押して閉める

📖 知識

- フューエルリッドが開いている状態で、左側スライドドアを手動で開けると、途中でストッパーがかかり全開することができません。
- フューエルリッドが開いている状態で、左側スライドドアを自動（パワースライドドア）で開けることはできません。
- パワースライドドアの自動開閉中に、フューエルリッドを開けると、ブザーが鳴り、左側スライドドアの作動を停止します。

フューエルキャップの開閉



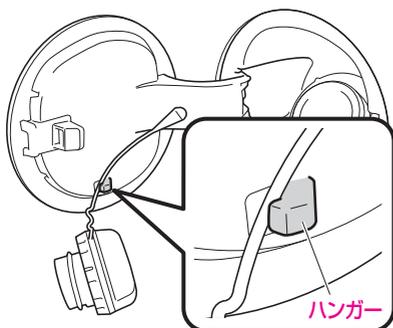
▼ 開けかた

左に回す

▼ 閉めかた

「カチッ」という音が一度するまで、右に回す

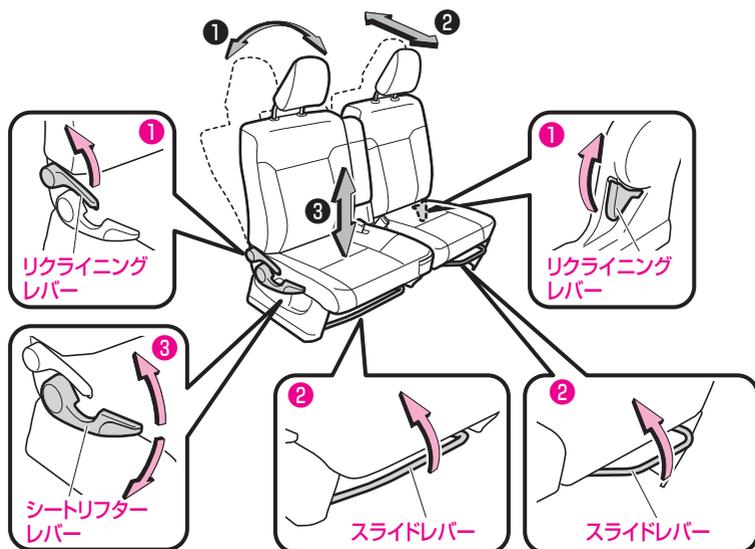
▼ 給油するときは



外したフューエルキャップをフューエルリッド裏面のハンガーにかけることができます。

車体各部の調整

フロントシート



① リクライニング操作

- レバーを引き上げながら背もたれ角度を調整します。

② スライド操作

- レバーを引き上げながら、前後にシートをスライドします。

③ 運転席シートリフター操作

オプション/グレード別装備

- レバーを引き上げることにシート全体が上昇します。
- レバーを押し下げることによりシート全体が下降します。

警告

- シートの調整は必ず走行前に行い、調整後はシートを前後に軽くゆすり、確実に固定されたことを確認してください。シートが固定されていないとシートが動き、思わぬ事故の原因となって、生命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。

シートを調整するときは

- 次のことを守ってください。
守らないと、けがをしたり、シートが破損したりするおそれがあります。
 - 手足を挟んだり、体にあたらないように十分注意する
 - シートの下や動いている部分に手足を近付けない
 - 同乗者や物に当たらない

背もたれを調整するときは

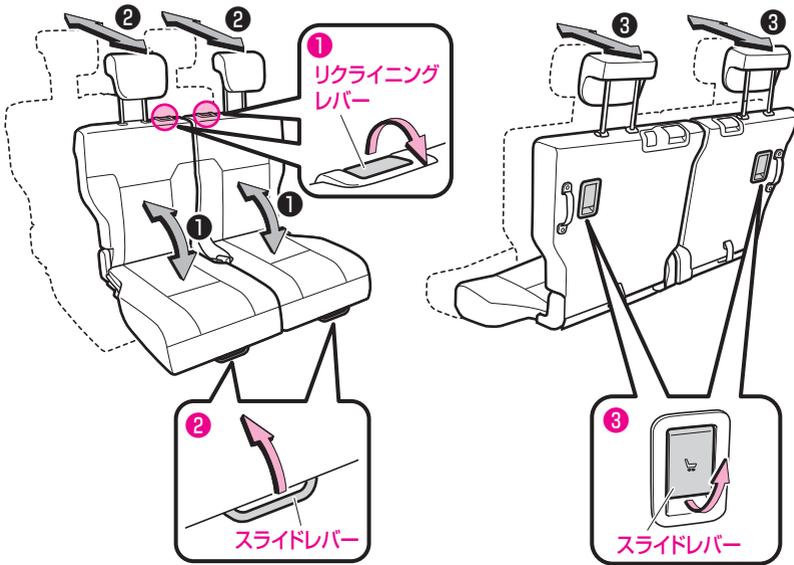
- リクライニングレバーを引き上げるときは背もたれにあまり力をかけないでください。背もたれに強い力がかかっていると急に背もたれが倒れ、けがをするおそれがあります。
- 背もたれが急に戻るおそれがありますので、必ず背もたれを手で押さえながら操作してください。

注意

シートを調整するときは

- 運転席と助手席の位置関係によっては、シート操作をしたときにアームレストが干渉して、シートが損傷するおそれがあります。

リヤシート



① リクライニング操作

- レバーを引き上げながら背もたれ角度を調整します。

② スライド操作

- レバーを引き上げながら、前後にシートをスライドします。

③ ラゲージルームからのスライド操作

- 背もたれ裏側のレバーを引き上げながら背もたれを持って、前後にシートをスライドします。

 **警告**

- 荷室には人を乗せないでください。人が乗る構造になっていないため、急ブレーキ時などに思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 荷物はフロントシートの背もたれより高く積まないでください。後方視界のさまたげになるだけでなく、急ブレーキ時などに前方に荷物が投げ出され、乗員に当たったり、荷物を損傷したり、荷物に気を取られたりして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- シートの調整は必ず走行前に行い、調整後はシートを前後に軽くゆすり、確実に固定されたことを確認してください。シートが固定されていないとシートが動き思わぬ事故につながるおそれがあります。

背もたれを調整するときは

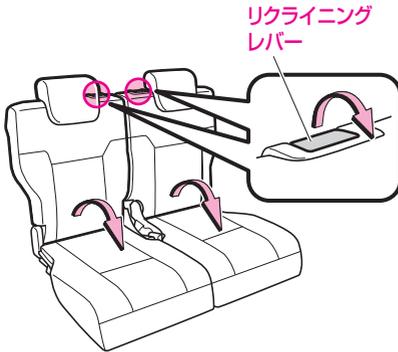
- 背もたれにあまり力をかけないでください。背もたれに強い力がかかっていると急に背もたれが倒れ、けがをするおそれがあります。

 **注意**

ラゲージルーム側からスライド調整するときは

- リヤシートに同乗者がいない状態で調整してください。

前倒しのしかた



- 1 ヘッドレストを一番下まで下げる
(リヤヘッドレスト→131ページ)
- 2 レバーを引きながら、背もたれを前方に倒す
 - 戻すときはリクライニングレバーを引きながら背もたれを起こし、固定してください。

警告

- 走行中はシートの操作を行わないでください。ブレーキをかけたときや衝突したときなどに、生命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- シートを操作するとき、または元に戻すときは、手や足などを挟まないように注意してください。
- 倒した背もたれの上、または荷室に人を乗せて走行しないでください。急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに、生命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

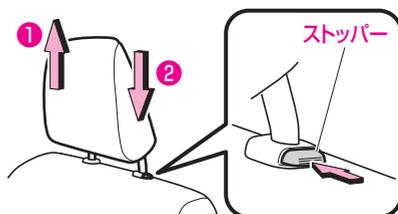
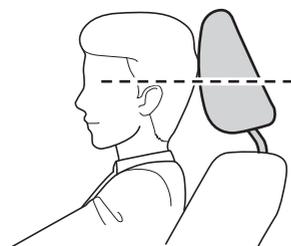
背もたれを元の位置に戻したあとは

- 背もたれが確実に固定されたことを確認してください。背もたれが固定されていないと、急ブレーキ時などに背もたれが倒れたり、荷室内の物が飛び出すなど、生命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

ヘッドレスト

フロントヘッドレスト

ヘッドレスト中央の高さが耳の後方になるようにヘッドレストの高さを調整します。



▼ 上下調整

①：上げる

②：下げる

● 下げるときは、ストッパーを押しながら操作します。

▼ 取り外すときは

● ストッパーを押しながらヘッドレストを引き抜きます。

⚠ 警告

- ヘッドレストを外した状態で走行しないでください。衝突時などに重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。走行前に必ず取り付け、ヘッドレスト中央の高さが耳の後方になるように高さを調整してください。
- ヘッドレストを前後逆に取り付けしないでください。いざというとき、効果を発揮しません。

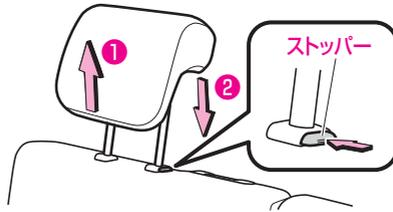
📖 知識

ヘッドレストを調整したあとは

- ヘッドレストを押し下げて固定されていることを確認してください。

リヤヘッドレスト

使用するときには、常に上げた位置にしてください。



▼ 上下調整

①：上げる

②：下げる

● 下げるときは、ストッパーを押しながら操作します。

▼ 取り外すときは

● ストッパーを押しながらヘッドレストを引き抜きます。

⚠ 警告

- リヤシートに人を乗せるときは、ヘッドレストを外したまま、または下げた状態のまま走行しないでください。衝突時などに、首に大きな衝撃が加わり、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。ヘッドレストは必ず上げた状態で使用してください。
- ヘッドレストを前後逆に取り付けしないでください。いざというとき、効果を発揮しません。

📖 知識

ヘッドレストを調整したあとは

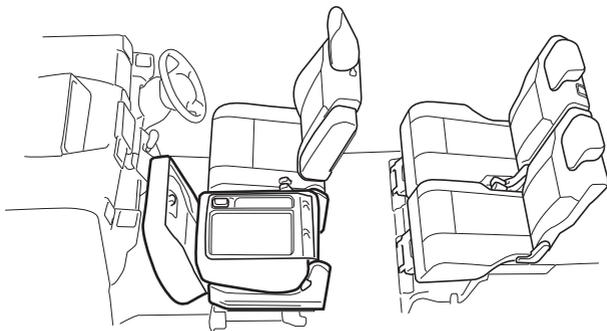
- ヘッドレストを押し下げて固定されていることを確認してください。

シートアレンジ

テーブルモード

助手席の背もたれを前に倒して、テーブルにする。

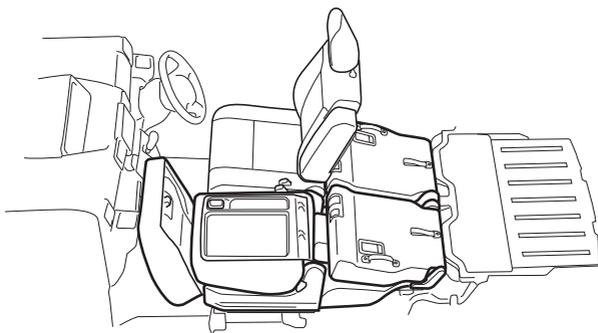
(テーブルモードにするには→ 134 ページ)



フラットラゲージモード

リヤシートを格納したあと、助手席をテーブルモードにする。

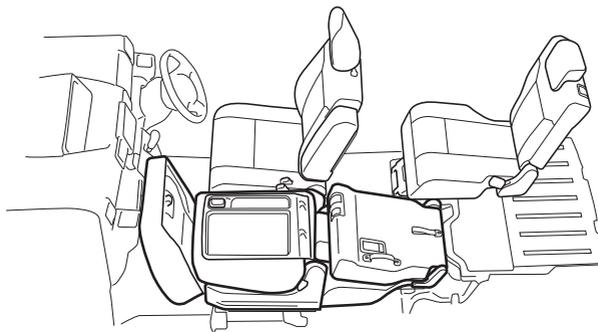
(フラットラゲージモード/ロングラゲージモードにするには→ 135 ページ)



ロングラゲージモード

助手席側のリヤシートを格納したあと、助手席をテーブルモードにする。

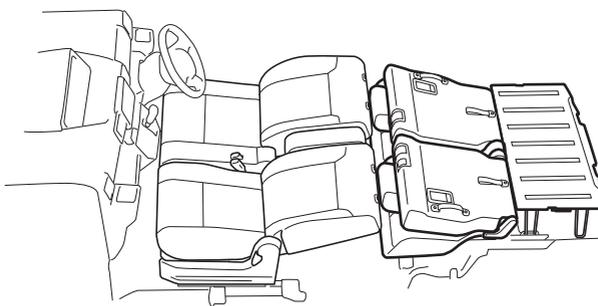
(フラットラゲージモード / ロングラゲージモードにするには→ 135 ページ)



フルフラットモード*

デッキボードの脚を立ててリヤシートの背もたれを前に倒したあと、フロントシートの背もたれを後ろに倒す。

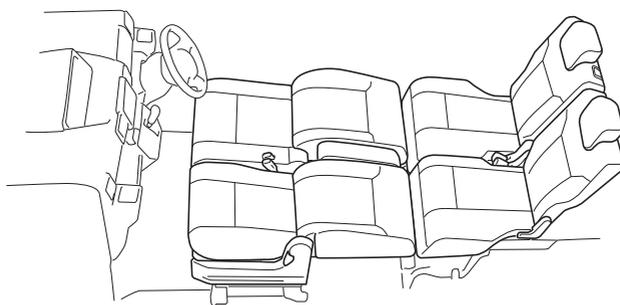
(フルフラットモードにするには→ 136 ページ)



ロングソファーマード

フロントシートの背もたれを後ろに倒して、フラットにする。

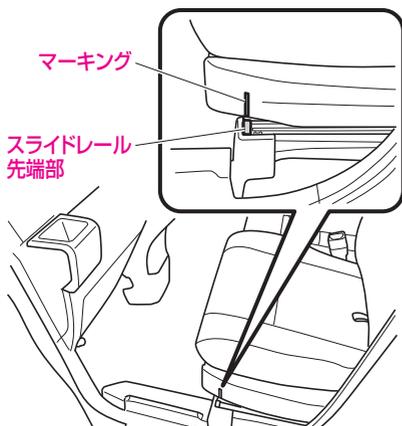
(ロングソファーマードにするには→ 137 ページ)



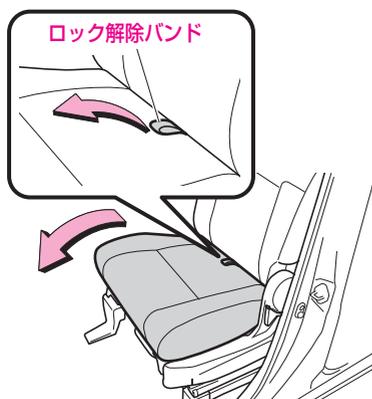
テーブルモードにするには

▼ 操作方法

- 1 助手席シートをスライドする
 - シート下部のマーキングをスライドレール先端部に合わせます。



- 2 ロック解除バンドを引いて、シートクッションを起こす

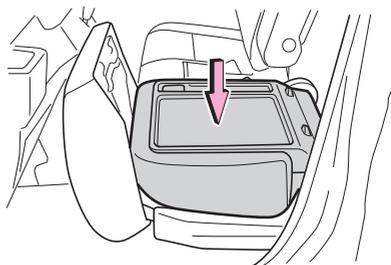


- 3 ヘッドレストを取り外す
(フロントヘッドレスト→ 130 ページ)

- 4 リクライニングレバーを引いて、背もたれを前に倒す



- 5 背もたれを上から押して固定する



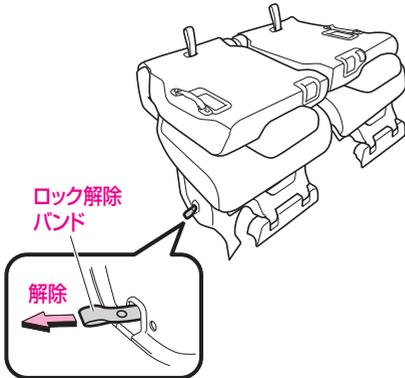
▼ 元に戻すときは

- 1 リクライニングレバーを引いて、背もたれを固定される位置まで引き上げる
- 2 シートクッションを上から押して固定する
- 3 ヘッドレストを取り付ける

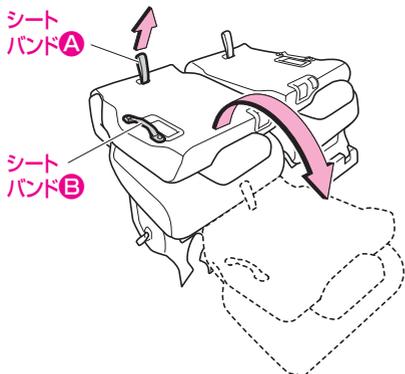
フラットラゲージモード / ロングラゲージモードにするには

▼ 操作方法

- 1 フロントシートを前方いっぱいまでスライドする
- 2 リヤシートを後方いっぱいまでスライドする
 - デッキボードが上段モードになっているときは、たたんでからスライドします。
- 3 リヤシートのヘッドレストを一番下まで下げる
- 4 リヤシートの背もたれを前に倒す
(前倒しのしかた→ 129 ページ)
- 5 ロック解除バンドを引いて、ロックを解除する



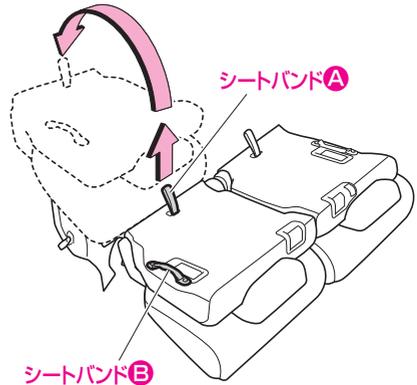
- 6 リヤシート前方から、シートバンドA・B両方を持ってシートを持ち上げ、車両前方に格納する



- 7 助手席シートをテーブルモードにする
(テーブルモードにするには → 134 ページ)

▼ 元に戻すときは

- 1 助手席シートを元に戻す
(テーブルモードにするには → 134 ページ)
- 2 フロントシートを前方いっぱいまでスライドする
- 3 リヤシート前方から、シートバンドA・B両方を持ってシートを持ち上げ、後方へ戻す

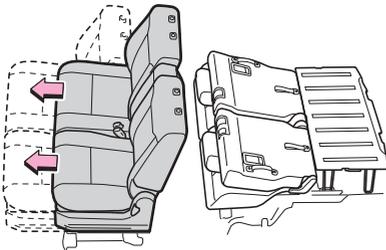


- 4 上から押して、リヤシートを固定する
- 5 リヤシートの背もたれを固定される位置まで起こす
(前倒しのしかた→ 129 ページ)

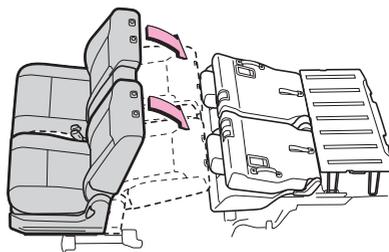
フルフラットモードにするには

▼ 操作方法

- 1 デッキボードを上段モードにする
(デッキボードを上段モードにするには
→ 312 ページ)
- 2 リヤシートの背もたれを前に倒す
(前倒しのしかた→ 129 ページ)
- 3 フロントヘッドレストを取り外して、アームレストを起こす
(ヘッドレスト→ 130 ページ)
(アームレスト→ 302 ページ)
- 4 フロントシートを前方いっぱいまでスライドする
(フロントシート→ 125 ページ)



5 フロントシートの背もたれを後ろに倒す



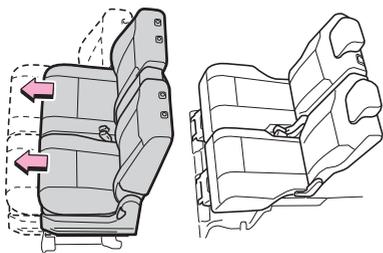
▼ 元に戻すときは

逆の手順で操作してください。

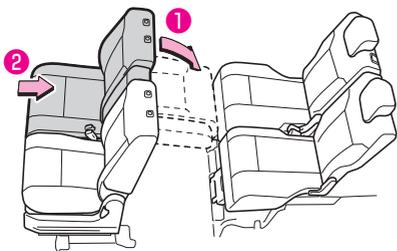
ロングソファーマードにするには

▼ 操作方法

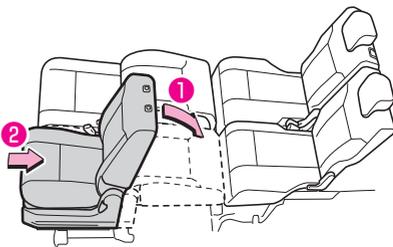
- 1 リヤシートを後方いっぱいまでスライドして、リヤシートの背もたれを後ろに倒す
(リヤシート→127ページ)
- 2 フロントヘッドレストを取り外して、アームレストを起こす
(ヘッドレスト→130ページ)
(アームレスト→302ページ)
- 3 運転席シートと助手席シートを前方いっぱいまでスライドする
(フロントシート→125ページ)



- 4 運転席の背もたれを後ろに倒したあと(①)、リヤシートに接触するまで後方へスライドする(②)

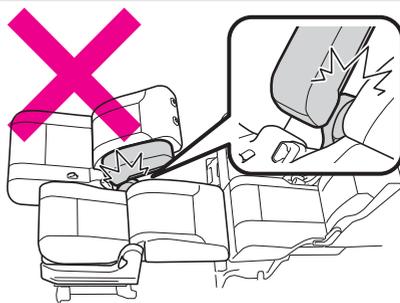


- 5 助手席の背もたれを後ろに倒したあと(①)、リヤシートに接触するまで後方へスライドする(②)



⚠ 注意

- 助手席を先に後方へスライドしないでください。運転席の背もたれを倒したときに、アームレストが干渉して損傷するおそれがあります。



▼ 元に戻すときは

逆の手順で操作してください。

警告

シートアレンジについて

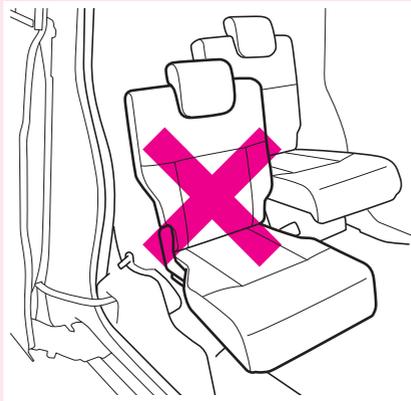
以下のことをお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 必ず平坦な場所でシフトレバーを **P** に入れて、パーキングブレーキを確実にかけてください。
- 走行中はシートアレンジ操作をしないでください。
- シートアレンジをしたあとは、シートを軽くゆさぶり確実に固定されていることを確認してください。
- 操作をするときには、可動部や結合部などに手や足などを挟まないように注意してください。
- 背もたれを倒すときは、背もたれにあまり力をかけないでください。背もたれに強い力がかかっていると急に背もたれが倒れ、けがをするおそれがあります。
- 背もたれを戻すときは、背もたれが急に戻るおそれがありますので、必ず背もたれを手で押さえながら操作してください。
- 倒した背もたれの上には乗らないでください。シートが損傷したり、思わぬけがをするおそれがあります。

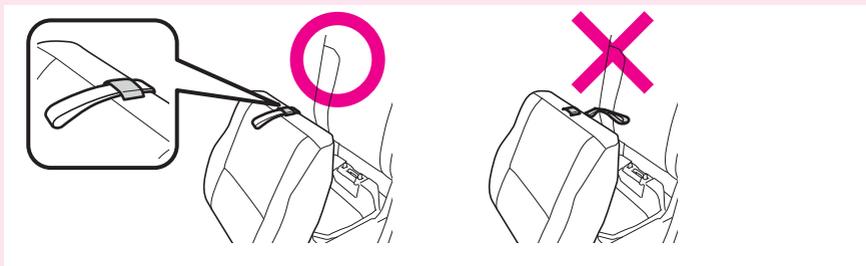
背もたれの前倒しについて（リヤシート）

- 倒した背もたれの上に人をのせて走行しないでください。
ブレーキをかけたときや衝突したときなどに、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- 背もたれだけを元に戻して、人を乗せないでください。リヤシートが固定されていないため、走行中にシートが動き思わぬ事故の原因となって、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。



警告**テーブルモードについて**

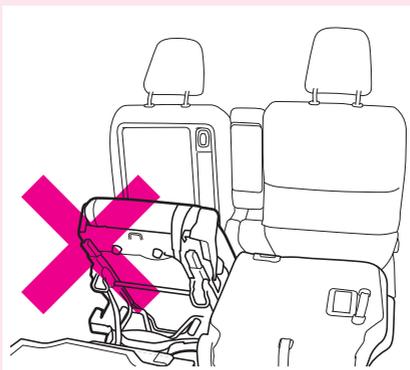
- 走行中はテーブルとして使用しないでください。
急ブレーキをかけたときに置いている物が落ち、思わぬ事故につながったり、熱い飲み物がこぼれるとやけどをするおそれがあります。
- テーブルの上には絶対に乗らないでください。シートが損傷したり、思わぬけがをするおそれがあります。
- シートクッションを戻すときは、ロック解除バンドが前方に垂れ下がっていることを確認してください。ロック解除バンドが後方に垂れ下がった状態でシートクッションを元に戻すとロックが破損してシートクッションが固定されないため思わぬ事故につながるおそれがあります。



- 背もたれが確実に固定されたことを確認してください。背もたれが固定されていないと、走行中に背もたれが動き思わぬけがをするおそれがあります。

フラットラゲージモード、ロングラゲージモードについて

- リヤシートの格納操作をするときは前（リヤシート）側から行ってください。後ろ（ラゲージルーム）側から操作すると、体がシートの重みで前方に引っぱられ、けがをするおそれがあります。
- リヤシートは立てた状態にしないでください。リヤシートが固定されていないためシートが急に倒れたり、シートクッション下の部品でけがをしたりするおそれがあります。



警告

フラットラゲージモード、ロングラゲージモードについて

- リヤシートを格納または元に戻すときは、シートクッション下を持たないでください。シートクッション下の部品でけがをするおそれがあります。

フルフラットモード、ロングソファモードについて

- 人を乗せたまま走行しないでください。急ブレーキ時など体が固定されず危険です。

注意

シートアレンジについて

- シートに人が乗っている状態でシート操作をしないでください。
- 運転席と助手席の位置関係によっては、シート操作をしたときにアームレストが干渉して、シートが損傷するおそれがあります。

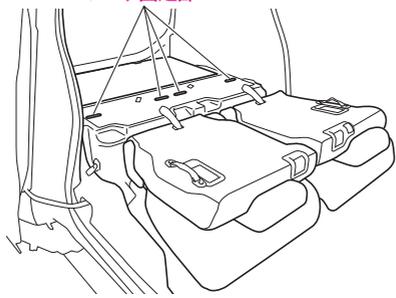
テーブルモードについて

- 運転席シートは無理に前倒ししないでください。前倒しできる機構ではないため、シートが破損するおそれがあります。

フラットラゲージモード、ロングラゲージモードについて

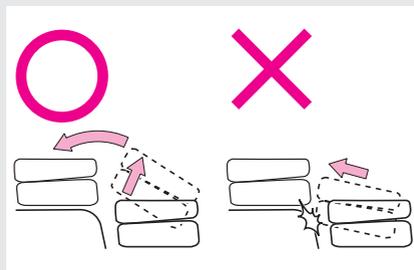
- リヤシートを格納しているときにフロントシートのスライド位置を調整するときは、リヤシートに当たるため一番後ろ側まで調整することができません。また、フロントシートを後ろ側へ調整させて背もたれを倒しすぎると、シートが破損するおそれがあります。
- リヤシートに戻す前に、フロアのシート固定部に異物が入っていないことを確認してください。異物が入っていると、ロックができなかったり、ロック機構が損傷したりするおそれがあります。
- リヤシートに戻すときは、シート固定部付近に荷物がないことを確認してください。リヤシートに戻す際に荷物が破損するおそれがあります。

シート固定部



⚠ 注意**フラットラゲージモード、ロングラゲージモードについて**

- リヤシートを元に戻すときは、必ず前（リヤシート）側からシートバンドを上方に引き上げて、元の位置に戻してください。後ろ（ラゲージルーム）側からシートバンドを後方に引き上げると、リヤシートと車体が干渉し車両を損傷するおそれがあります。



- リヤシートを格納するときは、リヤシートを後方いっぱいまでスライドしてから格納してください。リヤシートの位置が前方にあると、シートが干渉して破損するおそれがあります。

ロングソファーマードについて

- 安全な場所に車を止めて、休息するときに使用してください。
- フラットシートにした状態で、シートの上を走り回らないでください。また、シートの上を移動するときは、シートの中央を踏んでゆっくりと移動してください。シートを踏み外したり、シートの上に足を挟んだりしてけがをするおそれがあります。

ルームミラー

角度調整のしかた



ルームミラー全体を持って、角度を調整する

警告

- 走行中は、ルームミラーの調整をしないでください。運転を誤り思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

ドアミラー

エンジンスイッチが“ACC”または“ON”のときにミラーの角度調整と格納することができます。

警告

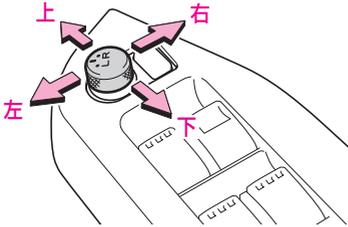
- 調整は必ず走行前に行ってください。走行中にミラーの調整を行うと、運転を誤り思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- ミラーを格納したまま走行しないでください。ミラーによる後方確認ができず事故につながるおそれがあり危険です。
- ミラーの操作を行う際は、ドアとミラーの間に手を挟まないように注意してください。

鏡面の角度調整のしかた

1 ノブを調整したい側にまわす



2 ノブを動かして、ミラーの角度を調整する

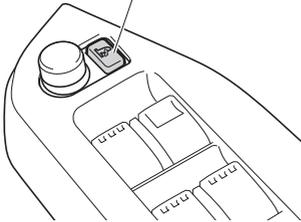


知識

- 調整するとき以外は、調整ノブを中立（中央）の位置に合わせておいてください。
- 中立（中央）の位置にすると調整操作ができません。

格納のしかた

ミラー格納スイッチ



- ミラー格納スイッチを押して格納する
- スイッチをもう一度押すと復帰する

オート格納式ドアミラー（キーフリーシステム連動）

キーフリーシステム装着車

キーフリーシステムのリクエストスイッチ（スライドドアのワンタッチスイッチ以外）やリモコン操作によるドアの施錠に連動して、ドアミラーが自動的に格納します。

また、エンジンスイッチを“ACC”または“ON”にすることにより、復帰させることができます。

ミラー格納スイッチでミラーを格納していないときに使用できます。

⚠ 注意

- ミラーを元に戻すときは、ドアミラー周辺に障害物がないことを確認してください。ドアミラーが当たり、破損するおそれがあります。

📖 知識

- エンジンスイッチを“ON”にしたときのみ、ドアミラーを元に戻すようにすることができます。（ミラー格納スイッチの操作も、エンジンスイッチを“ON”にしたときのみ可能になります）トヨタ販売店にご相談ください。

オート格納機能の ON (作動)・OFF (非作動) 切り替え方法

次の手順でオート格納機能の ON (作動)・OFF (非作動) が交互に切りかわります。

▼ 操作の前に

車両を次の状態にしてください。

- 車幅灯を消灯する
- エンジンスイッチを“OFF”にする
- ミラー格納スイッチを解除（押し込まれていない状態）する

▼ 機能の切り替え方法



- 1 エンジンスイッチを“ACC”にする（ブレーキペダルを踏まずに、プッシュボタンスタートスイッチを 1 回押します）
- 2 “ACC”にしてから約 5 秒以内に、車幅灯を点灯・再度消灯する
- 3 消灯してから約 5 秒以内に、ミラー格納スイッチを押す
- 4 ブザー音の回数を確認する
 - 1 回：OFF（非作動）
 - 2 回：ON（作動）

📖 知識

- 操作を途中で中断したときは、もう一度はじめからやり直してください。
- 機能の復帰操作を行っても、ブザーが 1 回しか鳴らず復帰しない場合は、トヨタ販売店にご相談ください。

ヒータードアミラー

オプション/グレード別装備

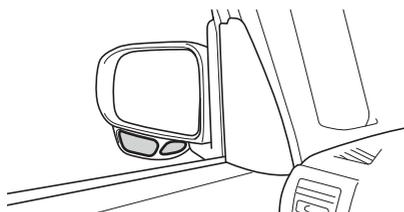
雨天時など、ドアミラーが曇ったときに使用します。

リヤウインドデフォグガススイッチを押すことで、ドアミラーが暖められ曇りが取れます。

(リヤウインドデフォグガススイッチ→277 ページ)

サイドアンダーミラー

助手席側ドアミラー下部に装着されています。

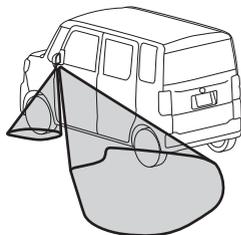


停車時や発進時、路肩に寄せるときなどに車両左側下部を確認することができます。

知識

- サイドアンダーミラーは下向きになっています。
- サイドアンダーミラーの角度調整は不要です。

見える範囲



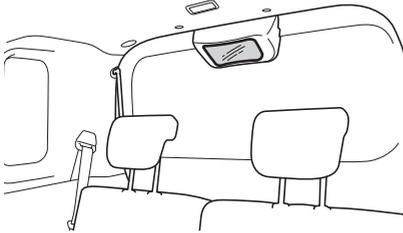
ミラーを見る姿勢によって、見える範囲は異なります。

注意

- 見える範囲には限界があるため、周囲の安全確認は直接目視するか、ルームミラー、ドアミラー、リアアンダーミラーなども併用して十分行ってください。

リヤアンダーミラー

バックドア内部に装着されています。

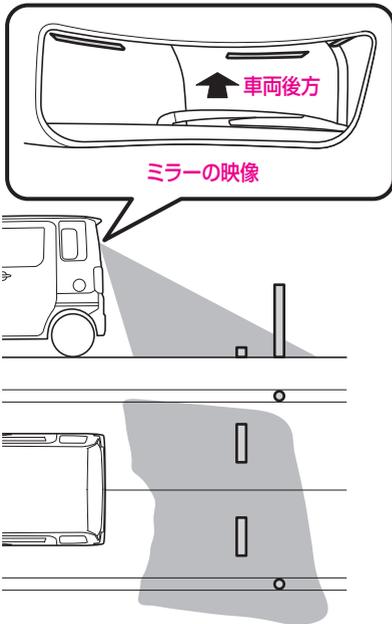


車両後方付近を確認することができます。

知識

- リヤアンダーミラーの角度調整は不要です。

見える範囲



- ミラーを見る姿勢によって、見える範囲は異なります。
- パンパーから約 40cm までの範囲は映りません。

注意

- 見える範囲には限界があるため、周囲の安全確認は直接目視するか、ルームミラー、ドアミラーなども併用して十分行ってください。

チルトステアリング

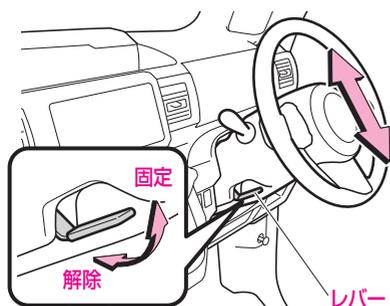
オプション/グレード別装備

ハンドルの位置を運転しやすいように調整できます。

警告

- 走行中はハンドル位置の調整をしないでください。調整中に運転を誤り思わぬ事故の原因となるおそれがあり危険です。
- ハンドル位置の調整をしたあとは、確実に固定されていることを確認してください。固定が不十分だとハンドル位置が突然変わり、思わぬ事故の原因となるおそれがあり危険です。

調整のしかた



- 1 レバーを押し下げる
- 2 ハンドルを上下に動かし適切な位置に調整する
- 3 レバーを引き上げ固定する

計器類とスイッチ

警告灯、表示灯

警告灯 150

表示灯 161

メーターのはたらき

メーター 168

スイッチの使いかた

ライトスイッチ 181

フォグランプスイッチ 185

ワイパー・ウォッシャー

スイッチ 185

ホーンスイッチ 188

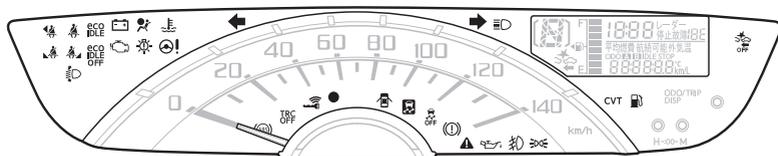
方向指示スイッチ 188

非常点滅灯スイッチ 189

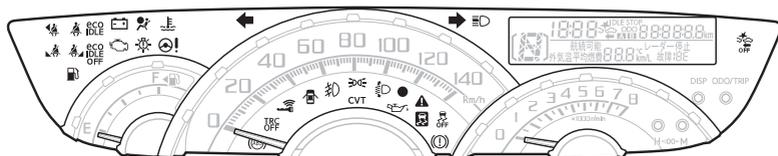
警告灯、表示灯

警告灯、表示灯の有無やメーターのデザインは、グレードやオプション装備により一部異なることがあります。

タコメーターなし車



タコメーター付き車



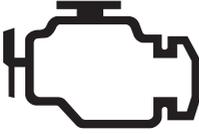
警告灯

さまざまなシステムの異常や、安全運転に関わる項目をメーター内に警告表示します。

⚠ 警告

- 警告灯が点灯（または点滅）したまま走行すると、思わぬ事故を引き起こしたり、車両が損傷するおそれがあります。
この場合、それぞれの警告灯の項目にしたがい、処置を行ってください。
- エンジンスイッチを“ON”にしても警告灯が点灯（または点滅）しないときは、トヨタ販売店で点検を受けてください。

エンジン警告灯



- エンジンスイッチを“ON”にすると点灯し、エンジンを始動すると消灯します。
- エンジンが回転中で、エンジン電子制御システムに異常があると点灯、または点滅します。

⚠ 注意

点灯・点滅した場合

- ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

油圧警告灯



- エンジンスイッチを“ON”にすると点灯し、エンジンを始動すると消灯します。
- エンジンが回転中で、エンジン内部を潤滑しているエンジンオイルの圧力が低下すると点灯します。

⚠ 注意

点灯した場合

- そのまま走行すると、エンジンが故障するおそれがあります。
ただちに安全な場所に停車し、エンジンを停止して、トヨタ販売店にご連絡ください。

📖 知識

- 油圧警告灯は、オイル量を示すものではありません。オイル量の点検は、オイルレベルゲージで行ってください。
(オイル量の点検方法は、別冊の「メンテナンスノート」参照)

充電警告灯



- エンジンスイッチを“ON”にすると点灯し、エンジンを始動すると消灯します。
- エンジンが回転中で、充電系統に異常（ベルトののび、損傷など）があると点灯します。

⚠ 注意

点灯した場合

- ただちに安全な場所に停車して、トヨタ販売店にご連絡ください。

📖 知識

- エンジン始動後に警告灯がしばらく点灯しても、その後、消灯すれば異常ではありません。

ブレーキ警告灯



- エンジンスイッチを“ON”にすると点灯し、駐車ブレーキを完全に解除すると消灯します。
 - エンジンスイッチが“ON”で、下記の場合に点灯します。
 - 駐車ブレーキが完全に解除されていないとき
 - ブレーキ液の液量が不足しているとき
 - EBD 制御に異常があるとき
(ABS (EBD 機能付) → 212 ページ)
- ▼ 駐車ブレーキが解除されている場合
エンジンスイッチを“ON”にすると点灯し、数秒後に消灯します。

警告ブザー

駐車ブレーキが完全に解除されていない状態（警告灯が点灯している状態）で、約 5km/h 以上で走行すると、ブザーが鳴ります。

駐車ブレーキを解除すると、ブザーが鳴りやみます。

⚠ 警告

エンジン回転中、駐車ブレーキを解除しても、点灯したまま消灯しない場合

- ブレーキ液量の不足が考えられます。
この場合、ブレーキの効きが悪くなっているおそれがあります。
効きが悪いときは、ブレーキペダルを強く踏み、ただちに安全な場所に停車して、トヨタ販売店にご連絡ください。

ABS 警告灯と同時に点灯した場合

- 強めのブレーキの際に車両が不安定になるおそれがあります。
ただちに安全な場所に停車して、トヨタ販売店にご連絡ください。

⚠ 注意

- 制動時、常に異音（キーキー音など）が発生するときは、ブレーキパッドの摩耗が考えられます。
ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

水温警告灯 (赤色)



- エンジンスイッチを“ON”にすると赤色に点灯し、数秒後に消灯します。
- エンジンスイッチが“ON”で、エンジン冷却水温が異常に高くなると赤色に点滅し、その後、さらに水温が高くなると点灯に変わります。

⚠ 注意

赤色に点滅・点灯した場合

- エンジン冷却水温の異常な上昇によるオーバーヒートが考えられます。ただちに安全な場所に停車して、処置を行ってください。

(オーバーヒートの処置 → 396 ページ)

📖 知識

エンジン冷却水温が低いときは

- 水温表示灯としてはたらき、緑色に点灯します。

(水温表示灯 (緑色) → 163 ページ)

警告ブザー

エンジン冷却水温の異常な上昇により、警告灯が赤色点滅、または赤色点灯しているときは、ブザーが鳴ります。

📖 知識

- ブザーは警告灯が赤色点滅時は断続的に鳴り、警告灯が赤色点灯になると同時に連続音に変わります。

オートマチックトランスミッション警告灯

CVT

- エンジンスイッチを“ON”にすると点灯し、数秒後に消灯します。
- エンジンスイッチが“ON”で、オートマチックトランスミッションシステムに異常があると点滅します。

⚠ 注意

点滅した場合

- ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

シートベルト締め忘れ警告灯（運転席・助手席）



助手席



運転席

- エンジンスイッチが“ON”で、運転席の乗員がシートベルトを装着していないと点滅します。
- エンジンスイッチが“ON”で、助手席に乗車してシートベルトを装着していないと点滅します。
- エンジンスイッチが“ON”で、シートベルトを着用すると消灯します。

📖 知識

助手席の乗員検知センサーについて

- 助手席シート座面に、ある一定の重量がかかったときに検知します。このため、荷物などを置いた場合にも検知し、警告灯が点滅することがあります。
- 助手席シート座面上に座布団などを敷くと、重量が分散され、センサーが乗員を検知しない場合があります。

運転席・助手席警告ブザー

運転席および助手席のシートベルトを着用していない状態（警告灯が点滅状態）で、約20km/h以上で走行すると、ブザーが約2分間鳴ります。

📖 知識

- 一度警告ブザーが鳴ると、たとえ約20km/h以下で走行しても、約2分間鳴り続けますので、走行するときは必ずシートベルトを着用してください。
- ブザーが鳴り始めてから、約30秒後に断続音の速さが変わります。

シートベルト締め忘れ警告灯（後席）



助手席側



運転席側

- エンジンスイッチが“ON”で、下記の場合に点灯します。
 - 後席シートベルトを着用していない状態で、スライドドアを開閉したとき
 - 後席シートベルトを着用後、外したとき
- 後席シートベルトを着用すると消灯します。
- 走行中に点灯した場合は、約 30 秒間経過すると消灯します。

知識

- エンジンスイッチが“OFF”でスライドドアを開閉した場合でも、開閉後約 1 時間以内に後席シートベルトを着用していない状態でエンジンスイッチを“ON”にすると、警告灯が点灯します。

後席シートベルト閉め忘れ警告ブザー

約 5km/h 以上で走行中に、乗員が後席シートベルトの着用を外すと、ブザーが約 30 秒間鳴ります。ブザーが鳴っている間に後席シートベルトを着用してください。

知識

- 一度警告ブザーが鳴ると、たとえ約 5km/h 以下で走行しても、約 30 秒間鳴り続けます。
- 後席に乗車されるかたは、必ず後席シートベルトを着用してください。
- スライドドアを開閉するとブザーが停止します。

半ドア警告灯



エンジンスイッチに関係なく、いずれかのドアを開けると点灯し、すべてのドアを完全に閉めると消灯します。

⚠ 警告

点灯した場合

- 警告灯が点灯したまま走行しないでください。ドアが確実に閉まっていないため、走行中にドアが開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

点灯した場合

- 警告灯が点灯した場合は、もう一度ドアを閉めなおして、警告灯が消灯したことを確認してください。
消灯しないときや、再び点灯するときは、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

📖 知識

バッテリーあがりを防ぐために

- エンジンスイッチが“OFF”または“ACC”で、ドアを開けたまま約 10 分が経過すると、警告灯が自動的に消灯します。

燃料残量警告灯



エンジンスイッチが“ON”のとき、燃料残量が約 6ℓ以下になると、燃料残量警告灯が点滅した後、点灯します。

(燃料計→170 ページ)

⚠ 注意

点灯した場合

- ただちに燃料を給油してください。

📖 知識

- 坂道やカーブなどでは、タンク内の燃料が移動するため、警告灯が早めに点灯することがあります。

警告ブザー

燃料残量警告灯が点滅すると、ブザーが鳴ります。

ABS 警告灯



- エンジンスイッチを“ON”にすると点灯し、数秒後に消灯します。
- エンジンスイッチが“ON”で、ABSに異常があると点灯します。

⚠ 警告

ブレーキ警告灯と同時に点灯した場合

- ABSに異常があるだけでなく、強めのブレーキの際に車両が不安定になるおそれがあります。ただちに安全な場所に停車して、トヨタ販売店にご連絡ください。

⚠ 注意

点灯した場合

- 通常のブレーキとしての性能は確保されていますが（ABSとしての作動はしません）、トヨタ販売店で点検を受けてください。

📖 知識

- エンジン始動後に警告灯が数秒間点灯しても、その後、消灯すれば異常ではありません。ただし、同じ現象が再度発生した場合は、トヨタ販売店で点検を受けてください。

SRS エアバッグ警告灯



- エンジンスイッチを“ON”にすると点灯し、数秒後に消灯します。
- エンジンスイッチが“ON”で、下記のシステムに異常があると点灯します。
- ▼ 異常があると点灯するシステム
- SRS エアバッグ
(SRS エアバッグ→ 53 ページ)
- プリテンショナー機構
(プリテンショナー機構→ 37 ページ)

⚠ 注意

点灯した場合

- ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

LED ヘッドランプ警告灯



- エンジンスイッチを“ON”にすると点灯し、数秒後に消灯します。
- エンジンスイッチが“ON”で、ライトスイッチが“D”または“AUTO”のとき、LED ヘッドランプに異常があると点灯します。

⚠ 注意

点灯した場合

- ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

📖 知識

- ライトスイッチを“OFF”にしても、エンジンスイッチを“OFF”にするまで点灯し続けます。

ロービーム・オートレベリング警告灯



- エンジンスイッチを“ON”にすると点灯し、数秒後に消灯します。
- エンジンスイッチが“ON”で、ロービーム・オートレベリング機能に異常があると点灯します。

(ロービーム・オートレベリング機能
→ 184 ページ)

⚠ 注意

走行中に点灯した場合

- ただちに安全な場所に停車し、いったんエンジンを止めてください。
再度エンジンスイッチを“ON”にしたとき、警告灯が数秒間点灯したあとに消灯すれば、そのまま走行することができます。消灯しないときや、再び点灯するときは、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

電動パワーステアリング警告灯



- エンジンスイッチを“ON”にすると点灯し、エンジンを始動すると数秒後に消灯します。
- エンジンが回転中で、電動パワーステアリングシステムに異常があると点灯します。

⚠ 注意

- 停車中や微低速走行中にハンドル操作を繰り返したり、ハンドルに力をかけたまま保持すると、モーターやコンピューターの過熱を防止するため、パワーステアリング制御が制限され、ハンドル操作が重くなります。この場合、しばらくハンドル操作を控えてください。ハンドル操作をしないまま約 10 分が経過すると、通常の重さに戻ります。

点灯した場合

- ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

📖 知識

- ハンドル操作を行ったとき、モーター音（「ウィーン」という音）が聞こえることがあります。これは、パワーステアリングモーターが作動しているときの音で、異常ではありません。

VSC & TRC 警告灯



- (VSC & TRC 警告灯 → 217 ページ)
- (VSC → 214 ページ)
- (TRC → 215 ページ)

スマートアシスト警告灯

スマートアシスト装着車



- (スマートアシスト警告灯 → 238 ページ)
- (スマートアシスト → 220 ページ)

キーフリー電池残量警告灯

キーフリーシステム装着車



- (キーフリー電池残量警告 → 85 ページ)

表示灯

車両のさまざまな状態をメーター内に表示します。

警告

- 表示灯によっては、点灯（または点滅）したまま走行すると、思わぬ事故を引き起こしたり、車両が損傷するおそれがあります。
この場合、それぞれの表示灯の項目にしたがい、処置を行ってください。
- 点灯操作を行っても、表示灯が点灯しないときは、トヨタ販売店で点検を受けてください。

方向指示表示灯・非常点滅表示灯



方向指示表示灯

エンジンスイッチが“ON”で、方向指示灯を点滅させると、同時に表示灯が点滅します。

非常点滅表示灯

- エンジンスイッチに関係なく、非常点滅灯を点滅させると、同時に左右の表示灯が点滅します。
- 約 60km/h 以上で走行中に急ブレーキをかけると、自動で非常点滅灯が高速点滅し、同時に左右の表示灯が高速点滅します。

(エマージェンシーストップシグナル
→ 243 ページ)

知識

点滅する間隔が異常に速くなった場合

- 方向指示灯（非常点滅灯）の電球切れが考えられます。すべての方向指示灯が点滅するか確認してください。

ヘッドランプ上向き表示灯



エンジンスイッチに関係なく、ヘッドランプを上向きの状態にすると点灯します。

テールインジケーター



エンジンスイッチに関係なく、車幅灯を点灯させると点灯します。

フォグランプ表示灯

オプション / グレード別装備



エンジンスイッチに関係なく、フォグランプを点灯させると点灯します。

(フォグランプスイッチ→185 ページ)

水温表示灯（緑色）



- エンジンスイッチが“ON”で、エンジン冷却水温が低いとき、緑色に点灯します。
- エンジンスイッチが“ON”で、暖機を十分続けていても、水温センサー等に異常があると点滅、または点灯したままになります。

⚠ 注意

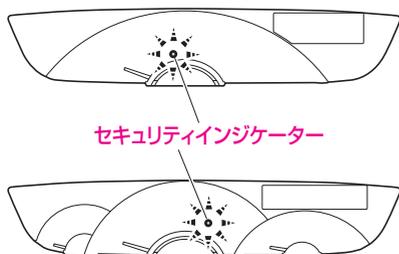
- エンジン冷却水温が低い間は、急激な空ぶかし、急加速、高速走行はしないでください。
暖機を十分続けていても緑色に点滅・点灯したままの場合
- ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

📖 知識

エンジン冷却水温が異常に高いときは

- 水温警告灯としてはたらき、赤色に点滅・点灯します。
(水温警告灯(赤色) → 154 ページ)

セキュリティインジケータ



キーレスエントリー装着車

(セキュリティアラーム→ 65 ページ)

キーフリーシステム装着車

- エンジンスイッチを“ACC”から“OFF”にして、イモビライザー機能を作動させると点滅します。
- エンジンスイッチを“OFF”から“ACC”にして、イモビライザー機能を解除すると消灯します。

(イモビライザー機能→ 64 ページ)

知識

- リクエストスイッチ操作またはキーのリモコン操作でドアを施錠してセキュリティアラームがセットされると、約 30 秒間点灯に変わります。

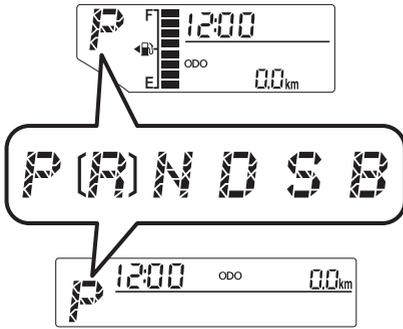
(セキュリティアラーム→ 65 ページ)

キーフリーシステム装着車について

- エンジンスイッチが“ACC”または“ON”のときに、電子カードキーの持ち出しを検知すると、高速点滅します。(同時にブザーが鳴ります)
- エンジンスイッチを押したときに、電子カードキーが検知できないと高速点滅します。電子カードキーの状態を確認してください。

(警告ブザー、メーター表示による警告→ 82 ページ)

オートマチックシフトインジケータ



- エンジンスイッチが“ON” のとき、使用中のシフトレバーの位置が点灯します。
- ④レンジにすると、“[]” が点滅します。

eco IDLE 表示灯

(eco IDLE 表示灯→ 252 ページ)

eco
IDLE

eco IDLE OFF 表示灯

(eco IDLE OFF 表示灯→ 253 ページ)

eco
IDLE
OFF

スリップインジケーター



(点滅)

(スリップインジケーター→217ページ)

(VSC→214ページ)

(TRC→215ページ)

VSC OFF 表示灯



(VSC OFF 表示灯→218ページ)

(VSC→214ページ)

TRC OFF 表示灯

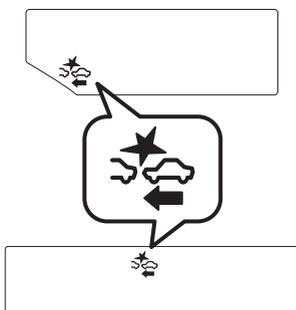


(TRC OFF 表示灯→218ページ)

(TRC→215ページ)

スマートアシスト作動灯

スマートアシスト装着車



(スマートアシスト作動灯
→238ページ)

(スマートアシスト→220ページ)

スマートアシスト OFF 表示灯

スマートアシスト装着車



(スマートアシスト OFF 表示灯
→ 239 ページ)
(スマートアシスト→ 220 ページ)

レーダー“故障”表示

スマートアシスト装着車



(レーダー“故障”表示→ 239 ページ)
(スマートアシスト→ 220 ページ)



レーダー“停止”表示

スマートアシスト装着車



(レーダー“停止”表示→ 240 ページ)
(スマートアシスト→ 220 ページ)

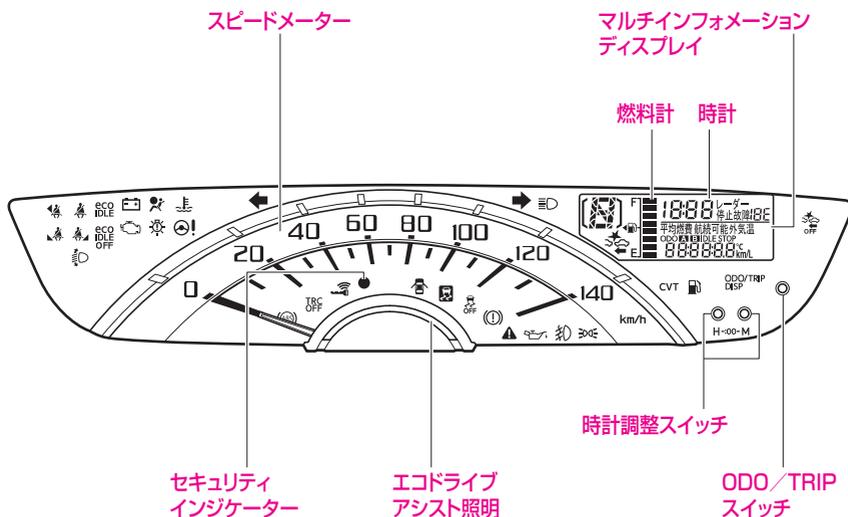


メーターのはたらき

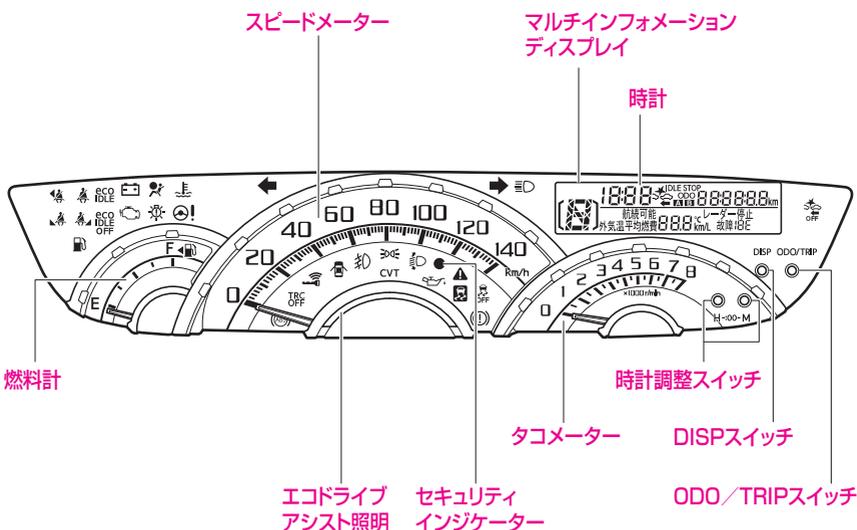
メーター

表示灯、警告灯の有無やメーターのデザインは、グレードやオプション装備により一部異なることがあります。

タコメーターなし車



タコメーター付き車



 知識

エンジンスイッチ“ON”時のメーター演出

タコメーター付き車

- メーターの全ての指針が一度最大値を指し、すみやかに戻ります。

メーター照明

- エンジンスイッチを“ON”にすると点灯し、“ACC”または“OFF”にすると、消灯します。
- メーター照明が点灯しているときに車幅灯を点灯させると、メーター照明が減光します。

 知識

- ライトの点灯・消灯の確認は、テールインジケーターで行ってください。
(テールインジケーター→162ページ)
- メーター照明の照度は調整することができます。また、車幅灯を点灯させたときに、減光しないようにすることもできます。

(照度調整→178ページ)

スピードメーター

走行速度を km/h で表示します。

タコメーター

オプション/グレード別装備

1分間当たりのエンジン回転数を示します。

 注意

- 指針が赤色表示域(エンジンが許容回転数を超える範囲)に入らないよう運転してください。赤色表示域に入ると、エンジンが損傷するおそれがあります。

燃料計

エンジンスイッチが“ON”のとき、燃料残量を表示します。

燃料が少なくなると、燃料残量警告灯が点滅・点灯します。

(燃料残量警告灯→157ページ)

タコメーターなし車



エンジンスイッチが“ON”のとき、燃料が残り少なくなると、警告灯が点灯すると同時に、燃料計の一番下の目盛りが点滅し、さらに燃料が少なくなると点滅が速くなります。

⚠ 注意

燃料残量警告灯が点灯した場合

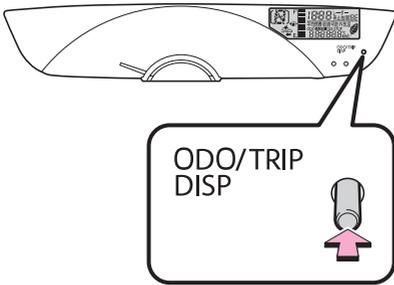
- ただちに燃料を給油してください。

マルチインフォメーションディスプレイ

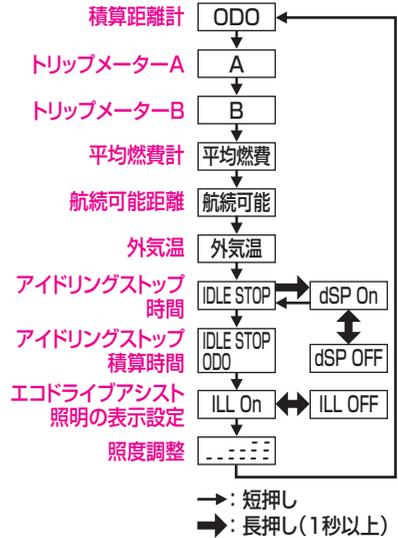
エンジンスイッチが“ON” のとき表示します。

タコメーターなし車

- ODO/TRIP スイッチを押すごとに、表示が切り替わります。

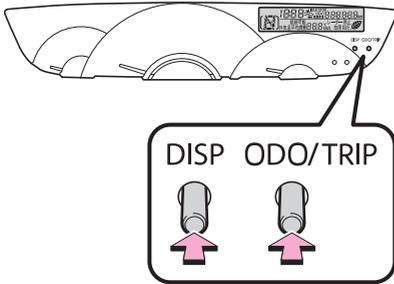


- ▼ ODO/TRIP スイッチによる切り替わりかた

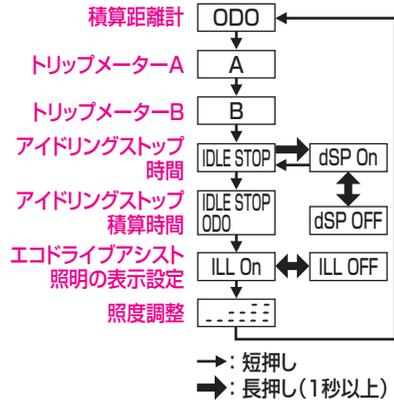


タコメーター付き車

- ODO/TRIP スイッチまたは DISP スイッチを押すごとに、表示が切り替わります。



- ▼ ODO/TRIP スイッチによる切り替わりかた



- ▼ DISP スイッチによる切り替わりかた



オドメーター (積算距離計)

走行した総距離を表示します。

トリップメーター (区間距離計)

リセットした地点からの走行距離を表示します。

- トリップメーターは、同時に2つの区間の走行距離を表示することができます。

- ▼ トリップメーター表示をリセットするには
- リセットするトリップメーター(AまたはB)を表示させ、ODO/TRIP スイッチを押し続けると、表示が“0.0”になります。

平均燃費

表示をリセットしてからの平均燃費を約 10 秒ごとに更新して表示します。



▼ 平均燃費表示をリセットするには

平均燃費を表示させ、タコメーターなし車は ODO/TRIP 切り替えスイッチ（タコメーター付き車は DISP スイッチ）を約 1 秒以上押し続けると、表示が「0.0km/L」になります。

知識

- エンジンスイッチを“ON”にした直後は、前回エンジンを停止したときの値を表示します。
- 最大表示は、「99.9km/L」です。
- 表示を更新するときにデータが受信できない、または無効なデータを受信した場合は、平均燃費が表示されません。

航続可能距離

現在の燃料残量と過去の燃費から航続可能距離を算出します。



知識

- 航続可能距離がまだ十分走行できる数値であっても、燃料計が“E”に近付くか、燃料残量警告灯が点灯したら、早めに燃料を補給してください。
- 表示の更新時間は、運転状況（走行中・停車中）によって異なります。
- 新車を受け取った際に、航続可能距離として表示される数値は正しい数値を表示しないことがあります。
- 表示される航続可能距離は、過去の燃費をもとに計算しているため、運転方法・道路状況により増減することがあります。
- 燃料給油量が少量の場合、表示が更新されないことがあります。
- 最大表示は、「999km」です。
- 異常検出したときは、航続可能距離がしばらく表示されないことがあります。
- バッテリーとの接続が断たれたときは、学習した燃費はリセットされます。

外気温

外気温度を表示します。



▼ 路面凍結警告表示

外気温度が3°C以下になると、温度表示が点滅し、路面凍結の可能性のあることをお知らせします。

3°C
(点滅)

知識

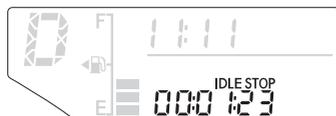
- ほかの計測装置により計測した外気温とは、異なることがあります。
- エンジンスイッチを“ON”にした直後は、外気温が表示されないことがあります。
- 表示範囲は、「-30～50°C」です。
- 異常検出したときの表示は、「-1°C」です。
- 下記の場合は、正しい外気温が表示されないことがあります。
 - 停車しているときや低速走行しているとき
 - 外気温が急激に変化したとき（トンネルの出入り口付近など）
- 実際の外気温が変化していなくても、車両の状態（車速・風向きなど）により、外気温表示が変動することがあります。

路面凍結警告表示

- 路面凍結警告表示は目安です。必ず路面状況を確認してください。
- エンジンスイッチを“ON”にしたとき、外気温度がすでに3°C以下の場合、警告表示されません。
- 路面凍結警告がいったん表示されると、外気温度が4°C以上に上がってから、3°C以下に下がらないと再び警告表示されません。

■ アイドリングストップ時間

エンジンスイッチを“ON”にしてからの eco IDLE によるアイドリングストップ時間を表示します。



▼ アイドリングストップ時間表示のリセットについて

- エンジンスイッチを“OFF”にすると、表示がリセットされます。
- リセット後、エンジンスイッチを“ON”にすると、表示が“00:00:00”になります。

▼ アイドリングストップ時間の自動表示について

アイドリングストップ時間自動表示の設定が“dSP On”のとき、eco IDLE によるアイドリングストップ中に、自動でアイドリングストップ時間を表示します。

知識

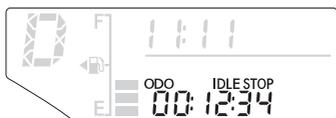
アイドリングストップ時間自動表示を解除するには

- アイドリングストップ時間を表示させ、ODO/TRIP スイッチを約 1 秒以上押すと自動表示設定画面になります。さらに約 1 秒以上押すごとに“dSP On”、“dSP OFF”が切り替わります。

表示	eco IDLEによるアイドリングストップ中の自動表示
dSP On	する
dSP OFF	しない

■ アイドリングストップ積算時間

表示をリセットしてからの eco IDLE によるアイドリングストップ積算時間を表示します。



▼ アイドリングストップ積算時間表示をリセットするには

- アイドリングストップ積算時間を表示させ、ODO/TRIP スイッチを押し続けると、表示が“00:00:00”になります。

■ エコドライブ*アシスト照明の表示設定



ILL On (または ILL OFF) を表示させて、ODO/TRIP スイッチを約 1 秒以上押し続けるごとに、“ILL On”、“ILL OFF” が切り替わります。

(エコドライブアシスト照明
→ 180 ページ)

照度調整

メーター照度を調整します。

▼ **操作方法**

明るさ	表示	照度レベル
明るい  暗い		レベル1
		レベル2
		レベル3
		レベル4
		レベル5

照度調整表示中、ODO/TRIP スイッチを約 1 秒以上押し続けている間、メーター照明の明るさが左表のように変わります。

▼ **照度調整**

メーター照明は、昼間用、および夜間用としてそれぞれ設定することができます。

昼間用

車幅灯を消灯して調整します。

夜間用

車幅灯を点灯して調整します。

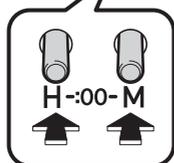
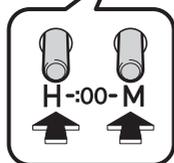
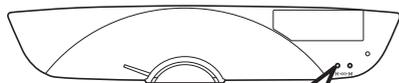
 **知識**

- 夜間用の設定を“レベル 1”にすると、車幅灯を点灯させたときに、メーター照明が減光しません。

時計

エンジンスイッチが“ON”のとき、時計を表示します。

- 時計調整スイッチを押して、時計を調整します。



▼“時”を調整する

時計調整“H”スイッチを押します。

- スイッチを押すごとに、数字が1つずつ大きくなります。
(押し続けると、早送りします)

▼“分”を調整する

時計調整“M”スイッチを押します。

- スイッチを押すごとに、数字が1つずつ大きくなります。
(押し続けると、早送りします)

▼時報“:00”に合わせる

時計調整“H”スイッチと“M”スイッチを同時に約1秒以上押します。

(例) 1:00 ~ 1:29 → 1:00

(例) 1:30 ~ 1:59 → 2:00

- 時報合わせが完了すると、“時”“分”が2回点滅します。

1:00

(点滅)

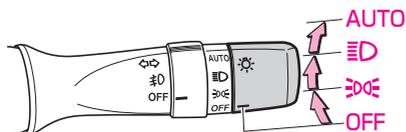
知識

- バッテリー交換やヒューズ交換などで、バッテリーとの接続が断たれたときは、時計表示がリセットされ、“1:00”が表示されます。

スイッチの使いかた

ライトスイッチ

ライトの点灯



▼ 操作方法

- スイッチを回すと、下表のライト類が点灯します。

ライト スイッチ位置	前照灯	車幅灯 番号灯 尾灯
AUTO*	自動点灯・消灯	
☰☉	点灯	点灯
☰☉☰	—	点灯
OFF	—	—

※：オプション/グレード別装備

⚠ 注意

バッテリーあがりを防ぐために

- エンジン停止中は、ライト類を長時間点灯しないでください。また、車から離れるときは、必ずライトスイッチを“OFF”にしてください。

ライトの消灯

▼ 操作方法

スイッチを“OFF”の位置にします。

オートライト機能

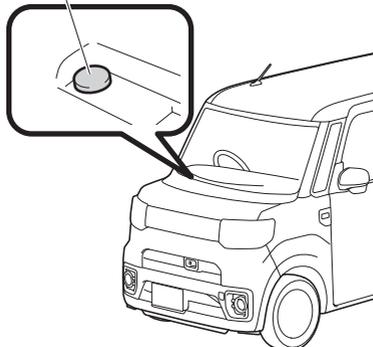
オプション/グレード別装備

- エンジンスイッチが“ON”でライトスイッチが“AUTO”の位置のとき周囲の明るさに応じてヘッドランプ、車幅灯などが自動で点灯・消灯します。
- エンジンを停止し、運転席ドアを開くと、自動的に消灯します。

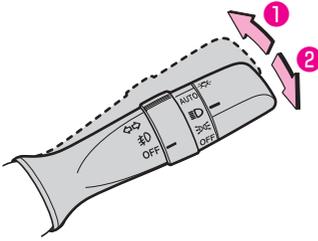
知識

- オートライトセンサーの上に物を置いたり、ガラスクリーナーなどを吹きかけると、センサーが正常に作動しなくなることがあります。

オートライトセンサー
(日射センサー兼用)



ヘッドランプの切り替え



▼ ライト点灯時ハイビームに切り替える

- ライトスイッチが“D”または“AUTO”の位置のときレバーを押します。(1)
(戻すと下向き(ロービーム)になります)

▼ 一時的に使用する

- ライトが消灯していても、レバーを手前に引いている間(2)、前照灯が上向きに点灯します。
(レバーを離すと下向き(ロービーム)または消灯します)

⚠ 注意

- 対向車のあるときや市街地走行のときは、対向車や通行人の迷惑となり危険ですので前照灯を下向きにして走行してください。

ライト自動消灯機能

車両のバッテリーあがりを防ぐため、ライト類を点灯したまま、エンジンスイッチを“OFF”または“ACC”にして、運転席のドアを開けると、ライト類が自動で消灯します。

再びライトを点灯させる場合は、以下の操作をします。

- エンジンスイッチを“ON”にする
または
- ライトスイッチを“OFF”に戻し、再度“D”、または“H”の位置にする(ただし、節電機能が働き、約10分後に自動で消灯します)

節電機能

車両のバッテリーあがりを防ぐため、エンジンスイッチが“OFF”または“ACC”の状態でもライト類が点灯している場合、節電機能が働き約10分後に自動消灯します。

自動消灯した後、次のいずれかの操作を行うと、節電状態は解除され、ライト類が点灯します。

- エンジンスイッチを“ON”にする
または
- ライトスイッチを操作する、またはいずれかのドアを開閉する(ただし、約10分後に再び自動で消灯します)

ライト消し忘れ警告ブザー

エンジンスイッチが“OFF”または“ACC”の状態、ライトを点灯して、運転席のドアを開けると、ブザー（連続音）が鳴りライトの消し忘れを知らせます。

知識

- 運転席ドアを開けたときに、ランプ類が自動消灯機能により消灯した場合、警告ブザーは鳴りません。

ロービーム・オートレベリング機能

乗員数や積載量などの車両姿勢の変化に対して、ヘッドランプの光軸（光の照らす方向）の上下方向を自動的に調整する機能です。

注意

- ヘッドランプの光軸に異常を感じたときは、トヨタ販売店で点検を受けてください。

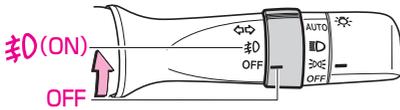
知識

- エンジンを始動して、初めてヘッドランプを点灯したとき、システムの正常な作動をチェックしているため、ヘッドランプの光軸が動くことがありますが、異常ではありません。

フォグランブスイッチ

オプション/グレード別装備

夜間の雨、霧のような天候のときにご利用ください。



▼ 点灯のしかた

- 車幅灯が点灯しているとき、スイッチを“ON”にします。
(メーター内の表示灯が点灯します)

▼ 消灯のしかた

- スイッチを“OFF”にします。
(メーター内の表示灯が消灯します)

ワイパー・ウォッシャースイッチ

⚠ 警告

- 寒冷時は、ガラスが暖まるまで、ウォッシャー液を吹き付けしないでください。吹き付けられた液が凍結し、視界をさまたげることがありますので、先にガラス面を暖めてください。

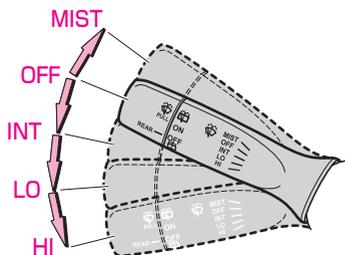
⚠ 注意

- 空ぶきはガラス面に傷を付けますので、ウォッシャー液を噴射させてからワイパーを作動させてください。
- 寒冷時、または長時間ワイパーを使用しなかったときは、ワイパーゴムがガラスに張り付いていないことを確認してください。張り付いたまま作動させるとワイパーモーターが損傷し、故障の原因になります。
- 積雪などの障害物によりワイパーが途中で止まってしまうときは、障害物を取り除いてからワイパーを作動させてください。無理に作動させるとワイパーモーターに負担がかかり故障の原因となります。
- ウォッシャー液を連続して 20 秒以上噴射させないでください。またウォッシャー液が出ないときはウォッシャースイッチを作動させないでください。モーターに負担がかかり故障の原因となります。

フロント

エンジンスイッチが“ON” のとき使用できます。

ワイパーの使いかた



レバーを上下に操作すると、ワイパーが作動します。

- MIST：一時作動
- OFF：停止
- INT：間欠作動
- LO：低速作動
- HI：高速作動

▼ MIST（一時作動）の使いかた

レバーを“OFF” から押し上げている間、ワイパーが低速作動します。
手を離すと“OFF”に戻ります。

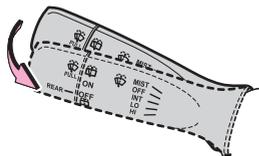
▼ 車速感应式ワイパー

レバーを“INT” の位置（間欠作動）にしたとき、車速に応じてワイパーが作動します。

知識

- 間欠作動中は、車速が速くなると車速に応じて間隔が短くなります。
- 車速感应作動の機能を停止することができます。詳しくはトヨタ販売店にご相談ください。

ウォッシャー液の噴射



レバーを手前に引くとウォッシャー液が噴射します。

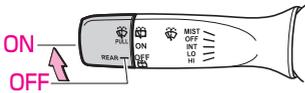
知識

- フロントウォッシャーを作動させると連動してフロントワイパーが低速作動します。

リヤ

エンジンスイッチが“ON” のとき使用できます。

ワイパーの使いかた



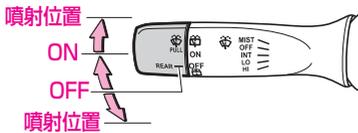
ツマミを“ON” の位置に回すと、リヤワイパーが作動します。

- 約 4 秒間低速作動し、その後、間欠作動します。

知識

- 下記のように、間欠作動の機能を変更することができます。詳しくはトヨタ販売店にご相談ください。
 - 間欠作動の間隔を変更する
 - 間欠作動の機能を停止し、低速作動のみ続けるようにする

ウォッシャー液の噴射



リヤワイパー作動中にウォッシャー液を噴射させるときは、ツマミを“ON” の位置から上側の“ウォッシャー液噴射位置”に回します。

また、ツマミを“OFF” の位置から下側の“ウォッシャー液噴射位置”に回しても噴射します。

知識

- 上側の“ウォッシャー液噴射位置”に回すと、連動してリヤワイパーが低速作動します。

リバース連動リヤワイパー

- フロントワイパーが作動中に、シフトレバーを R レンジにすると、リヤワイパーが数回作動します。

知識

- フロントワイパーが停止後、約 10 秒間はシフトレバーを R レンジに入れると、リヤワイパーが数回作動します。
- 機能を停止することができます。詳しくはトヨタ販売店にご相談ください。

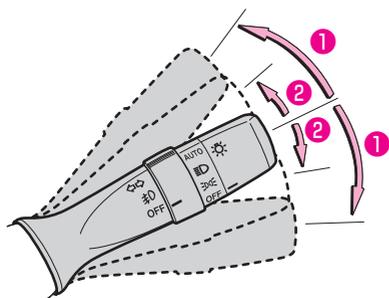
ホーンスイッチ

ハンドルの  マーク周辺部を押すとホーンが鳴ります。

知識

- 緊急時、非常時以外は、むやみに使用しないでください。

方向指示スイッチ



操作方法

レバーを(1)の位置まで上下に操作すると、方向指示灯およびメーター内の方向指示表示灯が点滅します。

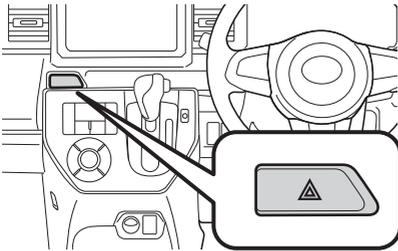
- レバーはハンドルを戻すと自動的に戻ります。

車線変更などのときには、レバーを(2)の位置まで軽く上下に押すと点滅し、手を離すと消灯します。

知識

- ハンドルの切れ角が小さいと、レバーが自動的に戻らないときがあります。手で戻してください。
- 点滅が異常に速くなったときは、方向指示灯の電球切れが考えられます。すべての方向指示灯が点滅するか確認してください。

非常点滅灯スイッチ



▼ 操作方法

スイッチを押すと左右の方向指示灯が点滅します。もう一度押すと元に戻ります。

⚠ 注意

- 故障などの非常時に、やむを得ず路上駐車するとき以外はむやみに使用しないでください。
- 使用後はスイッチを確実に戻してください。スイッチを戻さないと方向指示灯がはたらきません。

バッテリーあがりを防ぐために

- エンジンを止めた状態で長時間使用しないでください。

車を運転するにあたって

運転するとき

- 運転をする前に …………… 192
- 運転のしかた …………… 194
- 運転するときの注意事項 … 197

運転装置の使いかた

- エンジンスイッチ
(キーレスエントリー装着車) … 201
- エンジンスイッチ
(キーフリーシステム装着車) … 203
- 駐車ブレーキ …………… 208
- シフトレバー …………… 209

ABS

- ABS (EBD 機能付) …………… 212

VSC & TRC

- VSC …………… 214
- TRC …………… 215
- メーター表示 …………… 217
- VSC & TRC OFF
スイッチ …………… 219

スマートアシスト

- スマートアシスト …………… 220
- レーザーレーダー …………… 222
- 低速域衝突回避支援
ブレーキ機能 …………… 224
- 誤発進抑制制御機能 …………… 230
- 先行車発進お知らせ機能 … 236
- メーター表示 …………… 238
- スマートアシスト
OFF スイッチ …………… 242

エマージェンシーストップ シグナル

- エマージェンシーストップ
シグナル …………… 243

アイドリングストップシステム

- eco IDLE
(エコアイドル) …………… 244

エコ発電制御

- エコ発電制御 …………… 257

運転するときは

運転をする前に

知っておいていただきたい、操作上の注意や特性があります。よく理解し、正しい取り扱いをしてください。

ターボ車

オプション/グレード別装備

高速走行、登坂走行直後にエンジンを停止するときは、必ず約1分程度アイドリング運転をしてからエンジンを止めてください。

(eco IDLE が作動してアイドリングストップしたときは、アイドリング運転は不要です)

注意

- エンジン始動直後（エンジンが冷えているときは、エンジンの急激な空ぶかし、または急加速をしないでください。
- エンジン回転数がタコメーターの赤色表示域（エンジン許容回転数以上）に入らないように運転してください。
- 定期的なオイル交換、オイルフィルターの交換を必ず行ってください。

オートマチック車の特性

クリープ現象

オートマチック車は、エンジンがかかっているとき、シフトレバーがP、Nレンジ以外の位置で動力がつながった状態になり、アクセルペダルを踏まなくてもゆっくりと動き出す現象のことをいいます。

警告

- エンジン始動直後やエアコン作動時など、自動的にエンジンの回転が上がり（アイドルアップ）、クリープ現象が強くなります。その際、ブレーキペダルの踏みごたえに変化がでることがありますので、ブレーキペダルはしっかりと踏んでください。
- 停車中は、平坦路であっても車が動かないように、ブレーキペダルをしっかりと踏み、必要に応じて駐車ブレーキをかけてください。

4WD 車

オプション / グレード別装備

警告

- 4WD 車はどのような所でも走れる万能車ではありません。アクセル、ハンドル、ブレーキの操作は一般の車と同じく慎重に行い、常に安全運転に心がけてください。また、オフロード走行や、ラリー走行を目的とした車ではありません。タイヤがはまり込むような深い砂地、海水、水たまりなどに乗り入れないでください。やむを得ず走行したときは、走行後各部を念入りに洗ってください。
- 渡河などの水中走行はしないでください。渡河などの水中走行をすると、エンストするだけでなく、電装品のショート、エンジンの破損などの重大な車両故障につながるおそれがあります。万一、水中に浸かってしまったときは、必ずトヨタ販売店で点検を受けてください。
- 4WD 車は雪道や水たまりなどの滑りやすい路面ですぐれた走行性能を発揮しますが、極端な急ブレーキ、急ハンドルはさけて、十分に余裕を持って走行してください。

万一脱輪したときは

- いずれかのタイヤが宙に浮いているときは、むやみに空転させないでください。駆動系部品の損傷や車両の飛び出しによる思わぬ事故につながるおそれがあります。

V フレックスフルタイム4WD

知識

- V フレックスフルタイム 4WD は、2WD と 4WD を切り替えるモード切り替えスイッチはありません。また 4WD 表示灯もありません。

4WD 車のタイヤについて

4WD 車は 4 つのタイヤに駆動力がかかるため、タイヤの状態が車の性能に大きく影響します。

タイヤの状態には細心の注意をしてタイヤの点検は忘れずに行ってください。

(タイヤの点検 → 336 ページ)

(タイヤの交換 → 338 ページ)

(タイヤチェーンの装着 → 368 ページ)

運転のしかた

安全運転を心がけ、次の手順で走行してください。

- 運転手順のそれぞれに、注意していただきたいことがあります。

「運転するときの注意事項」も、必ずお読みください。

(運転するときの注意事項→197 ページ)

- 各運転装置の使いかたは以下を参照ください。

(エンジンスイッチ (キーレスエントリー装着車) → 201 ページ)

(エンジンスイッチ (キーフリーシステム装着車) → 203 ページ)

(シフトレバー→209 ページ)

(駐車ブレーキ→208 ページ)

エンジンをかける

▼ 準備

- キーフリーシステム装着車は、電子カードキーを携帯し、運転席に座ります。
- 正しい運転姿勢がとれるようにシートの位置を調整し、ペダルの各位置を確認します。

(正しい運転姿勢→34 ページ)

(車体各部の調整→125 ページ)

▼ 操作手順

キーレスエントリー装着車

- 1 シフトレバーが  レンジの位置にあることを確認する
- 2 ブレーキペダルをしっかりと踏む
- 3 エンジンスイッチを“START”まで回す

キーフリーシステム装着車

- 1 シフトレバーが  レンジの位置にあることを確認する
- 2 ブレーキペダルをしっかりと踏む
 - エンジンスイッチの表示灯が緑色に点灯します。
- 3 エンジンスイッチを押す

■ イージースタートサポート

イージースタートサポートはエンジン始動操作を補助するシステムです。

エンジンが始動するまでの間、自動的にスターターを回す時間を延長します。エンジンスイッチを“START”の位置で保持する（プッシュボタンスタート装着車はスイッチを押し続ける）必要はありません。

- イージースタートサポート作動中にエンジン始動を中止したいときは、エンジンスイッチを“ACC”または“OFF”にしてください。
- バッテリーあがりを防ぐため、イージースタートサポート作動中に始動操作が中断されることがあります。

■ 発進する

- 1 ブレーキペダルを右足で踏んだままシフトレバーを ④ レンジに入れる
 - 状況に応じて ⑤、⑥ レンジに、後退のときは ③ レンジに入れます。
- 2 駐車ブレーキを解除する
- 3 ブレーキペダルから徐々に足を離し、アクセルペダルをゆっくりと踏み、発進する

■ 坂道発進するときは

- 1 駐車ブレーキをしっかりかけ、シフトレバーを ④ レンジに入れる
- 2 右足でアクセルペダルをゆっくり踏む
- 3 車が動き出す感触を確認してから、駐車ブレーキを解除し、発進する

■ 走行するときは

▼ 通常走行するときは

- ④ レンジで走行します。

▼ 急加速が必要なときは

- アクセルペダルを踏み込みます。
 - 自動的に変速比が切り替わり、力強い加速が得られます。（キックダウン）

▼ 強いエンジンブレーキを必要とするときは

- 長い下り坂や急な下り坂など、路面状態やスピードに応じて ⑤ レンジまたは ⑥ レンジに切り替えます。

■ 停車する

- 1 シフトレバーは走行位置のまま、ブレーキペダルをしっかりと踏む
- 2 ブレーキペダルを踏んだまま、必要に応じて駐車ブレーキをかける
 - 長時間停車する場合は、シフトレバーを **Ⓔ** または **Ⓗ** レンジに入れます。

■ 後退する

車が完全に止まってからも、ブレーキペダルをしっかりと踏み続け、シフトレバーを **Ⓔ** レンジに入れます。

■ リバース警告ブザー

シフトレバーを **Ⓔ** レンジに入れると車内で警告ブザーが鳴り、運転者にシフトレバーが **Ⓔ** レンジにあることを知らせます。（警告ブザーは車外には聞こえません）

■ 駐車する

キースエントリー装着車

- 1 シフトレバーを **Ⓔ** レンジのまま、ブレーキペダルを踏む
- 2 車が完全に止まってから、シフトレバーを **Ⓔ** レンジにする
- 3 駐車ブレーキをかける
- 4 エンジンスイッチを“LOCK”まで回してキーを抜く
- 5 キーを携帯していることを確認し、ドアを施錠する

▼ 坂道で駐車するときは

- 必要に応じて、輪止め*を使用してください。

キーフリーシステム装着車

- 1 シフトレバーを **Ⓔ** レンジのまま、ブレーキペダルを踏む
- 2 車が完全に止まってから、シフトレバーを **Ⓔ** レンジにする
- 3 駐車ブレーキをかける
- 4 エンジンスイッチを押して、エンジンを停止する
- 5 電子カードキーを携帯していることを確認し、ドアを施錠する

▼ 坂道で駐車するときは

- 必要に応じて、輪止め*を使用してください。

運転するときの注意事項

警告

エンジンをかけるときは

- 必ず運転席に座ってエンジンをかけてください。窓越しからエンジンをかけると車が急に動き出すおそれがあり危険です。

発進するとき

- 踏み誤りを防ぐため、ブレーキペダルは右足で踏む習慣を身に付けてください。左足でのブレーキ操作は思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 始動直後およびエアコン使用時は、自動的にエンジン回転が高くなり（アイドルアップ）、動こうとする力が強くなります。発進時にシフトレバー操作をするときはしっかりとブレーキペダルを踏んでください。
- PレンジからDレンジの間でシフトレバーを動かすときは、突然車が動き出し思わぬ事故につながるおそれがあり危険ですので、必ずブレーキペダルを踏みながら、シフトレバーを動かしてください。
- アクセルペダルを踏んだままシフトレバーの操作をしないでください。急発進して思わぬ事故の原因になります。
- マニュアル車は発進のスピードを半クラッチ操作とアクセル操作を併用して調整しますが、オートマチック車ではアクセル操作のみで行いますので、アクセル操作は特に慎重に行ってください。
- 切り返しなどでDからR、RからDレンジと何度もシフトレバー操作をするときは、そのつどブレーキペダルをしっかり踏み、完全に車を止めてから行ってください。
完全に止まらない状態でシフトの切り替えを行うとトランスミッションに負担がかかり故障の原因となります。また必ずシフト位置も確認してください。
- 急発進を防ぐためにPからR、NからD、NからRレンジにシフトレバー操作をするときもブレーキペダルをしっかり踏んでから行ってください。

走行中は

- エンジンスイッチにさわらないでください。誤って操作し、エンジンが停止すると、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- ブレーキペダルに足をのせたまま走行しないでください。ブレーキ部品が早く摩耗したり、ブレーキが過熱し、効きが悪くなるおそれがあります。
- 滑りやすい路面やカーブでは、急激なアクセルペダルの操作はやめてください。急加速をするため、スリップしたり、カーブを曲がりきれず思わぬ事故につながるおそれがあります。

警告

走行中は

- 坂道などでは、シフトレバーを **D**、**S**、**B** レンジに入れたまま惰性で後退したり、**R** レンジに入れたまま惰性で前進することは絶対にやめてください。
エンストを起こし、ブレーキの効きが悪くなったり、ハンドルが重くなるなど、思わぬ事故や故障の原因となるおそれがあります。
- 長い下り坂や急な下り坂を **D** レンジのまま走行するとスピードが出すぎてしまうことがあります。このようなときに、フットブレーキを使いすぎるとブレーキの効きが悪くなるおそれがあります。エンジンブレーキを併用してください。
- 車が完全に止まらないうちに **P** レンジに入れないでください。また、前進走行中に **R** レンジ、および後退中は **D**、**S**、**B** レンジに入れないでください。トランスミッションに重大な損害をあたえると共に、車がコントロールを失い思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

停車するときは

- 平坦路であっても、停車が長びくときは、必ず駐車ブレーキをかけてください。
- 上り坂での停車は、クリープ現象で前へ進もうとする力よりも車が後退しようとする力の方が大きくなり、車が後退することがあります。ブレーキペダルを踏み、駐車ブレーキをかけてください。
- エアコン作動中は自動的にエンジン回転が高くなり、急にクリープ現象が強くなりますので、特にしっかりとブレーキペダルを踏んでください。

後退するときは

- 後退するときは体をひねった姿勢となるため、ペダルの操作がしにくくなります。ブレーキ操作が確実にできるように注意してください。
- 少し後退したあとなどは **R** レンジに入れたことを忘れてしまうことがあります。後退したあととはすぐ **N** レンジに戻すよう習慣付けましょう。

駐車するときは

- エンジンをかけたままで車から離れないでください。

⚠ 注意**エンジンをかけるときは**

- エンジン冷却水温が低い間は、急激な空ぶかし、急加速、高速走行はしないでください。
- キーレスエントリー装着車のエンジン始動後は、すぐにキーから手を離してください。“START”にしたまましていると、エンジンを損傷するおそれがあります。

発進するとき

- 坂道発進時など、アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏んで発進しないでください。故障の原因となります。
- シフトレバーがどの位置にあるかをシフトレバー部またはメーター内のインジケーターで確認してください。
- シフトレバーが **P**、**N** レンジ以外の位置にあると、アクセルペダルを踏まなくても動こうとする特性を持っています。(クリーブ現象)

走行中は

- 走行中にアクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏まないでください。走行中、アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏むと、駆動力を抑制する場合があります。

駐車するとき

- 必ず駐車ブレーキをかけてください。
- 車から離れるときはエンジンスイッチを“LOCK”の位置にしてキーを抜いてください。(プッシュボタンスタート装着車は、エンジンスイッチを“OFF”にします)
“ON”や“ACC”のままにしていると、バッテリーあがりの原因となります。
- ターボ車は、高速および登坂走行の直後にエンジンを止めるときは、必ずアイドリング運転を約1分程度行ってください。(eco IDLE が作動してアイドリングストップしたときは、アイドリング運転は不要です)
- **P** レンジでは車輪が固定されます。駐車するときは必ず **P** レンジにあることを確認してください。

 **知識**

エンジンをかけるときは

- エンジンの始動性を良くするためにライト、リヤウインドデフォグガー、ヒーターファンなどのスイッチは“OFF”にしてください。
- エンジン始動後は、各警告灯が消灯するのを確認してください。（ただしブレーキ警告灯は除きます）
- エンジン始動後は、自動制御装置のはたらきによりエンジン回転が高くなりますが、暖機完了後、自動的にアイドル回転に下がります。

エンジンをかけるときは（プッシュボタンスタート装着車では）

- キーフリーシステムの通信エラーなどでエンジンの始動ができないことがあります。このときは、一度エンジンスイッチを“OFF”にしたあと、再度、エンジンをかけなおしてください。

走行中は

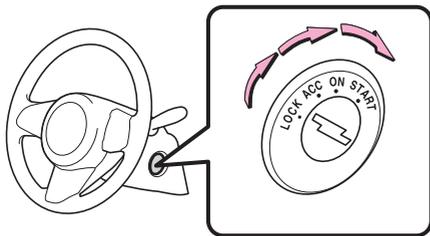
- 渋滞や狭い場所での移動は、クリーブ現象を利用し、アクセルペダルを踏まずに、ブレーキ操作のみで速度を調整するとスムーズに行えます。
-  レンジの走行中に急加速を行うと、車速の上昇よりもエンジン回転数の上昇が早く感じられますが、オートマチックトランスミッションの変速制御によるもので問題ありません。

燃費向上のために

- 発進、加速はスムーズに行ってください。

運転装置の使いかた

■ エンジンスイッチ（キーレスエントリー装着車）



位置	はたらき
LOCK (OFF)	ハンドルロックがかかる位置 シフトレバーがPレンジのとき、キーを抜き挿しできます
ACC	アクセサリソケットなどの電装品が使用できる位置
ON	すべての電装品が使用できる位置
START	エンジンを始動するときの位置

■ エンジンのかけかた

▼ 準備

- 正しい運転姿勢がとれるようにシートの位置を調整し、ペダルの各位置を確認します。

(正しい運転姿勢→ 34 ページ)

(車体各部の調整→ 125 ページ)

▼ 操作手順

- 1 シフトレバーが P レンジの位置にあることを確認する
- 2 ブレーキペダルをしっかりと踏む
- 3 エンジンスイッチを“START”まで回す

■ エンジンの停止方法

- 1 車両を完全に停止させる
- 2 シフトレバーを P レンジにする
- 3 駐車ブレーキをかける
- 4 エンジンスイッチを“LOCK”まで回す
- 5 キーを抜く

キーインターロック

誤操作防止のため、シフトレバーが  レンジ以外有的时候に、エンジンスイッチが“LOCK”まで回らないようにする装置です。

知識

- シフトレバーが  レンジ以外では、エンジンスイッチを“LOCK”まで回すことができないため、キーを抜くことができません。

ハンドルロック

エンジンスイッチからキーを抜いて、ハンドルを左右どちらかに動かすとステアリングロックによりハンドルがロックされます。

▼ ハンドルロック解除のしかた

ステアリングロックによりキーが“LOCK”から“ACC”に軽く回らないときは、ハンドルを左右に動かしながらキーを回してください。

キー抜き忘れ警告ブザー

エンジンスイッチにキーが差し込まれているとき“LOCK”または“ACC”の位置で運転席のドアを開けるとブザー（断続音）が鳴り、キーの抜き忘れを警告します。

エンジンスイッチの取扱い

知識

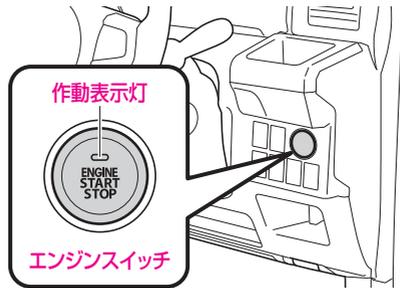
エンジンスイッチの操作について

- キーは確実にエンジンスイッチに差し込んで操作してください。

バッテリーあがりを防ぐために

- エンジンを止めた状態で、エンジンスイッチを“ON”または“ACC”にしたまま長時間放置しないでください。
- シフトレバーが  レンジ以外的时候、エンジンを停止させないでください。シフトレバーが  レンジ以外でエンジンを停止した場合、エンジンスイッチを“LOCK”にできないため、そのまま放置すると、車両のバッテリーがあがる原因となります。

エンジンスイッチ（キーフリーシステム装着車）



プッシュボタンスタート

エンジンのかけかた

▼ 準備

- 電子カードキーを携帯し、運転席に座ります。
- 正しい運転姿勢がとれるようにシートの位置を調整し、ペダルの各位置を確認します。
 （正しい運転姿勢 → 34 ページ）
 （車体各部の調整 → 125 ページ）

▼ 操作手順

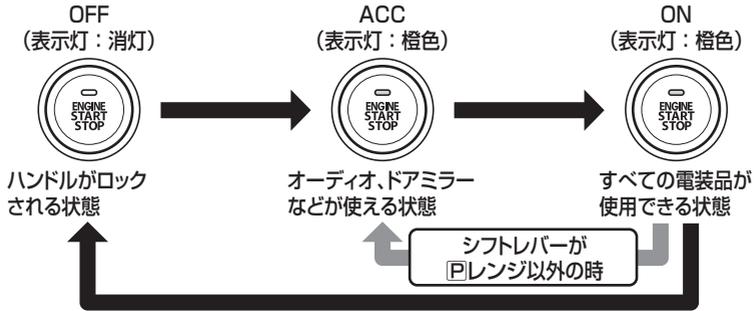
- 1 シフトレバーが P レンジの位置にあることを確認する
- 2 ブレーキペダルをしっかりと踏む
 - エンジンスイッチの表示灯が緑色に点灯します。
- 3 エンジンスイッチを押す

エンジンの停止方法

- 1 車両を完全に停止させる
- 2 シフトレバーを P レンジにする
- 3 駐車ブレーキをかける
- 4 エンジンスイッチを押す
- 5 ブレーキペダルから足を離れた状態で、エンジンスイッチの表示灯が消灯していることを確認する

エンジンスイッチモードの切り替え

ブレーキペダルを踏まずに、エンジンスイッチを押すと、モードを切り替えることができます。



- スイッチを押すごとにモードが切り替わります。
- シフトレバーがPレンジ以外のときは“OFF”になりません。

ハンドルロック

エンジンスイッチを“OFF”にしたあとに運転席ドアを開閉すると、ステアリングロックによりハンドルがロックされます。エンジンスイッチを操作すると、ハンドルロックは自動で解除されます。

⚠ 警告

- 走行中、エンストなどで車両が滑走状態になったときは、安全な状態で車両が停止するまで、ドアを開けないでください。ドアを開けるとハンドルロックが作動し、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。安全な場所に停車させたあと、ただちに、トヨタ販売店にご連絡ください。

📖 知識

- エンジンスイッチを“OFF”にしたときに運転席ドアが開いていると、ハンドルがロックされず、警告ブザーが鳴ります。
(ハンドルロック未完了警告→85ページ)
- 車両のバッテリーがあがっている場合ハンドルロックが作動しません。

ハンドルロックが解除できないときは



エンジンの始動操作をしたときに、ハンドルロックが解除できないと、エンジンスイッチの表示灯が緑色に点滅します。

▼ ハンドルロック解除のしかた

いったんペダルから足を離してエンジンスイッチを“OFF”にし、ハンドルを左右に動かしながら、もう一度エンジンの始動操作をしてください。

エンジンスイッチの取扱い

⚠ 警告

緊急時のエンジン停止方法

- 下記の操作を行うと、走行中でもエンジンが止まります。ただし、緊急時以外は走行中にエンジンスイッチの操作をしないでください。思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
 - エンジンスイッチを3秒以上押し続ける
 - エンジンスイッチを3回以上連打する

(車両を緊急停止するには→402ページ)

⚠ 注意

エンジンスイッチ表示灯が橙色に点滅したときは

- システムの異常が考えられます。エンジンスイッチを“OFF”にせず、ただちにトヨタ販売店にご連絡ください。(いったん“OFF”にすると、エンジンを再始動できなくなることがあります)

エンジンスイッチがいつもと違うときは

- スイッチに引っ掛かりがあるときは、スイッチを操作せず、ただちに、トヨタ販売店にご連絡ください。
- スイッチに飲み物などをこぼさないでください。万一、こぼした場合は、ただちにトヨタ販売店にご連絡ください。
- 車幅灯を点灯させても、スイッチの照明が点灯しないときは、トヨタ販売店にご連絡ください。

電子カードキーについて

- エンジン始動後に電子カードキーを車外に持ち出さないでください。持ち出したままエンジンを停止すると、電子カードキーが車内に無いためにエンジンの再始動ができなくなります。特にドアを閉めたまま窓から電子カードキーを持ち出した場合は、持ち出しの警告ブザーが鳴らないので注意してください。

 **知識**

エンジンが始動しないときは

- いったんエンジンスイッチを“OFF”にして、もう一度エンジンの始動操作をしてください。

電池の消耗などにより、電子カードキーが使用できないとき

- エンジンスイッチに電子カードキー、またはメインキーを接触させてスイッチを押すことで、エンジンスイッチを“ON”にすることができます。

(電子カードキーが使用できないとき→ 398 ページ)

エンジンスイッチの操作について

- エンジンの始動と停止を短い間隔で繰り返した直後は、エンジンが始動できない場合があります。この場合は約 10 秒以上待ってから、再びエンジンの始動操作を行ってください。
- スイッチを早押しした場合、エンジンの始動・停止、モードの切り替えができないことがあります。1 回ずつ確実に押してください。

バッテリーあがりを防ぐために

- エンジンを止めた状態で、エンジンスイッチを“ON”または“ACC”にしたまま長時間放置しないでください。
- シフトレバーが  レンジ以外 のとき、エンジンを停止させないでください。シフトレバーが  レンジ以外でエンジンを停止した場合、エンジンスイッチが“ACC”になるため、そのまま放置すると、車両のバッテリーがあがる原因となります。

エンジンスイッチ作動が正常に作動しないおそれのある状況

- 電子カードキーが作動範囲内にあっても、周囲の状況や電子カードキーの場所により、作動しないことがあります。

(作動範囲→ 80 ページ)

キーフリーシステムの警告ブザーについて

- キーフリーシステムは、電子カードキーの持ち出しや、エンジンスイッチの切り忘れなどの誤操作を検知すると、ブザーを鳴らして警告を行います。

(警告ブザー、メーター表示による警告→ 82 ページ)

 **知識****車両のバッテリーを脱着したあとは**

- すぐにはエンジンが始動しないことがあります。その場合は、バッテリー接続から約 10 秒以上待ってからエンジンを始動してください。

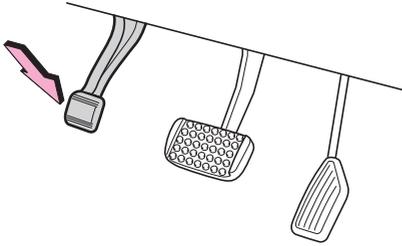
エンジンスイッチモードの記憶について

- 車両は常にエンジンスイッチモード (“ACC” または “ON”) を記憶しています。車両のバッテリーを再接続したときは、エンジンスイッチが絶たれる前の状態に復帰します。修理などで車両のバッテリーを外すときは、必ずエンジンスイッチを “OFF” にしてから行ってください。車両のバッテリーあがり時に、バッテリーがあがる前のエンジンスイッチモードがわからないときは、一度エンジンスイッチを “OFF” にしてください。

エンジンスイッチ自動 OFF 機能

- シフトレバーが  レンジのとき、エンジンスイッチが “ACC” のまま約 1 時間放置すると、バッテリーあがり防止のため、自動的にエンジンスイッチが “OFF” になります。

駐車ブレーキ



▼ かけるとき

右足でブレーキペダルを踏みながら、左足でパーキングペダルをいっぱいまで踏み込みます。

- エンジンスイッチが“ON”のときは、ブレーキ警告灯が点灯します。

▼ 解除するとき

右足でブレーキペダルを踏みながら、左足でパーキングペダルを踏み込みます。「カチッ」という音がしたらパーキングペダルをゆっくり戻します。

- エンジンスイッチが“ON”のときは、ブレーキ警告灯が消灯します。

⚠ 注意

- 走行するときは、駐車ブレーキを完全に解除してください。また、ブレーキ警告灯が消灯していることを必ず確認してください。
駐車ブレーキをかけたまま走行すると、ブレーキが熱を持ち、ブレーキの効きが悪くなったり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 駐車ブレーキをさらに強くかける必要がある場合はブレーキペダルをしっかり踏み、一度駐車ブレーキを解除させ、完全にパーキングペダルを戻してからもう一度駐車ブレーキをかけ直してください。
- 駐車ブレーキをかけるとき、解除するときは必ずペダルの位置を目で確認してから操作してください。

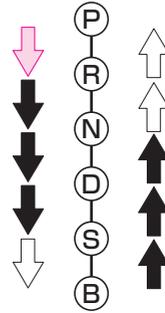
📖 知識

- 駐車ブレーキが完全に解除されていない状態（警告灯が点灯している状態）で、約5km/h以上で走行すると、警告ブザーが鳴ります。

（ブレーキ警告灯→153ページ）

シフトレバー

シフトレバーの使いかた



シフトレバーの操作は確実に行ってください。

	ブレーキペダルを踏みながらシフトレバーボタンを押して動かします
	シフトレバーボタンを押して動かします
	シフトレバーボタンを押さずにそのまま動かします

警告

- ➡ の操作は誤作動を防ぐため、シフトレバーボタンを押さずに動かしてください。常にシフトレバーボタンを押して操作していると、P、R、Bレンジに思いがけず入ることがあり、その場合、思わぬ事故の原因となり、生命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- P から D レンジの間でシフトレバーを動かすときは、突然車が動き出し思わぬ事故につながるおそれがありますので、必ずブレーキペダルを踏みながら動かしてください。
- 走行中に N レンジに入れしないでください。エンジンブレーキが全く効かず、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- 車が完全に止まらないうちに P レンジに入れしないでください。また、前進走行中に R レンジ、および後退走行中に D、S、B レンジに入れしないでください。トランスミッションに重大な損害をあたえと共に、車がコントロールを失い思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

各位置のはたらき

シフトポジション	メーター表示	目的
P(パーキング)		駐車またはエンジン始動
R(リバース)		後退
N(ニュートラル)		動力が伝わらない状態
D(ドライブ)		通常走行 (速度に応じて無段階で自動的に変速されます)
S(スポーツ)		スポーティな走行、坂道や山間地などの走行 (エンジンブレーキが必要なとき)
B(ブレーキ)		急な下り坂などの走行 (強いエンジンブレーキが必要なとき)

シフトロック機構

誤操作防止のため、シフトロック機構が付いています。

▼ シフトロック解除方法

キーレスエントリー装着車

エンジンスイッチを“ON”または“ACC”にし、ブレーキペダルを踏むと、シフトレバーの操作ができます。

- 必ずブレーキペダルをしっかりと踏み込み、シフトレバーを操作します。

📖 知識

- エンジンスイッチが“LOCK”のときは、ブレーキペダルを踏んでもシフトレバーをPレンジからほかのレンジへは動かせません。
- 先にシフトレバーボタンを押した状態で、ブレーキペダルを踏むと、シフトロックが解除されない場合があります。
- 万一、エンジンスイッチを“ON”または“ACC”にして、ブレーキペダルを踏んでもシフトレバーをPレンジから他の位置へ動かせないときは、シフトロック解除ボタンを使用してロックを解除してください。この場合はシフトロックシステムなどの故障が考えられます。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

(シフトロック解除ボタン→211ページ)

キーフリーシステム装着車

エンジンスイッチを“ON”にし、ブレーキペダルを踏むと、シフトレバーの操作ができます。

- 必ずブレーキペダルをしっかりと踏み込み、シフトレバーを操作します。

知識

- エンジンスイッチが“ON”以外では、ブレーキペダルを踏んでもシフトレバーは [P] レンジからほかのレンジへは動きません。
- 先にシフトレバーを動かしてからブレーキペダルを踏むと、シフトロックが解除されない場合があります。
- 万一、エンジンスイッチを“ON”にして、ブレーキペダルを踏んでもシフトレバーを [P] レンジから他の位置へ動かせないときは、シフトロック解除ボタンを使用してロックを解除してください。この場合はシフトロックシステムなどの故障が考えられます。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

(シフトロック解除ボタン→ 211 ページ)

シフトロック解除ボタン

キーフリーシステム装着車

バッテリーあがりなどで、シフトレバーが [P] レンジからほかのレンジへ動かないときは、シフトロック解除ボタンを使用します。



- 必ずブレーキペダルをしっかりと踏み込み、シフトロック解除ボタンを押しながら、シフトレバーを操作します。

ABS

ABS*(EBD 機能付)

急制動時や滑りやすい路面における制動時には、車輪がロックして方向安定性と操舵能力が低下することがあります。ABS は、このような状況下に発生する車輪ロックを防止して操舵能力を確保しようとする装置です。

▼ EBD

Electronic Brake force Distribution（電子制動力配分制御）の略で、車両の走行状態や積載状態に応じて最適な制動力配分を行う機能です。積載時のブレーキの効きを確保することができます。

⚠ 警告

- ABS を過信しないでください。ABS が作動した状態でも車両の方向安定性や操舵性の確保には限界があります。無理な運転は思わぬ事故につながり、生命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- 下記の場合などには ABS の付いていない車両に比べ、制動距離が長くなることもあり、事故につながるおそれがあります。速度を控えて十分に車間距離を取ってください。
 - ジャリ道、新雪路を走行しているとき
 - タイヤチェーンを装着しているとき
 - 道路の継ぎ目などの段差を乗り越えるとき
 - 凹凸道などの悪路を走行しているとき
 - タイヤ空気圧が適正空気圧より高いときに荒れた路面を走行したとき

📖 知識

- 低速（約 10km/h 以下）では、ABS は作動せず、普通のブレーキと同じ作動になります。
- エンジンスイッチを“ON”にすると、メーター内の ABS 警告灯が点灯し、数秒後に消灯します。
- エンジン始動後に ABS 警告灯が数秒間点灯しても、その後、消灯すれば異常ではありません。ただし、同じ現象が再度発生した場合は、トヨタ販売店で点検を受けてください。
- エンジン始動時や始動後最初の走行時に、エンジンルームからモーターなどの音が聞こえることがあります。これは、システムの作動をチェックしているときの音で、異常ではありません。

 知識

- 走行中に ABS 警告灯が点灯した場合、通常のブレーキ性能は確保されていますが、ABS は作動しません。トヨタ販売店で点検を受けてください。
- ABS の作動中および作動後は、ブレーキペダルが奥に入り込むことがあります。また、ABS が正常に作動しているときは、ブレーキペダルを踏むとペダルがこきざみに動き「カタカタ」と作動音がすることがありますが、システムの異常ではありません。
- 雨の日にマンホールのふた、橋の継ぎ目などの滑りやすい場所でブレーキペダルを踏むと ABS が作動しやすくなります。
- 急ブレーキ時は、ブレーキペダルを強く踏み続けてください。ブレーキペダルをゆるめると ABS が効果を発揮できません。
- 急ブレーキ時にポンピングブレーキ* はしないでください。ポンピングブレーキをすると制動距離が長くなります。

VSC & TRC

VSC*

VSCは、急激なハンドル操作や、滑りやすい路面での旋回時の横滑りなどを抑制するために、自動的にブレーキを制御して、車両の安定性を確保しようとするシステムです。また緊急制動時など、ブレーキペダルが強く踏めずブレーキ性能を十分に発揮できない場合に、ブレーキ力を増強するブレーキアシストを備えています。

- VSC が作動すると、スリップインジケーターが点滅します。
(スリップインジケーター→217ページ)
- VSC & TRC OFF スイッチを3秒以上押して、メーター内のVSC OFF表示灯とTRC OFF表示灯が点灯しているときは、VSC (TRCを含む) は作動しません。
(VSC & TRC OFF スイッチ→219ページ)
- タイヤの状態がシステムに大きく影響しますので、タイヤの状態には細心の注意をしてください。
(タイヤの点検→336ページ)

⚠ 警告

- VSC を過信しないでください。VSC が作動した状態でも車両の方向安定性の確保には限界があります。無理な運転は思わぬ事故につながり、生命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- 常に安全運転を心がけ、スリップインジケーターが点滅したときは、特に慎重に運転してください。
- タイヤは4輪とも指定サイズで同一サイズ、同一メーカー、同一銘柄、同一トレッドパターン(溝模様)および摩耗差のないタイヤを装着してください。指定以外の物を装着するとVSCが正確に機能しないおそれがあります。
- タイヤチェーンを装着したときなどにはVSCが正確に機能しないおそれがあります。

⚠ 注意

- 雪道や凍結路を走行するときには冬用タイヤを装着し、控えめな車速で走行してください。

📖 知識

- VSCは、車速が約15km/hを超えると作動するようになります。
- VSC (TRCを含む)は、作動停止した場合でも、エンジンを始動するたびに作動可能状態に戻ります。
- エンジン始動時や始動後最初の走行時に、エンジンルームから「カチカチ、トン」という音が聞こえることがあります。これは、システムの作動をチェックしている音で、異常ではありません。

知識

ブレーキアシストについて

- VSC の “ON” ・ “OFF” に関わらず、緊急制動時などに作動します。
- ブレーキペダルを急速度で踏んだときに、ブレーキアシストが作動してブレーキが強くなり、作動音とともにブレーキペダルが小刻みに動くことがありますが、異常ではありません。

TRC *

TRC のはたらき

滑りやすい路面での発進時や加速時に、過剰な駆動力により生じる駆動輪のホイールスピンを抑え、車両の方向安定性と駆動力を確保しようとする装置です。

- 車輪がスリップし始めると、車輪速センサーからの情報で、コンピューターがスリップを感知し、必要に応じてブレーキをかけます。これにより、過剰な駆動力を抑え、スリップを抑制します。
- TRC が作動すると、スリップインジケータが点滅します。このとき、車両の振動を感じるがありますが、これはブレーキ制御によるもので、異常ではありません。
(スリップインジケータ→217ページ)
- VSC & TRC OFF スイッチを押して、メーター内の TRC OFF 表示灯が点灯しているときは、TRC は作動しません。
(VSC & TRC OFF スイッチ→219ページ)
- むかみや新雪路でのスタックからの脱出時などは、TRC が作動していると脱出しにくい場合があります。この場合、VSC & TRC OFF スイッチを操作することで、TRC を停止することができます。

(スタック(立ち往生)したとき→386ページ)

TRC のしくみ

タイヤのスリップは4輪に取り付けられたセンサーからの信号を比較し、駆動輪のいずれかの信号が他の車輪より多い場合、スリップしているとコンピューターが判断します。それによって、スリップしているタイヤの駆動力を抑えようとブレーキをかけ、スリップを抑制します。

TRC とタイヤの関係

TRC は、車輪に付いているセンサーからの信号を基準に作動させるため、4 輪の中で 1 輪でもタイヤの種類が異なると、信号の出方が変わり、コンピューターがスリップと判断します。

- タイヤの状態がシステムに大きく影響しますので、タイヤの状態には細心の注意をしてください。

(タイヤの点検→ 336 ページ)

⚠ 警告

- TRC を過信しないでください。TRC が作動した状態でも車両の方向安定性の確保には限界があります。無理な運転は思わぬ事故につながり、生命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- 常に安全運転を心がけ、スリップインジケーターが点滅したときは、特に慎重に運転してください。

(スリップインジケーター→ 217 ページ)

- タイヤは 4 輪とも指定サイズで同一サイズ、同一メーカー、同一銘柄、同一トレッドパターン（溝模様）および摩耗差のないタイヤを装着してください。指定以外の物を装着すると TRC が正確に機能しないおそれがあります。
- タイヤチェーンを装着したときなどには TRC が正確に機能しないおそれがあります。

⚠ 注意

- 雪道や凍結路を走行するときには冬用タイヤを装着し、控えめな車速で走行してください。

📖 知識

- TRC は、作動停止した場合でも、エンジンを始動するたびに作動可能状態に戻ります。
- エンジン始動時や始動後最初の走行時に、エンジンルームから「カチカチ、トン」という音が聞こえることがあります。これは、システムの作動をチェックしている音で、異常ではありません。

メーター表示

VSC & TRC 警告灯



- エンジンスイッチを“ON”にすると点灯し、数秒後に消灯します。
- エンジンスイッチが“ON”で、下記のシステムに異常があると点灯します。
 - VSC
 - TRC

⚠ 注意

点灯した場合

- 通常走行に支障はありませんが、トヨタ販売店で点検を受けてください。

📖 知識

点滅した場合

- VSC、または TRC が作動しています。

(スリップインジケータ→ 217 ページ)

スリップインジケータ



(点滅)

- エンジンスイッチを“ON”にすると点灯し、数秒後に消灯します。
- エンジンスイッチが“ON”で、下記のシステムが作動した場合に点滅します。
 - VSC
 - TRC

⚠ 注意

- エンジンスイッチを“ON”にしても点灯しないとき、または点灯したままの場合は、システムの異常が考えられますので、トヨタ販売店で点検を受けてください。
- スリップインジケータが点滅した場合は、VSC、または TRC が作動していますので特に慎重に運転してください。

VSC OFF 表示灯



- エンジンスイッチを“ON”にすると点灯し、数秒後に消灯します。
- VSC & TRC OFF スイッチを 3 秒以上押すと、VSC (TRC を含む) が作動停止状態となり点灯します。

(VSC & TRC OFF スイッチ
→ 219 ページ)

TRC OFF 表示灯

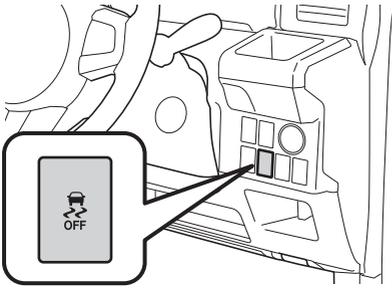


- エンジンスイッチを“ON”にすると点灯し、数秒後に消灯します。
- VSC & TRC OFF スイッチを押すと、TRC が作動停止状態となり点灯します。

(VSC & TRC OFF スイッチ
→ 219 ページ)

VSC & TRC OFF スイッチ

VSC や TRC は新雪路、深雪路、砂地等からの脱出には適さない場合があります。このようなときは VSC & TRC OFF スイッチを押して VSC と TRC を“OFF”にします。



▼ TRC を“OFF”にすると

- エンジンスイッチが“ON”のとき、VSC & TRC OFF スイッチを短押し（3秒以内）します。（メーター内の TRC OFF 表示灯が点灯します）

▼ VSC と TRC を“OFF”にすると

- エンジンスイッチが“ON”で車両が停止しているとき、VSC & TRC OFF スイッチを3秒以上押し続けます。（メーター内の TRC OFF 表示灯と VSC OFF 表示灯が点灯します）

▼ 作動可能状態に戻ると

- VSC & TRC OFF スイッチをもう1度押しします。（TRC OFF 表示灯と VSC OFF 表示灯が消灯します）

⚠ 警告

- VSC や TRC は自動的にブレーキやエンジンの出力を制御して駆動力や車両の方向安定性を確保しようとするシステムです。そのため、必要などき以外は VSC や TRC を作動停止状態にしないでください。VSC や TRC を作動停止状態にしたときは、路面状況に応じた速度で、特に慎重な運転を心がけてください。

📖 知識

- VSC や TRC を作動停止にした場合でも、エンジンを始動するたびに自動的に VSC と TRC は作動可能状態に戻ります。
- TRC のみ作動を停止している場合は、車速が高くなると TRC は作動を再開します。ただし、VSC と TRC の作動を停止している場合は、車速による作動再開はありません。

スマートアシスト

オプション/グレード別装備

スマートアシスト

スマートアシストは以下の機能によって、運転者の判断を補助し、事故被害を軽減することを目的としたシステムです。

- 低速域衝突回避支援ブレーキ機能
- 誤発進抑制制御機能
- 先行車発進お知らせ機能

スマートアシストは、レーザーレーダーにより、前方の車両や障害物などを認識します。

警告

- 運転者には通常の安全運転の責任、義務があります。運転時は常に先行車との車間距離や、周囲の状況、運転環境に注意して必要に応じてブレーキペダルを踏むなど、安全運転に努めてください。
- スマートアシストに頼った運転は、絶対に行わないでください。システムを過信すると思わぬ事故につながるおそれがあります。
- スマートアシストは、運転者の判断を補助し、事故被害の軽減を目的としています。衝突警報が作動した場合は前方や周囲を確認の上、運転者の判断でブレーキペダルを踏むなどの適切な操作をしてください。
- わき見運転やぼんやり運転など運転者の前方不注意を防止したり、悪天候時の視界不良下での運転を支援する装置ではありません。
- スマートアシストは、あらゆる状況で衝突を軽減したり、作動したりするものではありません。
- スマートアシストの認識性能・制御性能には限界があります。低速域衝突回避支援ブレーキ機能、誤発進抑制制御機能の警告を必ず参照の上、正しくご使用ください。誤った使用をすると、適切に制御が行われず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

警告

- 以下の状況ではシステムは正しく動作しません。スマートアシストを“OFF”にしてください。
(スマートアシスト OFF スイッチ→242 ページ)
 - タイヤの空気圧が適正でないとき
 - タイヤチェーンを装着しているとき
 - 磨耗したタイヤ、磨耗差の激しいタイヤを装着しているとき
 - 指定サイズ以外のタイヤを装着しているとき
 - サスペンションを改造したとき
 - 事故にあったときや故障したとき
 - ブレーキ警告灯が点灯しているとき
 - 重い荷物を積んで車が傾いているとき

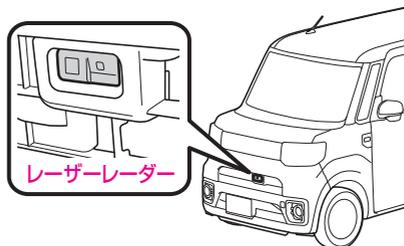
注意

- 以下のようなときは、前方の車両や障害物を認識しづらくなり、状況によってはスマートアシストの認識性能が下がる場合や一時停止（機能低下）状態になる場合があります。
 - 悪天候時（強い雨、吹雪、濃霧など）や、フロントワイパーが“LO”または“HI”のとき
 - 西日などの前方からの強い光をうけたとき
 - レーザーレーダー部に雪や汚れ、霜などが付着して覆っているとき
 - レーザーレーダーの温度が極端に高いとき
 - エンジン始動直後
 - 荷物の積載などにより、極端に車両が傾いているとき
 - 前方車などの水、雪などの巻き上げ
 - 水蒸気、砂、煙など視界が十分でないとき
 - キャリアカーやゴミ収集車などの特殊車両や、形状が壁状でない車両や黒い車両
 - 網目の大きいフェンス、ガラスなど、光をすり抜けるもの
 - 汚れなどで、両方のリフレクタが十分見えていない前方車
 - 大型車など地上高が高く、リフレクタの取り付け位置が高い車両
 - でこぼこ道やオフロードなどの悪路を走行しているとき
 - 道路標識やポールなどの細い棒状のもの
 - 車両に非常に近い位置で車両中央からずれた位置に障害物が存在するとき

レーザーレーダー

レーザーレーダーは、以下の機能で共用しています。

- 低速域衝突回避支援ブレーキ機能
- 誤発進抑制制御機能
- 先行車発進お知らせ機能



警告

- レーザーレーダーは、前方車の検出にレーザー光を使用しており、IEC 60825-1 規格におけるレーザー等級 1M に相当します。通常の使用においてレーザー光が目には障害をおよぼす危険はありませんが、下記のことを必ずお守りください。お守りいただかないと、重大な視覚障害におよぶか、最悪の場合失明につながるおそれがあります。
- 有害なレーザー照射を避けるため、レーザーレーダーは絶対に分解や取り外しをしないでください。また、分解したレーザーレーダーは IEC 60825-1 規格におけるレーザー等級 1M を満たさず、目に対する安全を保障できません。
- 光学機器（拡大鏡、顕微鏡、虫眼鏡など）を使用して、100mm以内の距離からレーザーレーダーをのぞきこまないでください。

レーザー等級ラベル

INVISIBLE LASER RADIATION
DO NOT VIEW DIRECTLY WITH
OPTICAL INSTRUMENTS
(MAGNIFIERS)
CLASS 1M LASER PRODUCT

レーザー放射仕様

- 最大出力（平均）：6mW
- パルス持続時間：25ns
- 波長：860nm
- 発散角（水平×垂直）：14°×6°

⚠ 警告

- レーザーレーダーは精密部品です。正しい作動のために、下記のことをお守りください。下記のことをお守りいただかないとセンサーが作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- レーザーレーダーを清掃する際は、やわらかい布などを使用して傷付けないようにしてください。
- レーザーレーダーにウォッシャー液やオイルが付着した場合は、すみやかに拭き取ってください。
- レーザーレーダーに撥水剤などを塗らないでください。
- レーザーレーダー周辺には高圧洗車機で水をかけないでください。
- レーザーレーダー、およびその周辺部分に強い衝撃や力を加えないでください。
- レーザーレーダーの取付位置を変更したり、周辺構造物を改造したりしないでください。
- レーザーレーダーにステッカーを貼ったりしないでください。
- バンパーを交換・修理する場合は、トヨタ販売店にご相談ください。
- フロントバンパー部分に腰掛けたり、寄りかかったりしないでください。
- 事故などで万一、バンパーが外れるようなことがあった場合には、トヨタ販売店にご連絡ください。
- レーザーレーダーにある調整ネジを回さないでください。

⚠ 注意

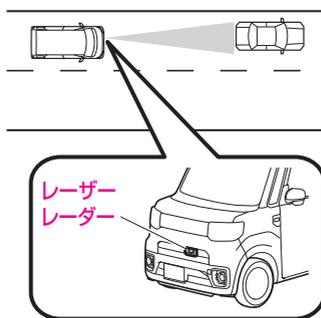
- 汚れ検知機能を備えていますが、万全ではありません。
- 汚れを検知した場合は、すべての機能が自動的に停止します。

低速域衝突回避支援ブレーキ機能

車速が約4km/h～約30km/hで走行中に、前方約20m以内の障害物をレーザーレーダーで認識して、運転者への注意喚起とブレーキ制御を行います。

運転者の回避操作がなく、前方障害物を車両と認識したときは、衝突の直前で緊急ブレーキが作動し、衝突の被害を軽減します。

また、自車と前方車との速度差が約20km/hより低いときは、衝突を回避できる場合があります。



警告

- 低速域衝突回避支援ブレーキ機能を、日常の車両停止のためには絶対に使用しないでください。低速域衝突回避支援ブレーキ機能はあらゆる状況で衝突を回避するものではありません。ブレーキの作動を低速域衝突回避支援ブレーキ機能に頼っていると、衝突事故を起こす場合があります。
- 衝突警報が作動した場合は前方や周囲を確認の上、運転者の判断でブレーキペダルを踏むなどの適切な操作をしてください。
- 安全のため、お客様ご自身で低速域衝突回避支援ブレーキ機能の作動テストを行わないでください。止まりきれないことや作動しないことがあり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 低速域衝突回避支援ブレーキ機能は、主に前方車に作動します。ただし、二輪車や歩行者、電柱、壁などに対しても作動することがありますが、これらへの衝突を回避することを目的とはしていません。
- 低速域衝突回避支援ブレーキ機能は、衝突が避けられないと判断した段階で作動し、衝突直前で強いブレーキをかけるように設定していますので、その効果は様々な条件により変わります。そのため、常に同じ性能が発揮できるものではありません。

警告

- 緊急ブレーキが作動したとき、アクセル操作をしても、緊急ブレーキを継続します。ただし、アクセルを全開に踏みこむと緊急ブレーキを解除します。
- 運転者がブレーキペダルを踏んでいたり、ハンドルを操作していたりすると、その操作状態によっては運転者の回避操作として判断され、緊急ブレーキが作動しない場合があります。
- 車速が約 30km/h 以内であっても、前方車との速度差が約 20km/h を超える場合、スマートアシストの性能限界から衝突を回避することはできません。
- シートベルトを着用し、必ず同乗者にも着用させてください。シートベルトを正しく着用しないと、緊急ブレーキが作動したときに危険な場合があります。

(シートベルト→ 35 ページ)

低速域衝突回避支援ブレーキ機能の作動条件について

この機能は、自車が以下の条件を全て満たしたときに作動可能となります。

- エンジンスイッチが“ON”
- スマートアシスト OFF 表示灯が消灯
- “レーダー停止”、“レーダー故障”が消灯
- シフトレバーが P、R レンジ以外
- 車速約 4km/h ~ 約 30km/h
- フロントワイパーが“LO”、“HI”以外

警告

以下の条件では、止まりきれないことや作動しないことがあります。

- 前方車との速度差、車間距離、接近の状態、横方向のずれ具合（オフセット量）
- 車両の状態（積載量、乗員など）
- 路面の状態（勾配、滑りやすさ、形状、凸凹など）
- 運転者の操作状態（アクセル、ブレーキ、ハンドルなど）
- 車両の整備状態（ブレーキ関係、タイヤの磨耗、空気圧など）
- 車両や二輪車などの急な割込み、歩行者の飛び出し
- 対向車が自車に向かって接近したとき
- 外気温が低いときや走行開始直後などでブレーキが冷えているとき

 警告

- 下り坂などでブレーキが過熱してブレーキの効が悪くなっているとき
- 水溜り走行後や洗車後などブレーキが濡れてブレーキの効が悪くなっているとき
- レーザーレーダーの認識状態（特に以下のような場合）
 - 悪天候時（強い雨、吹雪、濃霧など）
 - 西日などの前方からの強い光を受けたとき
 - レーザーレーダー部に雪や汚れ、霜などが付着して覆っているとき
 - レーザーレーダーの温度が極端に高いとき
 - エンジン始動直後
 - 荷物の積載などにより、極端に車両が傾いているとき
 - 前方車などの水、雪などの巻き上げ
 - 水蒸気、砂、煙など視界が十分でないとき
 - キャリアカーやゴミ収集車などの特殊車両や、形状が壁状でない車両や黒い車両
 - 対象物が網目の大きいフェンス、ガラスなど、光をすり抜けるもの
 - 汚れなどで、両方のリフレクタが十分見えていない前方車
 - 大型車など地上高が高く、リフレクタの取り付け位置が高い前方車
 - でこぼこ道やオフロードなどの悪路を走行しているとき
 - 対象物が道路標識やポールなどの細い棒状のもの
 - 車両に非常に近い位置で車両中央からずれた位置に障害物が存在するとき
 - 前方車が急ハンドル、急加速、急減速したとき
 - 自車が車線変更して前方車のすぐ後ろに接近したとき
 - 急なカーブ、急な上り坂、急な下り坂の場合
 - レーザーレーダーの認識エリア外に障害物が存在するとき
 - 前方車両に非常に小さい速度差で接近するとき
 - 前方車両や二輪車などが横や斜めを向いているとき
 - 前方車が非常に大きなリフレクタのついた、停止している大型車両
 - 非常に大きなリフレクタの隣に車両が停止しているとき

⚠ 注意

- 次のような場合は、システムが予期しない作動をする可能性がありますので、必ずスマートアシストを“OFF”にしてください。

(スマートアシスト OFF スイッチ→ 242 ページ)

- けん引されるとき
- キャリアカーに積載するとき
- シャシーダイナモメーターやフリーローラーなどを使用するとき
- リフトアップし、エンジンをかけタイヤを空転させたいとき
- 草むらや茂みなどに触れながら通過するとき
- サーキットなどでスポーツ走行するとき
- 次のような場合は、システムが作動することがありますので、安全運転に努めてください。
 - ETC ゲートなどを通過するとき
 - 前方車に接近して走行するときや、前方車ぎりぎりに接近して停止するとき
 - 路面の勾配が急に変化する場所を走行するとき
 - 水蒸気や霧、煙のかたまりを通過するとき
 - ビニールカーテン、旗などをもぐって通過するとき
 - 前方車などの水、雪などの巻上げ
 - 停止車両などの横すれすれを通過するときや対向車が自車に向かって接近するとき
 - 車両用エレベーターや機械式駐車場を利用するとき
 - 路面上に大きな反射物や、反射しやすい路面ペイント等がある場合
 - カーブの入口に路側物があるとき
 - カーブですれ違う対向車両があるとき

📖 知識

- 次のような場合は、システムが作動しません。
 - エンジン始動直後
 - スマートアシスト OFF スイッチでシステムを“OFF”にしているとき
 - スマートアシスト OFF 表示灯が点灯しているとき
 - “レーダー故障”が点灯しているとき（システム異常）
 - “レーダー停止”が点灯しているとき（機能低下）
- 緊急ブレーキ中に音が聞こえることがありますが、制御によるものであり異常ではありません。
- 緊急ブレーキ中にブレーキペダルを踏んだとき、ペダルが固く感じられることがありますが、異常ではありません。

低速域衝突回避支援ブレーキ機能の作動について

車速が約4km/h～約30km/hで走行中に、前方約20m以内の障害物をレーザーレーダーで認識すると、①～③の順にシステムが作動し、運転者への注意喚起とブレーキ制御を行います。

- システム作動中は、メーター表示とブザー音で運転者に注意喚起します。
- ブレーキ制御中は制動灯、ハイマウントストップランプが点灯します。

① 衝突警報

前方障害物に対し、衝突の危険性があると判断したときに、ブザー音とメーター表示で運転者に注意喚起して衝突回避操作を促します。

- ブレーキペダルを踏んで減速し、適切な車間距離をとるとブレーキ制御を行いません。

② 1次ブレーキ

前方車両に対し、衝突の危険性が高いと判断したときに、ブザー音を変化させブレーキ制御を行います。

- 運転者の衝突回避操作（ブレーキペダル、ハンドルなど）の操作量により、衝突する可能性が低くなったと判断した場合、作動を解除します。

③ 2次ブレーキ

前方車両に対し、衝突の危険性が非常に高いと判断したときに、1次ブレーキより強くブレーキ制御を行います。

- 停止後にブザーが鳴り、ブレーキ制御を最長約1.5秒間継続した後、ブレーキ制御を解除します。（停止保持）

注意

- 停止保持後にブレーキ制御が解除されると、クリープ現象により車両がゆっくりと動き出します。停車状態を継続するには、ブレーキペダルをしっかりと踏み続けてください。

	①衝突警報	②1次 ブレーキ	③2次 ブレーキ	(停止保持)
衝突の危険性	危険性がある	危険性が高い	危険性が非常に高い	—
緊急ブレーキの強さ	ブレーキ制御なし	弱い	強い	停止後、最長約1.5秒後に解除
ブザー音	ピピピッ	ピピピピピ...		ピピピッ...*
スマートアシスト 作動灯 	点滅			点滅*
スマートアシスト 警告灯 	消灯	点灯		消灯

*：運転者操作で終了

📖 知識

- 状況によっては、1次ブレーキや2次ブレーキから作動することがあります。

低速域衝突回避支援ブレーキ機能を“OFF”にするとき

スマートアシスト OFF スイッチを操作することで、低速域衝突回避支援ブレーキ機能を“OFF”にすることができます。同時に以下の機能も“OFF”になります。

- 誤発進抑制制御機能
- 先行車発進お知らせ機能

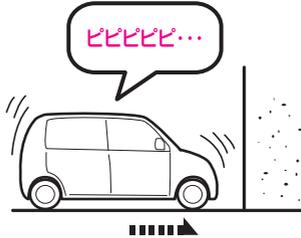
(スマートアシスト OFF スイッチ→242 ページ)

📖 知識

- スマートアシスト OFF スイッチでシステムを“OFF”にしても、エンジンスイッチを“ON”にするたびに、システムは“ON”に戻ります。

誤発進抑制制御機能

誤発進抑制制御機能は、前方約 4m 以内に障害物を認識している場合、停車または徐行（車速約 10km/h 以下）状態で、ペダルの踏み間違いなどにより必要以上にアクセルペダルが踏み込まれたとシステムが判断したときに、運転者への警報とエンジン出力の抑制制御を行い、発進をゆるやかにすることで、衝突時の被害を軽減します。



車速が約 4km/h 以下で、アクセルペダルが必要以上に踏み込まれたと判断したときに、ブザー音とメーター表示で警報し、運転者に衝突回避操作を促します。

車速が約 10km/h 以下で、アクセルペダルをすばやく、かつ必要以上に踏み込まれたと判断したときに、ブザー音とメーター表示で運転者に警報するとともに、エンジン出力の抑制制御を行います。

- エンジン出力の抑制制御はアクセルペダルを踏み続けている間、最長約 8 秒間続きます。

（ブザー音→ 241 ページ）

 **警告**

- 誤発進抑制制御機能を過信しないでください。誤発進抑制制御機能は衝突を回避するものではありません。発進時はシフトレバーやペダルの位置および周囲の安全を充分に確認して操作してください。誤発進抑制制御機能に頼っていると、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- 誤発進抑制制御機能は停止状態を保つものではありません。
- 誤発進抑制制御機能はあらゆる状況で発進を緩やかにするものではありません。
- 誤発進抑制制御機能は前方に障害物を認識している場合に作動するものであり、崖など対象物が見えない状況で発進を緩やかにするものではありません。
- 故意に対象物の近くでアクセルペダルを過剰に踏み込まないでください。アクセルの調節を誤発進抑制制御機能に頼っていると衝突事故を起こす場合があります。
- 万一、自車が踏切内で閉じ込められた場合、レーザーレーダーが遮断機を対象物と認識し、誤発進抑制制御機能が作動することがあります。遮断機を押し進める場合は、慌てずにアクセルペダルを踏み続けるか、スマートアシストを“OFF”にしてください。
(スマートアシスト OFF スイッチ→ 242 ページ)
- 運転者がハンドル操作をしていると、その操作状態によっては運転者の回避操作として判断され、誤発進抑制制御機能が作動しない場合があります。
- TRC を“OFF”または VSC & TRC を“OFF”にした場合、誤発進抑制制御機能は作動しません。
- エンジン出力の抑制制御をしたときに、アクセルペダルを約 8 秒以上踏み続けると、作動を解除します。また、すばやく 3 回以上、全開まで踏みなおすと、誤発進抑制制御機能は作動しません。

誤発進抑制制御機能の作動条件について

この機能は、自車が以下の条件を全て満たしたときに作動可能となります。

- エンジン回転中
- スマートアシスト OFF 表示灯が消灯
- “レーダー停止”、“レーダー故障” が消灯
- シフトレバーが R、S、D レンジ
- ブレーキペダルを踏んでいない
- 車速が 0 ～約 10km/h
- フロントワイパーが “LO”、“HI” 以外
- 方向指示表示灯が消灯
- TRC OFF 表示灯、VSC OFF 表示灯が消灯

警告

以下の条件の違いにより作動しないことがあります。

- 前方車との速度差、車間距離、接近の状態、横方向のずれ具合（オフセット量）
- 車両の状態（積載量、乗員など）
- 路面の状態（勾配、凸凹など）
- 運転者の操作状態（アクセル、ブレーキ、ハンドルなど）
- 車両の整備状態（ブレーキ関係、タイヤの磨耗、空気圧など）
- 車両や二輪車などの急な割り込み、歩行者の飛び出し

 **警告**

- レーザーレーダーの認識状態（特に以下のような場合）
 - 悪天候時（強い雨、吹雪、濃霧など）
 - 西日などの前方からの強い光を受けたとき
 - レーザーレーダー部に雪や汚れ、霜などが付着して覆っているとき
 - レーザーレーダーの温度が極端に高いとき
 - エンジン始動直後
 - 荷物の積載などにより、極端に車両が傾いているとき
 - 前方車などの水、雪などの巻き上げ
 - 水蒸気、砂、煙など視界が十分でないとき
 - 対象物が網目の大きいフェンス、ガラスなど、光をすり抜けるもの
 - でこぼこ道やオフロードなどの悪路を走行しているとき
 - 対象物が道路標識やポールなどの細い棒状のもの
 - 車両に非常に近い位置で車両中央からずれた位置に障害物が存在するとき
 - 自車が進路変更して障害物のすぐ後ろに接近したとき
 - 急なカーブ、急な上り坂、急な下り坂の場合
 - レーザーレーダーの認識エリア外に障害物が存在するとき
 - 障害物の高さが低いとき（縁石など）
 - 障害物が小さいとき（小動物、幼児など）
 - 障害物に接近しすぎたとき

⚠ 注意

- 次のような場合は、誤発進抑制制御が予期しない作動をする可能性があるため、スマートアシストを“OFF”にしてください。

(スマートアシスト OFF スイッチ→ 242 ページ)

- けん引されるとき
- キャリアカーに積載するとき
- シャシーダイナモメーターやフリーローラーなどを使用するとき
- リフトアップし、エンジンをかけタイヤを空転させたいとき
- 草むらや茂みなどに触れながら通過するとき
- サーキットなどでスポーツ走行するとき
- 脱輪したときやぬかるみから脱出するとき
- 次のような場合は誤発進抑制制御が作動することがありますので、安全運転に努めてください。
 - 前方車に接近して走行するときや、前方車や壁ぎりぎりに接近して停止するとき
 - 路面の勾配が急に変化する場所を走行するとき
 - 水蒸気や霧、煙のかたまりを通過するとき
 - ビニールカーテン、旗などをもぐって通過するとき
 - 前方車などの水、雪などの巻上げ
 - 停止車両などの横すれすれを通過するときや対向車が自車に向かって接近するとき
 - 車両用エレベーターや機械式駐車場を利用するとき
 - 路面上に大きな反射物や、反射しやすい路面ペイント等がある場合
 - カーブの入口に路側物があるとき
 - カーブですれ違う対向車両があるとき
 - カーブや交差点に障害物があるとき
 - 縦列駐車から本線に合流するとき

知識

- 次のような場合は、システムが作動しません。
 - エンジン始動直後
 - スマートアシスト OFF スイッチでシステムを“OFF”にしているとき
 - スマートアシスト OFF 表示灯が点灯しているとき
 - “レーダー故障”が点灯しているとき（システム異常）
 - “レーダー停止”が点灯しているとき（機能低下）

誤発進抑制制御機能を“OFF”にするとき

スマートアシスト OFF スイッチを操作することで、誤発進抑制制御機能を“OFF”にすることができます。

同時に以下の機能も“OFF”になります。

- 低速域衝突回避支援ブレーキ機能
- 先行車発進お知らせ機能

(スマートアシスト OFF スイッチ→242 ページ)

知識

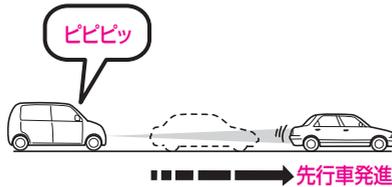
- スマートアシスト OFF スイッチでシステムを“OFF”にしても、エンジンスイッチを“ON”にするたびに、システムは“ON”に戻ります。

先行車発進お知らせ機能

先行車発進お知らせ機能は、先行車の発進後に自車が停止し続けた場合に、ブザー音とメーター表示で運転者にお知らせします。

先行車に続いて停車中（車間距離が約 10 m 以内、かつ自車がしばらく停車中）、先行車が発進して約 3m 以上進んでも自車が発進しないときに作動します。

（ブザー音 → 241 ページ）



⚠ 注意

- 先行車発進お知らせ機能は、安全に発進できる状態を知らせたり、あらゆる状況での先行車の発進を知らせたりするものではありません。先行車発進お知らせ機能に頼らず、十分に安全を確認して運転してください。

先行車発進お知らせ機能の作動条件について

この機能は、自車が以下の条件を全て満たしたときに作動可能となります。

- エンジンスイッチが “ON”
- スマートアシスト OFF 表示灯が消灯
- “レーダー停止”、“レーダー故障” が消灯
- シフトレバーが ④、⑤、⑥ レンジでブレーキペダルを踏んでいる、または ⑦ レンジ
- 停止してから数秒経過
- フロントワイパーが “LO”、“HI” 以外

知識

- 次のような場合は、先行車が発進していても機能が働いてしまう場合や、発進していても作動が遅れたり、機能が働かない場合があります。
 - 停止した先行車との間にオートバイなどが割り込んできたとき
 - 天候や道路形状などにより先行車を認識出来ないとき
 - 先行車を見失ったとき
 - シフトレバーが **D**、**S**、**B** レンジで、ブレーキペダルを踏んでいないとき
 - 先行車との横位置がずれていた場合（オフセット量）
 - 自車が停止した時に先行車が動いている場合
 - 先行車が急発進や急旋回した場合
 - 先行車がキャリアカーやゴミ収集車などの特殊車両や、形状が壁状でない車両や黒い車両
 - 汚れなどで、両方のリフレクタが十分見えていない先行車
 - 大型車など地上高が高く、リフレクタの取り付け位置が高い先行車
 - でこぼこ道やオフロードなどの悪路を走行しているとき

先行車発進お知らせ機能を“OFF”にするとき

スマートアシスト OFF スイッチを操作することで、先行車発進お知らせ機能を“OFF”にすることができます。同時に以下の機能も“OFF”になります。

- 低速域衝突回避支援ブレーキ機能
- 誤発進抑制制御機能

(スマートアシスト OFF スイッチ→242 ページ)

知識

- スマートアシスト OFF スイッチでシステムを“OFF”にしても、エンジンスイッチを“ON”にするたびに、システムは“ON”に戻ります。

メーター表示

スマートアシスト警告灯

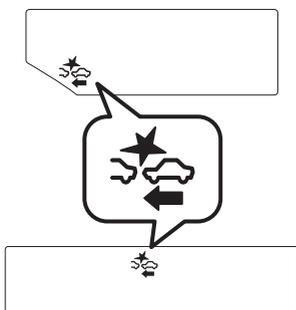


- エンジンスイッチを“ON”にすると点灯し、数秒後に消灯します。
- エンジンスイッチが“ON”で、下記の場合に点灯します。
 - スマートアシストに異常があるとき
 - 低速域衝突回避支援ブレーキ機能の1次ブレーキ、2次ブレーキが作動したとき
 - 誤発進抑制制御機能が作動したとき

⚠ 注意

- 同時に、スマートアシスト OFF 表示灯と“レーダー故障”が点灯したときは、スマートアシストは作動しません。
通常走行に支障ありませんが、トヨタ販売店で点検を受けてください。

スマートアシスト作動灯



- エンジンスイッチを“ON”にすると点灯し、数秒後に消灯します。
- エンジンスイッチが“ON”で、下記の機能が作動したときに点滅します。
 - 低速域衝突回避支援ブレーキ機能
 - 誤発進抑制制御機能
 - 先行車発進お知らせ機能

スマートアシスト OFF 表示灯



- エンジンスイッチを“ON”にすると点灯し、数秒後に消灯します。
- エンジンスイッチが“ON”で、下記の場合に点灯します。
 - スマートアシスト OFF スイッチでシステムを“OFF”にしたとき
 - スマートアシストに異常があるとき
(スマートアシスト OFF スイッチ → 242 ページ)

レーダー“故障”表示



〈タコメーターなし車〉



〈タコメーター付き車〉

- エンジンスイッチが“ON”で、スマートアシストに異常があると点灯します。

⚠ 注意

- “レーダー故障”が点灯したときは、スマートアシストは作動しません。通常走行に支障ありませんが、トヨタ販売店で点検を受けてください。

レーダー“停止”表示



〈タコメーターなし車〉



〈タコメーター付き車〉

- エンジンスイッチが“ON”で、スマートアシストの機能が低下したときに、“レーダー停止”と機能低下コードが点灯します。

知識

- “レーダー停止”が点灯したときは、スマートアシストは作動しません。機能低下コードごとに適切な処置を行ってください。

機能低下コード

機能低下コード	原因	処置
10E	レーザーレーダーの窓部が汚れている	センサー窓部を清掃し、原因状態が解消されると、復帰します。
11E	フロントワイパーを“LO”または“HI”で作動している	原因状態が解消されると、復帰します。
	西日などの前方からの強い光を受けている 悪天候(強い雨、吹雪、濃霧など)のとき	
12E	レーザーレーダー内が高温になった	原因状態が解消されると、復帰します。
	エンジン始動後、2次ブレーキが3回作動した	安全な場所に停車し、エンジンスイッチを“OFF”にした後、再度エンジンスイッチを“ON”にしてください。
14E	バッテリーとの接続が絶たれた	バッテリーとの接続が回復し、しばらく走行すると、復帰します。

注意

- 処置をしても、機能低下コードが表示されたままのときは、システムの異常が考えられます。通常走行に支障ありませんが、トヨタ販売店で点検を受けてください。

知識

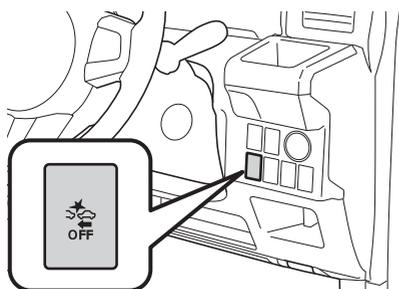
- 機能低下コード「10E」「11E」は、車速が上がると消灯します。

ブザー音

スマートアシストの状態に応じて、メーター表示とともにブザーが鳴ります。

	インジケータ		液晶部			ブザー音	
	スマートアシスト警告灯	スマートアシストOFF表示灯	スマートアシスト作動灯	レーダー故障表示	レーダー停止表示		
				レーダー故障	レーダー停止		
スマートアシストOFFスイッチでの停止時	—	点灯	—	—	—	ピピピッ	
システム異常時	点灯	点灯	—	点灯	—	—	
機能低下時	—	—	—	—	点灯	—	
低速域衝突回避機能	衝突警報	—	—	点滅	—	—	ピピピッ
	1次ブレーキ	点灯	—	点滅	—	—	ピピピピピ...
	2次ブレーキ	点灯	—	点滅	—	—	ピピピピピ...
	停止保持	—	—	点滅	—	—	ピピピッ...
誤発進抑制制御機能	警報	—	—	点滅	—	—	ピピピッ
	制御	点灯	—	点滅	—	—	ピピピピピ...
先行車発進お知らせ機能	—	—	—	点滅	—	—	ピピピッ

スマートアシスト OFF スイッチ



スマートアシストの以下の機能を停止することができます。

- 低速域衝突回避支援ブレーキ機能
- 誤発進抑制制御機能
- 先行車発進お知らせ機能

エンジンスイッチが“ON”のとき、スマートアシスト OFF スイッチを約 2 秒以上押し続けると、システムが“OFF”になります。

- メーター内のスマートアシスト OFF 表示灯が点灯し、ブザーが鳴ります。

“ON（作動可能状態）”に戻すときは、再度スイッチを押し続けます。

- メーター内のスマートアシスト OFF 表示灯が消灯し、ブザーが鳴ります。

知識

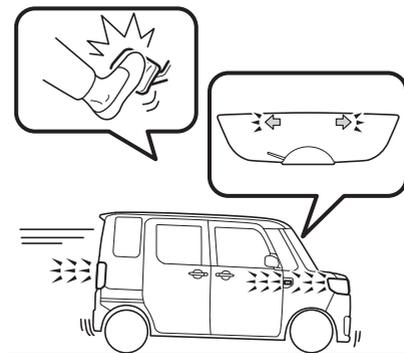
- スマートアシスト OFF スイッチでシステムを“OFF”にしても、エンジンスイッチを“ON”にするたびに、システムは“ON”に戻ります。

エマージェンシーストップシグナル

エマージェンシーストップシグナル

エマージェンシーストップシグナルは、自車が急ブレーキをかけたことを、非常点滅灯が自動で高速点滅し、後続車に注意をうながすことで、追突される可能性を低減させるシステムです。

- 約 60km/h 以上で走行しているときに、急ブレーキをかけると作動します。



作動条件について

エマージェンシーストップシグナルは、自車が下記の条件を全て満たしたときに作動します。

- 非常点滅灯スイッチが“OFF”
- 約 60km/h 以上で走行中
- ブレーキペダルを踏み、急減速した、または ABS が作動した

作動停止について

エマージェンシーストップシグナルは、下記のいずれかのときに作動が停止します。

- 非常点滅灯スイッチを“ON”にした
- ブレーキペダルから足を離れた
- 急減速でなくなった
- ABS が作動停止した

⚠ 注意

- エマージェンシーストップシグナルは、追突される可能性を低減させるシステムであり、追突を完全に防ぐものではありません。
- 運転するときは不必要な急ブレーキを避け、安全運転を心がけてください。
- ABS 警告灯、または VSC & TRC 警告灯が点灯しているときは、エマージェンシーストップシグナルが作動しないことがあります。

アイドリングストップシステム

eco IDLE (エコアイドル)

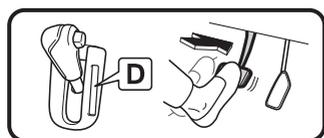
eco IDLE は、エンジン暖機後に信号待ちや渋滞などで減速した際、停車前（約 9km/h* 以下）もしくは停車後に、燃費向上や排気ガス低減、アイドリング騒音低減のため、自動でエンジンを停止（アイドリングストップ）、再始動させるシステムです。

アイドリングストップ、エンジン再始動のしかた



**eco
IDLE**

緑色に点灯



- 1 走行中にアイドリングストップする条件を満たすと、eco IDLE 表示灯が緑色に点灯します。

<スタンバイ状態>

(スタンバイ条件→247ページ)

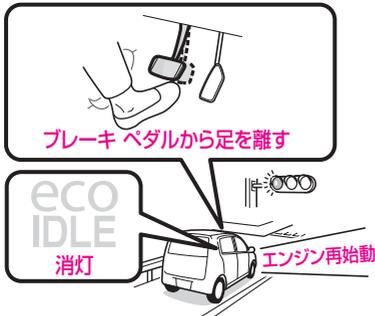
- 2 ④レンジのままブレーキペダルを踏み減速すると、停車前（約 9km/h* 以下）もしくは停車後に、アイドリングストップします。

<アイドリングストップ状態>

- eco IDLE 表示灯はアイドリングストップ中も緑色に点灯し続けます。

(停車前のアイドリングストップ条件
→248ページ)

(停車後のアイドリングストップ条件
→249ページ)



3 ブレーキペダルから足を離すと、エンジンが再始動します。

<エンジン再始動>

- eco IDLE 表示灯は消灯します。
(エンジン再始動条件→249 ページ)

4 しばらく走行して、再びアイドリングストップする条件を満たすと、eco IDLE 表示灯が緑色に点灯します。

eco IDLE (エコアイドル) の注意事項

警告

- アイドリングストップ中は車外へ出ないでください。思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- 運転席シートベルトを外したり運転席ドアを開けたりすると、ブレーキペダルを踏んでいても、エンジンが再始動しますので、あわてずにブレーキペダルを踏み続けてください。
- シートベルトとドアを元に戻すまで、警告ブザーが鳴り続けます。

(警告ブザー→251 ページ)



- アイドリングストップ中は、ブレーキペダルを踏んだまま、アクセルペダルを踏むとエンジンが再始動しますので、車両の発進には十分ご注意ください。
- 長時間停車するときや車両から離れるときは、駐車ブレーキをかけ、エンジンスイッチを操作してエンジンを停止させてください。

注意

eco IDLE を正常に作動させるために

- 下記の場合、eco IDLE が正常に作動しないおそれがあります。トヨタ販売店で点検を受けてください。
 - 運転席シートベルトを着用していても、シートベルト締め忘れ警告灯が点滅するとき
 - 運転席シートベルトを外していても、シートベルト締め忘れ警告灯が点滅しないとき
 - 運転席ドアを閉めても半ドア警告灯が点灯する、または室内照明のスイッチが“DOOR”のときに室内照明が点灯するとき
 - 運転席ドアを開けても半ドア警告灯が点灯しない、または室内照明のスイッチが“DOOR”のときに室内照明が点灯しないとき

知識

アイドリングストップ中の操作について

- アイドリングストップ中に、シフトレバーを **D** から **N** レンジ（または **S** レンジ）に操作してもアイドリングストップは継続します。
ただし、シフトレバーを **N** レンジに操作したあと他のレンジに操作すると、エンジンが再始動します。
- 右左折や合流時など、アイドリングストップ中に事前に発進準備をしたいときは、下記の操作で事前にエンジンを再始動することができます。
 - ブレーキペダルをすばやく増し踏みする
 - ハンドル操作をする
 - eco IDLE OFF スイッチを押す

(eco IDLE OFF スイッチ→ 254 ページ)

アイドリングストップ中のエアコンの作動について

- アイドリングストップ中はエアコンの冷房、除湿機能が停止し、送風のみになります。通常作動に戻すには、下記の操作でエンジンを再始動させてください。
 - ブレーキペダルをすばやく増し踏みする
 - eco IDLE OFF スイッチを押す

システムの作動条件について

スタンバイ条件

下記の条件をすべて満たすと、eco IDLE 表示灯が緑色に点灯し、アイドリングストップが可能な状態になります。

- eco IDLE OFF スイッチを押して、eco IDLE の作動を停止していないとき (eco IDLE 作動停止中は、eco IDLE OFF 表示灯がオレンジ色に点灯します)
- エンジンが十分に暖まっているとき
- トランスミッションオイルが十分に暖まっているとき
- エンジン冷却水温が高すぎないとき
- バッテリーが十分に充電されているとき
- エンジン始動後に約 10km/h 以上でしばらく走行したあと (走行せずにアイドリング状態を続けていても、アイドリングストップしません)
- シフトレバーが R レンジのとき
- ボンネットが閉まっているとき
- 運転席ドアが閉まっているとき
- 運転席シートベルトを着用しているとき
- 外気温が約 0℃以上のとき (走行状態によって、実際の外気温とメーター表示の外気温は、異なる場合があります)
- フロントデフロスタースイッチが“OFF”のとき (オートエアコン装着車)
- 車内温度が快適なとき (オートエアコン装着車の冷房時)
- システム (eco IDLE、エンジン電子制御、オートマチックトランスミッション、ABS、VSC、エアコン、電動パワーステアリング) が正常なとき

知識

- 下記の場合、スタンバイ状態になるまでに時間がかかる場合があります。
 - 車両を長期間使用しなかったときなど、バッテリーが放電しているとき
 - バッテリー交換などで、バッテリーの ⊖ 端子を外したあと
 - 冷房初期 (オートエアコン装着車)

停車前のアイドリングストップ条件

スタンバイ条件と下記の条件をすべて満たすと、eco IDLE 表示灯が緑色に点灯したまま、停車前にアイドリングストップします。

- 2WD 車、ターボ車は車速が約 9km/h 以下になったとき
ターボ車以外の 4WD 車は車速が約 7km/h 以下になったとき
- ブレーキペダルを踏んでいるとき
- アクセルペダルを踏んでいないとき
- ライトスイッチが“OFF” のとき
- フロントワイパー・ウォッシャースイッチが“OFF” のとき
- ハンドルの切れ角が小さいとき
- 急減速していないとき
- ABS、VSC が作動していないとき
- 低速域衝突回避支援ブレーキ機能が作動していないとき（スマートアシスト装着車）

知識

- 下記の場合、停車前アイドリングストップしない場合があります。
 - ブレーキブースター（ブレーキ倍力装置）の負圧が低下しているとき
 - ブレーキペダルを踏む力が弱いとき
 - 勾配のある坂道を走行しているとき
 - ゆるやかに減速しているとき

■ 停車後のアイドリングストップ条件

スタンバイ条件と下記の条件をすべて満たすと、eco IDLE 表示灯が緑色に点灯したまま、停車後にアイドリングストップします。

- 車両が停車しているとき
- ブレーキペダルを踏んでいるとき
- アクセルペダルを踏んでいないとき
- ハンドル操作をしていないとき
- ABS、VSC が作動していないとき
- 低速域衝突回避支援ブレーキ機能が作動していないとき（スマートアシスト装着車）

📖 知識

- 下記の場合、アイドリングストップしない場合があります。
 - ブレーキブースター（ブレーキ倍力装置）の負圧が低下しているとき
 - ブレーキペダルを踏む力が弱いとき
 - 急勾配の坂道で停車したとき

■ エンジン再始動条件

アイドリングストップ中に、下記のいずれかの操作を行うとエンジンが再始動します。

- ブレーキペダルから足を離す
- ブレーキペダルをすばやく増し踏みする
- アクセルペダルを踏む
- ハンドル操作をする
- シフトレバーを R・D レンジに操作する
- シフトレバーを N レンジに操作したあと、他のレンジに操作する
- eco IDLE OFF スイッチを押して、システム作動を停止する
- フロントデフロスタースイッチを“ON”にする（オートエアコン装着車）
- 運転席ドアを開ける
- 運転席シートベルトを外す

知識

エンジンの再始動について

- 下記の場合でも、アイドリングストップ中にエンジンが再始動し、クリープ現象*が発生しますので、ブレーキペダルはしっかりと踏み続けてください。
 - アイドリングストップ中に、アイドリングストップが可能な条件を満たさなくなった場合（eco IDLE 表示灯は緑色に点滅後消灯）
 - ・ブレーキブースター（ブレーキ倍力装置）の負圧が低下したとき
 - ・坂道などで停止状態から車両が動き出したとき
 - ・バッテリーの放電量が多いとき（パワースライドドアを自動開閉したとき等）
 - ・警告灯（エンジン、オートマチックトランスミッション、ABS、VSC & TRC）が点灯するなど、各システムに異常が発生したとき
 - ・エアコンの制御システムに異常が発生したとき（オートエアコン装着車）
 - ・冷房時はエアコン吹き出し口の風の温度が上昇したとき（オートエアコン装着車）
 - ・アイドリングストップしてから約3分経過したとき
 - アイドリングストップ中に、eco IDLE システムに異常が発生した場合、またはエンジン部品（スターター）やバッテリーが交換時期になった場合（eco IDLE OFF 表示灯はオレンジ色に点滅）

アイドリングストップ時間が短くなる場合

- 下記の場合、アイドリングストップ時間が短くなる場合があります。
 - 外気温が高く、エアコンを使用している状態で頻繁にアイドリングストップしたとき
 - 電装品などの消費電力が大きいとき

エンジンが再始動しない場合

- 下記の場合、警告ブザーが鳴って eco IDLE 表示灯が点滅し、安全確保のためブレーキペダルから足を離しても、エンジンは再始動しません。
 - アイドリングストップ中にボンネットを開けたとき

（警告ブザー→251ページ）

エンジン再始動時の電装品の動作について

- オーディオの音量が大きいなど、アイドリングストップ中の消費電力が大きい場合、エンジン再始動時に下記の電源が一時的に“OFF”になることがあります。
 - オーディオ
 - ナビゲーションシステム
- アイドリングストップからエンジンが再始動すると、アクセサリソケットの電源電圧が低下するので、使用している電化製品によっては電源が一時的に“OFF”になることがあります。

警告ブザー

アイドリングストップ中に、運転席シートベルトを外したり、運転席ドアやボンネットを開いたりすると、警告ブザーが鳴ります。

運転席シートベルトを外したとき

警告ブザー（断続音）が鳴り、eco IDLE 表示灯が緑色に高速で点滅します。

- エンジンが再始動します。

▼ 対処方法

- 運転席シートベルトを確実に着用してください。警告ブザーが止まります。

運転席ドアを開けたとき

警告ブザー（断続音）が鳴り、eco IDLE 表示灯が緑色に高速で点滅します。

- エンジンが再始動します。

▼ 対処方法

- 運転席ドアが開いていないかを確認し、確実に閉めてください。
警告ブザーが止まります。

ボンネットを開けたとき

警告ブザー（断続音）が数秒間鳴り、eco IDLE 表示灯が緑色に高速で点滅します。

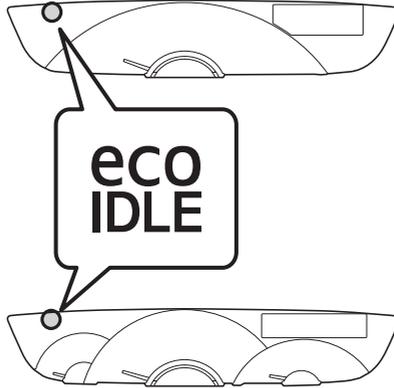
- 安全確保のため、通常のエンジン停止状態になります。（エンジン警告灯・充電警告灯・油圧警告灯も同時に点灯します）

▼ 対処方法

- ボンネットが開いていないか確認し、確実に閉めてください。
- シフトレバーを④レンジに操作してから、エンジンスイッチを操作して、エンジンを始動してください。

eco IDLE 表示灯 (緑色)

eco IDLE に関する操作状況、車両の状態をお知らせします。



点灯

- エンジンスイッチを“ON”にしたとき
(数秒後消灯)
- アイドリングストップが可能な条件を満たしたとき
<スタンバイ条件成立>
- アイドリングストップ中

低速点滅後、消灯

アイドリングストップ中に、アイドリングストップが可能な条件を満たさなくなり、エンジンが再始動したとき

消灯

- アイドリングストップからエンジンが再始動したとき
- アイドリングストップが可能な条件を満たしていないとき
<スタンバイ条件不成立>

高速点滅

アイドリングストップ中に下記の状態になると、高速点滅すると同時に警告ブザーが鳴ります。

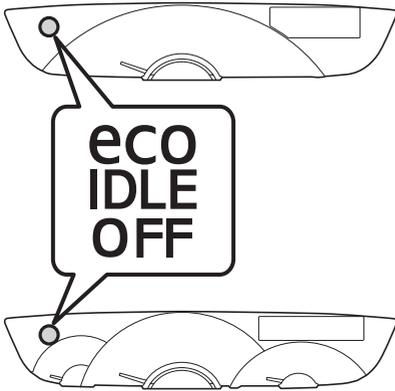
- 運転席シートベルトを外したとき
- 運転席ドアを開けたとき
- ボンネットを開けたとき

(警告ブザー→ 251 ページ)

知識

- 表示灯が点灯・点滅しているときに車幅灯を点灯すると、表示灯が減光します。

eco IDLE OFF 表示灯 (オレンジ色)



点灯

- eco IDLE OFF スイッチを押して、eco IDLE 作動を停止すると点灯します。
(eco IDLE OFF スイッチ → 254 ページ)

点滅

- 下記の状態になると、エンジンスイッチが“ON”のときに点滅します。
 - eco IDLE システムに異常があるとき
 - エンジン部品(スターター)やバッテリーが交換時期のとき

⚠ 注意

オレンジ色に点滅した場合

- トヨタ販売店で点検を受けてください。

📖 知識

- 表示灯が点灯・点滅しているときに車幅灯を点灯すると、表示灯が減光します。

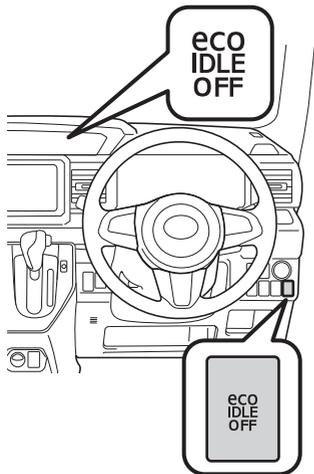
アイドリングストップ時間表示

アイドリングストップ時間を、メーターのマルチインフォメーションディスプレイに表示できます。

(マルチインフォメーションディスプレイ → 171 ページ)

eco IDLE OFF スイッチ

eco IDLE の作動を停止したいときにスイッチを押します。



▼ 操作方法

- スイッチを押すと、eco IDLE の作動停止状態になります。
 - メーター内の eco IDLE OFF 表示灯がオレンジ色に点灯します。
- もう一度スイッチを押すと、eco IDLE 作動停止状態が解除されます。
 - eco IDLE OFF 表示灯が消灯します。
(eco IDLE 表示灯→ 252 ページ)
(eco IDLE OFF 表示灯→ 253 ページ)

📖 知識

- アイドリングストップ中に、スイッチを押すとエンジンが再始動し、eco IDLE 作動停止状態になります。(eco IDLE OFF 表示灯はオレンジ色に点灯します)
- eco IDLE はエンジンスイッチ操作によるエンジン始動をするたびに、作動可能状態に戻ります。

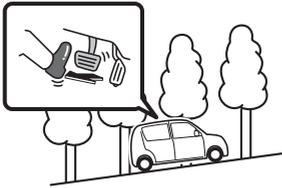
ヒルスタートシステム

アイドリングストップからブレーキペダルをゆるめてエンジンが再始動する際、最長約 2 秒間ブレーキ力を保持するシステムです。

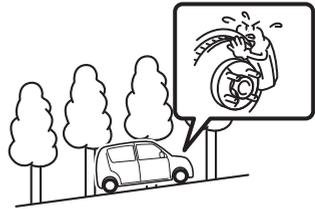
- 坂道発進時の後退を軽減します。(ただし、アイドリングストップしていないときは作動しません)

▼ 作動の流れ

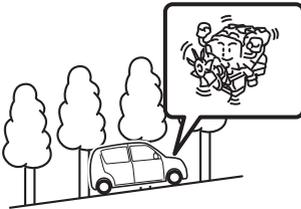
1 ブレーキペダルを踏む力をゆるめる



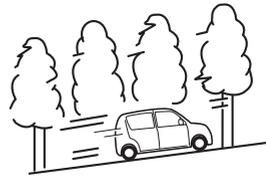
2 ブレーキ力保持



3 エンジン再始動



4 発進



⚠ 警告

- ヒルスタートシステムは、坂道で停車させるシステムではありません。システムが正常に作動していても、坂道で停車中にブレーキペダルをゆるめると車両が動き出すおそれがありますので、停車中はブレーキペダルをしっかり踏み続けてください。
- ヒルスタートシステムを過信しないでください。発進時に車両が不意に動き出すなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。常に周囲の状況を確認して、適切にシフトレバー、ブレーキペダル、アクセルペダル、駐車ブレーキを操作して発進してください。
- ブレーキペダルから足を離したら、すみやかに発進操作を行ってください。坂道などで惰性で後退した場合、エンストを起し、ブレーキの効きが悪くなったり、ハンドルが重くなるなど、思わぬ事故や故障の原因となるおそれがあり危険です。

警告

- ゆるやかな上り坂で停車前アイドリングストップしたあと、車両が停止する前にアクセルペダルを踏んで再加速しようとした場合、車両が後退することがあります。車両が惰性で後退したときは、周囲の状況に応じてブレーキペダル、アクセルペダルを操作し、安全に発進してください。
- 重い荷物を車内に積んでいるとき、または急な上り坂では、ヒルスタートシステムが作動していても、車両が後退することがあります。駐車ブレーキをかけたりするなどして発進してください。

知識

- ヒルスタートシステムの作動により、下記の状態になることがありますが、異常ではありません。
 - ブレーキペダルの踏みごたえが変わる
 - ブレーキペダルが振動する
 - ブレーキから音が発生する
- ヒルスタートシステムは、坂道だけではなく、平坦な道路でも作動します。

eco IDLE 専用バッテリー

eco IDLE 装着車は、高性能な専用バッテリーを搭載しています。

バッテリーを交換するときは、この車用の eco IDLE 専用バッテリーと交換してください。詳しくはトヨタ販売店にご相談ください。

注意

- 専用バッテリー以外を使用すると、バッテリーの早期劣化や eco IDLE が正常に作動しなくなる原因となります。
- バッテリーの端子から直接電装品の電源をとらないでください。eco IDLE が正常に作動しなくなります。

知識

- バッテリーは定期的に充電することで、長持ちさせることができます。詳しくはトヨタ販売店にご相談ください。

エコ発電制御

■ エコ発電制御

減速時の発電によってバッテリーを集中充電することにより、走行中（加速やクルージングなど）の発電を抑制、燃料消費量を低減させ、燃費を向上させる効果があります。

装備品の使いかた

空調

マニュアルエアコン	260
オートエアコン	268
リヤウインドデフォグガー	
スイッチ	277

オーディオ

ルーフアンテナ	278
オーディオの取り扱い	279
インテグレートCD・AM/FM付	
ラジオ・AUX端子	283
ステアリングスイッチ	294
バックカメラ	295

室内装備品

室内照明	299
アクセサリーソケット	301
アームレスト	302
運転席シートヒーター	303
サンバイザー	304
格納式リヤドア	
サンシェード	305
格納式アシストグリップ	306
収納装備	307
ラゲージルーム内装備	311
ドリンクホルダー	320
買い物フック	322
助手席シートバック	
テーブル	322

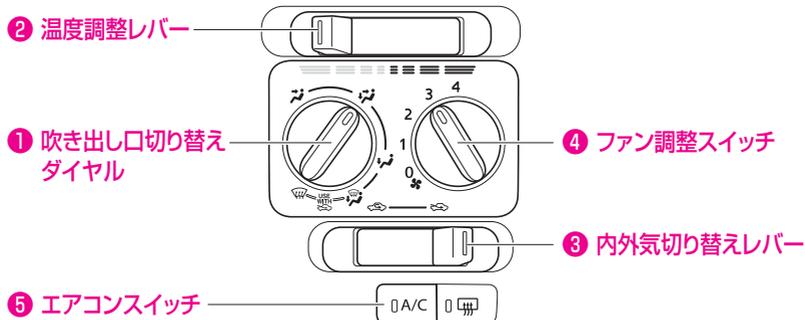
空調

■ マニュアルエアコン

オプション/グレード別装備

室内の冷暖房、除湿、曇り取りなどを行うことができます。

■ コントロールパネル



■ マニュアルエアコンの使いかた

■ 通常の暖房

▼ 操作方法

- 吹き出し口切り替えダイヤル (①) を にする
- 温度調整レバー (②) を右 (高温側) にスライドする
- 内外気切り替えレバー (③) を にする
- ファン調整スイッチ (④) を調整する

▼ 急速に暖房したいときは

温度調整レバー (②) を一番右 (高温側) にスライドして、内外気切り替えレバー (③) を にしてください。

📖 知識

- 内外気切り替えレバー (③) を にして長時間使用すると、ガラスが曇りやすくなりますので一時的にご使用ください。
- 暖かくなってきたら温度調整レバー (②) を左 (低温側) にスライドして、お好みの温度に調整してください。

■ 通常の冷房

▼ 操作方法

- 吹き出し口切り替えダイヤル (1) を  にする
- 温度調整レバー (2) を左 (低温側) にスライドする
- 内外気切り替えレバー (3) を  にする
- ファン調整スイッチ (4) を調整する
- エアコンスイッチ (5) を “ON” にする

📖 知識

乗車直後に車内の温度が高いときは

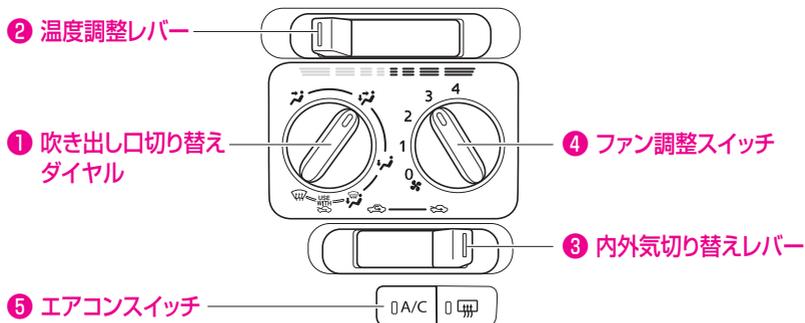
- 窓を開けて熱気を逃がしてからエアコンを作動させてください。

▼ 急速に冷房したいときは

温度調整レバー (2) を一番左 (最低温) に操作して、内外気切り替えレバー (3) を  にしてください。

📖 知識

- 内外気切り替えレバー (3) を  にして長時間使用すると車内の空気が汚れます。換気のためととき内外気切り替えレバー (3) を  にしてください。
- 冷えてきたら温度調整レバー (2) を右 (高温側) にスライドして、お好みの温度に調整してください。



■ 除湿暖房するとき (曇り止め)

▼ 操作方法

- 吹き出し口切り替えダイヤル (①) を 1 にする
- 状況に応じて温度調整レバー (②) を調整する
- 内外気切り替えレバー (③) を 2 にする
- 状況に応じてファン調整スイッチ (④) を調整する
- エアコンスイッチ (⑤) を "ON" にする

📖 知識

- 外気温が 0°C 近くまで下がると、エアコンの除湿機能が作動しない場合があります。

■ 換気するとき

▼ 操作方法

- 吹き出し口切り替えダイヤル (①) を 2 にする
- 状況に応じて温度調整レバー (②) を調整する
- 内外気切り替えレバー (③) を 2 にする
- 状況に応じてファン調整スイッチ (④) を調整する
- エアコンスイッチ (⑤) を "OFF" にする

■ ガラスの曇りを取るとき

▼ 操作方法

- 吹き出し口切り替えダイヤル (1) を  にする
- 状況に応じて温度調整レバー (2) を調整する
- 内外気切り替えレバー (3) を  にする
- 状況に応じてファン調整スイッチ (4) を調整する
- エアコンスイッチ (5) を “ON” にする

▼ より早くガラスの曇りを取る場合

ガラスの曇りを取る操作と併せて、下記の操作を行います。

- ファン調整スイッチ (4) で風量を増す
- 温度調整レバー (2) を右 (高温側) にスライドする

⚠ 警告

ガラスの曇りを防止するために

- 温度調整レバー (2) を一番左 (最低温) に操作しないでください。冷風がガラスに当たるとガラスの外側が曇ることがあります。

📖 知識

- 外気温が 0°C 近くまで下がると、エアコンの除湿機能が作動しない場合があります。
- 吹き出し口切り替えダイヤル (1) を  にすると、曇り取りと同時に足元にも送風します。

外気が汚れているときは

- 一時的に内外気切り替えレバー (3) を  にしてください。

マニュアルエアコンの取扱いについて

警告

- eco IDLE によるアイドリングストップ中は、エアコンが作動しないため室内の湿度が上がってガラスが曇ることがあります。エンジンを再始動し、エアコンを作動させてください。
(ガラスの曇りを取る時 → 263 ページ)

知識

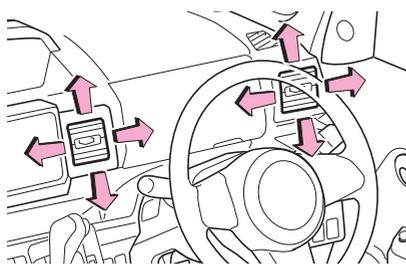
eco IDLE によるアイドリングストップ中にエアコンを作動させるには

- アイドリングストップ中はエアコンの冷房・除湿機能が停止し、送風のみになります。通常作動に戻すには、下記の操作でエンジンを再始動させてください。
 - ブレーキペダルをすばやく増し踏みする
 - eco IDLE OFF スイッチを押す

(eco IDLE (エコアイドル) → 244 ページ)

風向き調整

吹き出し口



左右および中央の吹き出し口からの風向きの調整を行うことができます。

- ツマミを動かして調整します。

知識

- 冷房時、まれに吹き出し口から霧が吹き出したように見ることがありますが、これは湿った空気が急に冷やされたときに発生するものであり異常ではありません。

各ダイヤル／レバースイッチの使いかた

① 吹き出し口切り替えダイヤル



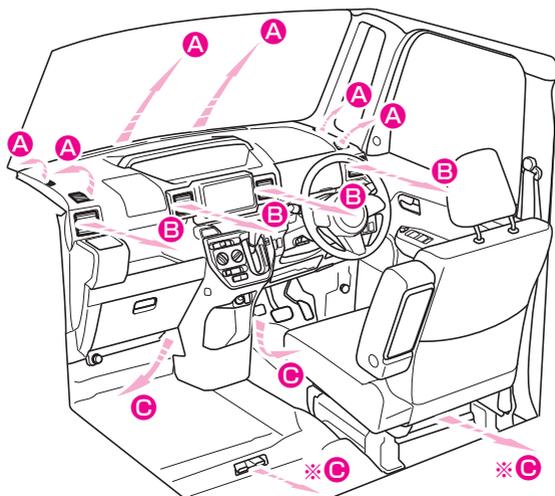
ダイヤルを左右に回して、吹き出し口を切り替えます。

- 風量は吹き出し口によって異なります。

ダイヤル位置					
吹き出し口	B	B C	C (A)	A C	A

()は特に風量の少ないものを示します。

▼ 吹き出し口の位置



※Cはタイプ別装備

⚠ 警告

ガラスの曇りを防止するために

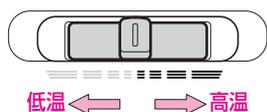
- 湿度が高いときにエアコンを低い設定温度で作動させている場合は、吹き出し口を  または  に切り替えないでください。
 外気とガラスの温度差でガラスの外側が曇り、視界をさまたげるおそれがあります。

知識



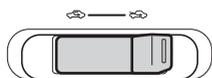
- このマークは、吹き出し口切り替えダイヤル (1) を または に合わせるときに内外気切り替えレバー (3) を に合わせて使用することをおすすめするためのものです。
 に合わせることでガラスが曇りにくくなります。

2 温度調整レバー



レバーを左右にスライドして、温度を調整します。

3 内外気切り替えレバー



レバーをスライドして内気循環、外気導入を切り替えます。

▼ 内気循環 (内気循環)

- 外気をシャ断している状態です。
トンネルや渋滞など外気が汚れているときや早く冷暖房したいとき、外気温度が高いときの冷房効果を高めたいときにお使いください。

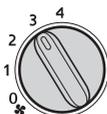
▼ 外気導入 (外気導入)

- 外気を導入している状態です。
通常はこの位置でお使いください。

知識

- “内気循環” を長時間使用すると、ガラスが曇りやすくなります。通常は“外気導入”を使用してください。
- トンネルや渋滞時などは、“内気循環” にして付近の排気ガスが室内に入るのを防いでください。
- 吹き出し口切り替えダイヤル (1) が , , また のとき“内気循環” にすると、ガラスが曇りやすくなります。
- エアコン使用中に、室内外のさまざまな臭いがエアコン装置内に取り込まれて混ざり合うことにより、吹き出し口からの風が臭うことがあります。
エアコン始動時に発生する臭いを抑えるために、駐車時は外気導入にしておくことをおすすめします。

4 ファン調整スイッチ



吹き出し口からの風量を調整します。

- 4段階の切り替えができます。

5 エアコンスイッチ

作動表示灯



- ファンが作動中に、スイッチを押すとエアコン（冷房、除湿機能）が作動します。
 - 作動表示灯が点灯します。
- もう一度押すとエアコンが停止します。
 - 作動表示灯が消灯します。

警告

- 停車時（eco IDLE によるアイドルストップ中は除く）の冷房効果を向上させるために、エンジンアイドル回転を少し高くするアイドルアップ装置が付いています。アイドルアップ装置作動中の発進、停止時の運転操作に注意してください。
冷房中、一時停止する場合はブレーキペダルをしっかりと踏んでください。

知識

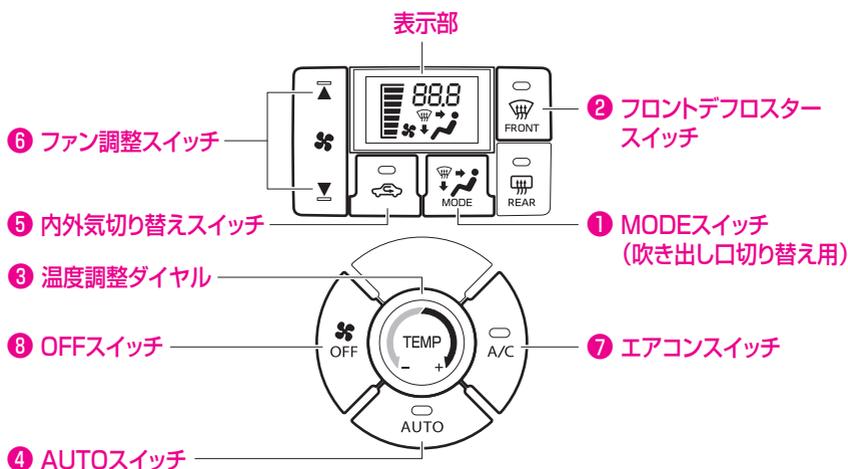
- 外気温が 0°C 近くまで下がると、エアコンの除湿機能が作動しない場合があります。

オートエアコン

オプション/グレード別装備

室内の冷暖房、除湿、曇り取りなどを行うことができます。

コントロールパネル



オートエアコンの使いかた

通常の使いかた

▼ 操作方法

- 1 エンジンを始動し、AUTO スイッチ (④) を押す
 - スイッチを“ON”にすると、吹き出し口・風量・および内外気切り替えが自動的に調整されます。
- 2 温度調整ダイヤル (③) で温度を調整する
- 3 停止するときには、OFF スイッチ (⑧) を押す

▼ 冷房・除湿をするときは

- エアコンスイッチ (⑦) を押す

知識

- 設定温度は 25°Cを目安に、お好みで調整してください。
乗車直後の室内温度が高い(または低い)ときに、設定温度を 25°Cより極端に低く(または高く)調整しても、希望の室内温度になるまでの時間はほとんど変わりません。

■ ガラスの曇りを取るとき

寒冷時や、雨のときなどガラスが曇ったときに使用します。

▼ 操作方法

- 1 フロントデフロスタースイッチ (2) を押すと、吹き出し口が切り替わる
 - 自動的にエアコンが作動して外気導入に切り替わります。
- 2 スイッチをもう一度押すと、曇り止めが停止し、元の状態に戻る

▼ より早くガラスの曇りを取る場合

- ガラスの曇りを取る操作と併せて、下記の操作を行います。
- ファン調整スイッチ (6) を操作して、風量を増す
- 温度調整ダイヤル (3) を操作して、設定温度を上げる

⚠ 警告

ガラスの曇りを防止するために

- 温度調整ダイヤル (3) を最低温に操作しないでください。冷風がガラスに当たるとガラスの外側が曇ることがあります。

📖 知識

- 外気温が 0°C 近くまで下がると、エアコンの除湿機能が作動しない場合があります。
- フロントデフロスタースイッチ (2) が “ON” のときは、eco IDLE によるアイドリングストップをしません。
- eco IDLE によるアイドリングストップ中にフロントデフロスタースイッチ (2) を “ON” にすると、エンジンが再始動します。

外気が汚れているときは

- 一時的に “内気循環” にしてください。

■ 換気するとき

導入された外気が中央および左右の吹き出し口から吹き出します。

▼ 操作方法

- 1 内外気切り替えスイッチ (5) を外気導入 (作動表示灯が消灯) にする
- 2 MODE スイッチ (1) を押して、“” に切り替える

オートエアコンの取扱いについて

警告

- eco IDLE によるアイドリングストップ中は、エアコンが作動しないため室内の湿度が上がってガラスが曇ることがあります。エンジンを再始動し、エアコンを作動させてください。
(ガラスの曇りを取る時 → 269 ページ)

知識

- エアコンの操作や室内温度により、eco IDLE によるアイドリングストップをしない場合や、アイドリングストップ中にブレーキペダルから足を離さなくてもエンジンが再始動することがあります。

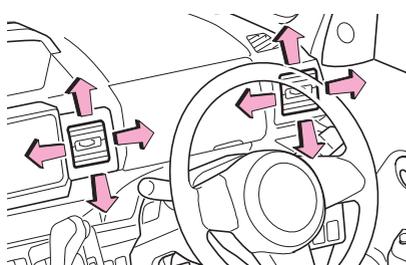
eco IDLE によるアイドリングストップ中にエアコンを作動させるには

- アイドリングストップ中はエアコンの冷房・除湿機能が停止し、送風のみになります。通常作動に戻すには、下記の操作でエンジンを再始動させてください。
 - ブレーキペダルをすばやく増し踏みする
 - eco IDLE OFF スイッチを押す

(eco IDLE (エコアイドル) → 244 ページ)

風向き調整

吹き出し口



左右および中央の吹き出し口からの風向きの調整を行うことができます。

- ツマミを動かして調整します。

知識

- 冷房時、まれに吹き出し口から霧が吹き出したように見えますが、これは湿った空気が急に冷やされたときに発生するものであり異常ではありません。

各ダイヤル/スイッチの使いかた

① MODE（吹き出し口切り替え）スイッチ



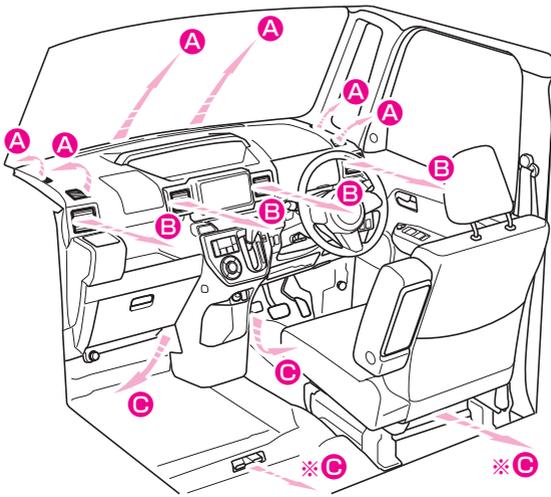
スイッチを押すごとに、吹き出し口が「 →  →  → 」の順に切り替わります。

- 選択された吹き出し口が表示部に表示されます。
- 風量は吹き出し口によって異なります。

表示				
吹き出し口	B	B C	C (A)	A C

()は特に風量の少ないものを示します。

▼ 吹き出し口の位置



※はタイプ別装備

警告

ガラスの曇りを防止するために

- 湿度が高いときにエアコンを低い設定温度で作動させている場合は、吹き出し口を  に切り替えしないでください。

外気とガラスの温度差でガラスの外側が曇り、視界をさまたげるおそれがあります。

② フロントデフロスタースイッチ



- スイッチを押すと、吹き出し口が切り替わり、自動的にエアコンが作動して外気導入に切り替わります。
 - 作動表示灯が点灯します。
- スイッチをもう一度押すと、曇り止めが停止し、元の状態に戻ります。
 - 作動表示灯が消灯します。

警告

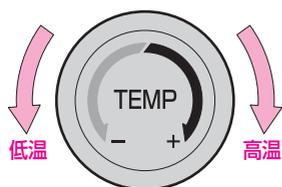
ガラスの曇りを防止するために

- 湿度が高いときにエアコンを低い設定温度で作動させている場合は、スイッチを“ON”にしないでください。
外気とガラスの温度差でガラスの外側が曇り、視界をさまたげるおそれがあります。

知識

- スイッチが“ON”のときは、eco IDLE によるアイドリングストップをしません。
- eco IDLE によるアイドリングストップ中にスイッチを“ON”にすると、エンジンが再始動します。
(eco IDLE (エコアイドル) → 244 ページ)

③ 温度調整ダイヤル



ダイヤルを左右に回して、設定温度を調整します。

- 設定温度が表示部に表示されます。

知識

- 設定温度を 18℃～ 32℃の間で調整することができます。最大冷房にすると“LO”、最大暖房にすると“HI”の表示になります。

4 AUTO スイッチ



スイッチを押すと、吹き出し口、風量、および内外気の切り替えが自動的に調整されます。

- 作動表示灯が点灯します。

知識

AUTO スイッチが“ON” のときは

- 吹き出し口、または風量を手動で調整すると、AUTO スイッチの作動表示灯が消灯しますが、調整した機能以外は自動調整のままとなります。すべての機能を自動調整に戻すときは、再度 AUTO スイッチを押してください。
- 吹き出し口が  または  で、冬場などの寒いときには、温風の準備ができるまで、中央、左右、足元吹き出し口から風は出ません。
- 吹き出し口が  または  で、夏場などの暑いときには、冷風の準備ができるまで、数秒間ファンが“弱”で作動します。
- エアコン始動時に発生する臭いを抑えるため、エアコン始動直後は、しばらく風が出ない場合があります。
- AUTO スイッチが“ON” のときで、eco IDLE によるアイドリングストップ中は、風量が少なくなるように調整されることがあります。
エンジンが再始動すると、風量は自動調整に戻ります。

(eco IDLE (エコアイドル) → 244 ページ)

5 内外気切り替えスイッチ



スイッチを押して内気循環、外気導入を切り替えます。

▼ 内気循環（作動表示灯が点灯）

- 外気をしゃ断している状態です。
トンネルや渋滞など外気が汚れているときや早く冷暖房したいとき、外気温度が高いときの冷房効果を高めたいときにお使いください。

▼ 外気導入（作動表示灯が消灯）

- 外気を導入している状態です。
通常はこの位置でお使いください。

知識

- “内気循環”を長時間使用すると、ガラスが曇りやすくなります。
- トンネルや渋滞時などは、“内気循環”にして付近の排気ガスが室内に入るのを防いでください。
- 設定温度や室内温度などにより、自動的に“内気循環”または“外気導入”へ切り替わることがあります。
- エアコン使用中に、室内外のさまざまな臭いがエアコン装置内に取り込まれて混ざり合うことにより、吹き出し口からの風が臭うことがあります。
エアコン始動時に発生する臭いを抑えるために、駐車時は外気導入にしておくことをおすすめします。

6 ファン調整スイッチ



吹き出し口からの風量を調整します。

- 風量が表示部に表示されます。

▼ 風量を強くするには

- スイッチの“▲”側を押します。

▼ 風量を弱くするには

- スイッチの“▼”側を押します。

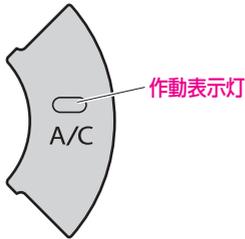
▼ ファンを停止するときは

- OFF スイッチ (8) を押します。

知識

- 吹き出し口が  または  で、夏場などの暑いときには、冷風の準備ができるまで、数秒間ファンが“弱”で作動する場合があります。
- エアコン始動時に発生する臭いを抑えるため、エアコン始動直後は、しばらく風が出ない場合があります。

7 エアコンスイッチ



- ファンが作動中に、スイッチを押すとエアコン（冷房、除湿機能）が作動します。
 - 作動表示灯が点灯します。
- もう一度押すとエアコンが停止します。
 - 作動表示灯が消灯します。

警告

- 停車時（eco IDLE によるアイドリングストップ中は除く）の冷房効果を向上させるために、エンジンアイドリング回転を少し高くするアイドルアップ装置が付いています。アイドルアップ装置作動中の発進、停止時の運転操作に注意してください。冷房中、一時停止する場合はブレーキペダルをしっかりと踏んでください。

知識

- 外気温が 0°C 近くまで下がると、エアコンの除湿機能が作動しない場合があります。

8 OFF スイッチ



スイッチを押すと、空調機能が停止します。

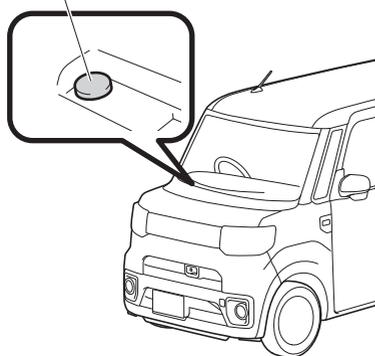
■ 温度調節センサー

オートエアコンには自動的に温度調節を行うために、センサーが取り付けられています。

■ 日射センサー

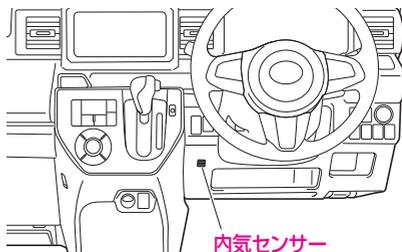
日射量を検知します。

日射センサー
(オートライトセンサー兼用)



■ 内気センサー

室内温度を検知します。

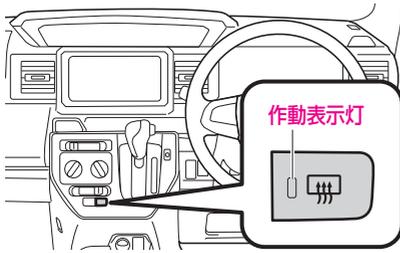


📖 知識

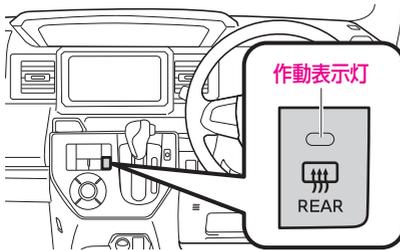
- 日射センサーの上に物を置いたり、内気センサーをシールなどでふさぐなどすると、センサーが正常に作動しなくなることがあります。

リヤウインドデフォグガースイッチ

マニュアルエアコン装着車



オートエアコン装着車



- スイッチを押すと、リヤウインドガラスが暖められ、曇りを取ることができます。
 - 作動表示灯が点灯します。
- スイッチをもう一度押すと、作動が停止します。
 - 作動表示灯が消灯します。
- ヒーテッドドアミラー装着車では、リヤウインドガラスと同時にドアミラーも暖められ、ミラーについた曇りを取ることができます。

⚠ 注意

バッテリーあがりを防ぐために

- エンジンを止めた状態で長時間使用しないでください。

リヤウインドガラス内面を清掃するときは

- リヤウインドガラス内面の電熱線を傷付けしないでください。

📖 知識

オートエアコン装着車

- スイッチを押すと、約 15 分～ 60 分後に自動的に作動が停止します。
(外気温や車両の走行状態によって作動時間が異なります)

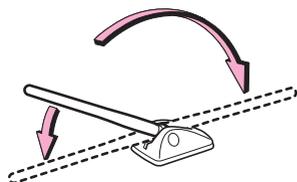
オーディオ

ルーフアンテナ



▼ 使用方法

ラジオを受信するときは、アンテナを図のように立てた状態にしてください。



▼ 倒しかた

前後方向に倒すことができます。



▼ 取り外しかた、取り付けかた

アンテナの根元を持ち、矢印の方向に回します。

● 取り付け時はしっかりと締め付けてください。

⚠ 注意

- アンテナは横方向への調整はできません。
- 下記のようなときは、アンテナを取り外してください。破損したり、変形したりする場合があります。
 - 自動洗車機使用時
 - ボデーカバーをかけるとき
 - 降雪時に長時間駐車するとき
- 立体駐車場など屋根の低いガレージなどに入れるときは、アンテナを倒してください。
- 洗車時などアンテナを取り外したときは、アンテナを紛失しないように注意してください。また、走行前には必ずアンテナを元どおりに取り付けてください。

オーディオの取り扱い

オプション/グレード別装備

⚠ 警告

- 運転中は、車外の音が聞こえる程度の音量でお楽しみください。大きな音量を出すと車外の音が聞こえず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 走行中にオーディオの操作をしないでください。運転のさまたげになり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

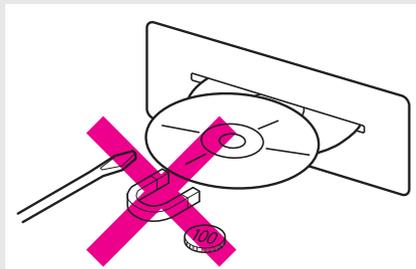
⚠ 注意

- エンジン停止時は、オーディオを長時間使用しないでください。バッテリーあがりを起こし、エンジンの始動ができなくなります。
- 水分や高温・多湿・ほこり・ゴミを嫌いますので、車内清掃や換気に十分注意してください。
- オーディオ本体のお手入れは、乾いた柔らかい布でふいてください。損傷の原因となるおそれがある固い布や、ベンジン・シンナー・アルコールなどは絶対に使用しないでください。また、汚れがひどい場合には、柔らかい布を水またはぬるま湯に浸し、軽くふき取ってください。
- 車内の温度に気を付けてください。極寒や酷暑のとき、特に夏期は車内の温度が大変高くなり、故障の原因となるおそれがありますので、車内の換気に注意し、適温で使用してください。

⚠ 注意

CD プレーヤーの取り扱い

- 挿入口に、指定されている CD 以外の物や一度に 2 枚以上の CD を挿入したり、ドライバーなどの金属物や磁石などを近付けないでください。故障の原因となります。また、CD に磁石などを絶対に近付けないでください。

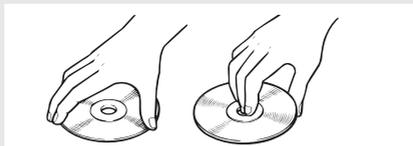


- CD を挿入して数秒すると、セットされずに戻ってることがあります。この場合は、CD の異常が考えられますので、CD に異常がないかを確認してください。
- 取り出しボタンを押しても、CD が挿入されたまま取り出せないときは、プレーヤーの保護のため、機能が停止することがあります。この場合、トヨタ販売店にご相談ください。
- 車を降りるときは、必ず CD をオーディオ本体から取り出し、ケースに入れて、高温にならない場所に保管してください。
- CD を直射日光に長時間当てたり、挿入口に残した状態のまま長時間放置しないでください。また、高温・多湿な場所（インストルメントパネルの上やシートの上など）に長時間放置しないでください。CD がひずみ、使用できなくなるおそれがあります。従来のオーディオレコードと同様にプラスチック製ですので、その原因となります。その防止のため、必ずケースに入れ、直射日光の当たらない場所に保管してください。

⚠ 注意

CD の取り扱い

- CD を持つときは、信号面に触らないようにしてください。両端を挟むようにして持つか、中央の穴と端を挟んで持ってください。



- CD は内部で高速回転しますので、異常な CD（ハート型など異形の CD、ヒビが入った CD や大きくそった CD）は使用しないでください。



- 記録部分に透明または半透明部分がある CD は、正常に出し入れや再生ができなくなるおそれがありますので、使用しないでください。
- ラベル面（印刷面）にも紙やシールなどを貼り付けたり、傷などを付けないようにしてください。
- CD に指紋・ほこりが付いた場合でも、CD に記録された信号には直接影響しませんが、汚れにより、信号記録面からの反射光の明るさが低減して音質が低下したり、音飛びを起すことがあります。
- CD が汚れたときは、柔らかい布で CD の内周から外周方向へ軽くふいてください。
- レコードスプレー・帯電防止剤などは使用できません。またベンジン・シンナーなどの揮発性の薬品をかけると、表面が侵されることがありますので使用しないでください。



- 振動の激しい悪路を走行すると、音飛びを起すことがあります。
- 真冬の車内は極度に冷えています。この状態で、ヒーターを入れてすぐに使用すると、CD や光学部品（プリズムやレンズなど）が曇って、正常に再生されないことがあります。CD が曇っているときは、柔らかい布でふいてください。光学部品が曇っているときは、1時間ほど放置しておけば自然に曇りが取れ、正常に再生されます。

📖 知識

- オーディオを聞いているとき、室内または車の近くで携帯電話や無線機を使うと、ノイズ（雑音）が入ることがあります。
- ラジオの受信は、電波の強さが変化したり、電車・信号機などの障害物の影響により、最適な受信状態を維持することが困難な場合があります。

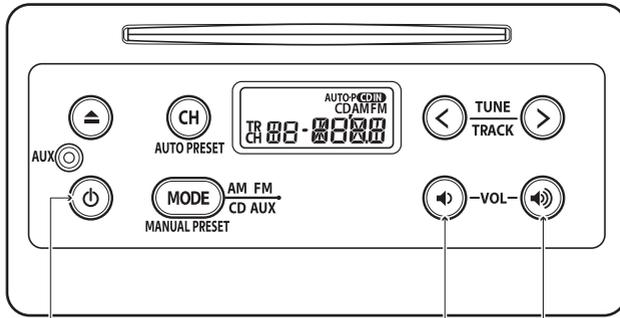
CD プレーヤーの取り扱い

- CD が挿入された状態でエンジンを始動すると、「カチッ」・「ウイーン」などという音が数回しますが、これは再生準備のための作動音で、故障ではありません。

インテグレート CD・AM/FM 付ラジオ・AUX 端子

オプション/グレード別装備

基本操作



1 電源ボタン

2 ボリュームボタン

電源を入れる

1 電源ボタン



1 エンジンスイッチを“ON”または“ACC”にする

- 前回、エンジンスイッチを“OFF”にしたときにオーディオの電源が入っていた場合は、自動的に電源が入ります。

2 電源ボタンを押す

- オーディオの電源が入ります。
- もう一度ボタンを押すと、電源が切れます。

音量を調整する

2 ボリュームボタン

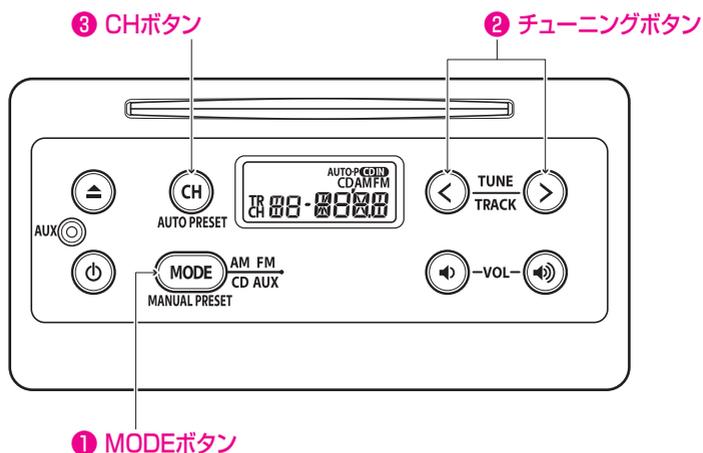


右側のボリュームボタンを押すと大きくなり、左側のボリュームボタンを押すと小さくなります。

知識

- 音量調整は「0～63」の範囲で調整できます。

■ ラジオの受信



■ AM/FM モードにする

① MODE ボタン



ボタンを押して、AM/FM モードを選択します。

- ラジオを聞いているときに、ボタンを押すと、AM/FM が切り替わります。
- ディスプレイ部に、選択したモードが表示されます。

📖 知識

- CD が挿入された状態で、AUX（外部入力接続）端子にオーディオケーブルが接続されていると、ボタンを押すごとに「AM → FM → CD → AUX」の順にモードが切り替わります。



周波数を変える

② チューニングボタン



▼ 手動で選択するには

チューニングボタンを押して希望の周波数を選択します。

- 周波数を高い方に選択するには > のボタン、低い方に選択するには < のボタンを押します。
- ディスプレイ部に、受信周波数が表示されます。

▼ 自動で選択するには

チューニングボタンを「ピッ」と音がするまで押し続けます。

- 周波数を高い方に選択するには > ボタン、低い方に選択するには < ボタンを押します。
- 放送が受信されると、自動的に止まります。
- ディスプレイ部に、受信周波数が表示されます。

自動選択を止めるには、もう一度ボタンを押します。

📖 知識

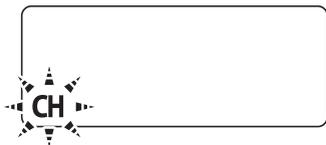
- 受信感度が良く、ディスプレイ部に表示されている周波数に一番近い周波数が自動で選択されます。
- 山岳部や弱電界地域で自動選択を行った場合、受信できる周波数があっても、自動的に止まらないことがあります。この場合、手動選択を行ってください。

選択した周波数を記憶させる (マニュアルプリセット)

1 MODE ボタン



- 1 記憶させる周波数を選択する
- 2 MODE ボタンを「ピッ」と音がするまで押し続ける
 - ディスプレイ部の「CH」が点滅します。



- 3 「CH」が点滅している間に CH ボタンで記憶させたいチャンネルを選択する



- CH ボタンを押すたびに「CH1 → CH2 → CH3 → CH4 → CH5 → CH6 → CH1」の順にチャンネルが変わり、ディスプレイ部に表示されます。
- 4 もう一度 MODE ボタンを押すと「ピッ」と音がして記憶させる

知識

- AM・FM 各 6 局まで周波数を記憶させることができます。

自動で放送局を記憶させる (オートプリセット)

3 CH ボタン



CH ボタンを「ピッ」と音がするまで押し続けます。

- 記憶操作が終了すると、「ピッピ」と音がして、記憶した中で一番低い周波数が受信されます。

知識

- オートプリセットをするごとに、現在受信状態の良い周波数が低い順に 6 局まで、CH ボタンに記憶されます。なお、オートプリセットをする前に記憶させていた周波数は消去されます。
- 受信周波数が 6 局未満のときは、受信することができた周波数だけが記憶されます。その場合、記憶されなかったチャンネルを選択すると、ディスプレイ部に「-----」が表示されます。
- 地域や車の向きなどの条件により、すべての周波数の受信感度が悪い場合、自動で記憶されないことがあります。その場合、オートプリセットをする前に記憶させていた放送局が CH ボタンに記憶されたままになります。
- 同じ放送局からの受信でも、CH ボタンで選択し、記憶させた周波数とオートプリセットで記憶させた周波数は一致しないことがあります。
- オートプリセットによる記憶操作を同じ場所で繰り返しても、受信状態によっては、操作ごとに記憶される周波数が異なることがあります。

記憶させた放送局を呼び出すには

3 CH ボタン



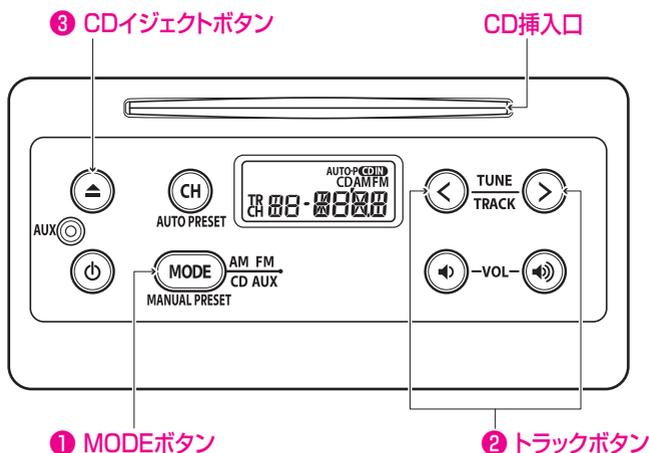
CH ボタンを押すたびに、記憶した放送局が選択されます。

- ボタンを押すたびに「CH1 → CH2 → CH3 → CH4 → CH5 → CH6 → CH1」の順にチャンネルが変わり、ディスプレイ部に表示されます。

知識

- バッテリーやヒューズ交換などで、オーディオへの電力供給が断たれたときは、記憶させた周波数は消去され、初期設定の状態に戻ることがあります。この場合は、再度記憶させてください。

CD の再生



CD プレーヤーの使いかたについては、「オーディオの取り扱い」のページも併せてお読みください。

(オーディオの取り扱い→279 ページ)

⚠ 注意

- Dual Disc には対応していません。Dual Disc を使用すると、機器の故障の原因になるおそれがあります。

📖 知識

- 下記のマークが付いているディスクを使用してください。

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO
TEXT

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO
ReWritable

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO
Recordable

- CD TEXT は表示されませんが、再生は可能です。
- 音楽用 CD-R (CD-Recordable)・CD-RW (CD-ReWritable) に記録された音楽用データを再生できます。ただし、特性・傷・汚れなどにより再生できない場合があります。
- ディスクの状態 (録音環境・データ内容) により再生できない場合があります。
- MP3・WMA・AAC 方式で記録されたディスクには対応していません。
- CD-ROM・コピープロテクト機能付ディスクには対応していません。
- 8cmCD には対応していません。

CD を再生する

① MODE ボタン



▼ CD が挿入されているとき

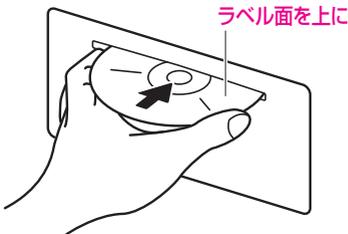
MODE ボタンを押して CD モードに切り替えると、自動で CD を再生します。

▼ CD が挿入されていないとき

CD を挿入すると、自動で CD モードに切り替わり、CD を再生します。

知識

- 前回、エンジンスイッチを“OFF”にしたときに CD を再生していた場合は、自動的に CD が再生されます。
- CD を挿入するときは、ラベル面を上にして挿入します。



- CD が挿入されていない状態では、ボタンを押しても CD モードに切り替わりません。
- CD が挿入された状態で、AUX（外部入力接続）端子にオーディオケーブルが接続されていると、ボタンを押すごとに「AM → FM → CD → AUX」の順に切り替わります。

早送り・早戻しをする

② トラックボタン



- 早送りをするには > ボタン、早戻しをするには < ボタンを押します。
- トラックボタンを押している間、早送り（または早戻し）され、希望の位置で手を離すと、その位置から再生されます。

■ 頭出しをする

② トラックボタン



- 曲を進めるには > ボタン、曲を戻すには < ボタンを押します。

▼ 曲が再生されているとき

- > ボタンを押すと、次の曲が再生されます。
- < ボタンを押すと、その曲の始めに戻ります。このとき、もう一度ボタンを押すと、前の曲が再生されます。

■ CD を取り出す

③ CD イジェクトボタン



- CD イジェクトボタンを押して、CD を取り出します。
- CD が取り出されると、CD が再生される前の状態に戻ります。

📖 知識

- エンジンスイッチを“OFF”にすると、CD を取り出すことができなくなるため、“OFF”にする前に CD を取り出してください。

エラーメッセージ

ディスプレイ部にエラーメッセージが出た場合、下表にしたがって処置をしてください。

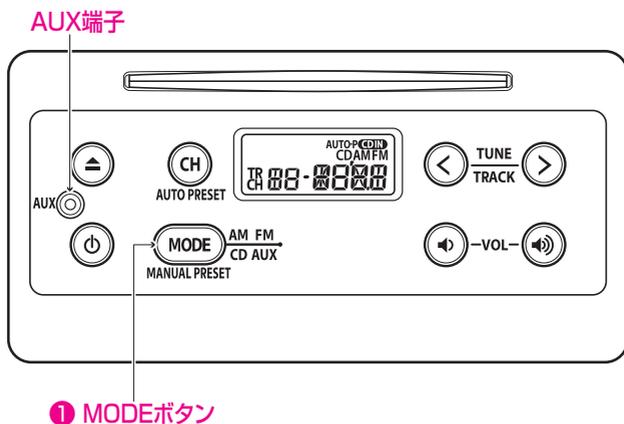
メッセージ	内容と処置
Err 1	CDが汚れているときや裏返しになっているとき、また対応していないCDが挿入されたときに表示されます。CDを確認してください。
Err 3	何らかの原因でCDプレーヤーが作動しないときに表示されます。挿入されているCDを取り出してください。
Err 4	CDプレーヤーに過剰な電流が流れて作動しないときに表示されます。挿入されているCDを取り出してください。
WA 11	CDプレーヤーの温度が高くなり、作動しないときに表示されます。温度が下がるまで、しばらくそのままお待ちください。

知識

- 処置をしても、エラーメッセージが表示されたままの場合や機能が停止したままの場合は、トヨタ販売店にご相談ください。

AUX (外部入力接続) 端子

ポータブルオーディオなど市販の機器を接続して、その音声を車両のスピーカーで聞くことができます。



■ 外部入力モードに切り替える

① MODE ボタン



- 1 市販のオーディオケーブル（抵抗なし）を使用して、ポータブルオーディオをAUX端子に接続する



- 2 ボタンを押すと、ディスプレイ部に“AUX”と表示され、外部入力モードに切り替わる

📖 知識

- AUX（外部入力接続）端子にオーディオケーブルが接続されていないと、外部入力モードに切り替わりません。
- CDが挿入された状態で、AUX（外部入力接続）端子にオーディオケーブルが接続されていると、MODEボタンを押すごとに「AM → FM → CD → AUX」の順に切り替わります。



📖 知識

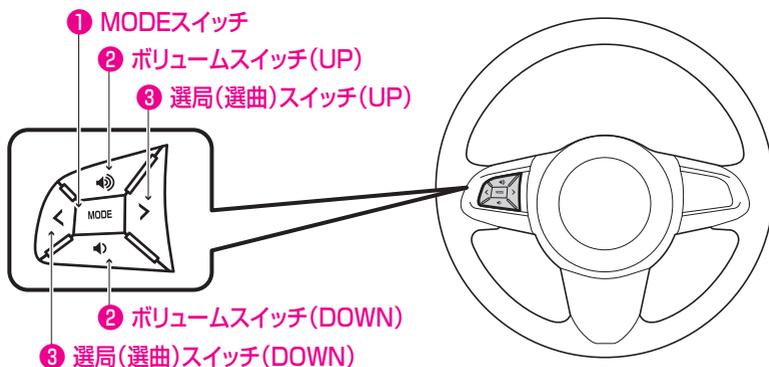
AUX（外部入力接続）端子について

- ステレオミニプラグ（3.5φ）が接続できます。オーディオケーブル（抵抗なし）、接続する機器の取扱説明書をよくお読みください。
- 接続する機器の電源は、機器の付属のバッテリーなどを使用してください。車に装着されているアクセサリソケットで充電しながら使用すると、雑音が出ることがあります。
- より良い音質で聞くには、接続する機器の音量を最大にして、オーディオ本体で音量を調整してください。
- 外部入力モード中に入力端子のプラグを抜いたり、接続する機器側のプラグを抜き差しすると、雑音が出ることがあります。

ステアリングスイッチ

オプション/グレード別装備

エンジンスイッチが“ON”または“ACC”のとき、ハンドルにあるスイッチでオーディオを操作することができます。



知識

- オーディオ、ナビゲーションシステムにより、操作が異なる場合があります。詳しくは製品に付属している各取扱説明書をお読みください。

バックカメラ

オプション/グレード別装備

知識

- ナビゲーションに付属している取扱説明書もあわせてお読みください。

バックカメラは車を後退させるとき、ナビゲーションのバックモニター画面に車両後方の映像を表示します。

▼ 操作を行う前に

警告

- 後退するときは、必ず後方や周辺の安全を直接確認しながら運転してください。
- バックカメラのレンズの特性により、映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なります。
- バックカメラを過信しないでください。一般の車両と同様、必ず後方や周辺の安全を直接確認しながら慎重に後退してください。特に周辺に駐車している車両や障害物などに接触しないように注意してください。
- 映像だけを見ながら後退することは絶対にしないでください。映像と実際の状況は異なっていることがあり、映像だけを見て後退すると車両をぶつけたり、思わぬ事故につながるおそれがあります。後退するときは、必ず目視やミラーなどで後方や周辺の安全を直接確認してください。
- 下記のような状況では使用しないでください。
 - 凍結したり、すべりやすい路面、または雪道
 - タイヤチェーンを使用しているとき
 - バックドアが完全に閉まっていないとき
 - 坂道など平坦でない道路
- 外気温が低いときは、映像が暗くなったり、薄れることがあります。特に動いているものの映像が歪む、または見えなくなることがありますので、必ず周囲の安全を直接目視で確認してから運転してください。

⚠ 注意

- バックカメラが正常に作動しなくなるおそれがありますので、下記のことにご注意ください。
 - バックカメラ周辺にはカメラの視野に影響を及ぼすもの（視野をさえぎるもの、光を発するもの、光沢素材でできているものなど）は取り付けしないでください。
 - バックカメラ周辺を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃をあたえないでください。バックカメラの位置、取り付け角度がずれるおそれがあります。
 - バックカメラは取り外したり、分解、改造をしないでください。
 - バックカメラのレンズを強くこすったり、硬いブラシや研磨剤などでみがいたりするとレンズが傷付き、映像に悪影響をおよぼすおそれがあります。
 - バックカメラ周辺には高圧洗車機で水をかけないでください。
 - バックカメラのカバーは樹脂部品ですので、ワックス・ベンジンやガソリンなどの有機溶剤を付着させないでください。付着したときは、すぐにふき取ってください。
 - 寒いときに、お湯をかけるなどして急激な温度変化をあたえないでください。
 - バックカメラ周辺をぶつけたときは、バックカメラが故障しているおそれがありますので、トヨタ販売店で点検を受けてください。

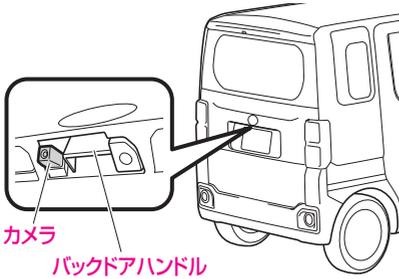
📖 知識

- バックカメラ装着車は、字光式ナンバープレートを取り付けることができません。

バックカメラのレンズが汚れている場合

- バックカメラのレンズが汚れていると、鮮明な映像を映すことができません。水滴、雪、泥などの汚れが付着したときは水洗いし、柔らかい布でふき取ってください。汚れがひどい場合は、中性洗剤で洗い流してください。

バックカメラの位置



バックドアハンドルの横に取り付けられています。

バックカメラの使い方

エンジンスイッチが“ON”のときに、シフトレバーを **R** レンジにすると、ナビゲーションのバックモニター画面に車両後方の映像を表示します。

- シフトレバーを **R** レンジ以外にすると、元の画面に戻ります。

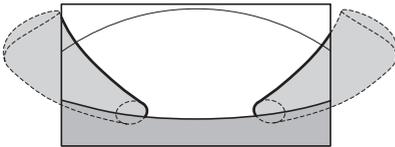
知識

- バックカメラの映像は、どの画面表示よりも優先して表示されます。

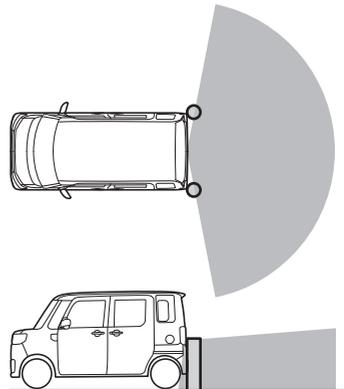
画面に映る範囲

リアバンパー後端から車両の後方（下図の範囲）が映ります。

映像



映る範囲

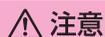


知識

- 車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
- バックカメラの映像の範囲には限度があり、バンパーの両端付近やバンパーの下にあるものは映りません。
- バックカメラは特殊なレンズを使用しているため、映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。
- 後方の映像は実際の色合いと異なる場合があります。
- 次のようなときは、画面が見づらくなることがありますが、異常ではありません。
 - 暗いところ（夜間など）
 - レンズ付近の温度が高い、または低いとき
 - バックカメラに水滴がついたときや、湿度が高いとき（雨天時など）
 - バックカメラ付近に異物（泥など）がついたとき
 - 太陽やヘッドランプの光が直接バックカメラのレンズに当たったとき

室内装備品

室内照明

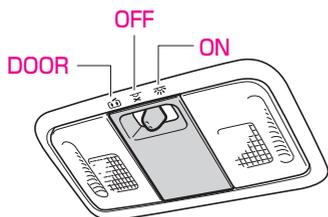


注意

バッテリーあがりを防ぐために

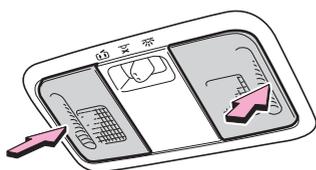
- エンジンを止めた状態で長時間点灯させないでください。

ルームランプ



- ▼ スイッチが“ON” のとき
ドアの開閉に関係なく点灯します。
- ▼ スイッチが“OFF” のとき
ドアの開閉に関係なく消灯します。
- ▼ スイッチが“DOOR” のとき
ドア連動機能により、点灯・消灯します。

フロントパーソナルランプ

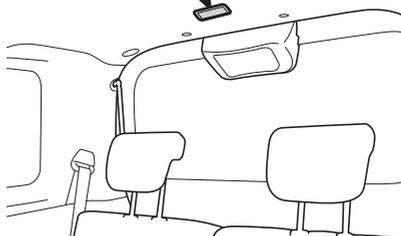
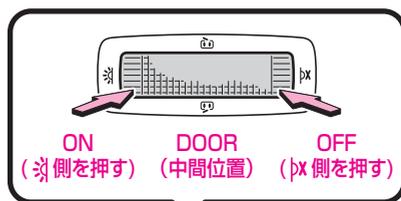


▼ 操作方法

フロントパーソナルランプを押し込むと点灯します。

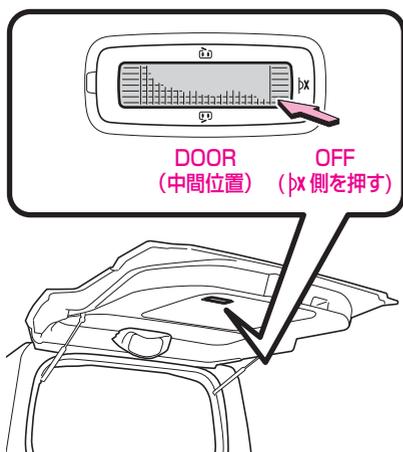
もう一度押し込むと消灯します。

ラゲージルームランプ



- ▼ スイッチが“ON” のとき
ドアの開閉に関係なく点灯します。
- ▼ スイッチが“OFF” のとき
ドアの開閉に関係なく消灯します。
- ▼ スイッチが“DOOR” のとき
ドア連動機能により、点灯・消灯します。

バックドアランプ



▼ スイッチが“OFF” のとき

ドアの開閉に関係なく消灯します。

▼ スイッチが“DOOR” のとき

ドア連動機能により、点灯・消灯します。

■ ドア連動機能

室内照明のスイッチが“DOOR” のとき、ドア操作、エンジンスイッチ操作に連動して、点灯・消灯する機能です。

▼ エンジンスイッチの切り替え

エンジンスイッチ	室内照明
OFFまたはACC → ON	消灯
ON → ACCまたはOFF	約15秒間点灯後に消灯

エンジンスイッチが“OFF” または“ACC” のとき、下記の操作に連動して照明が点灯・消灯します。

▼ 運転席ドアの施錠・解錠

運転席 ドアロック	室内照明
解錠 → 施錠	消灯(点灯中は減光後に)
施錠 → 解錠	約15秒間点灯後に消灯

▼ ドアの開閉

ドア	室内照明
全閉 → いずれか開	点灯
いずれか開 → 全閉	約15秒後に消灯

📖 知識

- 室内照明の点灯時間を変更することができます。詳しくはトヨタ販売店にご相談ください。

■ バッテリーあがり防止機能

室内照明のスイッチが“DOOR” のとき、バッテリーあがり防止のため自動的に室内照明を消灯する機能です。

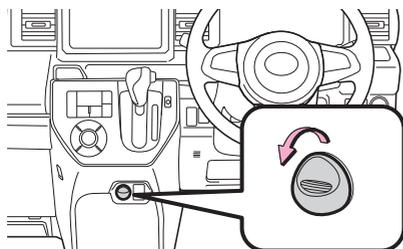
- エンジンスイッチが“OFF” または“ACC” で、ドアを開けたまま約 10 分が経過すると、自動的に消灯します。
- 再度、点灯させるには、すべてのドアを閉めるか、エンジンスイッチを“ON” にしてください。

アクセサリーソケット

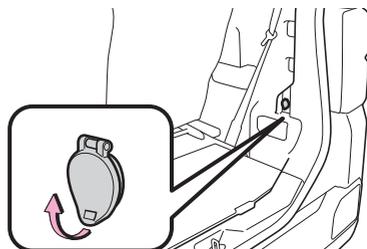
電化製品の電源用ソケットとして利用することができます。

- カバーを外し、電化製品の電源プラグを差し込んで使用します。

フロント



リヤ



⚠ 注意

- 電気容量は、DC12V で最大電流 10A（最大消費電力 120W）です。この容量以上の電化製品を使用しないでください。最大電気容量を超える電化製品を使用すると、ヒューズが切れるおそれがあります。
- アクセサリーソケットを使用しないときは、カバーを閉めておいてください。異物がソケットに入ったり、飲料水などがかかったりすると、故障したり、ショートするおそれがあります。

バッテリーあがりを防ぐために

- エンジンを停止した状態で使用しないでください。
- エンジンがかかっている場合でも、アイドリング状態で長時間使用しないでください。

📖 知識

- アイドリングストップからエンジンが再始動すると、アクセサリーソケットの電源電圧が低下するので、使用している電化製品によっては電源が一時的に“OFF”になることがあります。
(eco IDLE (エコアイドル) → 244 ページ)
- 故障を防ぐため、電化製品はトヨタ純正用品をおすすめします。

アームレスト

フロント



▼ 使用方法

前に倒して使用します。

⚠ 警告

- アームレストを操作するときは、シートとアームレストの隙間に手などを入れないでください。指や手などを挟んでけがをするおそれがあります。特に、お子さまが指などを挟まないように十分注意してください。
- アームレストの上に乗ったり、重いものを載せないでください。アームレストが破損したりけがをするおそれがあります。

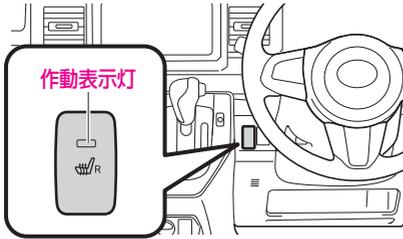
📖 知識

- シートのリクライニング調整やスライド調整を行うと、アームレストも同時に動きます。
- 小物入れとして使用することもできます。

(アームレストボックス→ 309 ページ)

運転席シートヒーター

オプション/グレード別装備



エンジンスイッチが“ON”のとき使用できません。

- スイッチを押すと、運転席シートが暖まります。
 - 作動表示灯が点灯します。
- スイッチをもう一度押すと、作動が停止します。
 - 作動表示灯が消灯します。

⚠ 警告

- 下記に相当されるかたがご使用になるときは、熱すぎたり低温やけど（紅斑、水ぶくれ）を起こすおそれがありますので十分注意してください。
 - 乳幼児、お子さま、お年寄り、病人、体の不自由なかた
 - 皮ふの弱いかた
 - 疲労の激しいかた
 - 深酒やねむけをさそう薬（睡眠薬、かぜ薬など）を使用されたかた
- 毛布や座布団など保温性のよい物をかけた状態で使用しないでください。シートが異常加熱し、低温やけどやシートの故障につながるおそれがあります。
- シートヒーターを必要以上に使用しないでください。
低温やけどを負ったり、シートヒーターの異常加熱の原因になるおそれがあります。

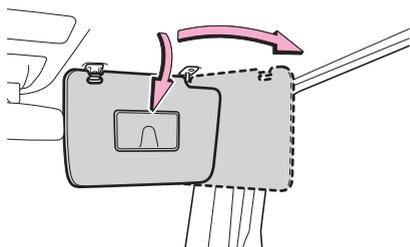
⚠ 注意

- 凸凹のある重量物をシートの上に置いたり、針金や針など鋭利なものを突きさしたりしないでください。故障の原因になります。
- シートの清掃にベンジンやガソリンなどの有機溶剤を使用しないでください。ヒーターやシートの表面を損傷するおそれがあります。
- 液体をこぼしたときは、速やかに乾いた布で拭き取ってください。
- 使用中に異常が発生したときは、ただちにスイッチを“OFF”にし、トヨタ販売店にご連絡ください。

バッテリーあがりを防ぐために

- エンジンを止めて長時間使用しないでください。

サンバイザー



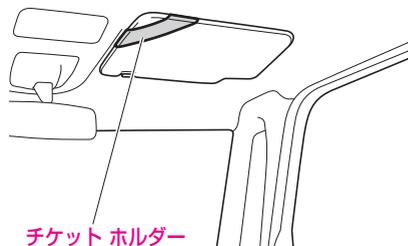
直射日光などでまぶしいときに使用します。
側面に移動させて使用することもできます。

- ▼ 使用するときには
矢印の方向に動かします。

⚠ 警告

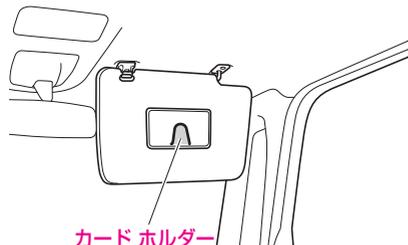
- サンバイザーと天井の間にもものをはさまないでください。発進時などに物が落ちるおそれがあり危険です。

チケットホルダー



チケット類を収納することができます。

カードホルダー

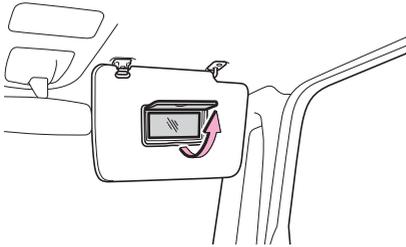


カード類を収納することができます。

⚠ 警告

- サンバイザーのチケットホルダー、カードホルダーには、使用用途以外の物を入れないでください。発進時などに物が落ちるおそれがあり危険です。

バニティーミラー



▼ 使用方法

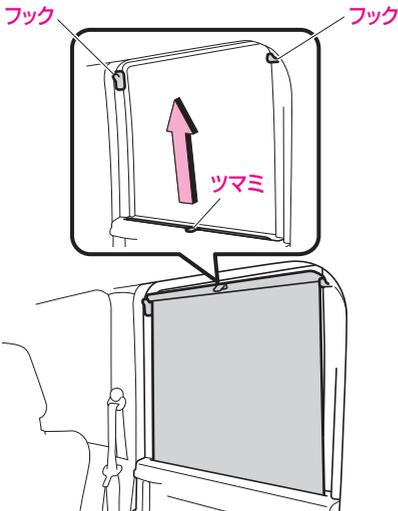
カバーを矢印の方向に開けます。

⚠ 警告

- 走行中は使用しないでください。思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

格納式リヤドアサンシェード

オプション/グレード別装備



▼ 使用方法

ツマミをしっかり持って上方向にゆっくり引き出し、フックに引っ掛けます。

▼ 格納するとき

ツマミをしっかり持ってフックから外し、ゆっくり下げて元の位置に格納します。

⚠ 警告

- 操作するときは、ツマミを最後までしっかり持って操作してください。途中で手を離すと、巻き戻ったサンシェードで手や指をはさむなど思わぬけがをするおそれがあります。

⚠ 注意

- サンシェードを上以外の方向に引っ張らないでください。破損の原因になります。

■ 格納式アシストグリップ

引き起こして使用します。



▼ 使用方法

- 矢印の方向に引き起こします。
- 使用後は、自動的に元に戻ります。

⚠ 注意

- 特に重たい物や、大きな物を格納式アシストグリップにかけないでください。格納式アシストグリップが折れたり、走行中に外れたりするおそれがあります。

収納装備

収納装備はグレードやオプション装備により、一部異なることがあります。

⚠ 警告

- ライターやスプレー缶などを収納したままにしないでください。炎天下で車内が高温になったときに爆発したり、他の収納物との接触でライターが着火したりスプレー缶のガスがもれるなどして、火災につながるおそれがあります。
- 走行中に物を出し入れしないでください。思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

フタ付き収納装備について

- 走行中は必ずフタを閉めておいてください。急ブレーキなどの激しい運転の際に開いたフタに体が当たったり、中のものが飛び出したりするおそれがあり危険です。

フタが無い収納装備について

- 走行中に転がり落ちるようなものを置かないでください。ブレーキペダルやアクセルペダルにものがはさまると、ブレーキ操作ができなくなったり、アクセルペダルが戻らなくなったりするおそれがあり危険です。

⚠ 注意

- プラスチック素材のメガネなどを収納したままにしないでください。炎天下で車内が高温になったときの熱や他の収納物との接触により、変形やひび割れを起こすことがあります。
- 炭酸飲料を収納したままにしないでください。炎天下で車内が高温になったときなどに破裂することがあります。

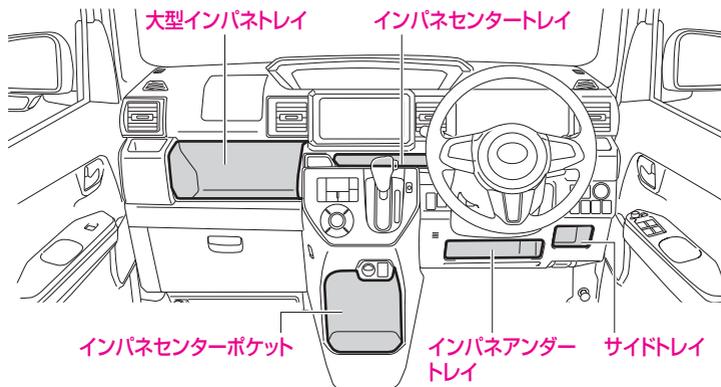
フタ付き収納装備について

- フタを開けた状態から、さらに開く方向に力を加えないでください。変形や破損のおそれがあります。

運転席シートバックポケット、シートクッションポケットについて

- シート表皮を損傷するような鋭利なものや重たいものを収納しないでください。

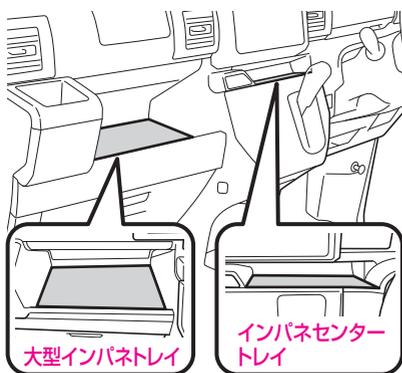
インパネトレイ、インパネポケット



シリコンマット

オプション/グレード別装備

▼ 取付位置



シリコン製の滑り止めマットとして使用します。

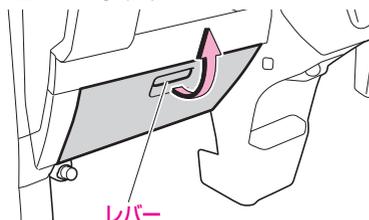
▼ 取付方法

- 取付面のほこり・油などを確実にふき取ります。
- 大型インパネトレイまたはインパネセンタートレイの形状に合せながら、マット全体を押えて敷きます。

⚠ 注意

- 大型インパネトレイおよびインパネセンタートレイ以外のところで使用しないでください。
- 裏面は粘着性のシートですが、接着効果はありませんので、荷物や手が触れた場合にめくれることがあります。
- シリコンマットが汚れたときや、ほこりなどの付着により粘着力が低下した場合は、取り外して水洗いしたあと、よく乾燥させてから敷いてください。

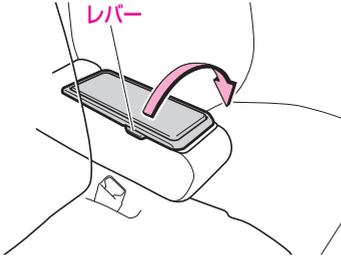
グローブボックス



- レバーを引いて開けます。
- 閉めるときはそのまま閉めます。

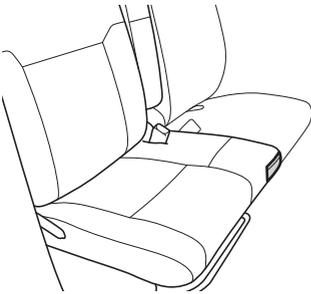
アームレストボックス

フロント

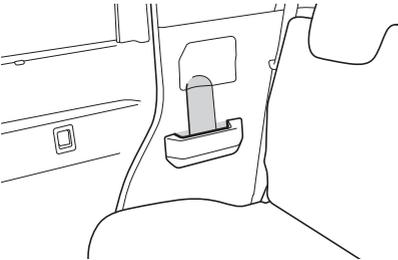


- アームレストを倒して、レバーを押して開けます。
- 閉めるときはそのまま閉めます。

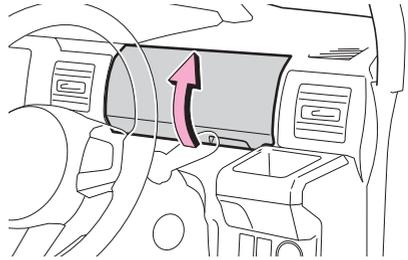
運転席シートクッションポケット



後席クォーターポケット (左右)

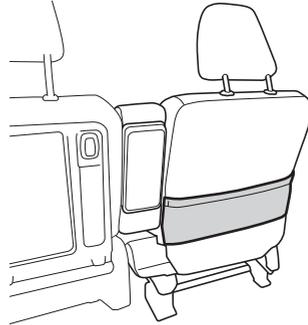


インパネアッパーボックス



- フタを引いて開けます。
- 閉めるときはそのまま閉めます。

運転席シートバックポケット



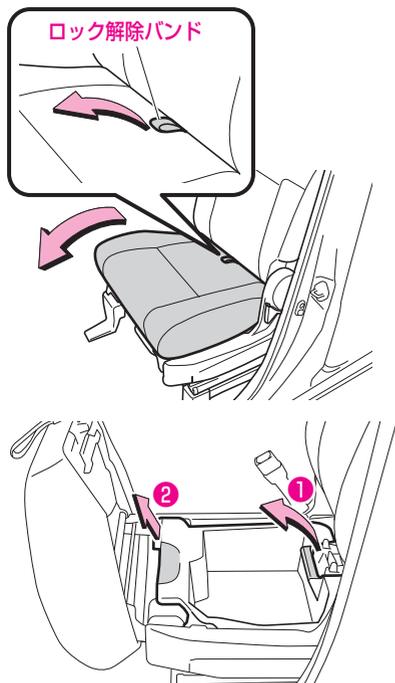
大型プルハンドル、ドアポケット

運転席 / 助手席



ドアポケット

助手席アンダーボックス



▼ 取り外しかた

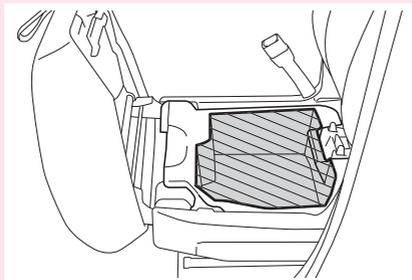
- 1 ロック解除バンドを引いて、シートクッションを起こす
- 2 アンダーボックスの後端部 (1) を上げてから、前端部 (2) を引き上げて取り外す

▼ 取り付けかた

逆の手順で行います。

⚠ 警告

- 図の斜線部分よりも大きな荷物が入っていないことを確認してください。高さのある荷物を積み込むとシートクッションが固定されないため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

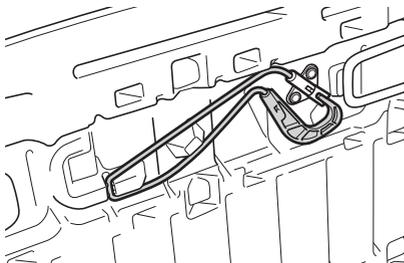
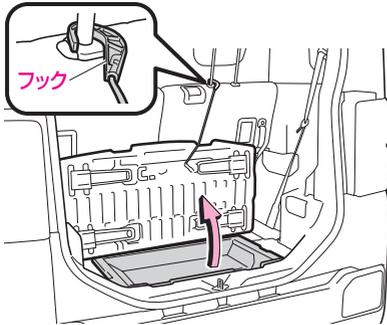
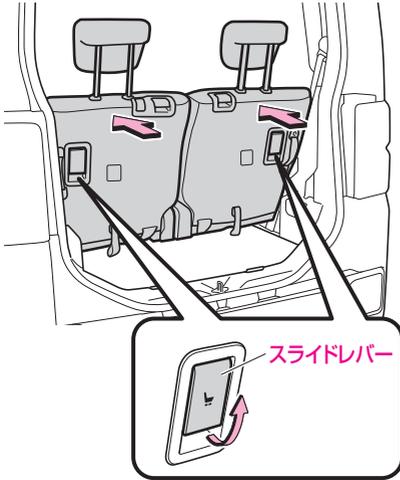


⚠ 注意

- 特に重い物を積まないでください。ボックスが破損するおそれがあります。(最大荷重量約 3kg)

ラゲージルーム内装備

ラゲージアンダートランク



1 リヤシートの背もたれ後方にあるスライドレバーを引き上げながら背もたれを持って、リヤシートを前方へ動かす

2 デッキボードを持ち上げる

- フックを運転席側のヘッドレストにかけておくと、荷物などを置くときに便利です。

▼ フックの収納方法

図のようにデッキボードに収納します。

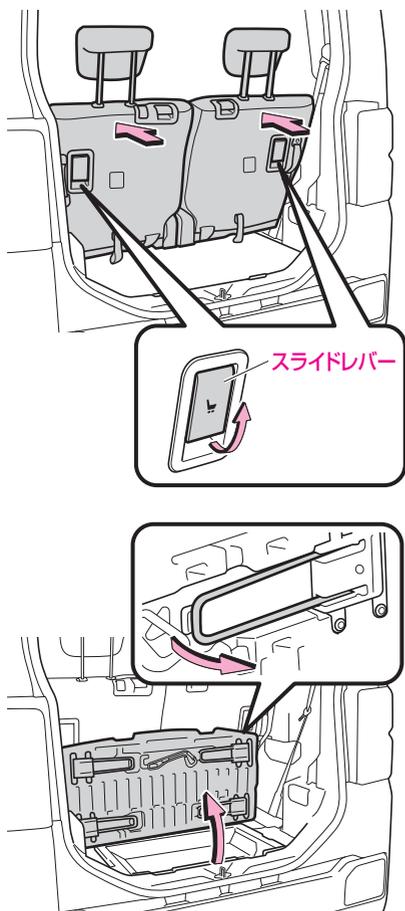
警告

- ラゲージルームでの作業時は、リヤシートをスライドさせないでください。手を挟むなどけがをするおそれがあります。

■ 上下2段調節式デッキボード

オプション/グレード別装備

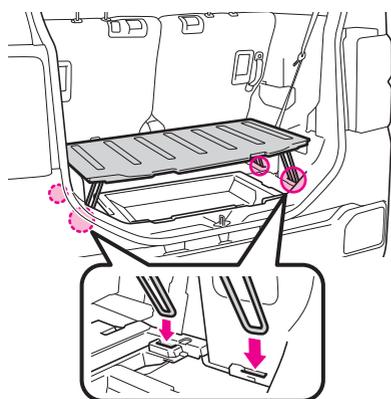
■ デッキボードを上段モードにするには



1 リヤシートの背もたれ後方にあるスライドレバーを引き上げながら背もたれを持って、リヤシートを一番前へ、スライドさせる

2 デッキボードを持ち上げて、脚をロックがかかる位置まで開く

● 他の脚も同じように開きます。



3 デッキボードの脚を確実に車両の溝に入れて固定する

- 大きな荷物を積むときは、リヤシートのリクライニングレバーで背もたれを前に倒します。

(前倒しのしかた→ 129 ページ)

⚠ 警告

- デッキボードの上に荷物を置かない場合は、デッキボードを上段モードにして使用しないでください。衝突されたときなどに外れて、乗員に当たって傷害につながるおそれがあります。デッキボードの上に荷物を置かずに使用する場合はシートの背もたれを起こして使用してください。

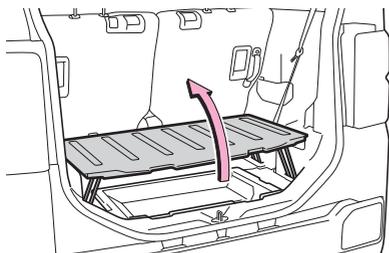
⚠ 注意

- デッキボードを上段モードにして使用するときは、以下のことをお守りください。
 - 荷物が転がらないように固定してください。
 - デッキボードに乗ったり、イスとして使用しないでください。
 - デッキボードを上段モードにしているときは、リヤシートを後方ヘスライドさせないでください。
 - リヤシートをフラットラゲージモード格納状態にしないでください。
リヤシートを戻すときに、デッキボードに当たり破損するおそれがあります。

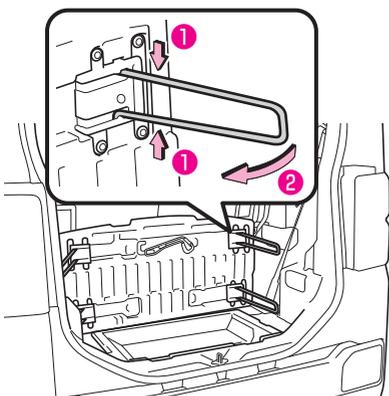
最大荷重量について

- 最大荷重量は約 20kg です。
最大荷重量を超える荷物を積むと、デッキボードが変形や破損するおそれがあります。
- 最大荷重量内であっても荷重が一部分に集中する荷物は、デッキボードが変形や破損するおそれがありますので注意してください。

■ デッキボードをたたむには

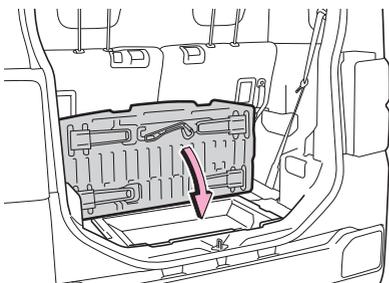


1 デッキボードを持ち上げる



2 脚の付け根を握って (1) 折りたたむ (2)

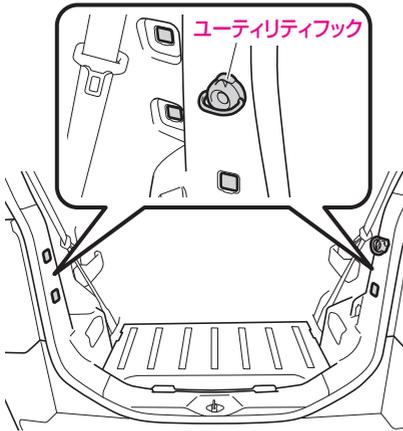
● 他の脚も同じようにたたみます。



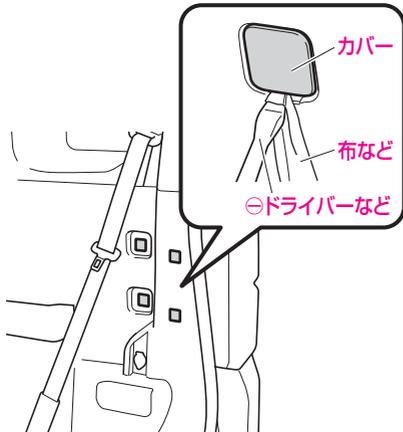
3 デッキボードを倒す

ユーティリティフック

オプション/グレード別装備



左右それぞれ4カ所（合計8カ所）の取付位置に、4つのユーティリティフックを取り付けて、いろいろな荷物を固定することができます。



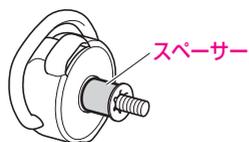
▼ ユーティリティフックの取り付け方法

- 1 ユーティリティフックカバーに⊖ドライバーなどを差し込んで取り外す

知識

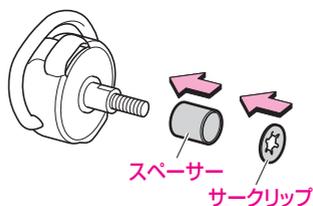
- 取り外したユーティリティフックカバーは大切に保管してください。

- 2 ユーティリティフックにスペーサーが付いていることを確認する



📖 知識

- スペーサーが外れているときは、スペーサーとサークリップをユーティリティフックに取り付けます。部品の取付について不慣れな方は、トヨタ販売店にご相談ください。



- 3 ⊕ドライバーでユーティリティフックを確実に取り付ける



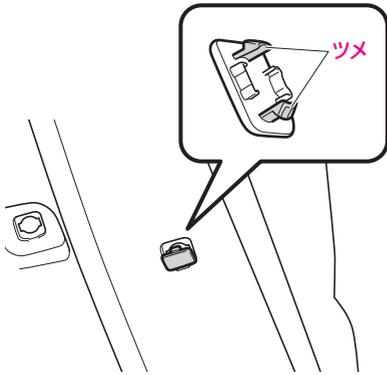
⚠ 注意

最大荷重量について

- 下記の重さ以上の物をかけないでください。
 - 走行時に使用されるときは約 2kg です。
 - 駐車時に使用されるときは約 10kg です。

📖 知識

- 固定後もフックの向きは自由に動かすことができます。
- 走行中に荷物が脱落しないように確実に固定してください。



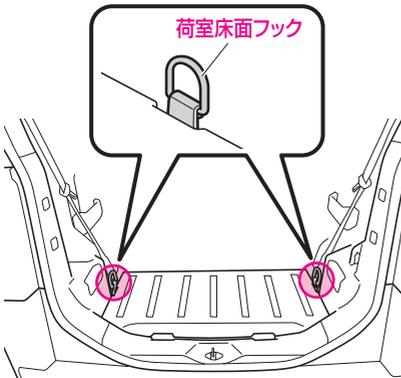
- ▼ ユーティリティフックの取り外し方法
- 1 ⊕ドライバーでユーティリティフックを取り外す
 - 2 ユーティリティフックカバーを取り付ける
 - カバーのツメの向きが上下になるように取り付けます。

📖 知識

- ユーティリティフックを使用しないときは、大切に保管してください。

荷室床面フック

オプション/グレード別装備



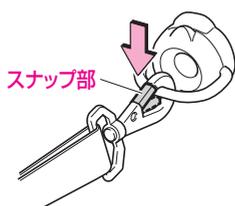
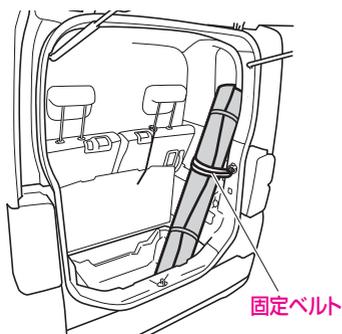
荷室床面フックを使用して荷物を固定することができます。

⚠ 注意

- 荷室床面フックを使用しないときは外側に倒してください。内側に倒れているとデッキボードを持ち上げたときに損傷するおそれがあります。

固定ベルト

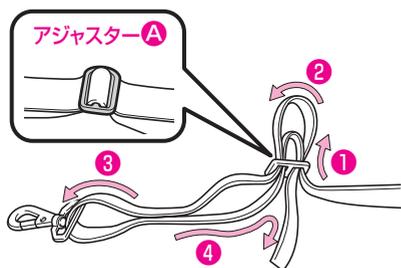
オプション/グレード別装備



- 固定ベルトをユーティリティフックや荷室床面フックにかけて、荷物を締め付けて固定することができます。

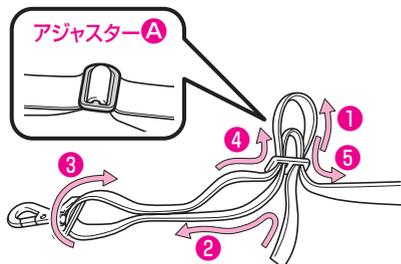
- 固定ベルトは、ラゲージアンダートランクにあります。

- スナップ部を押すとフックから取り外すことができます。



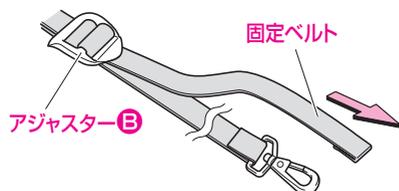
▼ 固定ベルトの締めかた

- 1 固定ベルト (①) をアジャスターAに入れて、たわませる
- 2 固定ベルト (②③④) の順にベルトを引き込む



▼ 固定ベルトの伸ばしかた

- 1 固定ベルト (①) をアジャスターAに入れて、たわませる
- 2 固定ベルト (②③④⑤) の順にベルトを引き込む



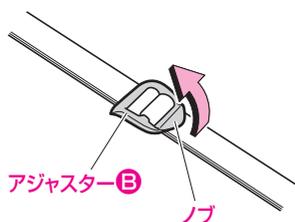
▼ 荷物の固定方法

アジャスターBの固定ベルトを引っ張る。

- 固定ベルトが縮み、荷物が固定されます。

⚠ 注意

- 固定ベルトを強く引くと荷物が破損または変形するおそれがあります。



▼ 荷物のゆるめかた

アジャスターBのノブを引き上げる。

- 固定ベルトが伸びて荷物がゆるみます。

ドリンクホルダー

⚠ 警告

- 飲み物は振動で中身がこぼれるおそれがありますので、フタをしてこぼれないようにしてください。特に温かい飲み物は、やけどを防ぐために必ずフタをしてください。
- ドリンクホルダーには、使用用途以外の物を置かないでください。急ブレーキをかけたときや、衝突したときなどに置いていた物が飛び出し、けがをするおそれがあります。

⚠ 注意

- 飲み物がこぼれたときはただちにふき取ってください。スイッチ類や電気部品にかかると、故障や車両火災の原因となるおそれがあります。
- 炭酸飲料を収納したままにしないでください。炎天下で車内が高温になったときなどに破裂することがあります。
- ペットボトルは、形状によってはしっかり固定されない場合があります。しっかり固定されないまま走り続けると、振動でペットボトルが落下し、運転のさまたげになるおそれがありますので、確実に固定されることを確認してから使用してください。

📖 知識

- ペットボトルの大きさや形状によっては収納できないことがあります。

■ カップホルダー

ペットボトルや缶ジュース、カップなどを置くときに便利です。

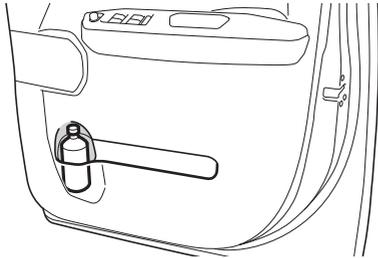
■ インパネ（運転席、助手席）



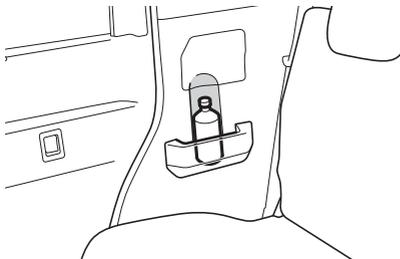
■ ボトルホルダー

ペットボトルなどを置くときに便利です。

■ フロントドア左右



■ 後席シート左右



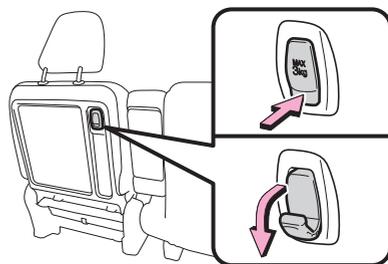
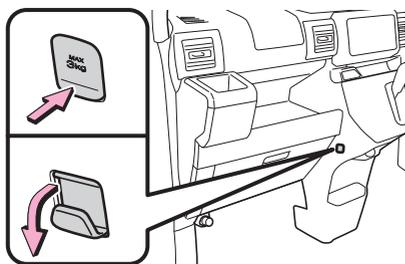
■ 買い物フック

軽量の荷物や、袋をかけておくのに便利です。

インストルメントパネル（助手席側）・助手席シートバックにあります。

■ インストルメントパネル（助手席側）

■ 助手席シートバック



▼ 使用方法

- フックの下部を押さえ、反転させて使用します。
- 元に戻すときは、そのまま反転させフックを格納してください。

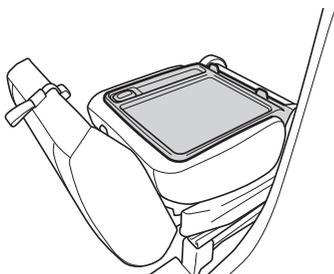
⚠ 注意

- 使用しないときは元に戻しておいてください。

最大荷重量について

- 特に重たい物や、大きな物を買い物フックにかけないでください。
フックが折れたり、走行中に外れたりするおそれがあります。
- インストルメントパネル（助手席側）約 3kg
- 助手席シートバック約 3kg

■ 助手席シートバックテーブル



（テーブルモードにするには
→ 134 ページ）

車のお手入れ

日常のお手入れ

ボデー、塗装面のお手入れ … 324

室内のお手入れ …… 327

簡単な点検・部品の交換

エンジンルーム内の点検 … 328

消耗品の補給、交換 …… 333

タイヤの点検 …… 336

ワイパーの交換 …… 343

エアコンガス、フィルターの
交換 …… 347

ヒューズの交換 …… 348

電球（バルブ）交換 …… 352

キーの電池交換 …… 362

日常のお手入れ

ボデー、塗装面のお手入れ

塗装面など車体の外観を美しく保つために、洗車、ワックスがけを月1回程度で定期的に行ってください。また、長時間屋外で駐車するときは、ボデーカバーを付けるように心がけましょう。

車体にほこりや異物などを付けたままにしておきますと、塗装面の劣化や車体、部品の腐食を早めたり、化学変化による塗装面の変色やはん点の発生などの原因になります。

下記の場合は早めに洗車をしてください。

- 海岸地帯、凍結防止剤を散布した道路を走行したとき
- ばい煙、粉じん、鉄粉などの降下の多い場所に駐車したとき
- コールタール、花粉、鳥のふん、虫、樹液などが付いたとき
- ほこり、泥などで著しく汚れたとき

知識

- 海岸地帯や凍結防止剤を散布した道路を走行したあとは、特に車体の下回り、足回りを念入りに洗車してください。
- 塗装の飛石傷やかき傷は、腐食の原因となります。見つけたら早めに補修してください。
- 保管、駐車は風通しの良い車庫や屋根のある場所をおすすめします。
- お使いになる洗剤やワックスの説明をよく読んで、正しくお手入れを行ってください。

洗車

警告

- 故意に空気取り入れ口やエンジンルーム内の電気部品に水をかけないでください。エンジンの始動不良や電気部品の故障の原因になります。
- 洗車後や水たまり走行後は低速でブレーキペダルを軽く踏んでブレーキが正常にはたらくことを確認してください。効が悪い場合は、ブレーキパッドがぬれていると、ブレーキの効が悪くなったり、ぬれていない片方だけが効いてハンドルを取られ、思わぬ事故につながるおそれがあります。周囲の安全に十分注意して効が回復するまで数回ブレーキペダルを軽く踏んでください。

注意

- 高温の湯で洗車すると樹脂部品などが損傷するおそれがあります。
- 下回り足回りを洗うときは手をけがしないように注意してください。
- ランプのレンズ表面をワックス・ベンジンやガソリンなどの有機溶剤でふいたり、硬いブラシでこすらないでください。レンズが破損したり、劣化を早めるおそれがあります。
- 研磨剤（コンパウンド）入りの洗剤は使用しないでください。

洗車のしかた

- 1 十分に水をかけながらスポンジまたはセーム皮のような柔らかい物で洗う
 - 汚れのひどい箇所はカーシャンプー液または中性洗剤で洗い、水で完全に流します。
- 2 水が乾かないうちにふき取る

自動洗車機を使用するとき

⚠ 注意

- ルーフアンテナは取り外し、前側から洗車してください。また、走行前には必ずアンテナを元通りに取り付けてください。
- ドアミラーは必ず格納し、洗車機の「ドアミラーを洗車しない」モードを選択してください。洗車機によっては、ドアミラーを損傷するおそれがあります。
- エアコンは“内気循環”にしてください。車内に水が入り、故障の原因になります。
- ときによりブラシの傷が付き、塗装の光沢が失われたり劣化を早めることがあります。

高圧洗車機を使用するとき

⚠ 注意

- ドアガラスやドア周りなどの開閉部分は高圧洗車は避けてください。
 - ドアガラスやドア周りなどの開閉部分に洗車ノズルを向けると、車内に水が入ることがあります。

キーフリーシステム装着車

- フロントドア、バックドアのリクエストスイッチ、またはスライドドアのワンタッチスイッチ周辺に洗車ノズルの先端を近付けすぎないようにしてください。水圧によりスイッチが破損するおそれがあります。

ワックスがけ

月に一回程度または水をはじかなくなったときに行ってください。

▼ ワックスをかける前に

塗装面の汚れを水洗いし、水分を十分にふき取ってから日陰または車体表面が体温以下になっているときに行ってください。

⚠ 注意

- 研磨剤（コンパウンド）入りのワックスは使用しないでください。

キーフリーシステム装着車

- フロントドア、バックドアのリクエストスイッチ、またはスライドドアのワンタッチスイッチ周辺にワックスが付着したときは、鋭利なもので清掃しないでください。スイッチが変形して操作のさまたげになるおそれがあります。

📖 知識

- 塗装されていない樹脂部品にワックスを使用しないでください。ワックスが付着すると、白くなったりムラになることがあります。

塗装部品のお手入れ

塗装部品にガンソリン、オイル、ラジエーター液、バッテリー液などが付着すると、しみの発生や塗膜がはがれる原因となります。十分に水洗いをしたあとただちに柔らかい布でふき取ってください。

📖 知識

- 塗装部品の傷の補修をする場合は、トヨタ販売店にご相談ください。不適切な塗料を使用すると塗膜をいためます。

アルミホイールのお手入れ

オプション / グレード別装備

アルミホイールはボデーの洗車と同じ要領で行い、ボデーと同じワックスでワックスがけをしてください。

⚠ 警告

- アルミホイールにワックスがけをする際は、ホイールナットの座面にワックスを付着させないように注意してください。ナットがゆるんでタイヤが外れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、必要以上に締め付けられて、ナットやボルトが破損したり、ホイールが損傷するおそれがあります。

室内のお手入れ

ビニール、レザー、プラスチック、布材などの汚れ落としには、中性洗剤の水溶液を柔らかい布に軽く含ませてお使いください。洗浄後、残った洗剤分は真水を含ませた柔らかい布でよく落としてください。

室内側のウインドガラスも、こまめにふいておきましょう。汚れたままにしておくと、取れにくくなる場合があります。

警告

- シートベルトを清掃するときは、必ず中性洗剤を溶かしたぬるま湯を使用してください。中性洗剤以外を使用すると、ベルトが弱くなり万一のときに正常なはたらきをしないことがあります。

車内に水などをかけないでください

- インstrumentパネルやドア、フロア下などにあるスイッチや電気部品、配線類の故障の原因となったり、車両火災につながるおそれがあり危険です。
万一、水、飲み物などがかかった場合は、可能な限り水分を取り除き、すみやかにトヨタ販売店にご相談ください。

注意

- シートの下など見えにくい場所や狭い場所に手を入れるときは、けがをしないように十分注意してください。
- ベンジン、ガソリン、シンナーなどの有機溶剤は変色、しみなどの原因となるので使わないでください。
- 助手席シートクッションのロック付近を清掃するときは、必ず水またはぬるま湯を含ませた布でふいてください。アルカリ性や酸性の洗剤を使用すると、クッションロックの故障や破損の原因となります。
- 各スイッチの周辺にシリコン系のスプレーを使用しないでください。シリコンが内部の電気部品に付着し、故障の原因となります。
- 乾燥は直射日光をさけ、風通しが良く、ほこりの立たない日陰で行ってください。素材のいたみを早める原因となります。
- リヤウインドガラス内面を清掃するときは、電熱線を傷付けしないでください。

スーパー UV カットガラスを清掃するときは

オプション / グレード別装備

- 研磨剤（コンパウンド）入りの洗剤は使用しないでください。コーティングを損傷させるおそれがあります。汚れたら早めに水またはぬるま湯を含ませた布で軽くふいてください。
- ドアガラスの汚れがひどいときは、開閉を繰り返さないでください。

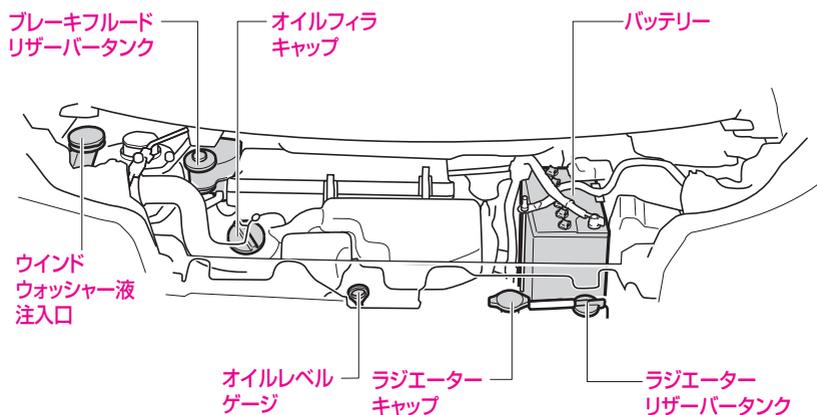
簡単な点検・部品の交換

車を安全、快適にご使用いただくには、日頃のお手入れが大切です。点検方法などは、別冊の「メンテナンスノート」に記載していますので、参照してください。

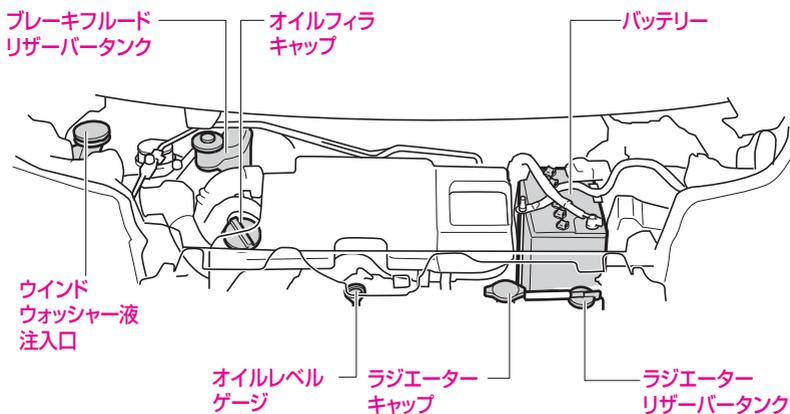
エンジンルーム内の点検

グレードの違い、注装備も記載しています。

ターボ車以外

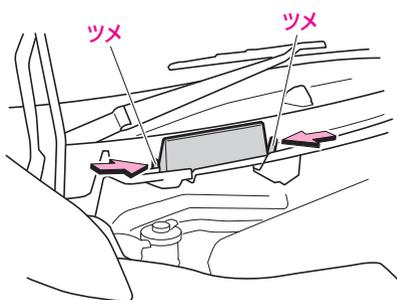
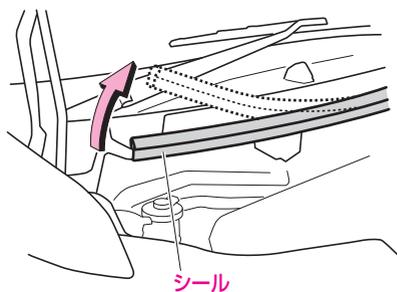


ターボ車



エンジンルームサービスカバー

ブレーキフルードの点検・交換をするときは、エンジンルームサービスカバーを取り外します。



▼ カバーの外しかた

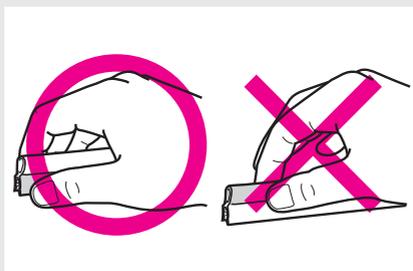
- 1 車両の中央部あたりまで、シールをめくる
- 2 ツメを矢印の方向に押しながら、カバーを取り外す

▼ カバーの取り付けかた

逆の手順で行います。

⚠ 注意

- シールをめくるときは、下側の取り付け部を持ってください。上側を持ってめくると、シールが破れるなど破損するおそれがあります。



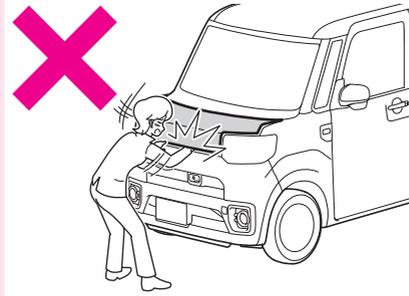
- シールを元に戻すときは、中央側から取り付けてください。端側から取り付けるとシールがたわみ、ボンネットが確実に閉まらない場合があります。

ボンネットの開閉

警告

けがや事故を防ぐために

- エンジン回転中や停止後は、エンジンルームが大変高温になっていることがあります。やけどをするおそれがありますので、ボンネットを開ける前に十分冷めていることを確認してください。
- 以下のことを必ずお守りください。お守りいただかないと、重大な傷害や思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ボンネットを閉めるときは、手などを挟まないように注意してください。重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。



- ボンネットを閉めたあとは、ボンネットが確実にロックしたことを確認してください。ボンネットが確実に閉まっていないと、走行中に突然開いて、死亡事故や重大な傷害につながるおそれがあります。
- ボンネットを開けているとき風にあおられるとステーが外れボンネットが不意に閉まるおそれがあります。特に風の強い日はご注意ください。
- お子さまにボンネットの開閉はさせないでください。ボンネットは大変重く、開閉中うっかり手を離すと手などを挟むなどして、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

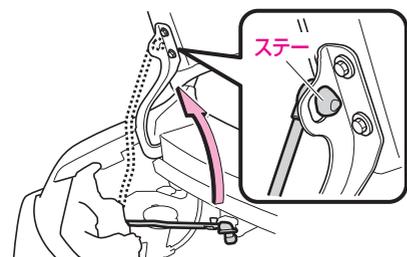
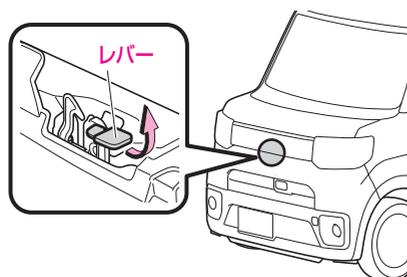
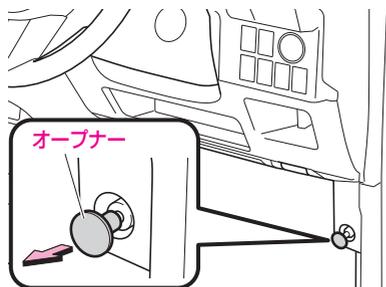
点検作業をしたあとは

- エンジンルーム内に工具や布を置き忘れていないことを確認してください。点検や清掃に使用した工具や布などをエンジンルーム内に置き忘れてしまうと、故障の原因となったり、車両火災につながるおそれがあり危険です。

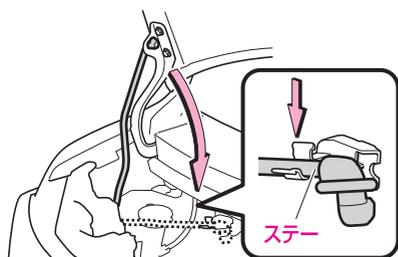
ボンネットの開けかた

⚠ 注意

- ワイパーを起こしたままでボンネットを開けないでください。ワイパーがボンネットに当たり、傷付くことがあります。



- 1 インストルメントパネル右下のオープナーを手前に引く
 - オープナーを引くと、ボンネット前部が少し浮き上がります。
- 2 ボンネット前部のキャッチフックレバーを矢印の方向に引き上げる
- 3 ボンネットを持ち上げる
- 4 ステーを外し、ボンネットの固定穴に差し込む
- 5 ボンネットが確実に固定されたことを確認する



▼ ボンネットの閉めかた

- 1 ボンネットを片手で支える
- 2 ステーを外して元の位置へ戻す
- 3 ボンネットを静かに下げ、手で押さえるようにして閉める

! 注意

- ボンネットを閉めるとき、手で強く押さえずぎないでください。ボンネットがへこむおそれがあります。

消耗品の補給、交換

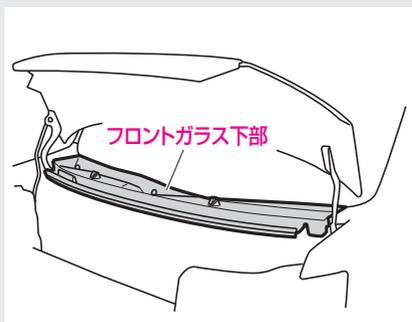
消耗品の補給、交換などは、別冊の「メンテナンスノート」に記載していますので、参照してください。

⚠ 警告

- エンジンルームは大変高温になっていることがあるため、下記のことをお守りください。
 - やけどをするおそれがありますので、点検するときは、十分に冷めてから行ってください。
 - 点検したあとは、エンジンルーム内に工具や布を置き忘れていないことを確認してください。点検や清掃に使用した工具や布などをエンジンルーム内に置き忘れてしまうと、故障の原因となったり、車両火災につながるおそれがあり危険です。
- オイルを点検・交換するときは、オイルがオルタネーターなどに付着しないように行ってください。オイルが付着したときは、ただちに拭き取ってください。オイルが付着していると、車両火災につながるおそれがあり危険です。

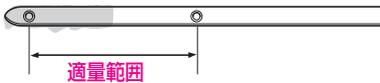
⚠ 注意

- エンジンルームを点検するときは、フロントガラス下部周辺に物を置かないでください。エンジン内部に物が落下し、故障につながるおそれがあります。



エンジンオイル

エンジンオイルの量を定期的に点検してください。



オイルレベルゲージ

⚠ 注意

- エンジンオイルはエンジン内部の潤滑、冷却などをするはたらきがあります。通常の運転をしていてもピストンおよび吸気、排気バルブを潤滑しているオイルの一部が燃焼室などで燃えるためオイル量は走行とともに減少します。また、減少する量は走行条件などにより異なります。

📖 知識

- 外気温が低いときに、オイルフィラキャップの裏側や、オイル注入口にエンジンオイルが白いクリーム状になって付着することがあります。
これは、エンジン内部の水蒸気が冷却されて水滴になり、エンジンオイルと混ざることにより発生するもので、外気温の上昇、エンジンの暖機等で水分が蒸発すると解消します。
この現象によるエンジンオイルの変質はなく、そのまま使用しても、問題はありません。

冷却水

▼ 冷却水の点検について

ラジエーターリザーバータンクの側面の目盛りで行ってください。

詳しくは別冊の「メンテナンスノート」を参照してください。

⚠ 警告

- 水温が高いときは、ラジエーターキャップを外さないでください。冷却水の圧力がラジエーターキャップにかかっているため、蒸気や熱湯がふき出し、やけどなど重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- 冷却ファンに絶対に触れないでください。ファンが回転するため、手や衣服などが巻き込まれたりして思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

ウインドウォッシャー液の補給

ウォッシャー液の量を定期的に点検してください。ウォッシャー液が不足しているときは、トヨタ純正ウインドウォッシャー液を補給します。

警告

- エンジンが熱いときやエンジンがかかっているときはウォッシャー液を補給しないでください。ウォッシャー液にはアルコール成分が含まれているため、ウォッシャー液がエンジンなどにかかると、出火するおそれがあり危険です。

注意

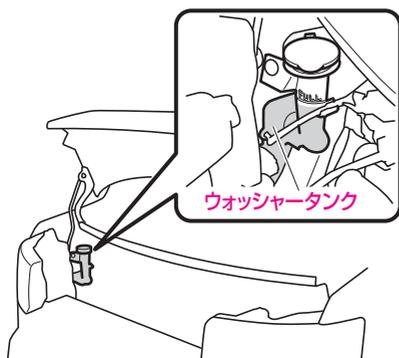
- ウォッシャー液のかわりに石けん水などを入れないでください。塗装のしみや目づまりになるおそれがあります。

知識

- ウインドウォッシャー液はトヨタ純正をおすすめします。ウォッシャー液の濃度の使い分けと注意事項はウォッシャー液の容器に記載されています。
- ウォッシャー液を“FULL”ライン以上入れないでください。
- ウインドウォッシャータンクはフロント、リヤ兼用です。

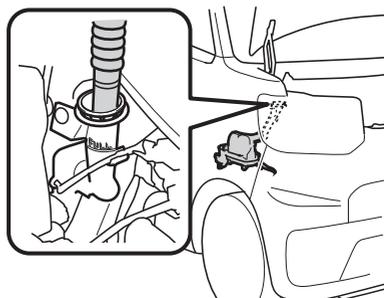
▼ 点検のしかた

ウォッシャータンクの側面から、液面を目視により確認します。



▼ 補給のしかた

ウォッシャータンクのキャップを外し、ウォッシャー液容器に表示してある凍結温度を参考に希釈して“FULL”まで補給します。



タイヤの点検

タイヤ空気圧の点検

タイヤの空気圧の点検は、法的に義務付けられています。最低でも月に1回行ってください。

タイヤが冷えているときに、タイヤゲージで空気圧が規定値にあるかを点検してください。

空気圧が適正でない場合は、必ず指定空気圧に調整してください。

(タイヤの指定空気圧は運転席側ドア開口部に記載しています。)

警告

- 指定空気圧より低いと車両の安定性を損なうばかりでなく、タイヤが偏摩耗や早期摩耗します。高速走行時にスタンディングウェーブ現象*によりタイヤがバースト(破裂)するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

知識

- タイヤが冷えているときは、一般道路で走行距離が1km以下の場合、または3時間以上駐車している状態のことをいいます。
- タイヤが暖まっているときは、タイヤの中の空気が膨張しているため、約20～30kPa(0.2～0.3[kgf/cm²])空気圧が高くなっています。この場合、誤って空気圧を下げないようにしてください。

タイヤの亀裂、損傷

タイヤの側面や接地部全周に亀裂や損傷がないかを点検してください。

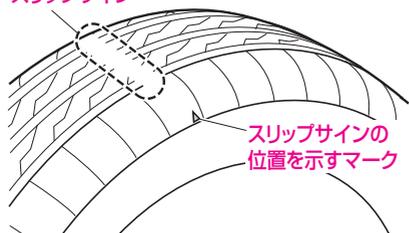
また、釘、石、その他の異物が刺さったり、かみ込んでいないかを点検してください。

警告

- タイヤの側面などに傷や亀裂のあるような異常なタイヤを装着しないでください。
- 異常があるタイヤを装着していると、走行時にハンドルが取られたり、異常な振動を感じる場合があります。また、バースト(破裂)など修理できないような損傷をタイヤに与えたり、タイヤが横滑りするなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。走行中、異常な振動を感じた場合は、トヨタ販売店で点検を受け、正常なタイヤに交換してください。
- 異常があるタイヤを装着していると、車の性能(燃費・車両の安定性・制動距離など)が十分に発揮できないばかりでなく、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、部品に悪影響をあたえるなど故障の原因となることがあります。

タイヤの溝の深さ、異常な摩耗

スリップサイン



タイヤの溝の深さに不足がないかをスリップサイン（摩耗限度表示）により点検してください。

また、タイヤの接地面全周に極端にすり減っている箇所がないかを点検してください。

警告

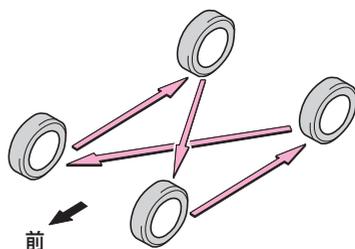
- 摩耗限度を超えたタイヤは使用しないでください。タイヤの溝の深さが少ないタイヤやスリップサイン（摩耗限度表示）が出ているタイヤをそのまま使用すると、制動距離が長くなったり、雨の日にハイドロブレーキング現象*により、ハンドルが操作できなくなったり、タイヤがバースト（破裂）したりして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。摩耗限度を超えたら、すみやかに正常なタイヤと交換してください。

タイヤのローテーション

タイヤは同じ位置で長く走ると、それぞれ異なった減りかたをします。これを防ぐために、タイヤの位置をローテーションしてください。

ローテーションは5,000km走行ごとに行ってください。

▼ ローテーションのしかた



図の順にローテーションしてください。

（タイヤの交換→338ページ）

知識

- タイヤパンク応急修理セット装着車では、応急用スペアタイヤが搭載されていないため応急用スペアタイヤを利用するタイヤのローテーションができません。トヨタ販売店にご相談ください。

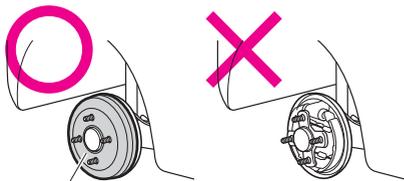
* 水のたまった道路を高速で走行すると、タイヤと路面の間に水が入り込み、タイヤが路面から浮いてしまい、ハンドルやブレーキが効かなくなる現象。

タイヤの交換

▼ 交換作業を行うにあたって

⚠ 警告

- ジャッキアップした車の下にもぐらないでください。万一ジャッキが外れると身体が車の下敷きになり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあり危険です。
- 駐車ブレーキは、必ずしっかりとかけてください。駐車ブレーキをかけずに後輪タイヤを取り外すと、まれにブレーキドラムがタイヤと一緒に外れることがあります。タイヤを外したあとは、ブレーキドラムが外れていないことを確認してください。ブレーキドラムが外れたままタイヤを交換すると、ブレーキが効かず思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。



ブレーキドラム

- タイヤは必ず指定サイズのタイヤを使用してください。指定サイズ以外のタイヤを使用すると、車両の安定性が損なわれたり、制動距離が長くなるなどして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。また、ABS が正常に作動しないことがあります。

⚠ 警告

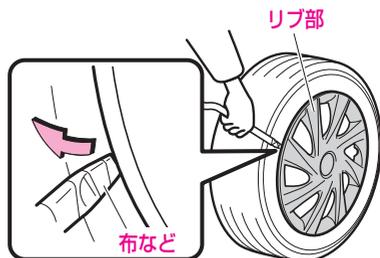
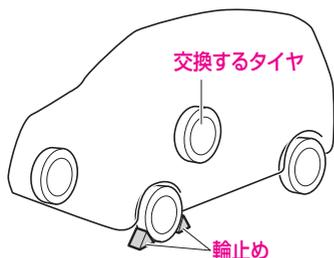
- タイヤは4輪とも指定サイズで、同一サイズ、同一メーカー、同一銘柄および同一トレッドパターン（溝模様）の物を装着してください。
- この車専用以外のホイールを使用しないでください。専用以外のホイールを使用すると、走行装置やブレーキ装置に支障をきたし、安全な走行ができなくなります。
- アルミホイール装着車は、トヨタ純正アルミホイール専用品以外のナットは使用しないでください。走行中にナットがゆるみ、タイヤが外れるおそれがあり危険です。
- 傷、変形がある物は再使用しないでください。

⚠ 注意

- タイヤの空気圧を確認してください。（タイヤの空気圧は運転席側ドア開口部に記載しています）
- 車を交通のさまたげにならず安全に作業できる平らな場所に移動させて作業を行ってください。
- パンクなどにより路上で作業を行うときは、交通のさまたげにならない場所に寄せ、非常点滅灯を点滅させ、停止表示板を使用してください。
- 人は車から降り、重い荷物は車から降ろしてください。

交換の手順

- 1 駐車ブレーキをしっかりとかけ、エンジンは停止し、シフトレバーをPレンジの位置にする
- 2 交換するタイヤと対角線上にあるタイヤの前後に輪止めを置く
- 3 工具、ジャッキを取り出す
(格納場所→ 374 ページ)
(ジャッキの使いかた→ 375 ページ)
- 4 フルホイールキャップ装着車は、傷付き防止のため、先端に布などを巻いたジャッキハンドルを穴の開いていない部分（リップ部）に差し込み、タイヤを支点にしてフルホイールキャップを外す



知識

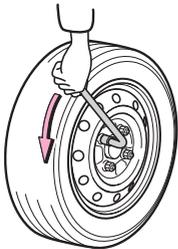
- 輪止めは、トヨタ販売店で購入できますので、トヨタ販売店にご相談ください。
- 輪止めが無い場合は、タイヤを固定できる大きさの石などで代用できます。

注意

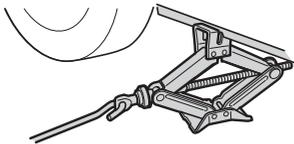
- キャップは手で外さないでください。けがをするおそれがあります。
- ホイールキャップを外するとき力を入れすぎないでください。けがをしたり、ボデーなどを傷付けるおそれがあります。
- ジャッキハンドルは必ず穴の開いていない部分（リップ部）に差し込んでください。ホイールキャップが割れるおそれがあります。

▼ タイヤの取り外し

- 1 ホイールナットはホイールナットレンチを使って、手で回るくらいまでゆるめる



- 2 タイヤと路面が少し離れるまでゆっくりジャッキアップし、車体を上げる
(ジャッキの使いかた→375 ページ)

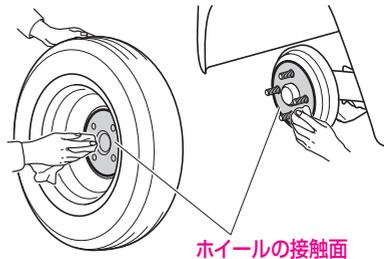


- 3 ホイールナット (4つ) を外し、タイヤを取り外す

- タイヤを地面に置くときは、傷が付かないように、ホイール意匠面を上向きにしてください。

▼ タイヤの取り付け

- 1 取り付けるタイヤのホイール接触面の汚れをふき取る



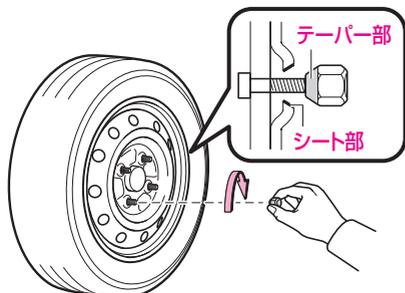
⚠ 警告

- ホイールの取り付け部やホイール裏側の取り付け面がほこりなどで汚れていると、走行中にナットがゆるみ、タイヤが外れるおそれがあり危険です。

- 2 タイヤを取り付ける

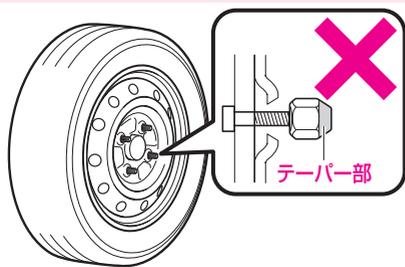
3 ホイールナットを、タイヤががたつかない程度まで仮締めする

- ナットのテーパ部がホイールのシート部に軽くあたるまで回します。



⚠ 警告

- 必ずナットのテーパ部を内側にして取り付けてください。テーパ部を外側にして取り付けると、ホイールが破損し外れてしまい、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあり危険です。

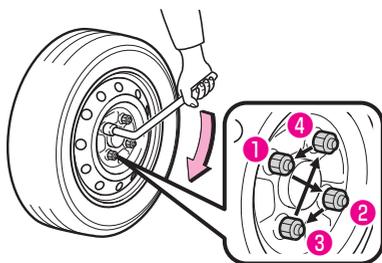


- ナットやボルトにオイルやグリースをぬらないでください。ナットがゆるんでタイヤが外れ、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。また、必要以上に締め付けられて、ナットやボルトが破損したり、ホイールが損傷するおそれがあります。

4 車体をおろす

5 ナットを締め付ける

- ナットはホイールナットレンチで、対角線上に2、3度しっかり締め付ける
- 締め力（レンチ先端にて）：
440～590N {45～60kgf}
- 締めトルク：103N・m
{1,050kgf・cm}

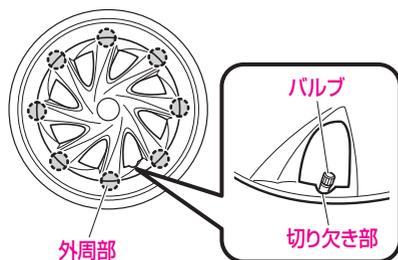


⚠ 注意

- ホイールナットレンチを足で踏んだり、パイプを継ぎたしたりしないでください。必要以上に締め付けると、ボルトが破損するおそれがあります。

6 フルホイールキャップ装着車は、フルホイールキャップを取り付ける

- タイヤのバルブとフルホイールキャップの切り欠き部を合わせ、フルホイールキャップの外周部を押して取り付けます。



7 工具、ジャッキ、タイヤを片付ける

▼ タイヤを取り付けた後は

- しばらく走行したあと、ホイールナットにゆるみがないことを確認してください。

⚠ 注意

- 走行中、ハンドルや車体に振動が出た場合は、タイヤのバランス点検をトヨタ販売店で受けてください。

ワイパーの交換

⚠ 警告

- ワイパーブレード、ラバーを取り外したときは、ワイパーアームを倒さないでください。ウインドガラスに傷が付くおそれがあります。

⚠ 注意

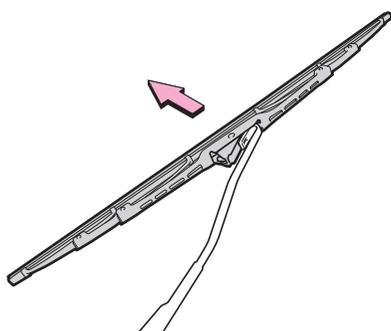
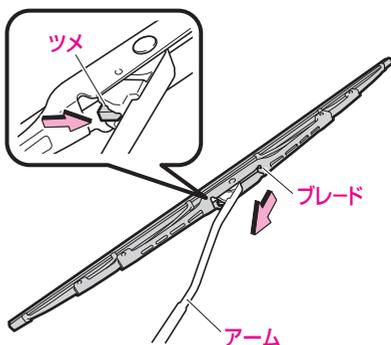
- ワイパーブレード、ラバーはトヨタ純正をおすすめします。トヨタ純正以外を使用すると、適切に装着できない場合があります。
- 傷んだワイパーブレードラバーを使用し続けると、ウインドガラスを傷付けるおそれがあります。拭きむらがある場合は、早めに交換してください。
- 起こしたワイパーアームを戻すときは、手を添えながらゆっくりと戻してください。離れた位置から戻すと、ワイパーアームが変形したり、ウインドガラスに傷が付くおそれがあります。
- 確実に取り付けられていることを確認してからワイパーを作動させてください。ウインドガラスに傷が付くおそれがあります。

フロントワイパー

ワイパーブレード

▼ 取り外しかた

- 1 アームを起こす
- 2 ブレードをツメが見える角度まで傾ける
- 3 ツメを押しながら、ブレードをスライドさせてアームから外す



▼ 取り付けかた

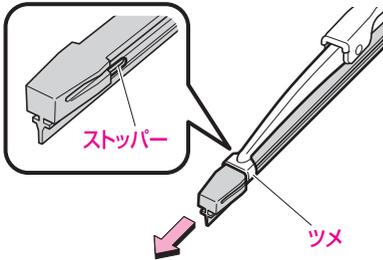
ブレードをアームに取り付ける

- ブレードとアームが確実に固定されていることを確認してください。

ワイパーブレードラバー

▼ 取り外しかた

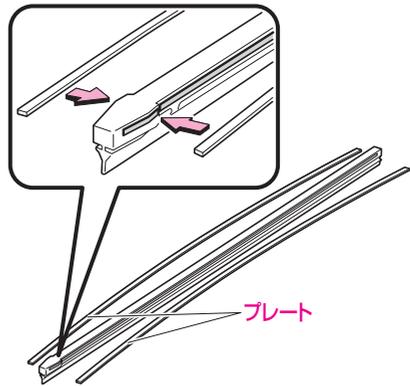
- 1 ラバーのストッパーがブレードのツメから外れるまで引く



- 2 ラバーをそのままブレードから引き抜く

▼ 取り付けかた

- 1 プレートをラバーから取り外す
- 2 ラバーを交換する
- 3 プレートをラバーに差し込む
 - プレートの反りの向きに注意してください。



- 4 ラバーはストッパーがない側からブレードに挿入する
- 5 ラバーのストッパーをブレードのツメで確実にとめる

⚠ 注意

- ストッパーが確実にとまっていないと、ウィンドガラスに傷が付くおそれがあります。

📖 知識

アームに取り付けるときは

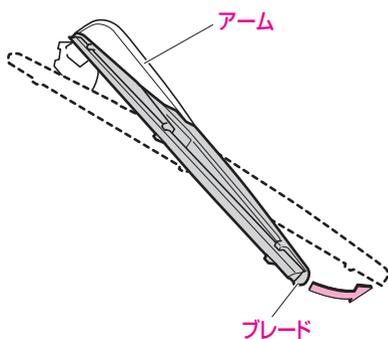
- ストッパーのある側が運転席側になるように取り付けてください。

リヤワイパー

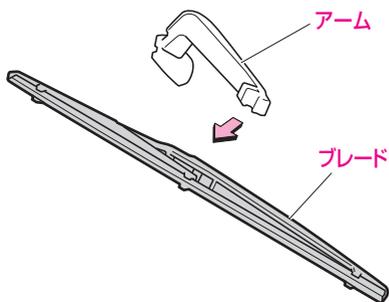
ワイパーブレード

▼ 取り外しかた

- 1 アームを起こす
- 2 ブレードを図の角度まで回す



- 3 ブレードを図の方向に引いて、アームから外す



▼ 取り付けかた

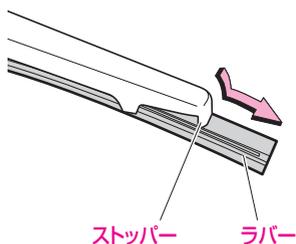
逆の手順で行います。

- ブレードとアームが確実に固定されていることを確認してください。

ワイパーブレードラバー

▼ 取り外しかた

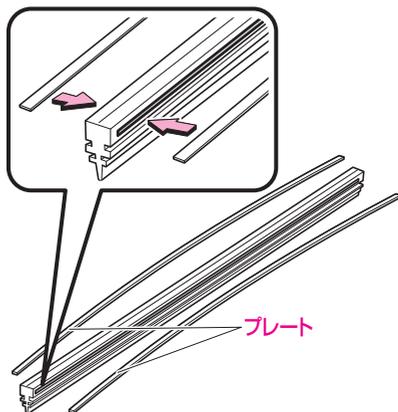
- 1 ラバーの先端部を引き、ブレードのストッパーから外す
- 2 ラバーをブレードから引き抜く



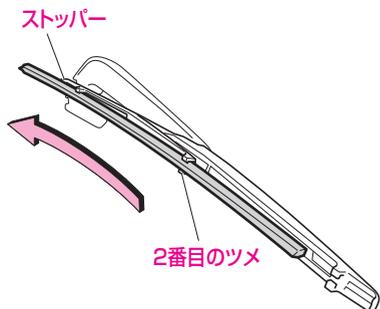
▼ 取り付けかた

- 1 ラバーからプレートを外す
- 2 ラバーを交換する
- 3 プレートをラバーに差し込む

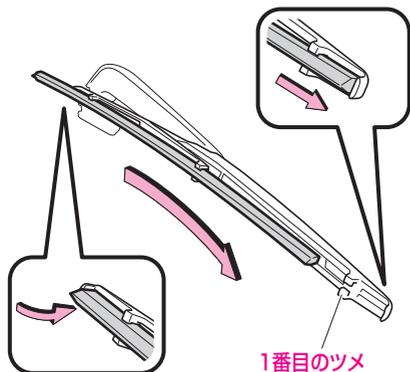
- プレートの反りの向きに注意してください。



- 4 ラバーをブレードの2番目のツメからブレードに沿って差し込む
- 5 ラバーをブレードのストッパーから約2cm引き出す



- 6 ブレードの1番目のツメにラバーを通す
- 7 ブレードの先端のストッパーにラバーを戻して確実に固定する



⚠ 注意

- ブレードのツメをラバーに確実に挿入してください。ウインドガラスに傷が付くおそれがあります。

エアコンガス、フィルターの交換

エアコンガス

エアコンガスは新冷媒 HFC134a (R134a) を使用しています。地球環境保全のため、大気放出しないでください。

知識

- エアコンガスの補充、エアコンの修理をする場合はトヨタ販売店にご相談ください。

クリーンエアフィルター

エアコンには、車外から侵入する粉じんなどを除去し、車内を快適な空気に保つクリーンエアフィルターが取り付けられています。快適にお使いいただくため定期的な交換をおすすめします。

- フィルターの交換については、トヨタ販売店にご相談ください。

スーパークリーンエアフィルター

花粉など、より細かい粉じんを除去するフィルターです。

- 交換の目安は 20,000km です。
(大都市、寒冷地など交通量や粉じんが多い場所や山岳地、丘陵地など地域により花粉の多い場所は 10,000km です)

クリーンエアフィルター

- 交換の目安は 20,000km です。
(大都市、寒冷地など交通量や粉じんが多い場所は 10,000km です)

注意

- エアコンの風量が著しく減少したり、ガラスが曇りやすくなったときは、フィルターの目詰まりが考えられます。フィルターを交換してください。

ヒューズの交換

下記のような症状が見られるとヒューズ切れが考えられます。点検、交換を行ってください。

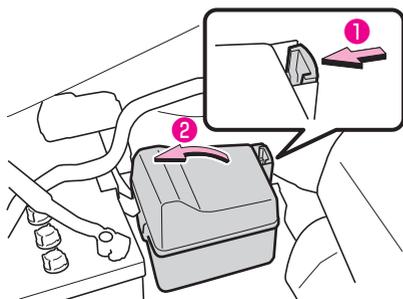
- ランプが点灯しない
- 電気系統の装置がはたらかない

下記の場合はトヨタ販売店で点検を受けてください。

- 交換しても再びヒューズが切れるとき
- 交換しても電気系統の装置がはたらかないとき

ヒューズの位置

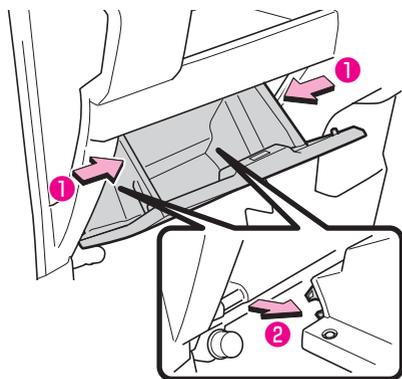
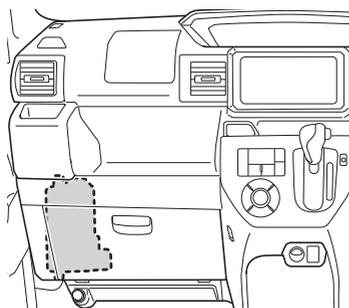
エンジンルーム内



▼ カバーの取り外しかた

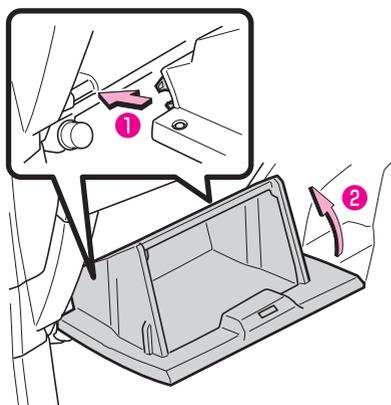
- 1 エンジンスイッチを“OFF”にする
- 2 カバー横のツメを押しながら (1)、取り外す (2)

助手席足元



▼ グローブボックスの取り外しかた

- 1 エンジンスイッチを“OFF”にする
- 2 ボックスを開け、上部のツメを外す
 - 側面を左右の順でたわませます(①)。
- 3 下部のツメ(②)を外し、ボックスを取り外す



▼ グローブボックスの取り付けかた

- 1 下部のツメ(①)を取り付ける
- 2 ツメがしっかりかん合していることを確認し、ボックスを押し込む(②)

知識

- ツメのかん合が不十分だと、ボックスが開かなくなることがあります。

ヒューズの点検と交換

各ヒューズの配置と容量

▼ エンジンルーム内

▼ 助手席足元

ヒューズボックスのカバーに表示しています。 グローブボックスの裏側に表示しています。

📖 知識

- グレードやオプション装備によって、所定の位置にヒューズが無い場合があります。また、装置がなくてもヒューズだけがついている場合があります。

ヒューズの点検・交換方法

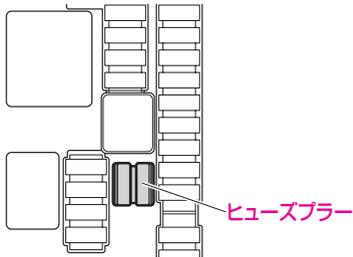
警告

- 規定容量以外のヒューズを使用しないでください。配線が過熱、損傷し、火災につながるおそれがあり危険です。

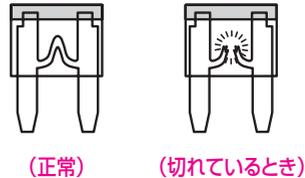
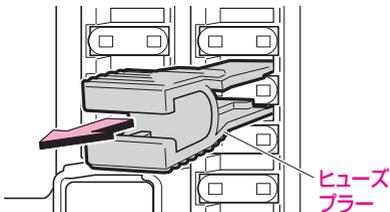
知識

- 交換してもすぐに切れてしまうときは、トヨタ販売店で点検を受けてください。

- 1 ヒューズブラーを助手席足元のヒューズボックスから取り出す
- 3 取り外したヒューズを点検する



- 2 ヒューズをヒューズブラーで挟んで外す



▼ ヒューズが切れているときは

- 規定容量のヒューズと交換してください。

▼ ヒューズが切れていないときは

- ほかに原因が考えられます。トヨタ販売店で点検を受けてください。

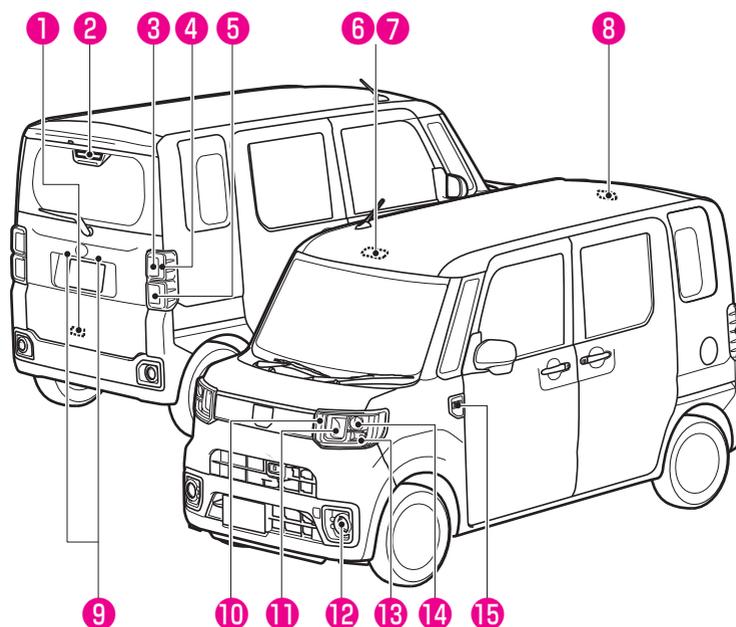
電球（バルブ）交換

ヒューズが切れていないにも関わらず、ランプが点灯しないときは、電球切れが考えられますので、電球を点検し、切れている場合は電球を交換してください。

- 電球の交換作業に不慣れな方や、部品などの破損が心配な場合は、トヨタ販売店にご相談ください。
- 電球の交換作業をするときに必要な工具は、カー用品店などでご購入することができます。

バルブの位置

グレードの違い、注装備も記載しています。



電球（バルブ）		W(ワット)数
①	バックドアランプ	5
②	ハイマウントストップランプ	LED
③	後面方向指示灯 兼 非常点滅灯	21
④	制動灯 兼 尾灯	LED
⑤	後退灯	16
⑥	ルームランプ	8
⑦	フロントパーソナルランプ	5
⑧	ラゲージルームランプ	5
⑨	番号灯	5
⑩	車幅灯	LED
⑪	前照灯(Hi)(バルブタイプ：HB3)	60
⑫	フォグランプ(バルブタイプ：H16)	19
⑬	前面方向指示灯 兼 非常点滅灯	21
⑭	前照灯(Low)	LED
⑮	側面方向指示灯 兼 非常点滅灯	※

※ バルブのみの交換をすることができません。
点検・交換の際はトヨタ販売店にご相談ください。

⚠ 注意

- 電球は上記のワット数のものと交換してください。大きなワット数のものに交換すると、過熱による故障や車両火災の原因につながるおそれがあります。

📖 知識

LED ランプについて

- LED を使用しているランプは、LED のみの交換をすることができません。点検・交換の際は、トヨタ販売店にご相談ください。
- ハイマウントストップランプ、制動灯 兼 尾灯などは複数の LED で構成されています。もし、LED が1つでも点灯しないときは、トヨタ販売店で交換してください。
- 制動灯 兼 尾灯 (④) の中央部には LED が入っていないため点灯しません。

電球の交換

⚠ 警告

- 電球を交換するときは、ランプを消灯させ電球が冷えている状態で行ってください。電球が熱い状態で、電球やその周辺を触ると、やけどをするおそれがあり危険です。
- 電球および電球固定具の取り付けが不完全な場合、発熱や発火、および水入りなどによる故障、レンズ内面の曇りにつながるおそれがあります。
- 電球、ソケット、電気回路、および構成部品を修理、分解しないでください。感電により、生命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

⚠ 注意

- 同じバルブ色の電球以外は使用しないでください。道路運送車両の保安基準に適合しない場合があります。
- 前照灯（フォグランプ含む）などに使用しているハロゲン電球は、ガラス球内部の圧力が高いため、落としたり、物をぶつけたり、傷を付けたりすると破損して、ガラスが飛び散る場合がありますので、十分注意して取り扱ってください。
また、電球のガラス部は、素手で触れずにきれいな手袋を着用してください。油脂が付着すると、発熱による早期電球切れを起こします。
- 電球を交換しても点灯しない場合は、電球切れ以外の理由が考えられます。トヨタ販売店で点検を受けてください。

📖 知識

レンズ内の水滴と曇りについて

- ヘッドランプやリヤコンビネーションランプなどは、雨天走行や洗車などの使用条件によりレンズ内面が一時的に曇ることがあります。これはランプ内部と外気の温度差によるもので、雨天時などに窓ガラスが曇ると同様の現象であり、機能上の問題はありません。
ただし、レンズ内面に大粒の水滴が付いているときやランプ内に水がたまっているときは、トヨタ販売店にご相談ください。

交換作業をするときは

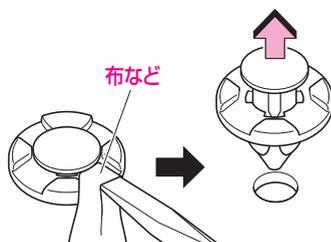
⚠ 注意

- Ⓐドライバーなどを使用するときは、布などを巻いてください。クリップ、レンズなどに傷が付くおそれがあります。
- ランプ本体やレンズを取り外すときは、ボデーに傷を付けないように注意してください。
- ネジなどでレンズを取り付けるときは、締めすぎないようにしてください。レンズを破損するおそれがあります。

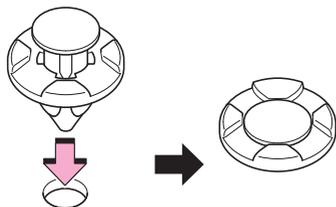
フェンダーライナーを固定しているクリップは、以下の手順で脱着します。

▼ クリップタイプ Ⓐ

- 1 取り外すときは、ドライバーで中央部を浮かしたあと、クリップ全体を引っ張る

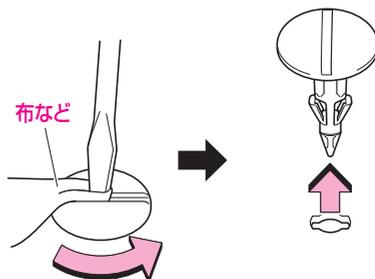


- 2 取り付けるときは、取り外した状態のまま差し込み、中央部を押し込む

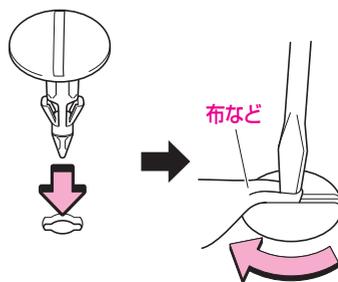


▼ クリップタイプ Ⓑ

- 1 取り外すときは、ドライバーで矢印の方向へ90°回して取り外す



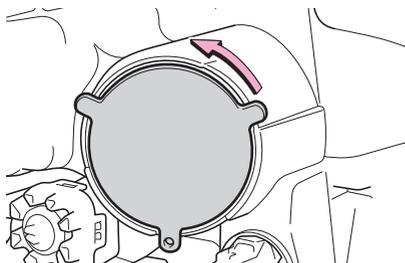
- 2 取り付けるときは、差し込んでからドライバーで矢印の方向へ90°回して取り付ける



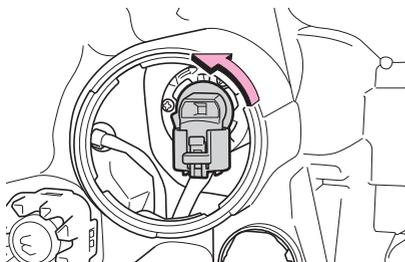
前照灯／ハイビーム

▼ 取り外し手順

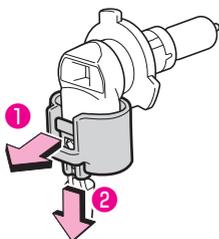
- 1 ボンネットを開ける
(ボンネットの開閉→330ページ)
- 2 カバーを外す



- 3 バルブを回して外す



- 4 コネクターのツメ (1) を起こして、コネクターからバルブを引き抜く (2)



▼ 取り付け手順

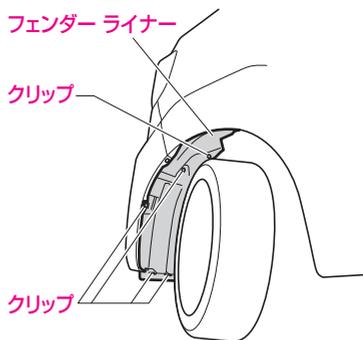
逆の手順で行います。

前面方向指示灯 兼 非常点滅灯

▼ フォグランプ

▼ 取り外し手順

- 1 ハンドルを
右側の電球を交換する場合は左に、
左側の電球を交換する場合は右に、
いっぱいまで回す
- 2 交換する側のフェンダーライナーの
クリップ (5 個) を取り外す



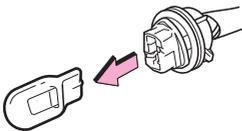
- 3 フェンダーライナーを、手が入る程度に
めくる

前面方向指示灯 兼 非常点滅灯

- 1 ソケットを回して取り外す



- 2 バルブを引き抜く

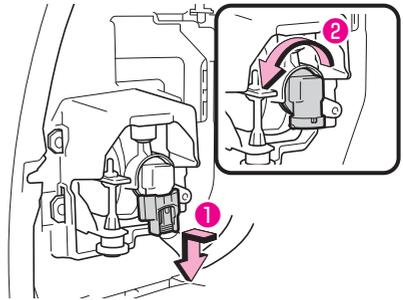


▼ 取り付け手順

逆の手順で行います。

フォグランプ

- 1 コネクターはツメ（①）を押して取り外す
- 2 バルブを回して（②）取り外す



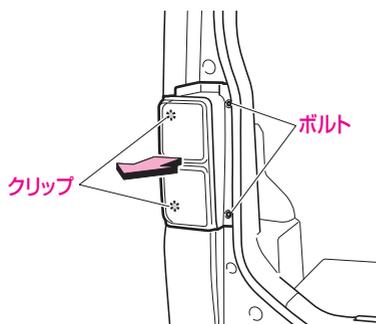
▼ 取り付け手順

逆の手順で行います。

リヤコンビランプ（後面方向指示灯、後退灯）

▼ 取り外し手順

- 1 バックドアを開ける
(バックドア→113ページ)
- 2 ランプ本体のボルトを取り外す
- 3 ランプ本体を車両後方に引いて取り外す
 - 車両後方に引くと、クリップが外れます。

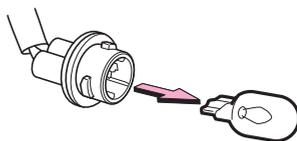


- 4 交換する電球のソケットを回して取り外す



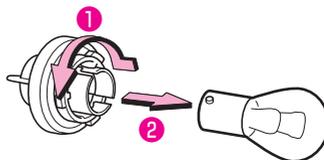
- 5 バルブを引き抜く

後退灯



後面方向指示灯

バルブを押しながらかわして (1)、外す (2)

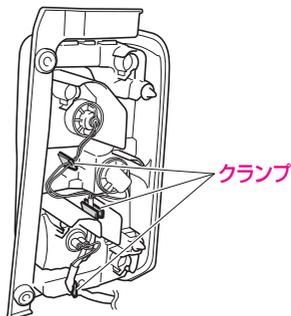


▼ 取り付け手順

逆の手順で行います。

⚠ 注意

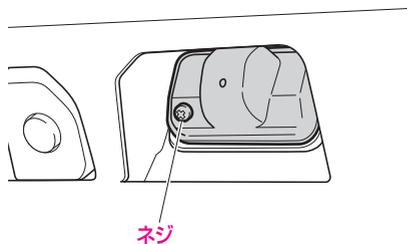
- ランプ本体を取り付けるときは、必ず配線のテーピング部を目印にしてクランプに取り付けてください。クランプに取り付けていないと配線が車体に挟み込まれ、損傷するおそれがあります。



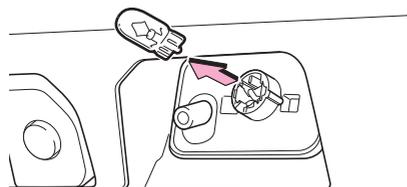
番号灯

▼ 取り外し手順

- 1 ネジ (1 本) を取り外し、レンズを取り外す



- 2 バルブを引き抜く



▼ 取り付け手順

逆の手順で行います。

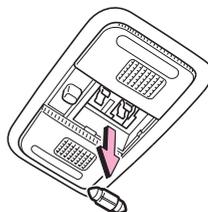
ルームランプ

▼ 取り外し手順

- 1 ㊦ドライバーを差し込んで、カバーを取り外す



- 2 電球を取り外す



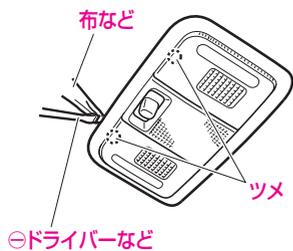
▼ 取り付け手順

逆の手順で行います。

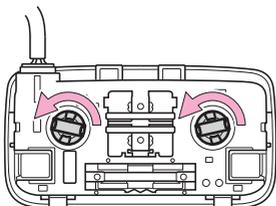
フロントパーソナルランプ

▼ 取り外し手順

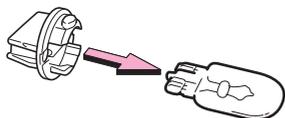
- 1 ㊦ドライバーを差し込み、ツメ（2カ所）を外してランプ本体を取り外す



- 2 交換する電球のソケットを回して取り外す



- 3 ソケットから電球を引き抜く



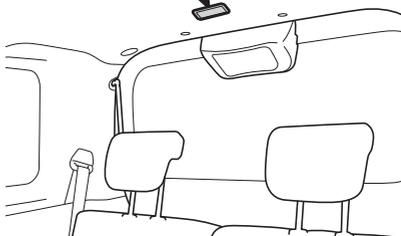
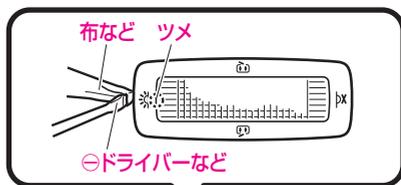
▼ 取り付け手順

逆の手順で行います。

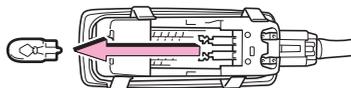
ラゲージルームランプ

▼ 取り外し手順

- 1 ㊦ドライバーを差し込み、ランプ本体を取り外す



- 2 バルブを引き抜く



▼ 取り付け手順

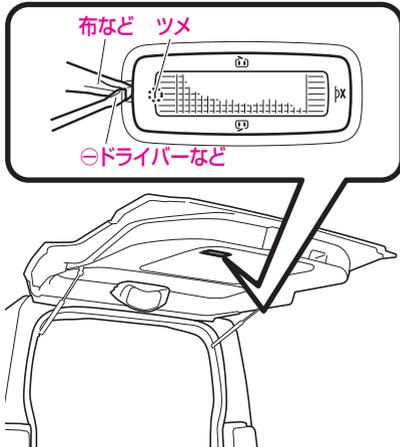
逆の手順で行います。

バックドアランプ

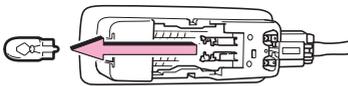
1 バックドアを開く

(バックドア→113 ページ)

2 ㊦ドライバーを差し込み、ランプ本体を取り外す



3 バルブを引き抜く



▼ 取り付け手順

逆の手順で行います。

キーの電池交換

次のようなときは、キーの電池消耗が考えられます。早めに電池を交換してください。

- スイッチを押しても作動しない
- 著しく作動距離が短くなった
- インジケーターが点灯しない

電池は、お客様自身で交換できますが、破損などのおそれがあるため、トヨタ販売店での交換をおすすめします。

交換方法

⚠ 警告

- 電池および取り外した部品は、お子さまが飲み込まないようにご注意ください。飲み込むと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- 電池を交換するときは以下のことに注意してください。故障の原因になるおそれがあります。
 - 濡れた手で電池交換をしない
 - 電子部品に触れたり、端子を曲げたりしない
 - 油や異物を入れない

📖 知識

- 電池はトヨタ販売店・時計店およびカメラ店などで購入できます。

交換手順

キーレスエントリー装着車

▼ 用意するもの

- 「CR1616 (3V)」の新しい電池
- 小さい⊕ドライバー

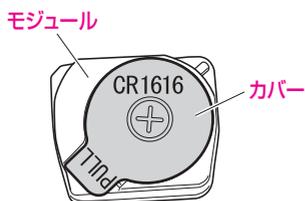
▼ 交換方法

1 メインキーのグリップを外す

- 小さい⊕ドライバーで、ネジ（1本）を外して、グリップを外します。

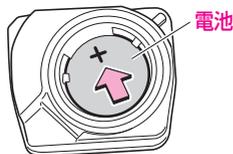


2 モジュール裏側のカバーを外す



3 電池を取り出す

- 矢印方向に軽く押し込むと、電池が外れます。

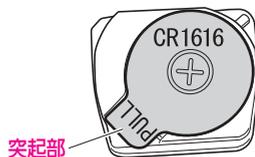


4 新しい電池と交換する

- 電池は⊕極を上側にして取り付けます。

5 カバーとモジュール、およびグリップを取り付ける

- カバーを突起部からはめ込み、全体を均等に押さえてください。



⚠ 注意

カバーをはめ込むときは

- 確実にはめ込んでください。浮いたりしていると、水、ほこりなどが入り、故障の原因になるおそれがあります。

6 スイッチを押したとき、インジケータが点滅することを確認する



キーフリーシステム装着車

▼ 用意するもの

- 「CR2032 (3V)」 の新しい電池
- 薄刃の ⊖ドライバーなど
(くぼみに入る程度の薄さのもの)
 - 傷付き防止のため先端に布などを巻いてください。

▼ 交換方法

1 電子カードキーのカバーを外す

- 用意した ⊖ドライバーなどをくぼみに差し込みます。



2 電池を取り出す

- 矢印方向に軽く押し込むと、電池が外れます。



3 新しい電池と交換する

- 電池は ⊕ 極を上側にして取り付けます。

4 カバーを取り付ける

5 スイッチを押したとき、インジケータが点滅することを確認する



積雪、寒冷時の取り扱い

積雪、寒冷時の取り扱い

冬に向かってのお手入れ …	366
走行前点検と準備 ……………	367
積雪、寒冷時の走行 ……………	368
走行中の点検と注意 ……………	370
走行後の取り扱い ……………	371

積雪、寒冷時の取り扱い

冬に向かってのお手入れ

点検方法などは、別冊の「メンテナンスノート」に記載していますので、参照してください。

バッテリー

気温が下がるとバッテリーの性能が低下しエンジン始動やキーフリーシステム（オプション/グレード別装備）に支障をきたすことがありますので、液量、比重の確認をし、必要に応じて液の補給や充電をしてください。

エンジンオイル

冬期はオイルの劣化が激しくなります。指定グレードのエンジンオイルを、早めに交換してください。

冷却水

冷却水の凍結を防ぐためにクーラント（不凍液）の濃度の確認をトヨタ販売店に依頼してください。

ウインドウォッシャー液

ウォッシャー液の凍結を防ぐために、ウォッシャー液の濃度を上げてください。

寒冷地用ワイパーブレード

降雪期に使用する寒冷地用ワイパーブレードは、雪が付着するのを防ぐために金属部分をゴムでおおってあります。

寒冷地用ワイパーブレードは、トヨタ販売店で各車指定のブレードをご購入ください。

知識

- 高速走行時は、通常のワイパーブレードよりウインドガラスがふき取りにくくなる場合があります。その場合は速度を落として走行してください。

走行前点検と準備

走行前点検の際に下記の点検も行ってください。

足回りなどの着氷

車の下回りをのぞいて、足回りなどに氷塊が付着していないか確認してください。付着している氷塊は、部品を損傷しないように十分注意して取り除いてください。ペダル類やハンドルの動きが円滑かどうかも確認してください。

車体への積雪

屋根に積もった雪は、走行する前に取り除いてください。走行時、ガラス面に落下すると視界のさまたげとなり危険です。

⚠ 注意

- 氷結している部分を無理に取り除くと塗装などをいためる場合がありますので注意してください。

ドアの凍結

ドアが凍結した場合は無理に開けようとするとドア周りのゴムがはがれたり、破損するおそれがあります。ぬるま湯をかけて氷をとかしてください。開けたあとは水分をよくふき取ってください。不十分ですとまた凍結することがあります。

ウインドガラスの凍結

凍結しているときは、ぬるま湯をかけて氷をとかし、水分をよくふき取ってください。

⚠ 注意

- 氷をとかすときはぬるま湯を使用し、熱湯はかけないでください。ウインドガラスが割れるおそれがあります。
- フロントウインドガラスに付いた氷を取り除くために、氷をたたいて割らないでください。フロントウインドガラスの内側（車内側）が割れるおそれがあります。

ワイパーなどの凍結

ワイパー、ドアミラー、ドアガラスなどが凍ったり、雪が固まって動かないときは、ぬるま湯をかけて氷や雪をとかし、水分をふき取ってください。

⚠ 注意

- 凍結したまま、または雪が固まったままワイパー、ドアミラー、ドアガラスなどを無理に作動させると、ワイパーゴムを損傷したり、モーターなどが故障するおそれがあります。

乗車時の注意

靴にこびりついた雪は、乗車時によく落としてください。ペダル類を操作するときに滑ったり、室内の湿気が多くなりガラスが曇ったりすることがあります。また、床面などが加湿状態となり、腐食の原因となります。

積雪、寒冷時の走行

雪道、凍結路を走るときはタイヤチェーンまたは冬用タイヤを装着してください。

警告

- 積雪時は、スピードを控えめにしてください。路面が凍結している可能性が高く、大変スリップしやすくなり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。チェーン装着車、冬用タイヤ装着車、また4WD車であっても慎重な運転をしてください。

タイヤチェーンの装着

- タイヤチェーンは2WD車、4WD車ともに必ず前輪に装着します。
- チェーンはサイズに合った物を使用してください。
 - トヨタ純正品のチェーンのご使用をおすすめします。
トヨタ純正品以外のチェーンの中には、使用すると車体に当たり、走行のさまたげとなるおそれがあるものもあります。詳しくはトヨタ販売店にご相談ください。

⚠ 注意

- タイヤチェーンは車のタイヤのサイズに合った、トヨタ純正品または指定サイズの物を使用してください。サイズの合わないチェーンを使用すると、ブレーキ配管や車体を破損し、危険です。
- タイヤチェーンの取り付けは各タイヤチェーン付属の取扱説明書にしたがって行ってください。
- タイヤチェーン装着時は 30km/h 以上で走行しないでください。タイヤチェーンにかかる負担が大きくなり、チェーンが切れやすくなります。
- 取り付け作業は雪上などをさけ交通のさまざまなにならない安全で平らな場所で行ってください。必ず駐車ブレーキをかけ、非常点滅灯を点滅させ、人や荷物は降ろし、停止表示板も使用してください。
- 作業をするときは、車体端部などでけがをしないように注意してください。
- チェーン装着時 VSC が正確に作動しない場合があります。
- タイヤチェーンを装着するとホイールキャップやアルミホイールに傷が付くおそれがあります。ホイールキャップ装着車はホイールキャップを取り外した状態で、タイヤチェーンを装着してください。

冬用タイヤの装着**⚠ 警告**

- 冬用タイヤは必ず標準タイヤと同じ指定サイズのタイヤを使用してください。指定サイズ以外のタイヤを使用すると安全性を損ない大変危険です。
- タイヤは 4 輪とも指定サイズで、同一サイズ、同一メーカー、同一銘柄および同一トレッドパターン（溝模様）の物を装着してください。
- タイヤの空気圧を確認してください。（タイヤの空気圧は運転席側ドア開口部に記載しています）
- 地方により条例の違いがありますので、その地区の条例にしたがってください。

走行中の点検と注意

ブレーキの凍結

積雪、寒冷時ではブレーキ装置に付着した水が凍結し、ブレーキの効きが悪くなる場合があります。効が悪い場合は、周囲の安全に十分注意して効きが回復するまで、数回ブレーキペダルを軽く踏んでブレーキが正常に働くことを確認してください。

⚠ 注意

- 万一、ブレーキの効きが回復しないときは、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

雪道、凍結路の注意

⚠ 注意

- 雪道や凍結路では、急加速、急減速、急ブレーキ、急ハンドルをさけてください。車両が思わぬ動きをして事故につながるおそれがあり危険です。

走行中の雪の付着

雪道走行時、タイヤハウス裏側に付着した雪が氷結し、次第にたい積してハンドルのきれが悪くなる場合があります。ときどき異常のないことを確認してください。ランプ類などは、走行中に雪のために暗くなることがあるので、ときどき異常のないことを確認してください。

パンク時の対応

タイヤパンク応急修理セットで応急修理をしてください。

(タイヤパンク応急修理セット
→ 379 ページ)

走行後の取り扱い

駐車方法

屋外に駐車するときは、車の前部を風下や日の当たる方向に向けて止めてください。エンジンが冷えすぎると、始動しにくくなる場合があります。

また、ワイパーアームは起こしてください。雪の重みでワイパーアームが変形したり、ブレード部（ゴムの部分）が、ガラスに凍結したりすることがあります。

警告

- 雪が積もった場所や降雪時に駐車するときは、エンジンをかけたままにしないでください。エンジンをかけた状態で車の周りに雪が積もると、排気ガスが車内に侵入し、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

注意

- 寒冷時は駐車ブレーキをかけるとブレーキ装置が凍結して駐車ブレーキが解除できなくなるおそれがあります。駐車ブレーキをかけずにシフトレバーを P レンジに入れて、輪止め*をしてください。

知識

- 軒下や樹木の下での駐車はさけてください。落雪で車体を損傷するおそれがあります。
- 降雪時に長時間駐車するときは、アンテナを取り外してください。
(ルーフアンテナ→ 278 ページ)

洗車方法

凍結防止剤をまいた道路を走行したときは、早めに下回りと足回りを洗車してください。放置すると腐食の原因となります。洗車後は凍結防止のため水分をよくふき取ってください。

知識

- ドアのキー挿入口やドア周りのゴム部の水分は特によくふき取ってください。

格納方法

長時間使わないで屋外に放置しておくときは、塗装面の保護とドア周りの凍結を防ぐために、ボデーカバーを使用してください。

警告

- エンジンの冷えすぎを防ぐために毛布でおおったり、フロントグリルに段ボールや、新聞紙を挟み込まないでください。これがもとで燃え出す危険があります。

いざというときに

工具類

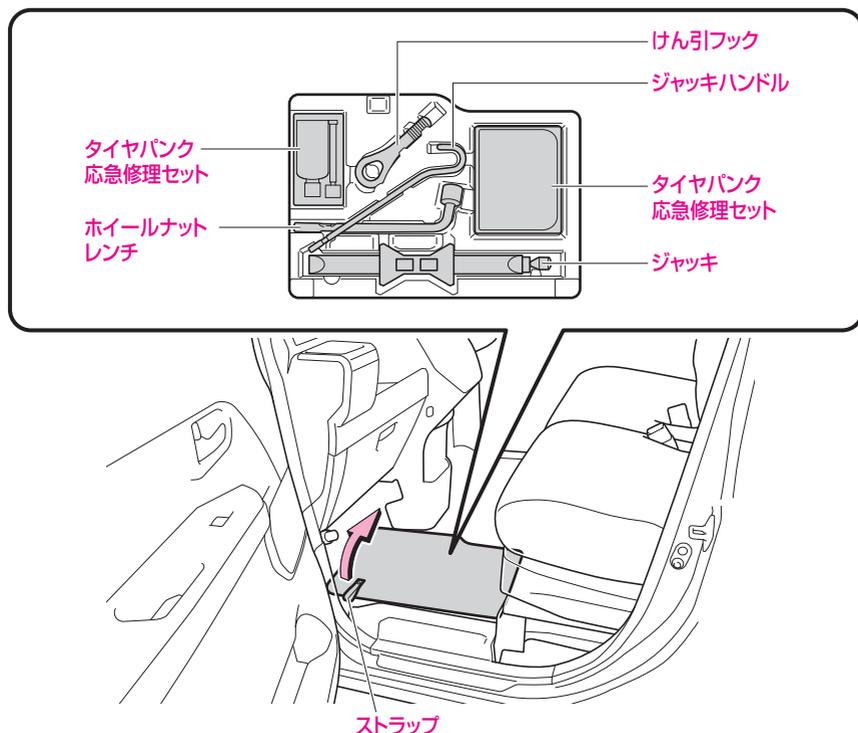
格納場所	374
ジャッキの使いかた	375
タイヤパンク応急修理 セット	379

いざというときの処置

エンジンが かからないとき	386
スタック（立ち往生） したとき	386
故障したとき	387
けん引される時	389
パンクしたとき	392
バッテリーあがりの処置	392
オーバーヒートの処置	396
電子カードキーが 使用できないとき	398
キーを閉じ込めたとき	401
車両を緊急停止するには	402
事故が起きたとき	403

工具類

格納場所



ジャッキ、工具、タイヤパンク応急修理セットは、助手席のフロアボード下にあるアンダーボックスに収納しています。

- ストラップを引いて、フロアボードを取り外します。

(ジャッキの使いかた→ 375 ページ)

(けん引されるとき→ 389 ページ)

(タイヤパンク応急修理セット→ 379 ページ)

警告

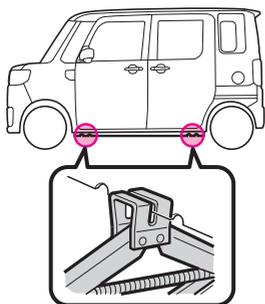
- ジャッキ、工具、タイヤパンク応急修理セット、フロアボードは所定の位置にしっかり固定してください。室内などに放置すると、急ブレーキ時などに工具が体に当たるなど、大変危険です。

ジャッキの使いかた

警告

- ジャッキアップした車の下には絶対にもぐらないでください。万一ジャッキが外れると身体が車の下敷きになり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- ジャッキアップするときはジャッキの上や下に物を挟まないでください。
- ジャッキアップするときは、必ず、駐車ブレーキをかけ、シフトレバーをPレンジに入れて、輪止めをしてください。車が動き出すおそれがあります。
- ジャッキは砂や石ころのない安定した平らな場所を選んでセットしてください。ジャッキアップしたとき、車が動き思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 車に備え付けのジャッキは、タイヤの交換、タイヤパンク応急修理およびタイヤチェーンの脱着以外には使用しないでください。
- ジャッキアップするときは、交換するタイヤと対角線上にあるタイヤの前後に輪止めをしてください。
- ジャッキは、セット位置以外にかけないでください。外れたり、車を損傷するおそれがあります。
- ジャッキアップするときは、人や荷物を車から降ろしてください。
- ジャッキは、伸ばすほど不安定になります。タイヤが地面から3cm以上離れないようにしてください。
- ジャッキアップしているときは、エンジンをかけないでください。
- タイヤのローテーション時などに、車載のジャッキを用いて、両車輪同時に上げるようなことはしないでください。接地しているタイヤが動き、車体がずれるおそれがあります。
- 車に備え付けのジャッキは、お客様のお車専用です。ほかの車に使用したり、ほかの車のジャッキをお客様のお車に使用しないでください。車を損傷したり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

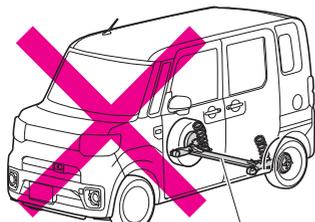
ジャッキをセットする位置



取り替えるタイヤに近いジャッキセット位置にセットします。

警告

- 2WD車はリヤサスペンションビームにジャッキをかけないでください。正しくジャッキセット位置にセットしないと、車が損傷したり、けがをするおそれがあります。



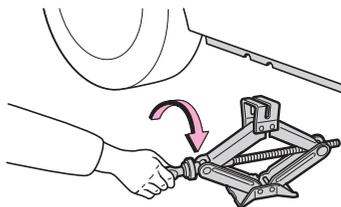
リヤサスペンションビーム

注意

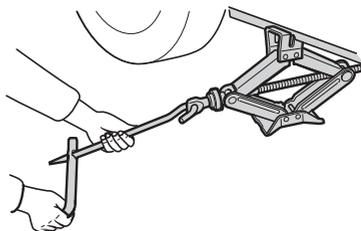
- ジャッキは必ずジャッキセット位置にセットしてください。

ジャッキのかけかた

▼ 操作手順



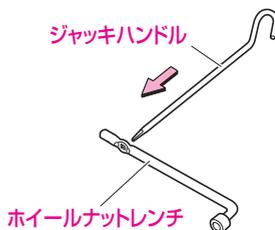
- 1 ジャッキを手で回して、セット位置まで上げる



- 2 ジャッキが確実にセット位置にかかっていることを確認し、ジャッキハンドルを使って、タイヤが地面から少し離れる位置まで車を持ち上げる

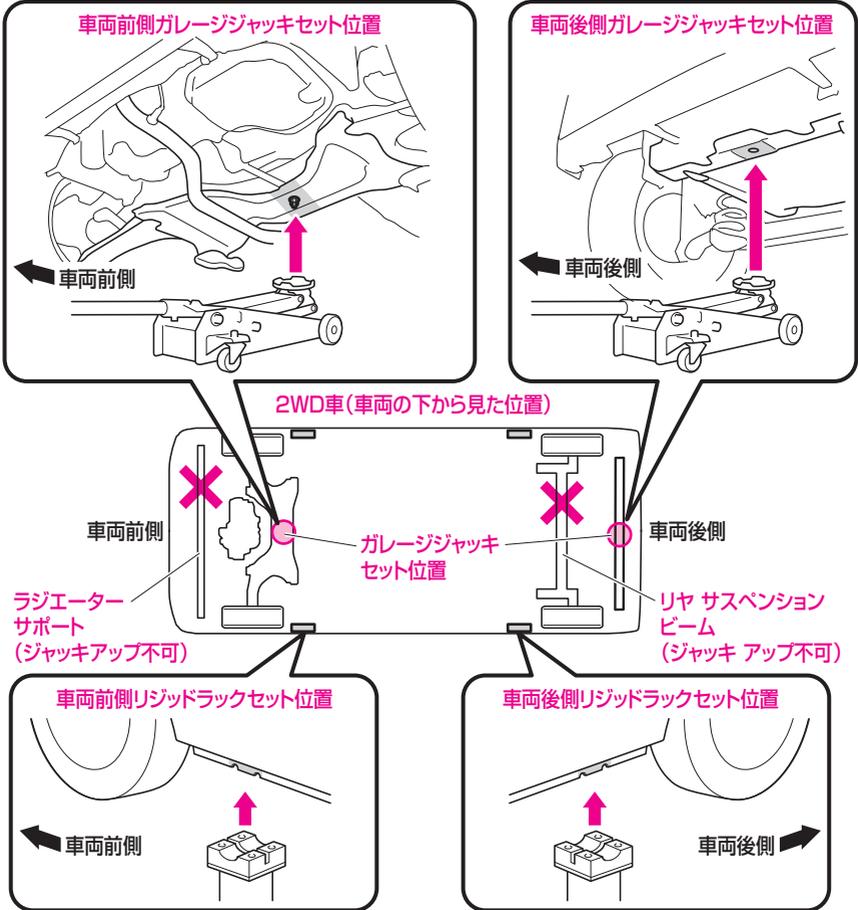
知識

- ジャッキハンドルは図のように組み立てて使用してください。

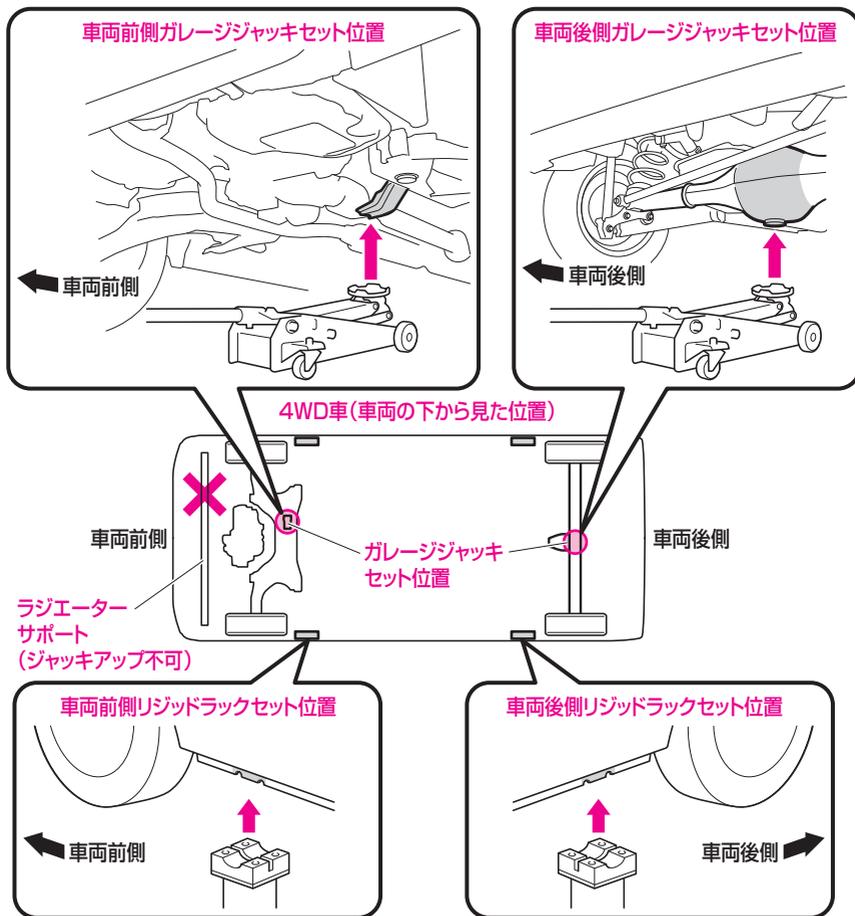


ガレージジャッキ（市販品）を使用する場合

2WD車



4WD 車

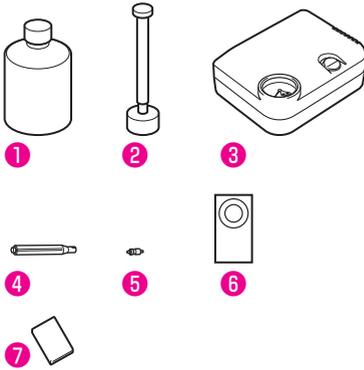


ガレージジャッキを使用する場合は、図のガレージジャッキ位置にセットしてジャッキアップを行ってください。その際は、必ずリジッドラック（市販品）をリジッドラックセット位置にセットしてください。

警告

- ガレージジャッキおよびリジッドラックは、必ず正しい位置にセットしてください。正しい位置にセットしていないと、けがをしたり、車が損傷したりするおそれがあります。

タイヤパンク応急修理セット



- ① タイヤパンク応急修理剤
- ② 注入ホース
- ③ タイヤ空気充填用コンプレッサー
- ④ バルブコア回し
- ⑤ 予備バルブコア
- ⑥ 速度制限シール
- ⑦ 取扱説明書

タイヤパンク応急修理セットは、タイヤがパンクしたとき、パンク穴をふさぐタイヤパンク応急修理剤と空気を注入するタイヤ空気充填用コンプレッサーを用いて応急修理を行う際に使用します。

- タイヤパンク応急修理セット装着車には、応急用スペアタイヤは装着されていません。
- タイヤパンク応急修理セットは、応急時のタイヤ修理用です。応急修理後は、すみやかにタイヤの交換、またはトヨタ販売店で、点検、修理を受けてください。

⚠ 警告

修理剤について

- 飲用すると体に害があります。もし誤って飲用された場合は、できるだけたくさん水を飲み、ただちに医師の診察を受けてください。
- 目に入ったり皮膚に付いたりした場合には、ただちに水でよく洗い流してください。それでも異常を感じたときは、医師の診察を受けてください。
- 指定の場所に格納してください。また、お子さまが誤って手を触れないようご注意ください。

(格納場所→ 374 ページ)

⚠ 注意

- タイヤパンク応急修理剤は衣服などに付着すると、取れなくなるおそれがありますので注意してください。
- コンプレッサーを使用する際、故障の原因となりますので下記のことをお守りください。
 - 10 分以上連続して使用しない
 - 降雨時など、水がかからないようにする
 - 砂ぼこりなどを吸い込ませない
 - 使用中に、動作が鈍くなったり、本体が熱くなったりしたときは、ただちに電源を“OFF”にし、30 分以上放置する
 - 分解、改造などは絶対にしない
 - 強い衝撃や圧力を加えない

📖 知識

タイヤ空気充填用コンプレッサーについて

- タイヤ空気充填専用です。そのほかの目的で使用しないでください。
- DC12V 専用です。ほかの電源での使用はできません。

タイヤパンク応急修理セットの点検

いざというとき使用できるようにタイヤパンク応急修理セットの日常点検を実施してください。

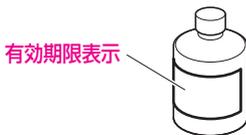
- 修理剤の有効期限の確認
- アクセサリーソケット電源の確認
(電化製品などを作動させて点検してください)
- タイヤ空気充填用コンプレッサー作動の確認
(コンプレッサーの電源プラグをアクセサリーソケットに差し込み、エンジンスイッチを“ACC”にします)

タイヤパンク応急修理セットが使用できない状況

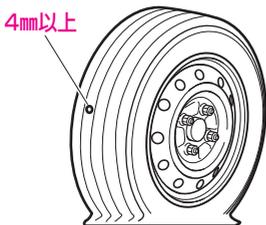
下記のような場合は、タイヤパンク応急修理セットによる応急修理ができません。

トヨタ販売店または JAF* などにご連絡ください。

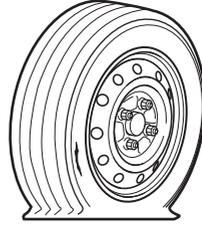
- 修理剤の有効期限が切れている



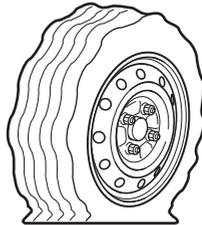
- 約 4mm以上の切り傷や刺し傷がある



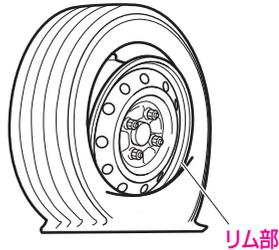
- タイヤサイド部が損傷を受けている



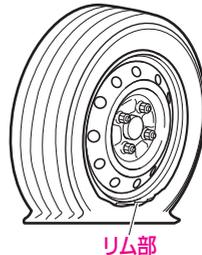
- ほとんど空気の抜けた状態で走行した



- タイヤがリムの外側に完全に外れている



- リム部が破損している



- タイヤが2本以上パンクしている
(修理剤はタイヤ1本分です)

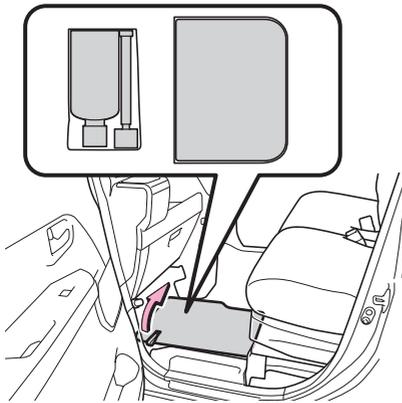
タイヤの応急修理方法

タイヤ接地部に刺さった釘やネジなどによる軽度のパンクは、タイヤパンク応急修理セットで応急修理を行うことができます。

知識

- タイヤに刺さった釘やネジなどは抜かずにそのまま応急修理してください。

▼ タイヤパンク応急修理セットの格納場所



▼ 応急修理のしかた

⚠ 注意

- 路上で作業を行うときは、交通のさまたげにならず、安全に作業ができる地面が硬くて平らな場所に移動してください。その際は非常点滅灯を点滅させ、停止表示板を使用してください。

1 修理剤ボトルとコンプレッサーを取り出す

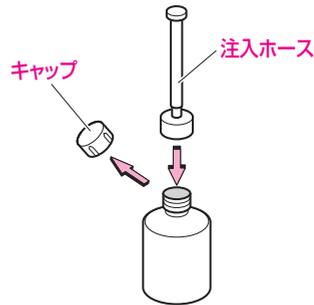
2 修理剤ボトルをよく振る

知識

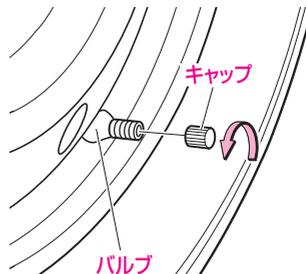
- 修理剤ボトルは注入ホースをねじ込む前に振ってください。

3 修理剤ボトルのキャップを外し、中ぶたをつけたまま注入ホースをねじ込む

- 注入ホースをねじ込むと中ぶたが破れます。

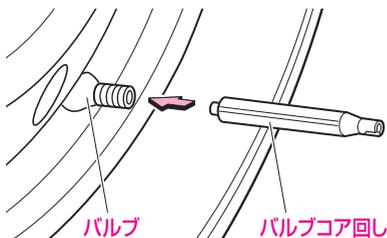


4 パンクしたタイヤのバルブキャップを外す



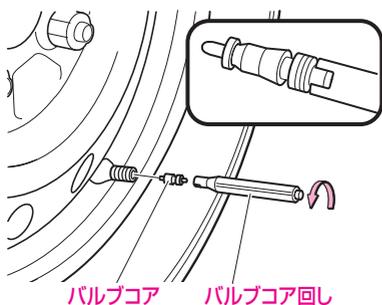
5 タイヤに残った空気を完全に抜く

- バルブにバルブコア回しを図の向きで押し付けると空気が抜けます。

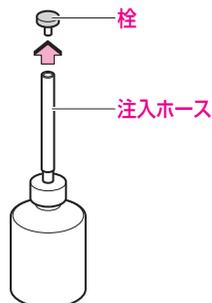


6 バルブコアを外す

- バルブコア回しの溝がある部分を使ってバルブコアを回します。

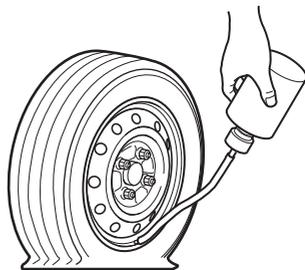


7 注入ホースの栓を外し、タイヤのバルブに差し込む



8 修理剤をタイヤ内に全て注入する

- 修理剤ボトルを逆さまに持ち、手で何回も圧迫します。



⚠ 警告

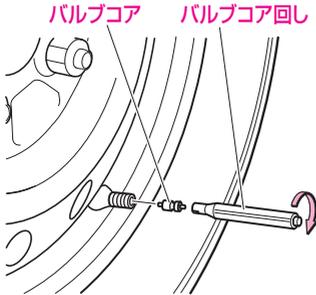
- タイヤに空気が残っているとバルブコアが飛び出すことがあります。慎重に外してください。

📖 知識

- バルブコアは再度使用しますので汚れないようにきれいなところに保管してください。

9 注入し終わったら、注入ホースをタイヤバルブから引き抜く

10 バルブコアをタイヤバルブにしっかりとねじ込む

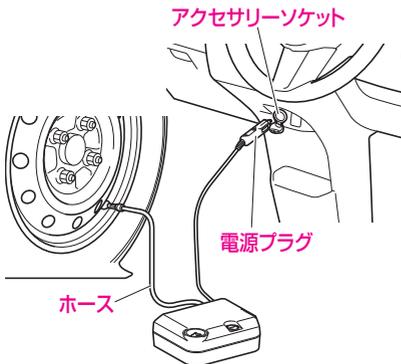


知識

- 空になった修理剤ボトルは、タイヤ交換、または恒久修理のときに修理剤の抜き取りに使用しますので、捨てずにトヨタ販売店までお持ちください。

11 コンプレッサーからホースと電源プラグを取り出し、車両に接続する

- ホースはタイヤバルブにしっかりとねじ込みます。
- 電源プラグは車両のアクセサリソケットに差し込みます。



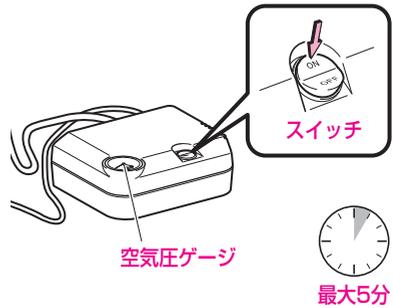
12 エンジンスイッチを“ACC”にする

13 タイヤの指定空気圧を確認する

- 指定空気圧は運転席側ドア開口部に記載しています。

14 コンプレッサーの電源を“ON”にし、タイヤに空気を入れる

- 空気圧ゲージで確認しながら、指定空気圧まで昇圧してください。
- タイヤを指定の空気圧まで昇圧するには、約5分程度必要です。



注意

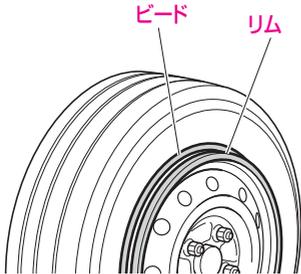
- コンプレッサーは10分以上連続して使用しないでください。モーターが過熱し損傷するおそれがあります。

知識

- 5分以内に十分昇圧しない場合、タイヤをジャッキで浮かせて手で2～3回以上回し、修理剤をタイヤ全体にいきわたらせてから、再度昇圧操作を行ってください。（ジャッキの使いかた→375ページ）

▼ タイヤのビードがリムから外れている場合は

- 空気が漏れないようにリムとタイヤの隙間をなくすようにしてコンプレッサーを作動させてください。
(隙間がなくなれば昇圧します)



⚠ 注意

- タイヤが膨らむとビードがリムにはまり込むので、指などを挟まないようにしてください。
- ▼ 5分以内に指定の空気圧まで昇圧できない場合は
- タイヤがひどい損傷を受けている可能性があります。この場合は、タイヤパンク応急修理セットで修理することができません。トヨタ販売店または、JAF などにご連絡ください。

📖 知識

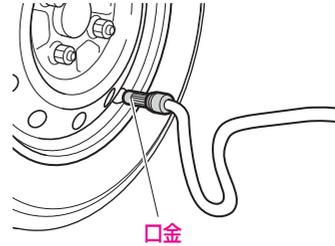
- JAF ロードサービスについては別冊の「メンテナンスノート」を参照してください。

15 指定の空気圧まで昇圧できれば、コンプレッサーの電源を“OFF”にして、車両から取り外す

16 すみやかに走行を開始する

- 急加速・急ブレーキ・急ハンドルをさけ、80km/h 以下で慎重に運転してください。

📖 知識



- 空気を入れすぎた場合は、ホースの口金をゆるめて空気を抜いてください。

17 10分間または5km程度走行後、交通のさまたげにならない安全な場所に停車し、エンジンスイッチを“OFF”にする

18 タイヤの空気圧を空気圧ゲージで確認する



- コンプレッサーを車両に接続する
- エンジンスイッチを“ACC”にする
- コンプレッサーの電源を“ON”にして作動させたあと電源を“OFF”にしてから、空気圧ゲージで確認する

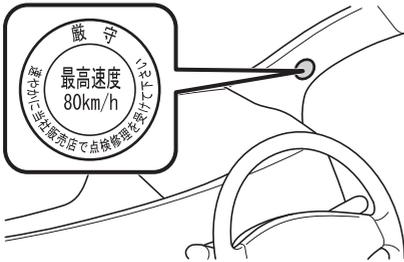
19 空気圧が 130kPa 以上であれば、パンク応急修理を完了する

- 130kPa 以上で指定空気圧に満たない場合は、コンプレッサーの電源を“ON”にし、昇圧する

▼ 空気圧が 130kPa 以下に低下していたら

- タイヤパンク応急修理セットによる修理はできません。走行を中止し、トヨタ販売店または、JAF などにご連絡ください。

20 付属の速度制限シールを運転者のよく見えるところに貼る



警告

- 速度制限シールは、ハンドルのパッド部などエアバッグ展開面に貼らないでください。SRS エアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。また、メーターやウインドガラスなど、運転のさまたげになるようなところに貼らないでください。思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

21 異常がなければ、すみやかにトヨタ販売店まで走行する

- 急加速・急ブレーキ・急ハンドルをさけ、80km/h 以下で慎重に運転してください。

応急修理後の処置

タイヤパンク応急修理剤を使用したタイヤは、すみやかに交換、修理を行ってください。交換、修理についてはトヨタ販売店にご相談ください。

知識

- 修理業者等にタイヤ交換または修理を依頼する際には、タイヤパンク応急修理セットを使用したことを知らせてください。
- ホイールは、付着した修理剤をふき取り、バルブコアを新しい物と交換すれば再使用できます。
- 修理剤ボトルの空容器は、修理剤の抜き取りに使用しますので、トヨタ販売店までお持ちください。
- 新しい修理剤は、トヨタ販売店でご購入ください。

いざというときの処置

エンジンがかからないとき

燃料カットシステム

外部から強い衝撃を受けてエンジンが止まってしまった場合、燃料カットシステムが作動している可能性があります。燃料カットシステムはエンジンへの燃料の供給を停止させることにより火災などの二次災害を防止する装置です。

▼ エンジンを再始動するには

エンジンを再始動する際にはエンジンスイッチを“OFF”または“ACC”に戻してから行ってください。

⚠ 警告

- 燃料漏れのおそれがあるとき、また、燃料のにおいがするときは、エンジンを再始動せずにお近くのトヨタ販売店にご連絡ください。

スタック（立ち往生）したとき

スタックから脱出するには

ぬかるみや砂地、深雪路などでタイヤが空転したり、埋まり込んで動けなくなったときは、下記の手順にしたがって脱出操作をしてください。

▼ 脱出操作をする前に

⚠ 警告

- 必ず周囲に他の車、物、または人がいないことを十分に確認してください。スタックから脱出する際に、車が前後に飛び出したり、あてがった石や木が飛散したりするおそれがあり危険です。
- シフトレバーを操作するときは、アクセルペダルを踏んだまま操作しないでください。車が急発進したり、トランスミッションなどに重大な損傷をあたえるなどして思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- タイヤを高速で回転させないでください。タイヤがバースト（破裂）したり、異常過熱するため思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- アクセルペダルを過度に踏んで空ぶかししたり、タイヤを空転させないでください。トランスミッションなどを損傷し、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 数回試して脱出できないときは、脱出操作を中止し、けん引による救援を依頼してください。（けん引されるとき→ 389 ページ）

 知識

- TRC の作動で脱出しにくいときは、TRC を停止してください。
(VSC & TRC OFF スイッチ→ 219 ページ)

▼ 脱出手順

- 1 駐車ブレーキをかけ、シフトレバーを  レンジに入れ、エンジンを停止する
- 2 タイヤ前後の土や雪などを取り除く
- 3 スリップしているタイヤの下に、石や木などをあてがい滑り止めにする
- 4 エンジンを始動する
- 5 シフトレバーを  または  レンジに入れ、注意しながら、アクセルペダルを軽く踏む

故障したとき

エンスト

安全な場所まで移動してください。
付近に人がいる場合は押ししてもらってください。

 注意

- 車を押す場合、シフトレバーは  レンジに入れてください。

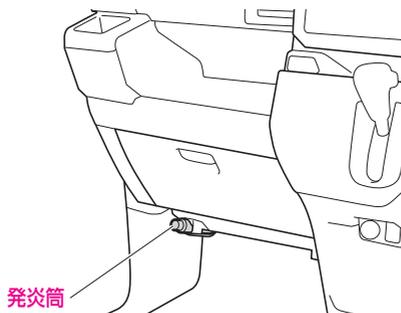
 知識

- 緊急を要する場合は発炎筒で合図してください。

踏切内の場合

踏切内で動かなくなったり、脱輪などですぐ動かせない場合は、ただちに踏切の非常ボタンを押してください。

発炎筒



発炎筒は高速道路や踏切内での故障など、非常事態が発生したときに使用する非常信号用具です。

▼ 設置場所

グローブボックスの左下に設置されています。

⚠ 警告

- 非常用信号としてのみお使いください。
- お子さまに絶対触らせないでください。いたずらなどにより発炎筒が発火し、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- 発炎筒を使うとき、顔や体に向けるとやけどなど重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- ガソリンなどの可燃物のそばで使用しないでください。引火してやけどなど重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

⚠ 注意

- トンネル内では使用しないでください。煙で視界を悪くするので、トンネル内では非常点滅灯や懐中電灯で合図してください。

📖 知識

- 使用方法は、発炎筒に記載されています。あらかじめよく読んでください。
- 発炎筒を使うときは、非常点滅灯も点滅させてください。
- 発炎筒には有効期限がありますので、事前に確認しておいてください。

けん引されるとき

故障車の移動は、トヨタ販売店、または JAF などに依頼し、車両積載車で 4 輪とも持ち上げて運搬してください。

(別冊の「メンテナンスノート」巻末のトヨタサービス網、JAF ロードサービスを参考にしてください。)

警告

- 後輪だけを持ち上げたけん引は、車両が不安定になるので、行わないでください。
- 4WD 車の場合、前輪、または後輪だけを持ち上げたけん引は絶対にしないでください。前輪、または後輪だけを持ち上げて運搬すると、駆動装置が損傷したり、車がレッカー車（台車）から飛び出すおそれがあります。

やむを得ず、ロープによるけん引をするときは、下記の警告、注意にしたがってください。

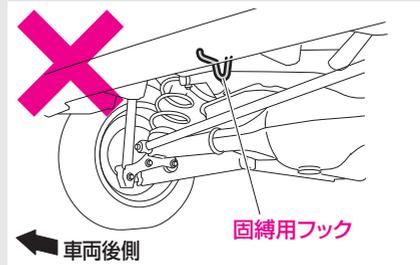
注意

- 他車をけん引する能力はありません。固縛用フックなど、車体のいずれかにロープをかけるなどのけん引はしないでください。車両を損傷したりして思わぬ事故につながるおそれがあります。

2WD 車



4WD 車



- 下記の場合は、駆動系の故障が考えられるため、ロープによるけん引はせずにトヨタ販売店にご連絡ください。
 - エンジンがかかるが車が動かない
 - 異常な音がする

▼ けん引を行う前に

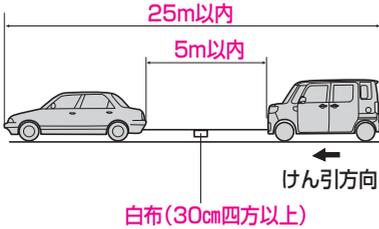
警告

- けん引される車は、下記の事項を守って慎重に運転してください。通常と同じ感覚で運転すると、事故につながるおそれがあり危険です。
 - できるだけ人や荷物をおろし、車体を軽くしてください。
 - エンジンスイッチはハンドルロックを解除させるために“ACC”にし、シフトレバーは **N** レンジにしてください。
 - エンジンが停止していると、いつもよりハンドル操作が重くなりますので、できるだけエンジンを始動してください。
また、ブレーキの効きが悪くなりますので、通常より強めにブレーキペダルを踏んでください。

注意

- ロープによるけん引を行う前に、駆動系に故障がないことを、トヨタ販売店にご確認ください。駆動系に故障の可能性がある場合は、ロープによるけん引はしないでください。
- ロープによるけん引をするときの速度は 30km/h 以下、けん引距離は 50km 以内にしてください。この速度・距離を超えると、トランスミッションに悪影響をおよぼし、損傷するおそれがあります。
- プッシュボタンスタートスイッチが故障したときは、ハンドルロックが解除できないため、ロープによるけん引はできません。
- 長い下り坂では、ブレーキが過熱して、効かなくなるおそれがありますので、けん引しないでください。

けん引の方法



- 前の車の制動灯に注意して、常にけん引ロープをたるませないように気を付けてください。
- けん引ロープには必ず白い布（30cm四方以上）を付けてください。

ロープをかける位置

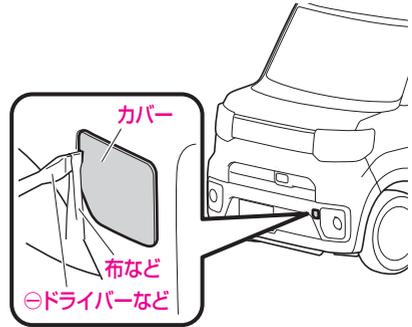
ロープは必ずけん引フックにかけてください。

- けん引フックは、助手席フロアボード下のアンダーボックスに格納しています。
(格納場所→ 374 ページ)

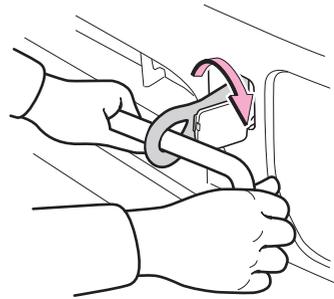
▼ けん引フックの取り付けかた

1 カバーを外す

- 薄刃の ⊖ドライバーなどをカバーの切りかきに差し込みます。
(傷付き防止のため、ドライバーの先端に布などを巻いてください)



2 けん引フックを差し込み、ホイールナットレンチでしっかりと固定する



知識

- けん引が終わったら、けん引フックを取り外し、カバーを確実に取り付けてください。

パンクしたとき

高速走行中にパンクやバースト（破裂）したときは、ハンドルをしっかり持って、徐々にブレーキをかけてスピードを落としてください。

急ブレーキをかけるとハンドルを強く取られ危険です。

（タイヤパンク応急修理セット→ 379 ページ）

バッテリーあがりの処置

下記のような症状が見られるとバッテリーあがりと考えられます。

- スターターが回らない
- スターターが回っても回転が弱く、なかなかエンジンがかからない
- ヘッドランプがいつもより暗い
- ホーンの音が小さい、または鳴らない
- キーフリーシステム装着車の電子カードキーでドアが解錠しない

処置のしかた

▼ 処置を行う前に

⚠ 警告

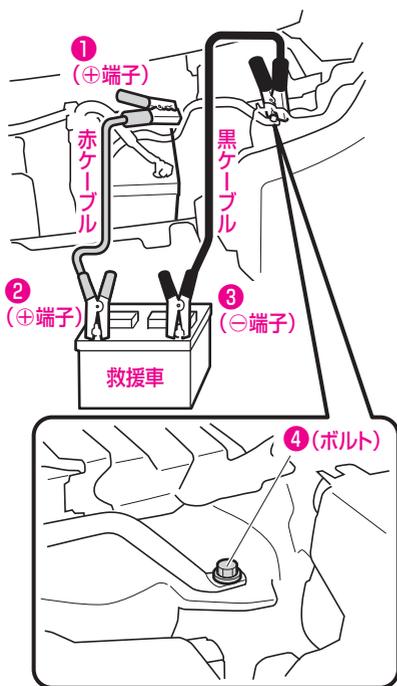
- 火気をバッテリーに近付けないでください。バッテリーから発生する可燃ガスに引火、爆発し、やけどなど重大な傷害を受けるおそれがあります。
- バッテリー液が万一皮膚や目に付いてしまったら、その箇所を多量の水で十分洗浄して、ただちに医師の診断を受けてください。バッテリー液には希硫酸が含まれており、毒性、腐食性があります。
- 処置の手順でブースターケーブルをバッテリーあがり車のバッテリーの⊖端子に接続しないでください。火花が発生し、バッテリーから発生する可燃ガスに引火する危険があります。
- バッテリーの液量がバッテリー側面に表示されている下限（LOWER LEVEL）以下になったらそのまま使用または充電をしないでください。バッテリーの破裂（爆発）の原因となるおそれがあります。
- ブースターケーブルを接続するとき、端子と端子を絶対に接触させないでください。火花が発生し、引火する危険があります。

⚠ 注意

- 押しがけによる始動はできません。
- 必ず 12V バッテリー車と接続してください。
- ブースターケーブル接続の際には、⊕端子をボデー金属部や⊖端子に接触させたり、逆に接続しないでください。
- ケーブルが冷却ファンやベルトに巻き込まれないように、接続には十分注意してください。

▼ 処置の手順

- 1 バッテリーの ⊕ 端子のカバーを外す
- 2 赤ブースターケーブルを以下の順に接続する
 - 1 バッテリーあがり車の ⊕ 端子
 - 2 救援車の ⊕ 端子
- 3 黒ブースターケーブルを以下の順に接続する
 - 3 救援車の ⊖ 端子
 - 4 未塗装の金属部
(図に示すような固定された部分)



- 4 救援車のエンジンを始動し、エンジン回転を少し高めにして、約5分間バッテリーあがり車のバッテリーを充電する
- 5 救援車のエンジン回転を維持したまま、エンジンスイッチをいったん“ON”にしてからバッテリーあがり車のエンジンを始動する
- 6 バッテリーあがり車のエンジンが始動したら、ブースターケーブルを接続順序の逆で外す

📖 知識

バッテリーあがりを防ぐために

- 下記のことをお守りください。
 - エンジンを止めたままライトをつけたり、オーディオを長時間使用しない。
 - エンジン回転中でも渋滞などで長時間止まっている場合は、不要な電装品の電源を切る。

バッテリーを交換するときは

⚠ 警告

- バッテリーを固定する金具やバッテリー端子のナットを外したあとは、確実に締め付けてください。走行中にゆるんで外れると、ショートの原因となり、火災につながるおそれがあり危険です。

⚠ 注意

- バッテリーを交換するときは、この車専用の eco IDLE 専用バッテリーに交換してください。専用バッテリー以外を使用すると、バッテリーの早期劣化や eco IDLE によるアイドリングストップが正常に作動しなくなる原因となります。
- バッテリーの端子から直接電装品の電源をとらないでください。eco IDLE によるアイドリングストップが正常に作動しなくなります。

(eco IDLE 専用バッテリー→ 256 ページ)

📖 知識

- バッテリー液量が減っていると充電能力が低下して寿命が短くなります。ときどき点検して液の補充をしてください。
- バッテリーを交換したとき、新しいバッテリーは、バッテリーを設置するトレイの車両後方側に設置してください。

オーバーヒートの処置

下記の状態がオーバーヒートです。

- 水温警告灯が赤色に点滅・点灯し、警告ブザーが鳴ったとき
- ボンネットから蒸気が立ちのぼり、エンジンの出力が低下したとき

処置のしかた

車を安全な場所に止め、以下の処置をしてください。

警告

処置を行う前に

- 水温が高いときは、ラジエーターキャップを外さないでください。冷却水の圧力がラジエーターキャップにかかっているため、蒸気や熱湯が吹き出し、やけどなど重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- 冷却ファンに絶対に触れないでください。突然、ファンが回転するため、手や衣服などが巻き込まれたりして思わぬ事故につながるおそれがあります。

▼ 処置の手順

- 1 ボンネットから蒸気が出ているとき
 - エンジンを止めて、蒸気が出なくなるまでボンネットを開けないでください。蒸気が出なくなったらエンジンを始動しボンネットを開け、風通しを良くします。
- 2 ボンネットから蒸気が出ていないとき
 - エンジンをかけたままボンネットを開け、風通しを良くします。
- 3 1 または 2 の処置を行ったあと、エンジンルームをチェックする
 - 下記のような状態であれば、ただちにエンジンを止めてトヨタ販売店にご連絡ください。
 - 冷却ファンが回転していないとき
 - ホース類などから蒸気や熱湯が漏れているとき
 - ラジエーターリザーバータンクの水がないとき
 - ファンベルトが切れているとき
- 4 水温警告灯が消灯し、警告ブザーが止まったらエンジンを止める

- 5 エンジンが十分に冷えてから冷却水の量、ファンベルトのゆるみ、ラジエーターのコア（放熱部）の著しい汚れやゴミの付着の有無などを点検する
- 6 冷却水が不足しているときは、補給する
 - 冷却水の補給は、別冊の「メンテナンスノート」を参照してください。

⚠ 注意

- 冷却水は、エンジンが熱いときに入れな
いでください。急に冷たい冷却水を入れ
ると、エンジンが損傷するおそれがありま
す。冷却水は、エンジンが十分に冷えて
からゆっくりと入れてください。

📖 知識

オーバーヒートを防ぐために

- 日頃から冷却水の量と冷却水の漏れが
ないかを点検するように心がけてください。
(冷却装置、冷却水の点検は別冊の「メ
ンテナンスノート」参照)

電子カードキーが使用できないとき

キーフリーシステム装着車

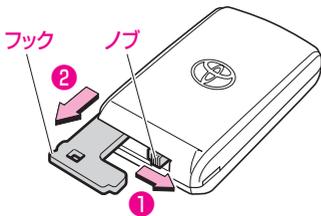
電池の消耗などにより、電子カードキーが使用できない場合は、一時的な対処として、メインキー、またはエマージェンシーキーを使用してドアの施錠、解錠、およびエンジンスイッチの操作を行うことができます。

警告

- 電池の消耗などにより、電子カードキーが使用できない場合でも、発信機は電波を発信していますので、植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータおよび植込み型除細動器を使用されている方は、車外発信機・車内発信機から約 22 cm以内に近付かないようにしてください。

(発信機→79 ページ)

エマージェンシーキーの 取り出ししかた



電子カードキーのノブを (1) の方向にスライドさせたまま、エマージェンシーキーのフック部 (2) を引いて取り出します。

- 使用後は、エマージェンシーキーを必ず電子カードキーに格納しておいてください。

ドアの施錠、解錠

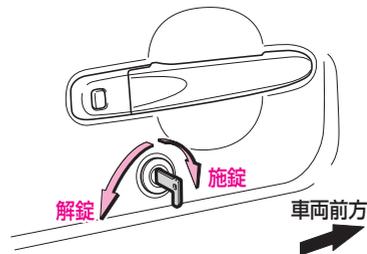
知識

セキュリティアラームがセットされている場合

- キーを差して解錠しドアを開けると、セキュリティアラームの警報が作動します。アラームが作動した場合は、ただちに次項「エンジンのかけかた」の手順 1～3 にしたがって、キーを認識させてください。警報が停止します。

(セキュリティアラーム→65 ページ)

(エンジンのかけかた→399 ページ)

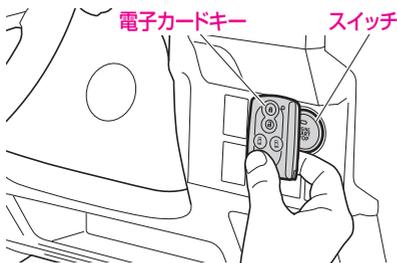


キーを確実に差し込み、
施錠：車両前方に回す
解錠：車両後方に回す

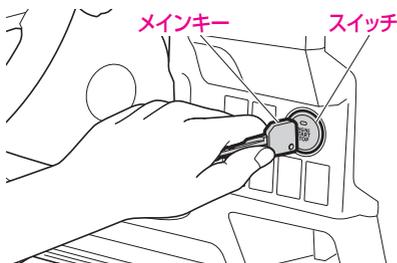
エンジンのかけかた

- 1 シフトレバーが②の位置で、ブレーキペダルをしっかりと踏む
- 2 ブレーキペダルを踏んだまま、キーを図のようにエンジンスイッチに接触させる
 - 電子カードキーは、裏面のトヨタマーク付近をスイッチの中心に接触させます。

電子カードキー

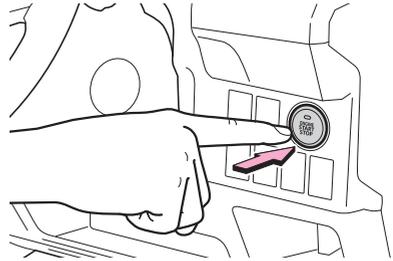


メインキー



- 3 キーが認識されて、「ピー」というブザー音が鳴り、スイッチの作動表示灯が緑色に点灯する

- 4 キーの認識後、約 4 秒以内にスイッチを押すと、エンジンが始動する



▼ エンジンの停止方法

通常のエンジン停止方法と同様に、シフトレバーを②レンジに入れて、スイッチを押します。

▼ エンジンスイッチモードの切り替え

「エンジンのかけかた」の手順 4 で、ブレーキペダルから足を離してエンジンスイッチを押します。

スイッチを押すごとに「OFF→ACC→ON→OFF」の順に切り替わります。

📖 知識

- 下記の状態になると、スイッチを押してもエンジンの始動（モード切り替え）はできません。もう一度はじめてからやり直してください。
- キーの認識後、約 4 秒以上経過した
- エンジンスイッチを“OFF”にした
- 手順通りに操作をしてもエンジンが始動できないときは、トヨタ販売店にご相談ください。

■ ハンドルロックを解除するには

エンジンの始動操作をしたときに、スイッチの作動表示灯が緑色に点滅したときは、ハンドルロックが解除されていないため、エンジンの始動ができません。

いったんペダルから足を離してエンジンスイッチを“OFF”にし、ハンドルを左右に動かしながら、もう一度エンジンの始動操作をしてください。

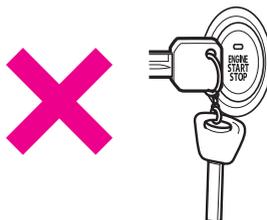
■ メインキーについて

下記のような状態では、車両がキーからの信号を正確に受信できず、エンジンスイッチの操作ができない場合があります。

- キーグリップに金属製のリングをのせたままのとき



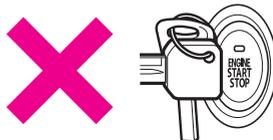
- メインキーがほかの車両のイモビライザー機能用キー（信号発信機内蔵の物）と近いとき



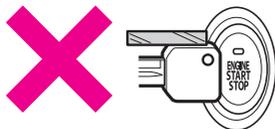
- キーグリップにほかのキーの金属部が接しているとき



- メインキーがほかの車両のイモビライザー機能用キー（信号発信機内蔵の物）と重なっているとき



- キーグリップに金属製の物が接しているとき



キーを閉じ込めたとき

キーを閉じ込めたときは、JAF などを呼んでください。

別冊の「メンテナンスノート」巻末の JAF ロードサービスのご案内を参照してください。

▼ キーをなくした場合

キーレスエントリー装着車

保管していたキーナンバープレートを最寄りのトヨタ販売店にお持ちください。

知識

- キーの閉じ込みで困らないために下記の習慣を心がけてください。
 - 日頃からキーを使ってロックしてください。
 - バッグなどにスペアキーを入れておいてください。

キーフリーシステム装着車

保管していたメインキー（または電子カードキー）とキーナンバープレートを最寄りのトヨタ販売店にお持ちください。

知識

- 電子カードキー使用時は特にキーを閉じ込めやすくなります。ドアを施錠する際は、必ず電子カードキーを携帯していることを確認するか、リモコン操作で施錠を行ってください。

車両を緊急停止するには

万一、車が止まらなくなったときの非常時のみ、下記の手順で車両を停止させてください。

警告

走行中にやむを得ずエンジンを停止するときは

- ブレーキの効きが悪くなりハンドル操作が重くなるため、車のコントロールがしにくくなり危険です。エンジンを停止する前に、可能な限り減速するようにしてください。
- キーを抜くとハンドルがロックされるため、キーは絶対に抜かないでください。

緊急停止方法

- 1 ブレーキペダルを両足でしっかりと踏み続ける

警告

- ブレーキペダルを繰り返し踏まないでください。通常より強い力が必要となり、制動距離も長くなります。

- 2 シフトレバーを **N** レンジに入れる
 - ▼ シフトレバーがニュートラルに入った場合
- 3 減速後、車を安全な道路脇に停めて、エンジンを停止する
 - ▼ シフトレバーがニュートラルに入らない場合
- 4 ブレーキペダルを両足で踏み続け、可能な限り減速させる

- 5 エンジンを停止する

キーレスエントリー装着車

- エンジンスイッチを“ACC”にして、エンジンを停止します。



プッシュボタンスタート装着車

- スイッチを3秒以上押し続けるか、3回以上連打して、エンジンを停止します。



3秒以上押し、または3連打する

- 6 車を安全な道路脇に停める

事故が起きたとき

交通事故が起きたときはあわてずに下記の処置を取りましょう。

▼ 処置の方法

- 1 ただちに車を止めます。車を道のはしに停車し、昼夜問わず非常用表示板を立てるなどの必要な処置を取ります。
- 2 負傷者を救護します。人命救助が第一です。負傷者があれば救急車を呼んだり、最寄りの救急病院などへ運ぶなどして救護します。
- 3 警察へ事故の報告をします。最寄りの警察署または派出所へ事故を報告して警察官の指示にしがいます。この届出は法令で義務付けられています。
- 4 相手方の確認とメモをします。氏名、住所、電話番号などをメモしておきます。
- 5 購入した販売会社と保険会社へ連絡します。

サービスデータ

項 目		サービスデータ		
点火プラグ	エンジン型式	プラグ型式		
	KF型(ターボ車以外)	NGK ILKR6F11 (イリジウムプラグ)	デンソー SXU20HPR11 (イリジウムプラグ)	
	KF型(ターボ車)	NGK ILKR7D8 (イリジウムプラグ)	デンソー SXU22HPR8 (イリジウムプラグ)	
ファンベルト	たわみ量(mm) 押力98N{10kgf}時		7.9~9.7(点検時)  点検位置	
アイドル回転数(rpm)		800		
ブレーキ ペダル	遊び(mm)		0.5~3.0	
	床板とのすき間(mm) (踏力294N{30kgf}時)	2WD車	143.6以上	
		4WD車	143.0以上	
駐車ブレーキ	踏みしろ (踏力245N{25kgf}時)		5~7ノッチ	
バッテリー		M-42		
フューエル タンク	容量(ℓ)		2WD車	36
	(無鉛ガソリン使用)		4WD車	34
ウォッシャー タンク	容量(ℓ)		1.5	

項		目	サービスデータ
エンジン オイル	使用オイル と交換時期	ターボ車以外	<ul style="list-style-type: none"> ・トヨタ純正モーターオイルSAE0W-20*¹ (API分類SN/RC, ILSAC規格GF-5) ・トヨタ純正モーターオイルSAE5W-30 (API分類SN/RC, ILSAC規格GF-5) 6か月ごとまたは、 10,000kmごと(5,000kmごと* ²)の どちらか早い方
		ターボ車	<ul style="list-style-type: none"> ・トヨタ純正モーターオイルSAE5W-30 (API分類SN/RC, ILSAC規格GF-5) 6か月ごとまたは、 5,000kmごと(2,500kmごと* ²)の どちらか早い方
	交換量(ℓ)	オイル交換時	約2.7
		オイルと オイルフィルター (オイルクリーナー) 交換時	約2.9
オイルフィルター (オイルクリーナー)	交換時期	10,000kmごと(5,000kmごと* ²)	
トランスミッション オイル	交換時期	50,000kmごと	
	使用オイル	トヨタ純正CVTフルードFE* ¹ またはTC	
	交換量(ℓ)	ターボ車以外	約2.4(ドレン)、約5.7(全容量)
ターボ車		約2.5(ドレン)、約5.8(全容量)	

*1 省燃費性に優れるオイルです。

*2 シビアコンディション条件での定期交換の場合
詳しくは別冊の「メンテナンスノート」を参照してください。

⚠ 注意

オートマチック車のトランスミッションオイルについて

- トヨタ純正オイル(トヨタ純正 CVT フルード -FE または TC) 以外を使用すると、変速不良、振動などの不具合発生や破損に至るおそれがあります。
オイルの交換については、必ずトヨタ販売店にご相談ください。

項 目		サービスデータ
トランスファ オイル	交換時期	100,000kmごと
	使用オイル	トヨタ純正ハイポイドギヤオイル SX SAE85W-90 (API分類GL-5)
	交換量(ℓ)	約0.57
リヤ デファレンシャル オイル	交換時期	30,000kmまたは2年(初回は3年)
	使用オイル	アミックスオートフルードD-III
	交換量(ℓ)	約0.73
ブレーキオイル	交換時期	2年ごと(初回は3年)
	使用オイル	トヨタ純正ブレーキフルード2500H-A
エアクリーナー エレメント	交換時期	40,000kmごと(20,000kmごと*)
冷却水 (除くりザーバ タンク)	交換時期	2年ごと(初回は3年)
	使用液	トヨタ純正スーパーロングライフクーラント
	規定濃度(%)	30(寒冷地50)
	交換量(ℓ)	ターボ車以外
ターボ車		約3.5

* シビアコンディション条件での定期交換の場合
詳しくは別冊の「メンテナンスノート」を参照してください。

タイヤサイズ	タイヤ空気圧 (空車時 : kPa{kgf/cm ² })				タイヤの溝の 深さ(mm)	タイヤローテーション 時期
	前 輪		後 輪			
	一般	高速	一般	高速		
155/65R14	240{2.4}				1.6以上	5,000kmごと
165/55R15						

さくいん

ア

アームレスト	302
アームレストボックス	309
アイドリング回転数	406
アイドリングストップ時間	176
アイドリングストップシステム	244
アイドリングストップ積算時間	177
アウター（ドア）ミラー	142
アクセサリソケット	301
アンダーランク	311
アシストグリップ	306
足踏み式駐車ブレーキ	208
アンダーボックス	310
アンチロックブレーキシステム （ABS）	212
アンテナ	278

イ

イージークローザー	102
イージースタートサポート	195
EPS（電動パワーステアリング） 警告灯	160
EBD	212
イグニッション（エンジン）スイッチ ・キーフリーシステム装着車	203
・キーレスエントリー装着車	201
イグニッションキー	72
ISO FIX 対応チャイルドシート 固定バー&トップテザーアンカー	51
イモビライザー機能	64
インジケーターランプ（表示灯）	161
インターロック	202
インテグレート CD・AM/FM 付 ラジオ・AUX 端子	283

インナーハンドル

・スライドドア	101
・バックドア	116
インナー（ルーム）ミラー	142
インパネアッパーボックス	309
インパネアンダートレイ	308
インパネセンターポケット	308
インパネトレイ	308

ウ

ウインカー（方向指示）スイッチ	188
ウインカー（方向指示）表示灯	161
ウインドウォッシャー液の補給	335
ウインドガラス （パワーウインド）	117
ウインドデフォッガースイッチ	277
ウォーニングランプ（警告灯）	150
ウォッシャースイッチ	185
ウォッシャータンクの容量	406
上向き表示灯	162
運転席 SRS エアバッグ	53
運転席シートクッションポケット	309
運転席シートバックポケット	309
運転席シートリフター	125
運転席・助手席シートベルト 締め忘れ警告灯	155

エ

エアクリナーエレメントの データ	408
エアコン	
・オート	268
・マニュアル	260
エアコンガス	347
エアバッグ	53
エアフィルター	347
A/T (オートマチック) 車	192
ABS	212
ABS 警告灯	158
AUX (外部入力接続) 端子	292
eco IDLE (エコアイドル)	244
eco IDLE OFF スイッチ	254
eco IDLE OFF 表示灯	253
eco IDLE 表示灯	252
エコドライブアシスト照明	180
エコドライブアシスト照明の 表示設定	177
エコ発電制御	257
SRS エアバッグ	53
SRS エアバッグ警告灯	158
SRS エアバッグコンピューター	62
エマージェンシーキー	73
エマージェンシーストップ シグナル	243
LED ヘッドランプ警告灯	159
LLC (冷却水) のデータ	408
エンジンオイルのデータ	407
エンジンオイルレベルゲージ	334
エンジン回転計 (タコメーター)	169
エンジンがかからないとき	386
エンジンキー	72

エンジン警告灯	151
エンジンスイッチ	
・キーフリーシステム装着車	203
・キーレスエントリー装着車	201
エンジンフード (ボンネット)	330
エンジンルーム	328
エンジンルームサービスカバー	329

オ		カ	
オイルの交換量	407	カードホルダー	304
オイルフィルターのデータ	407	外気温	175
オイルプレッシャー (油圧) 警告灯	151	外部入力接続端子	292
応急修理セット	379	買い物フック	322
大型ブルハンドル	309	鍵 (キー)	72
オーディオ	278	格納式アシストグリップ	306
オートエアコン	268	格納式リヤドアサンシェード	305
オート格納式ドアミラー (キーフリーシステム連動)	144	カップホルダー	320
オートドアロック/ アンロック機能一覧	95	間欠ワイパー (ワイパー・ ウォッシャースイッチ)	185
オート (パワー) ウインド	117	キ	
オートマチックシフト インジケーター	165	キー	72
オートマチック車	192	キーインターロック	202
オートマチック トランスミッション警告灯	155	キー (エンジン) スイッチ ・キーフリーシステム装着車	203
オートライト機能	182	・キーレスエントリー装着車	201
オートレベリング警告灯	159	キー閉じ込み防止機能	94
オーバーヒートの処置	396	キー抜き忘れ警告ブザー	202
オープナー ・フューエルリッド	122	キーの電池交換	362
・ボンネット	331	キーフリーシステム	78
お子さま専用シート	40	キーフリーシステムの警告	82
オドメーター (積算距離計)	172	キーフリー電池残量警告灯	85
オルタネーター (ファン) ベルトの 点検基準値	406	キーレスエントリー	77
温度調節センサー	276	キーを閉じ込めたとき	401
オートマチックシフト インジケーター	165	給油口 (フューエルリッド)	122
オートマチック車	192	緊急停止するには	402
オートマチックトランスミッション 警告灯	155		

ク

空気圧のデータ	409
空調	260
クーラー（エアコン）	
・オートエアコン	268
・マニュアルエアコン	260
クーラント（冷却水）のデータ	408
区間距離計（トリップメーター）	172
曇り取り	
・フロント（オートエアコン）	269
・フロント （マニュアルエアコン）	263
・リヤ	277
クラクション（ホーン）スイッチ	188
クリーナー（オイルフィルター）の データ	407
クリーンエアフィルター	347
グローブボックス	308

ケ

警音器（ホーン）スイッチ	188
計器（メーター）	168
警告灯	150
警告ブザー	
・アイドリングストップシステム 警告ブザー	251
・キー抜き忘れ警告ブザー	202
・キーフリーシステム警告ブザー	82
・シートベルト締め忘れ警告ブザー （運転席・助手席）	155
・シートベルト締め忘れ警告ブザー （後席）	156
・スマートアシストのブザー音	241
・駐車ブレーキ警告ブザー	208
・燃料残量警告ブザー	157
・ライト消し忘れ警告ブザー	184
警報（セキュリティアラーム）の 停止方法	68
けん引されるとき	389

コ			
工具	374	シートヒーター	303
高水温警告灯	154	シートベルト	35
後席クォーターポケット	309	シートベルト締め忘れ警告灯 (運転席・助手席)	155
後席(リヤシート)	127	シートベルト締め忘れ警告灯 (後席)	156
航続可能距離	174	シートリフター	125
故障したとき	387	事故が起きたとき	403
固定バー	51	室内照明	299
固定ベルト	318	シフトインジケーター	165
誤発進抑制制御機能	230	シフトレバー	209
小物入れ		シフトロック解除ボタン	211
・アームレストボックス	309	シフトロック機構	210
・インパネアッパーボックス (運転席)	309	車載工具	374
コンビネーションメーター	168	ジャッキの使いかた	375
		車両盗難防止(イモビライザー) 機能	64
		車両を緊急停止するには	402
サ		集中(パワー)ドアロック	93
サービスデータ	406	充電警告灯	152
サイドアンダーミラー	146	使用オイル	407
サイドエアバッグ	53	衝撃感知ドアロック解除システム	95
サイド(ドア)ミラー	142	上下2段調節式デッキボード	312
サイドトレイ	308	照度調整	178
サンシェード	305	衝突回避支援ブレーキ機能	224
3点式ELRシートベルト	35	照明	299
サンバイザー	304	助手席アンダーボックス	310
		助手席SRSエアバッグ	53
		助手席シートベルト締め忘れ 警告灯	155
シ		シリコンマット	308
CDプレーヤー	288		
シート			
・フロント	125		
・リヤ	127		
シートアレンジ	132		
シートバックテーブル	322		

ス

水温警告灯	154
水温表示灯	163
スタック（立ち往生）したとき	386
ステアリングスイッチ	294
ステアリングホイール （チルトステアリング）	148
スノー（タイヤ）チェーン	368
スパーク（点火）プラグの型式	406
スピードメーター	169
スマートアシスト	220
スマートアシスト OFF スイッチ	242
スマートアシスト OFF 表示灯	239
スマートアシスト機能低下コード	240
スマートアシスト警告灯	238
スマートアシスト作動灯	238
スライド調整	
・フロントシート	125
・リヤシート	127
スライドドア	98
スライドドアイージークローザー	102
スリップインジケーター	217

セ

積算距離計（オドメーター）	172
セキュリティアラーム	65
セキュリティアラーム作動の 停止方法	68
セキュリティインジケーター	164
セレクト（シフト）レバー	209
先行車発進お知らせ機能	236
洗車	324

前照灯（ヘッドランプ）の 切り替え	183
前席（フロントシート）	125

ソ

速度計（スピードメーター）	169
---------------	-----

タ

ターボ車	192
ターンシグナルインジケーター （方向指示表示灯）	161
ターンシグナル（方向指示） スイッチ	188
タイヤチェーン	368
タイヤの交換	338
タイヤの点検	336
タイヤのデータ	409
タイヤのローテーション	337
タイヤパンク応急修理セット	379
タコメーター	169
暖房（エアコン）	
・オートエアコン	268
・マニュアルエアコン	260

チ

チェーン	368
チェックエンジン警告灯	151
チェンジ（シフト）レバー	209
チケットホルダー	304
チャージ（充電）警告灯	152
チャイルドシート	40
チャイルドシート固定バー	51
チャイルドシートの選びかた	42
チャイルドシートの固定のしかた	47
チャイルドシートの種類	41
チャイルドセーフティ	94
駐車ブレーキ	208
駐車ブレーキの点検基準値	406
チルトステアリング	148

ツ

ツール（工具）	374
---------	-----

テ

TRC	215
TRC OFF 表示灯	218
低水温表示灯	163
ディスクホイール（タイヤ）の交換	338
ディスクホイール（タイヤ）のデータ	409
低速域衝突回避支援ブレーキ機能	224
テールインジケーター	162
テザーアンカー	51
デッキ（ラゲージ）アンダーボックス	311
デッキ（ラゲージ）ボード	312

デッキ（ラゲージ）ユーティリティフック	315
デッキ（ラゲージ）ルームランプ	299
デファレンシャルオイルのデータ	408
デフォッガースイッチ	277
デフロスター（曇り取り）	
・フロント（オートエアコン）	269
・フロント（マニュアルエアコン）	263
・リヤ	277
デュアル SRS エアバッグ	53
点火プラグの型式	406
電球の交換	352
点検整備項目（サービスデータ）	406
電子カードキー	72
電子カードキーが使用できないとき	398
電池の交換	362
電動格納式（ドア）ミラー	142
電動格納式ヒートドアミラー	277
電動スライドドア	103
電動パワーステアリング警告灯	160
電力回生制御	257

ト

ドア	86
ドア（パワー）ウインド	117
ドアポケット	309
ドアミラー	142
ドア連動機能	300
ドアロック	93
時計	179
トップテザーアンカー	51
トラクションコントロール （TRC）	215
トランスファオイルのデータ	408
トランスミッションオイルの データ	407
トリップメーター（区間距離計）	172
ドリンクホルダー	320

ナ

内気センサー	276
--------	-----

ニ

荷室床面フック	317
日射センサー	276

ネ

燃費（平均燃費）	173
燃料カットシステム	386
燃料給油口（フューエルリッド）	122
燃料計	170
燃料残量警告灯	157
燃料（フューエル）タンクの容量	406

ハ

パーキング（駐車）ブレーキ	208
パーキング（駐車）ブレーキの 点検基準値	406
ハイビーム（ヘッドランプ上向き） 表示灯	162
ハザードインジケーター （非常点滅表示灯）	161
ハザード（非常点滅灯）スイッチ	189
挟み込み防止機構	
・パワーウインド	118
・パワースライドドア	110
発炎筒	388
バックカメラ	295
バックドア	113
バックドアランプ	300
バック（ルーム）ミラー	142
パッシング （ヘッドランプの切り替え）	183
バッテリー	256
バッテリーあがりの処置	392
バッテリーあがり防止機能	300
バッテリーの型式	406
発電制御	257
バニティーミラー	305
バルブ（電球）の交換	352
パワーウインド	117
パワーステアリング警告灯	160
パワースライドドア	103
パワードアロック	93
パンク応急修理セット	379
パンクしたとき	392
半ドア警告灯	157
ハンドル（チルトステアリング）	148

ヒ

ビークルスタビリティコントロール (VSC)	214
ヒーター (エアコン)	
・オートエアコン	268
・マニュアルエアコン	260
ヒートッドミラー	277
非常点滅灯スイッチ	189
非常点滅表示灯	161
ヒューズボックス	348
表示灯	161
ヒルスタートシステム	255

フ

ファンベルトの点検基準値	406
VSC	214
VSC&TRC OFF スイッチ	219
VSC&TRC 警告灯	217
VSC OFF 表示灯	218
Vフレックスフルタイム 4WD	193
フィルターのデータ	
・オイルフィルター	407
・クリーンエアフィルター	347
フォースリミッター機構付 シートベルト	37
フォグランプスイッチ	185
フォグランプ表示灯	162
プッシュボタンスタートスイッチ	203
フット (足踏み式駐車) ブレーキ	208
不凍液 (冷却水) のデータ	408
フューエルウォーニング (燃料残量警告灯)	157
フューエルタンクの容量	406

フューエル (燃料) カット システム	386
フューエルメーター (燃料計)	170
フューエルリッド	122
冬用タイヤ	369
プラグの型式	406
プリテンショナー&フォースリミッター 機構付シートベルト	37
ブレーキ (ABS)	212
ブレーキオイルのデータ	408
ブレーキ警告灯	153
ブレーキペダルの点検基準値	406
ブレード (ワイパー) の交換	343
フロントアームレスト	302
フロントセンター アームレストボックス	309
フロントシート	125
フロントシートベルト	35
フロントドア	86
フロントパーソナルランプ	299
フロントフォグランプスイッチ	185
フロントワイパー・ウォッシャー スイッチ	185

へ

平均燃費	173
ヘッドランプ上向き表示灯	162
ヘッドランプの切り替え	183
ヘッドレスト	130
ベルトの点検基準値	406

ホ

ホイール（タイヤ）の交換	338
ホイール（タイヤ）のデータ	409
方向指示スイッチ	188
方向指示表示灯	161
ホーンスイッチ	188
補給口（フューエルリッド）	122
ポジション表示 （シフトインジケーター）	165
ボトルホルダー	320
ボンネット	330

マ

前倒し	
・リヤシート	129
窓ガラス（パワーウインド）	117
マニュアルエアコン	260
マルチインフォメーション ディスプレイ	171

ミ

ミラー	
・ドアミラー	142
・ルームミラー	142

メ

メーター	168
メインキー	72
メンテナンスデータ （サービスデータ）	406

ユ

油圧警告灯	151
ユーティリティフック	315

ヨ

4WD車	193
------	-----

ラ

ライト消し忘れ警告ブザー	184
ライト自動消灯機能	183
ライトスイッチ	181
ラゲージアンダートランク	311
ラゲージルームランプ	299
ラジエーター液（冷却水）の データ	408
ラジオ	284
ラバー（ワイパー）の交換	343

リ

リクエストスイッチ 89

リクライニング調整

- ・フロントシート 125
- ・リヤシート 127

リバース連動リヤワイパー 187

リフター 125

リモコンスイッチ

- ・キーフリーシステム 78
- ・キーレスエントリー 77

リヤアンダーミラー 147

リヤウインドデフォグガー
スイッチ 277

リヤシート 127

リヤシートベルト 35

リヤデファレンシャルオイルの
データ 408

リヤドア 98

リヤドアサンシェード 305

リヤワイパー・ウォッシャー
スイッチ 187

ル

ルーフアンテナ 278

ルームミラー 142

ルームランプ 299

レ

冷却水のデータ 408

冷房（エアコン）

- ・オートエアコン 268
- ・マニュアルエアコン 260

レーザーレーダー 222

レベリング警告灯 159

ロ

ローテーション 337

ロービーム・オートレベリング
警告灯 159

ワ

ワイパー・ウォッシャースイッチ 185

ワイパーの交換 343

ワイヤレスドアロック
（キーレスエントリー） 77

W数（電球） 352

ワンタッチスイッチ 89

3

3点式ELRシートベルト 35

4

4WD車 193

A

ABS 212

ABS 警告灯 158

A/C (エアコン)

- ・オートエアコン 268
- ・マニュアルエアコン 260

A/T (オートマチック) 車 192

AUX (外部入力接続) 端子 292

C

CD プレーヤー 288

E

EBD 212

eco IDLE OFF スイッチ 254

eco IDLE OFF 表示灯 253

eco IDLE (エコアイドル) 244

eco IDLE 表示灯 252

EPS (電動パワーステアリング)
警告灯 160

I

ISO FIX 対応チャイルドシート
固定バー&トップテザーアンカー 51

L

LED ヘッドランプ警告灯 159

LLC (冷却水) のデータ 408

S

SRS エアバッグ 53

SRS エアバッグ警告灯 158

SRS エアバッグコンピューター 62

T

TRC 215

TRC OFF 表示灯 218

V

VSC 214

VSC OFF 表示灯 218

VSC&TRC OFF スイッチ 219

VSC&TRC 警告灯 217

V (ファン) ベルトの点検基準値 406

V フレックスフルタイム 4WD 193

W

W 数 (電球) 352

-
- “スマートアシスト” “eco IDLE” “キーフリーシステム” “アミックス” はダイハツ工業株式会社の登録商標です。

お問い合わせ、ご相談は
下記へお願いいたします。

トヨタ自動車株式会社 お客様相談センター
全国共通・フリーコール

 **0800-700-7700**

オープン時間 365日 9:00～18:00

所在地 〒450-8711 名古屋市中村区名駅4丁目7番1号

「個人情報保護方針」については、
<http://www.toyota.co.jp/>にて掲載しております。

トヨタ自動車株式会社
<http://toyota.jp>



M B2326
01999—B 2326
KB-2015年 6月25日
2015年 7月 2日 初版
ピクシス メガ